
AX2500S ソフトウェアマニュアル
MIB レファレンス

Ver.4.21 対応

AX25S-S006-O0

AjaxalA

■対象製品

このマニュアルは AX2530S, AX2530SE モデルを対象に記載しています。また、AX2530S, AX2530SE のソフトウェア Ver.4.21 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、ソフトウェア OS-L2B およびアドバンストソフトウェアアップグレードライセンス（以降、ライセンス表記）によってサポートする機能について記載します。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IPX は、Novell,Inc. の商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

RSA, RSA SecurID は、RSA Security Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

sFlow は、米国およびその他の国における米国 InMon Corp. の登録商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Wake on LAN は、IBM Corp. の登録商標です。

MagicPacket は、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■発行

2020年 11月 (第25版) AX 25 S - S 006 - O 0

■著作権

All Rights Reserved, Copyright(C), 2010, 2020, ALAXALA Networks, Corp.

変更履歴

【Ver.4.21（第25版）】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
1.1 MIB体系図	<ul style="list-style-type: none">lldpV2MIBグループを追加しました。
1.2 MIB一覧	<ul style="list-style-type: none">lldpV2MIBグループを追加しました。
2.18 lldpV2MIBグループ	<ul style="list-style-type: none">本節を追加しました。
4 サポートMIBトラップ	<ul style="list-style-type: none">lldpV2RemTablesChangeを追加しました。

なお、単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

【Ver.4.14（第24版）】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
はじめに	<ul style="list-style-type: none">AX2530S-16P4X, AX2530SE モデルを追加しました。
MIB一覧	<ul style="list-style-type: none">powerEthernetMIB グループに 16P4X を追加しました。
interfaces グループ	<ul style="list-style-type: none">ifIndex の実装仕様に 16P4X を追加しました。
powerEthernetMIB グループ (PowerEthernetMIB) 【48P2X】【08P】 【16P4X】	<ul style="list-style-type: none">16P4X を追加しました。
axsStackMember グループ	<ul style="list-style-type: none">axsStackModelType の実装仕様に AX2530SE を追加しました。
ax2530sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sModelType の実装仕様に AX2530S-16P4X, AX2530SE を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（筐体情報）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sChassisType の実装仕様に AX2530S-16P4X, AX2530SE を追加しました。ax2530sRedundantPsNumber の実装仕様に AX2530S-16P4X, AX2530SE を追加しました。ax2530sFanNumber の実装仕様に AX2530S-16P4X, AX2530SE を追加しました。ax2530sCriticalAccumRunTime に AX2530S-16P4X, AX2530SE を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（ファン情報）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sFanIndex の実装仕様に 16P4X を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（外部電源情報）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sRedundantPsIndex の実装仕様に 16P4X を追加しました。
サポートトラップおよび発行契機	<ul style="list-style-type: none">PoE に関するトラップに 16P4X を追加しました。

【Ver.4.9（第21版）】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
interfaces グループ	<ul style="list-style-type: none">ifIndex の実装仕様に AX2530S-08TC1 を追加しました。
ax2530sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sModelType の実装仕様に AX2530S-08TC1 を追加しました。

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
ax2530sChassis グループの実装仕様（筐体情報）	<ul style="list-style-type: none"> • ax2530sChassisType の実装仕様に AX2530S-08TC1 を追加しました。 • ax2530sRedundantPsNumber の実装仕様に AX2530S-08TC1 を追加しました。 • ax2530sFanNumber の実装仕様に AX2530S-08TC1 を追加しました。 • ax2530sCriticalAccumRunTime に AX2530S-08TC1 を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（ファン情報）	<ul style="list-style-type: none"> • ax2530sFanIndex の実装仕様に AX2530S-08TC1 を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（外部電源情報）	<ul style="list-style-type: none"> • ax2530sRedundantPsIndex の実装仕様に AX2530S-08TC1 を追加しました。

【Ver.4.6（第19版）】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
MIB一覧	<ul style="list-style-type: none"> • powerEthernetMIB グループに AX2530S-08P/08PD1/08PD2 を追加しました。
interfaces グループ	<ul style="list-style-type: none"> • ifIndex の実装仕様に AX2530S-08P/08PD1/08PD2 を追加しました。
powerEthernetMIB グループ（Power EthernetMIB）【48P2X】【08P】【08PD】	<ul style="list-style-type: none"> • AX2530S-08P/08PD1/08PD2 を追加しました。
ax2530sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）	<ul style="list-style-type: none"> • ax2530sModelType の実装仕様に AX2530S-08P/08PD1/08PD2 を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（筐体情報）	<ul style="list-style-type: none"> • ax2530sChassisType の実装仕様に AX2530S-08P/08PD1/08PD2 を追加しました。 • ax2530sRedundantPsNumber の実装仕様に AX2530S-08P/08PD1/08PD2 を追加しました。 • ax2530sFanNumber の実装仕様に AX2530S-08P/08PD1/08PD2 を追加しました。 • ax2530sCriticalAccumRunTime に AX2530S-08P/08PD1/08PD2 を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（ファン情報）	<ul style="list-style-type: none"> • ax2530sFanIndex の実装仕様に AX2530S-08P/08PD1/08PD2 を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（外部電源情報）	<ul style="list-style-type: none"> • ax2530sRedundantPsIndex の実装仕様に AX2530S-08P/08PD1/08PD2 を追加しました。
サポート MIB トランプ	<ul style="list-style-type: none"> • PoE に関するトランプに AX2530S-08P/08PD1/08PD2 を追加しました。

【Ver.4.4（第16版）】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
MIB 体系図	<ul style="list-style-type: none"> • axsWhitelist グループを追加しました。
MIB一覧	<ul style="list-style-type: none"> • axsWhitelist グループを追加しました。
MIB の記述形式	<ul style="list-style-type: none"> • StorageType を追加しました。
axsWhitelist グループ（ホワイトリスト情報）【OS-L2A】	<ul style="list-style-type: none"> • 本項を追加しました。

【Ver.4.3 (第 15 版)】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
powerEthernetMIB グループ (Power EthernetMIB) 【48P2X】	<ul style="list-style-type: none">powerEthernetMIB グループ (Power EthernetMIB) 【48P2X】にスタックの記述を追加しました。
ax2530sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none">ax2530sSystemMsgText の実装仕様の記述を変更しました。
サポート MIB トラップ	<ul style="list-style-type: none">ax2530sSystemMsgTrap を追加しました。

【Ver.4.2 (第 14 版)】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
MIB 体系図	<ul style="list-style-type: none">powerEthernetMIB グループを追加しました。
MIB 一覧	<ul style="list-style-type: none">powerEthernetMIB グループを追加しました。
powerEthernetMIB グループ (Power EthernetMIB) 【48P2X】	<ul style="list-style-type: none">本項を追加しました。
ax2530sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none">ax2530sModelType の実装仕様に AX2530S-48P2X を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)	<ul style="list-style-type: none">ax2530sChassisType の実装仕様に AX2530S-48P2X を追加しました。ax2530sRedundantPsNumber の実装仕様に AX2530S-48P2X を追加しました。ax2530sFanNumber の実装仕様に AX2530S-48P2X を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様 (ファン情報)	<ul style="list-style-type: none">ax2530sFanIndex の実装仕様に AX2530S-48P2X を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様 (外部電源情報)	<ul style="list-style-type: none">ax2530sRedundantPsIndex の実装仕様に AX2530S-48P2X を追加しました。
サポート MIB トラップ	<ul style="list-style-type: none">PoE に関するトラップを追加しました。

【Ver.4.1 (第 12 版)】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
はじめに	<ul style="list-style-type: none">Ver.4.1 対応に伴い「スタック使用時の注意事項」を削除しました。
axsAxrpGroupTable グループ	<ul style="list-style-type: none">axsAxrpGroupMonitoringState の実装仕様を変更しました。

【Ver.4.0 (第 11 版)】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
はじめに	<ul style="list-style-type: none">「Ver.4.0 以降でご使用時の注意事項」を「スタック使用時の注意事項」として記述を変更しました。

【Ver.4.0（第10版）】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
はじめに	・「Ver.4.0以降でご使用時の注意事項」の記述を変更しました。

【Ver.4.0（第9版）】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
MIB 体系図	・ axsStack グループ【OS-L2A】を追加しました。
MIB 一覧	・ axsStack グループ【OS-L2A】を追加しました。
interfaces グループ	・ interfaces グループにスタックの記述を追加しました。
dot1dBase グループ	・ dot1dBase グループにスタックの記述を追加しました。
axsStack グループ（スタック情報） 【OS-L2A】	・ 本節を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（ 筐体情報）	・ ax2530sChassis グループの実装仕様（筐体情報）にスタックの記述を追加しました。
サポート MIB トランプ	・ スタックに関する記述を追加しました。

【Ver.3.5（第8版）】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
MIB 体系図	・ ax2530sSml グループ【OS-L2A】を追加しました。
MIB 一覧	・ ax2530sSml グループ【OS-L2A】を追加しました。
axsL2ldPortTable グループ	・ axsL2ldPortTable グループにピアリンクの記述を追加しました。
ax2530sSwitch グループ（システム装 置のモデル情報 MIB）	・ ax2530sModelType の実装仕様に AX2530S-24TD, AX2530S-48TD, AX2530S-24S4XD を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（ 筐体情報）	・ ax2530sChassisType の実装仕様に AX2530S-24TD, AX2530S-48TD, AX2530S-24S4XD を追加しました。 ・ ax2530sFanNumber の実装仕様に AX2530S-24TD, AX2530S-48TD, AX2530S-24S4XD を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（ ファン情報）	・ ax2530sFanIndex の実装仕様に AX2530S-24TD, AX2530S-48TD, AX2530S-24S4XD を追加しました。
ax2530sPhysLine グループの実装仕様 (line(物理回線)情報)	・ ax2530sPhysLineConnectorType の実装仕様に type10GBASE-CU30CM を 追加しました。

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
ax2530sSml グループ (SML 情報) 【OS-L2A】	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
サポート MIB トランプ	<ul style="list-style-type: none"> SML に関するトランプを追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ax2530sSmlStatusFull 【OS-L2A】 ax2530sSmlStatusStandalone 【OS-L2A】 ax2530sSmlStatusConflict 【OS-L2A】 ax2530sSmlPeerlinkNormal 【OS-L2A】 ax2530sSmlPeerlinkFailure 【OS-L2A】 ax2530sSmlPeerlinkRecovery 【OS-L2A】 ax2530sSmlPeerlinkDisconnect 【OS-L2A】

【Ver.3.4 (第 7 版)】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
MIB 体系図	<ul style="list-style-type: none"> sFlow グループを追加しました。
MIB 一覧	<ul style="list-style-type: none"> sFlow グループを追加しました。
interfaces グループ	<ul style="list-style-type: none"> interfaces グループの ifOutUcastPkts をサポートしました。
ifMIB	<ul style="list-style-type: none"> ifMIB の ifHCOutUcastPkts をサポートしました。
axsIfStats グループ	<ul style="list-style-type: none"> axsIfStats グループの axsIfStatsOutUcastMegaPkts をサポートしました。
sFlow グループ (InMon プライベート MIB)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。

【Ver.3.3 (第 6 版)】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
MIB 一覧	<ul style="list-style-type: none"> IPv6 情報を追加しました。
ip グループ (MIB-II)	<ul style="list-style-type: none"> ip グループの実装仕様に IPv6 情報を追加しました。
icmp グループ (MIB-II)	<ul style="list-style-type: none"> icmp グループの実装仕様 (項番 27 ~ 39) を追加しました。
tcp グループ (MIB-II)	<ul style="list-style-type: none"> tcp グループの実装仕様 (項番 22 ~ 39) を追加しました。
udp グループ (MIB-II)	<ul style="list-style-type: none"> udp グループの実装仕様 (項番 9 ~ 20) を追加しました。
axsAxrpMIB グループ (Ring Protocol 情報)	<ul style="list-style-type: none"> マスタノード・共有ノード・多重障害監視機能に関する記述を追加しました。

【Ver.3.2 (第 5 版)】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
MIB 一覧	<ul style="list-style-type: none"> axsVlanTagTranslation グループをサポートしました。
axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> 本項を追加しました。
ax2530sPhysLine グループの実装仕様 (line(物理回線) 情報)	<ul style="list-style-type: none"> ax2530sPhysLineConnectorType の実装仕様に type10GBASE-ER を追加しました。

【Ver.3.2（第4版）】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
ax2530sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sModelType の実装仕様に AX2530S-24T4X, AX2530S-48T2X を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（筐体情報）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sChassisType の実装仕様に AX2530S-24T4X, AX2530S-48T2X を追加しました。ax2530sFanNumber の実装仕様に AX2530S-24T4X, AX2530S-48T2X を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（ファン情報）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sFanIndex の実装仕様に AX2530S-24T4X, AX2530S-48T2X を追加しました。

【Ver.3.1（第3版）】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
MIB 体系図	<ul style="list-style-type: none">snmpModules(3) を追加しました。
MIB 一覧	<ul style="list-style-type: none">snmpModules グループを追加しました。
snmpModules グループ	<ul style="list-style-type: none">snmpModules グループを追加しました。
ax2530sPhysLine グループの実装仕様（line（物理回線）情報）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sPhysLineConnectorType の実装仕様に type1000BASE-UTP を追加しました。

【Ver.3.1（第2版）】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
interfaces グループ	<ul style="list-style-type: none">100BASE-FX, 10GBASE-R の記述を追加しました。
ifMIB	<ul style="list-style-type: none">100BASE-FX, 10GBASE-R の記述を追加しました。
ax2530sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sModelType の実装仕様に AX2530S-24S4X を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（筐体情報）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sChassisType の実装仕様に AX2530S-24S4X を追加しました。ax2530sFanNumber の実装仕様に AX2530S-24S4X を追加しました。ax2530sCriticalAccumRunTime の実装仕様に AX2530S-24S4X を追加しました。
ax2530sChassis グループの実装仕様（ファン情報）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sFanIndex の実装仕様に AX2530S-24S4X を追加しました。
ax2530sPhysLine グループの実装仕様（line（物理回線）情報）	<ul style="list-style-type: none">ax2530sPhysLineConnectorType の実装仕様に type100BASE-FX, type10GBASE-SR, type10GBASE-LR, type10GBASE-CU1M, type10GBASE-CU3M, type10GBASE-CU5M を追加しました。ax2530sPhysLineTransceiverStatus の実装仕様に SFP+ を追加しました。

はじめに

■対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルは AX2530S, AX2530SE モデルを対象に記載しています。また、AX2530S, AX2530SE のソフトウェア Ver.4.21 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、ソフトウェア OS-L2B およびアドバンストソフトウェアアップグレードライセンス（以降、ライセンス表記）によってサポートする機能について記載します。

操作を行う前にこのマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。また、このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。

なお、このマニュアルでは特に断らないかぎり AX2530S, AX2530SE に共通の機能について記載しますが、モデル固有の機能については以下の表記とマークで示します。

【AX2530S】：

AX2530S モデル固有の記述です。

【AX2530SE】：

AX2530SE モデル固有の記述です。

【10G モデル】：

10G アップリンク対応モデルに共通する記述です。

表 各モデルの表記とマーク

AX2530S	AX2530SE	本文表記	マーク
AX2530S-24T	AX2530SE-24T	24T	【24T】
AX2530S-24T4X	AX2530SE-24T4X	24T4X	【24T4X】【10G モデル】
AX2530S-48T	AX2530SE-48T	48T	【48T】
AX2530S-48T2X	AX2530SE-48T2X	48T2X	【48T2X】【10G モデル】
AX2530S-48P2X		48P2X	【48P2X】【10G モデル】
AX2530S-24S4X	AX2530SE-24S4X	24S4X	【24S4X】【10G モデル】
AX2530S-24TD		24TD	【24T】
AX2530S-48TD		48TD	【48T】
AX2530S-24S4XD		24S4XD	【24S4X】【10G モデル】
AX2530S-08P		08P	【08P】
AX2530S-08PD1		08PD1	【08P】
AX2530S-08PD2		08PD2	【08P】
AX2530S-08TC1		08TC1	【08TC1】
AX2530S-16P4X		16P4X	【16P4X】【10G モデル】

また、このマニュアルでは特に断らないかぎり OS-L2B の機能について記載しますが、アドバンストソフトウェアアップグレードライセンスの機能については以下のマークで示します。

【OS-L2A】：

アドバンストソフトウェアアップグレードライセンスでサポートする機能です。

■このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は、ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

■対象読者

本装置を利用したネットワークシステムを構築し、運用するシステム管理者の方を対象としています。

また、次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。

<http://www.alaxala.com>

■マニュアルの読書手順

本装置の導入、セットアップ、日常運用までの作業フローに従って、それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。

- 初期導入時の基本的な設定について知りたい、
ハードウェアの設備条件、取扱方法を調べる

AX2500S
ハードウェア取扱説明書
(AX25S-H001)

- ラック搭載の手順について知りたい

MNTKIT-01
ハードウェア取扱説明書
(AXMK-H001)

対象モデル
・ AX2530S-08P
・ AX2530S-08PD1
・ AX2530S-08PD2
・ AX2530S-16P4X

- ソフトウェアの機能、
コンフィグレーションの設定、
運用コマンドについて知りたい

コンフィグレーションガイド
Vol. 1
(AX25S-S001)

Vol. 2
(AX25S-S002)

- コンフィグレーションコマンドの
入力シナリオ、パラメータ詳細
について知りたい

コンフィグレーション
コマンドレファレンス
(AX25S-S003)

- 運用コマンドの入力シナリオ、
パラメータ詳細について知りたい

運用コマンドレファレンス
(AX25S-S004)

- メッセージとログについて調べる

メッセージ・ログレファレンス
(AX25S-S005)

- MIBについて調べる

MIBレファレンス
(AX25S-S006)

- トラブル発生時の対処方法について知りたい

トラブルシューティングガイド
(AX25S-T001)

■このマニュアルでの表記

AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
ALG	Application Level Gateway
ANSI	American National Standards Institute
ARP	Address Resolution Protocol
AS	Autonomous System
AUX	Auxiliary
BGP	Border Gateway Protocol
BGP4	Border Gateway Protocol - version 4
BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4
bit/s	bits per second *bpsと表記する場合もあります。
BPDU	Bridge Protocol Data Unit
BRI	Basic Rate Interface
CC	Continuity Check

CDP	Cisco Discovery Protocol
CFM	Connectivity Fault Management
CIDR	Classless Inter-Domain Routing
CIR	Committed Information Rate
CIST	Common and Internal Spanning Tree
CLNP	ConnectionLess Network Protocol
CLNS	ConnectionLess Network System
CONS	Connection Oriented Network System
CRC	Cyclic Redundancy Check
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection
CSNP	Complete Sequence Numbers PDU
CST	Common Spanning Tree
DA	Destination Address
DC	Direct Current
DCE	Data Circuit terminating Equipment
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DIN	Deutsche Industrie Normen
DIS	Draft International Standard/Designated Intermediate System
DNS	Domain Name System
DR	Designated Router
DSAP	Destination Service Access Point
DSCP	Differentiated Services Code Point
DTE	Data Terminal Equipment
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol
E-Mail	Electronic Mail
EAP	Extensible Authentication Protocol
EAPOL	EAP Over LAN
EFM	Ethernet in the First Mile
ES	End System
FAN	Fan Unit
FCS	Frame Check Sequence
FDB	Filtering DataBase
FQDN	Fully Qualified Domain Name
FTTH	Fiber To The Home
GBIC	GigaBit Interface Converter
GSRP	Gigabit Switch Redundancy Protocol
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication
IANA	Internet Assigned Numbers Authority
ICMP	Internet Control Message Protocol
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6
ID	Identifier
IEC	International Electrotechnical Commission
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
IETF	the Internet Engineering Task Force
IGMP	Internet Group Management Protocol
IP	Internet Protocol
IPCP	IP Control Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPV6CP	IP Version 6 Control Protocol
IPX	Internetwork Packet Exchange
ISO	International Organization for Standardization
ISP	Internet Service Provider
IST	Internal Spanning Tree
L2LD	Layer 2 Loop Detection
LAN	Local Area Network
LCP	Link Control Protocol
LED	Light Emitting Diode
LLC	Logical Link Control
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
LLQ+3WFQ	Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing
LSP	Label Switched Path
LSP	Link State PDU
LSR	Label Switched Router
MA	Maintenance Association
MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover
MEP	Maintenance association End Point
MIB	Management Information Base
MIP	Maintenance domain Intermediate Point
MLD	Multicast Listener Discovery

MRU	Maximum Receive Unit
MSTI	Multiple Spanning Tree Instance
MSTP	Multiple Spanning Tree Protocol
MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not AcKnowledge
NAS	Network Access Server
NAT	Network Address Translation
NCP	Network Control Protocol
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NET	Network Entity Title
NLA ID	Next-Level Aggregation Identifier
NPDU	Network Protocol Data Unit
NSAP	Network Service Access Point
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OADP	Octpower Auto Discovery Protocol
OAM	Operations, Administration, and Maintenance
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
packet/s	packets per second *ppsと表記する場合もあります。
PAD	PADDing
PAE	Port Access Entity
PC	Personal Computer
PCI	Protocol Control Information
PDU	Protocol Data Unit
PICS	Protocol Implementation Conformance Statement
PID	Protocol IDentifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-DM	Protocol Independent Multicast-Dense Mode
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
PIM-SSM	Protocol Independent Multicast-Source Specific Multicast
PoE	Power over Ethernet
PRI	Primary Rate Interface
PS	Power Supply
PSNP	Partial Sequence Numbers PDU
QoS	Quality of Service
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
REJ	REject
RFC	Request For Comments
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding
RQ	ReQuest
RSTP	Rapid Spanning Tree Protocol
SA	Source Address
SD	Secure Digital
SDH	Synchronous Digital Hierarchy
SDU	Service Data Unit
SEL	NSAP SElector
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form factor Pluggable
SFP+	Enhanced Small Form factor Pluggable
SML	Split Multi Link
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNP	Sequence Numbers PDU
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SPF	Shortest Path First
SSAP	Source Service Access Point
STP	Spanning Tree Protocol
TA	Terminal Adapter
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLA ID	Top-Level Aggregation Identifier
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service
TPID	Tag Protocol Identifier
TTL	Time To Live
UDLD	Uni-Directional Link Detection
UDP	User Datagram Protocol

ULR	Uplink Redundant
UPC	Usage Parameter Control
UPC-RED	Usage Parameter Control - Random Early Detection
VAA	VLAN Access Agent
VLAN	Virtual LAN
VRRP	Virtual Router Redundancy Protocol
WAN	Wide Area Network
WDM	Wavelength Division Multiplexing
WFQ	Weighted Fair Queueing
WRD	Weighted Random Early Detection
WS	Work Station
WWW	World-Wide Web
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable

■ kB(バイト)などの単位表記について

1kB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト)はそれぞれ 1024 バイト,
1024² バイト, 1024³ バイト, 1024⁴ バイトです。

目次

1	サポート MIB の概要	1
1.1	MIB 体系図	2
1.2	MIB 一覧	4
1.3	プライベート MIB 定義ファイルの入手方法	8
1.4	MIB の記述形式	9
2	標準 MIB	13
2.1	system グループ (MIB-II)	14
2.2	interfaces グループ (MIB-II)	15
2.2.1	interfaces グループ	15
2.3	at グループ (MIB-II)	20
2.4	ip グループ (MIB-II)	21
2.4.1	ip	21
2.5	icmp グループ (MIB-II)	33
2.6	tcp グループ (MIB-II)	36
2.6.1	tcp	36
2.7	udp グループ (MIB-II)	40
2.7.1	udp	40
2.8	dot3 グループ (Ethernet Like MIB)	42
2.9	snmp グループ (MIB-II)	44
2.10	rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)	46
2.10.1	Ethernet Statistics グループ	46
2.10.2	History Control グループ	48
2.10.3	Ethernet History グループ	49
2.10.4	Alarm グループ	51
2.10.5	Event グループ	53
2.11	dot1dBridge グループ	55
2.11.1	dot1dBase グループ	55
2.11.2	dot1dStp グループ	56
2.11.3	dot1dTp グループ	58
2.11.4	pBridgeMIB グループ	60
2.11.5	qBridgeMIB グループ	62
2.12	ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)	69
2.12.1	ifMIB	69
2.13	powerEthernetMIB グループ (PowerEthernetMIB) 【48P2X】【08P】【16P4X】	73
2.14	IEEE8021-CFM-MIB グループ	76
2.14.1	dot1agCfmStack グループ	76
2.14.2	dot1agCfmVlan グループ	77

2.14.3	dot1agCfmMd グループ	78
2.14.4	dot1agCfmMaNet グループ	79
2.14.5	dot1agCfmMaComp グループ	80
2.14.6	dot1agCfmMaMepList グループ	81
2.14.7	dot1agCfmMep グループ	82
2.14.8	dot1agCfmLtr グループ	87
2.14.9	dot1agCfmMepDb グループ	89
2.15	IEEE8023-LAG-MIB グループ	92
2.15.1	dot3adAgg グループ	92
2.15.2	dot3adAggPort グループ	93
2.15.3	dot3adTablesLastChanged グループ	97
2.16	IEEE802.1X MIB グループ	99
2.17	snmpModules グループ	108
2.17.1	snmpFrameworkMIB グループ (SNMP FRAMEWORK MIB)	108
2.17.2	snmpMPDMIB グループ (SNMP MPD MIB)	108
2.17.3	snmpTargetMIB グループ (SNMP TARGET MIB)	109
2.17.4	snmpNotificationMIB グループ (SNMP NOTIFICATION MIB)	111
2.17.5	snmpUsmMIB グループ (SNMP USER BASED SM MIB)	113
2.17.6	snmpVacmMIB グループ (SNMP VIEW BASED ACM MIB)	116
2.18	lldpV2MIB グループ	120
2.18.1	lldpV2Configuration グループ	120
2.18.2	lldpV2Statistics グループ	123
2.18.3	lldpV2LocalSystemData グループ	125
2.18.4	lldpV2RemoteSystemsData グループ	126
2.18.5	lldpV2Extensions グループ	129

3

3.1	axsStats グループ (統計情報 MIB)	137
3.1.1	axsIfStats グループ	138
3.1.2	axsQoS グループ	139
3.2	axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB)	141
3.3	axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)	142
3.3.1	axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報)	142
3.3.2	axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報 MIB)	151
3.4	axsL2ldMIB グループ (L2LD 情報 MIB)	152
3.4.1	axsL2ldGlobalInfo グループ	152
3.4.2	axsL2ldPortTable グループ	153
3.5	axsUlr グループ (アップリンク・リダンダント情報 MIB)	155
3.5.1	axsUlrGlobalInfo グループ	155
3.5.2	axsUlrPortTable グループ	155
3.6	axsBootManagement グループ (システム起動情報 MIB)	158

3.7	axsLogin グループ (ログイン情報 MIB)	159
3.8	axslldp グループ (LLDP 情報 MIB)	161
3.8.1	axslldpConfiguration グループ	161
3.8.2	axslldpStats グループ	163
3.8.3	axslldpLocalSystemData グループ	164
3.8.4	axslldpRemoteSystemData グループ	166
3.8.5	axslldpRemoteOriginInfoData グループ	169
3.9	axsAxrpMIB グループ (Ring Protocol 情報)	172
3.9.1	axsAxrpGroupTable グループ	172
3.9.2	axsAxrpVlanGroupTable グループ	173
3.10	axsPconMIB グループ (消費電力情報 MIB)	175
3.10.1	axsPconModuleData グループ	175
3.10.2	axsPconPowerCon グループ	176
3.11	axsStack グループ (スタック情報) 【OS-L2A】	177
3.11.1	axsStackGlobalInfo グループ	177
3.11.2	axsStackMember グループ	177
3.11.3	axsStackMemberLicense グループ	179
3.12	axsWhitelist グループ (ホワイトリスト情報) 【OS-L2A】	181
3.12.1	axsWhitelistSourceBlockGroup	181
3.13	ax2530sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)	182
3.14	ax2530sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)	185
3.14.1	ax2530sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)	185
3.14.2	ax2530sChassis グループの実装仕様 (温度情報)	187
3.14.3	ax2530sChassis グループの実装仕様 (電源情報)	188
3.14.4	ax2530sChassis グループの実装仕様 (ファン情報)	188
3.14.5	ax2530sChassis グループの実装仕様 (外部電源情報)	189
3.14.6	ax2530sPhysLine グループの実装仕様 (line(物理回線) 情報)	190
3.14.7	ax2530sDeviceError グループの実装仕様 (装置障害情報)	192
3.15	ax2530sAuth グループ (認証系情報)	193
3.16	ax2530sSml グループ (SML 情報) 【OS-L2A】	194
3.17	sFlow グループ (InMon プライベート MIB)	195
4	サポート MIB トラップ	197
4.1	サポートトラップおよび発行契機	198
4.2	サポートトラップ -PDU 内パラメータ	202
付録		215
付録 A	プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値	216
付録 A.1	プライベート MIB	216
付録 A.2	InMon プライベート MIB	231

索引

233

1 サポート MIB の概要

1.1 MIB 体系図

1.2 MIB 一覧

1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法

1.4 MIB の記述形式

1.1 MIB 体系図

本装置でサポートする MIB 体系図を (1/2) と (2/2) に示します。

図 1-1 MIB 体系図 (1/2)

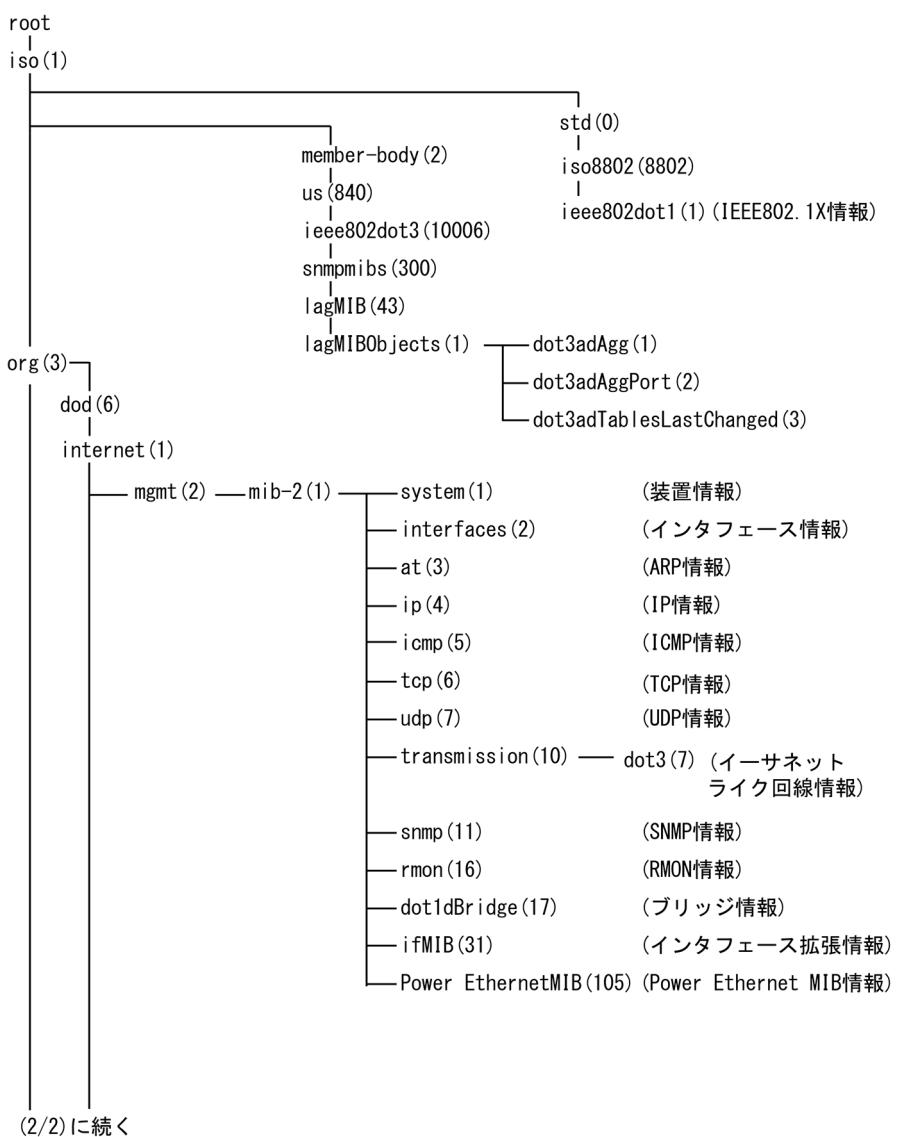
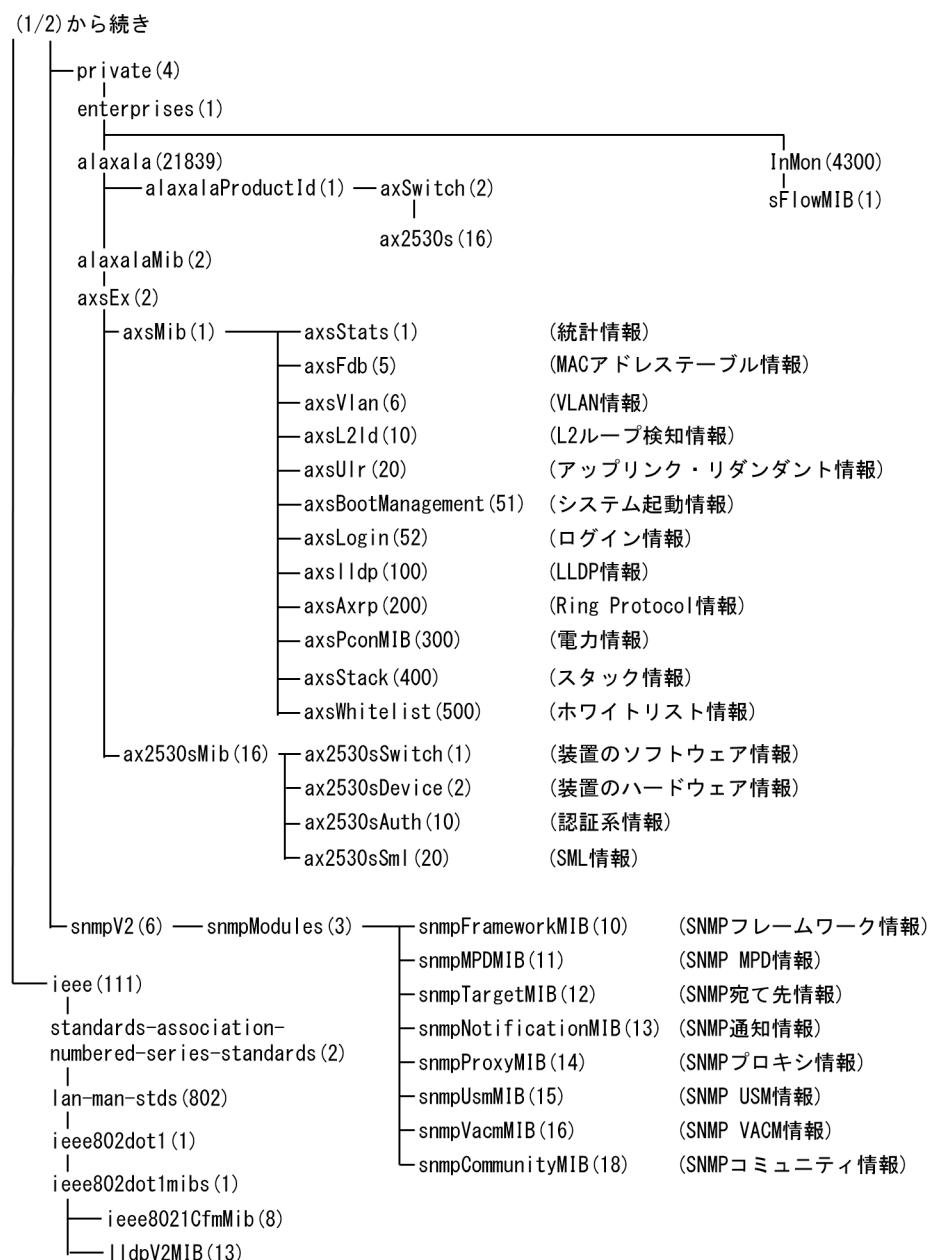


図 1-2 MIB 体系図 (2/2)



1.2 MIB 一覧

サポート MIB を次の表に示します。

表 1-1 MIB グループ一覧

	MIB グループ	機能	サポート
標準 MIB	system グループ	装置に関する情報の MIB です。	○
	interfaces グループ	インターフェースに関する情報の MIB です。	○
	at グループ	ARP テーブルに関する情報の MIB です。	○
	ip グループ	IP 情報の MIB です。IPv6 情報を含みます。	○
	icmp グループ	ICMP 情報の MIB です。ICMPv6 情報を含みます。	○
	tcp グループ	TCP 情報の MIB です。	○
	udp グループ	UDP 情報の MIB です。	○
	dot3 グループ	イーサネットライクインターフェースに関する情報の MIB です。	○
	snmp グループ	SNMP 情報の MIB です。	○
	rmon グループ	Ethernet Statistics Group History Control Group Ethernet History Group Alarm Group Host Group Host Top"N" Matrix Filter Packet Capture Event Group	イーサネットインターフェースの統計情報に関するテーブルの MIB です。 イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルに関する MIB です。 イーサネットの統計情報の来歴テーブルに関する MIB です。 アラームテーブルに関する情報の MIB です。 Host グループに関する情報の MIB です。 HostTopN グループに関する情報の MIB です。 Matrix グループに関する情報の MIB です。 Filter グループに関する情報の MIB です。 PacketCapture グループに関する情報の MIB です。 RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブルに関する MIB です。
dot1dBridge グループ	dot1dBBase グループ	ブリッジの情報です。	○
	dot1dStp グループ	スパニングツリー・プロトコルの情報です。	○
	dot1dTp グループ	ブリッジのフォワーディング情報です。	○
	dot1dStatic グループ	フィルタリング情報です。	×
	pBridgeMIB グループ	優先制御とマルチキャスト・フィルタリングの情報です。	○
	qBridgeMIB グループ	仮想ブリッジ情報です。	○
ifMIB グループ		インターフェース拡張情報の MIB です。	○
ipv6MIB グループ		IPv6 に関する古い MIB です。 本装置の IPv6 情報は、ip グループで取得できます。	×

MIB グループ	機能	サポート
ipv6IcmpMIB グループ	ICMPv6 に関する古い MIB です。 本装置の ICMPv6 情報は、icmp グループで取得できます。	×
powerEthernet MIB グループ 【48P2X】 【08P】 【16P4X】	pethPsePortObjects グループ	給電装置上のポートの給電特性に関する MIB です。
	pethMainPseObjects グループ	給電装置の主電源装置の属性に関する MIB です。
	pethNotificationControl グループ	給電装置の通知情報に関する MIB です。
IEEE8021-CFM-MIB グループ	dot1agCfmStack グループ	CFM スタックテーブルの MIB です。
	dot1agCfmDefaultMd グループ	CFM デフォルト MD テーブルの MIB です。
	dot1agCfmVlan グループ	CFM VLAN テーブルの MIB です。
	dot1agCfmConfigErrorList グループ	CFM 構成情報エラーリストテーブルの MIB です。
	dot1agCfmMd グループ	CFM MD テーブルの MIB です。
	dot1agCfmMaNet グループ	CFM MA net グループの MIB です。
	dot1agCfmMaComp グループ	CFM MA コンポーネントグループの MIB です。
	dot1agCfmMaMepList グループ	CFM MA MEP リストテーブルの MIB です。
	dot1agCfmMep グループ	CFM MEP テーブルの MIB です。
	dot1agCfmLtr グループ	CFM LTR テーブルの MIB です。
IEEE8023-LAG-MIB グループ	dot3adAgg グループ	Aggregator に関する情報です。
	dot3adAggPort グループ	すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 情報です。
IEEE802.1X MIB グループ	IEEE802.1X に関する MIB です。	○
snmpModules グループ	snmpFrameworkMIB グループ	SNMP フレームワークに関する MIB です
	snmpMPDMIB グループ	SNMP メッセージとディスパッチャに関する MIB です。
	snmpTargetMIB グループ	SNMP 宛て先情報に関する MIB です
	snmpNotificationMIB グループ	SNMP 通知情報に関する MIB です
	snmpProxyMIB グループ	SNMP プロキシに関する MIB です
	snmpUsmMIB グループ	SNMP ユーザベースセキュリティモデルに関する MIB です
	snmpVacmMIB グループ	SNMP ビューベースアクセス制御モデルに関する MIB です
	snmpCommunityMIB グループ	SNMPv1, v2C, v3 の共存に関する MIB です
		×

1. サポート MIB の概要

MIB グループ	機能	サポート
lldpV2MIBグループ	lldpV2Configuration グループ	LLDPのコンフィグレーションのMIBです。
	lldpV2Statistics グループ	LLDPの統計情報のMIBです。
	lldpV2LocalSystemData グループ	LLDPの本装置に関する情報のMIBです。
	lldpV2RemoteSystemsData グループ	LLDPの本装置と接続している隣接装置に関する情報のMIBです。
	lldpV2Extensions グループ	LLDP拡張802.1情報に関するMIBです。
プライベート MIB	axsStats グループ	axsIfStats グループ
		メガ単位インターフェース統計の MIB です。
		QoS 統計情報に関する MIB です。
	axsGsrpMIB グループ	axsGsrpGroupTable グループ
		GSRP グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。
		axsGsrpVlanGroupTable グループ
		GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。
	axsFdb グループ	axsGsrpNeighborGroupTable グループ
		対向装置の GSRP グループ情報を格納するテーブル
	axsVlan グループ	axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ
		対向装置の GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。
	axsL2ldMIB グループ	axsFdbCounterTable
		MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブルに関する MIB です。
	axsUlr グループ	axsVlanBridge グループ
		VLAN ごとの Bridge-MIB に関する MIB です。
	axsOadp グループ	axsVlanTagTranslation グループ
		Tag 変換に関する情報テーブルの MIB です。
	axsL2ldPortTable グループ	axsL2ldGlobalInfo グループ
		L2 ループ検知の情報に関する MIB です。
		axsL2ldPortTable グループ
	axsFlow グループ	axsL2ldPortTable グループ
		L2 ループ検知のポート情報を格納するテーブルに関する MIB です。
	axsBootManagement グループ	axsUlrGlobalInfo グループ
		アップリンク・リダンダントの情報に関する MIB です。
	axsUlrPortTable グループ	axsUlrPortTable グループ
		アップリンク・リダンダントのポート情報を格納するテーブルに関する MIB です。
	axsOadp グループ	axsOadpGlobalInfo グループ
		OADP 機能の active 状態に関する MIB です。
		axsOadpPortInfo グループ
	axsOadpNeighborInfo グループ	OADP ポート情報に関する MIB です。
		OADP 隣接ノードに関する MIB です。
	axsAccessFilterStats グループ	axsAccessFilterStats グループ
		アクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報に関する MIB です。
	axsQosFlowStats グループ	axsQosFlowStats グループ
		QoS フローリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報に関する MIB です。
	axsBootManagement グループ	システム起動に関する MIB です。

MIB グループ		機能	サポート
axsLogin グループ		ログインに関する MIB です。	○
axslldp グループ	axslldpConfiguration グループ	LLDP のコンフィグレーションの MIB です。	○
	axslldpStats グループ	LLDP の統計情報の MIB です。	○
	axslldpLocalSystemData グループ	LLDP の本装置に関する情報の MIB です。	○
	axslldpRemoteSystemData グループ	LLDP の本装置と接続している隣接装置に関する情報の MIB です。	○
	axslldpRemoteOriginInfoData グループ	LLDP の弊社独自 TLV 情報の MIB です。	○
axsAxrpMIB グループ	axsAxrpGroupTable グループ	Ring Protocol グループ情報に関する MIB です。	○
	axsAxrpVlanGroupTable グループ	Ring Protocol VLAN グループ情報に関する MIB です。	○
axsPconMIB グループ	axsPconModuleData	装置の稼働状態、電力動作モードに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	axsPconPowerCon	装置全体の消費電力情報テーブルの MIB です。	○
	axsPconTraffic	装置全体のトラフィック情報テーブルの MIB です。	×
axsStack グループ 【OS-L2A】※	axsStackGlobalInfo	スタックの情報に関する MIB です。	○
	axsStackMember	スタックメンバ情報です。	○
	axsStackMemberLicense	スタックメンバのライセンス情報です。	○
axsWhitelist グループ 【OS-L2A】	axsWhitelistSourceBlockGroup	ホワイトリストの学習を抑止する送信元アドレスの情報です。	○
ax2530sSwitch グループ		装置のモデル情報の MIB です。	○
ax2530sDevice	ax2530sChassis グループ	装置の筐体情報の MIB です。	○
	ax2530sPhysLine グループ	装置のインターフェース情報の MIB です。	○
	ax2530sDeviceError グループ	装置の障害情報の MIB です。	○
ax2530sManagement	ax2530sFdbClearMIB グループ	MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB です。	×
ax2530sAuth	ax2530sAuth グループ	認証機能共通の MIB です。	○
ax2530sSml グループ 【OS-L2A】※		SML の情報です。	○
icmp グループ (HP プライベート MIB)		HP 社のプライベート MIB です。	×
sFlow グループ (InMon プライベート MIB)		InMon 社のプライベート MIB です。	○

(凡例) ○ : 本装置でサポートしています。 × : 本装置ではサポートしていません。

注※

一部のモデルは未サポートです。【08P】【08TC1】【16P4X】

1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法

プライベート MIB 定義ファイル (ASN.1) は、ソフトウェアと共に提供いたします。

1.4 MIB の記述形式

このマニュアルで記述しているサポート MIB の記述形式について説明します。各 MIB はグループごとに識別子および実装仕様を記述しています。

● 識別子

オブジェクト識別子の公認された記述形式です。

(例) プライベート MIB `axsStats` グループの識別子の記述形式とオブジェクト ID 値を次に示します。

```
識別子          axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1
```

プライベート MIB のオブジェクト ID 値については、「付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値」を参照してください。

● 実装仕様

各 MIB の実装仕様を表で説明しています。

`axsStats` グループの実装仕様を例に、プライベート MIB の項目について説明します。`axsStats` グループの実装仕様の例を次の表に示します。

表 1-2 `axsStats` グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	<code>axsIfStatsTable</code> <code>{axsIfStats 1}</code>	NOT-ACCESSIBLE	NA	インターフェースの拡張統計情報テーブル。	●
2	<code>axsIfStatsEntry</code> <code>{axsIfStatsTable 1}</code>	NOT-ACCESSIBLE	NA	インターフェースの拡張統計情報テーブルのエントリ。 INDEX {axsIfStatsIndex}	●
3	<code>axsIfStatsIndex</code> <code>{axsIfStatsEntry 1}</code>	NOT-ACCESSIBLE	NA	本装置のインターフェースインデックス。ifIndex と同じ。	●
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

オブジェクト識別子

MIB のオブジェクト識別子の名称を示しています。

SYNTAX

プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味を次の表に示します。なお、SYNTAX はプライベート MIB の実装仕様だけで説明しています。

表 1-3 プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味

項目番号	SYNTAX	SYNTAX の説明
1	Counter	0..4294967295($2^{32}-1$) まで増加し、また 0 に戻る整数値。
2	Counter32	0..4294967295($2^{32}-1$) まで増加し、また 0 に戻る整数値。
3	Counter64	0..18446744073709551615($2^{64}-1$) まで増加し、また 0 に戻る整数値。
4	DisplayString	0 個以上 255 文字以下の文字列(各バイトは、NVT ASCII 値)。
5	Gauge	値は増減できる、0 またはそれ以上の整数(0..4294967295)。

1. サポート MIB の概要

項番	SYNTAX	SYNTAX の説明
6	INTEGER	-2147483648..2147483647(-2 ³¹ ..2 ³¹ -1) の範囲の整数情報を表す。
7	Integer32	-2147483648..2147483647(-2 ³¹ ..2 ³¹ -1) の範囲の整数情報を表す。
8	OCTET STRING	0 個以上の文字列(8 ビット単位)。各バイトは、0..255。
9	IpAddress	4 バイトの OCTET STRING(32 ビットの IP アドレスを格納)。
10	Ipv6Address	16 バイトの OCTET STRING(128 ビットの IPv6 アドレスを格納)。
11	OBJECT IDENTIFIER	サブ識別子の順序固定リストを格納。
12	MacAddress	IEEE802.1a で定義された正規の順序で表される 802MAC アドレス。OCTET STRING タイプ。
13	RowStatus	概念上の行エントリの生成や削除を制御するための SYNTAX タイプ。
14	TimeStamp	あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で計るタイムスタンプ。
15	TimeTicks	正の整数で、あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒で表す。
16	BITS	名前付きビット列で対応するビットに 1 を割り当てる。0 個以上の文字列(8 ビット単位)で表す。名前付きビットの 0 が最上位ビットに対応し、各名前付きビットの論理和が GetResponse で返却される。 例) 名前付きビットの 0 と 6 が有効である場合、GetResponse で返却される値は 0x82 となる。
17	NOT-ACCESSIBLE	アクセス不可。
18	PortList	ポートのビットマップとなっており、有効なポートに対応するビットに 1 を割り当てる。本装置では、ポートの ifIndex 番号に対応したビットに 1 を割り当てる。
19	VlanIndex	VLAN のインデックス番号(1..4094)を表す。
20	AddressFamilyNumbers	IANA が割り当てたアドレス番号。
21	VlanIdOrZero	VLAN のインデックス番号(1..4094)を表す。
22	SnmpAdminString	管理情報を含む文字列。DisplayString タイプ。
23	InetAddressType	インターネットアドレスのタイプ。
24	InetAddress	インターネットアドレス。OCTET STRING タイプ。
25	OwnerString	0 ~ 127 文字の文字列。管理上割り当てられたリソースの所有者の名前を表す。DisplayString タイプ。
26	BridgeId	スパニングツリーで使用されるブリッジ識別子。OCTET STRING タイプ。
27	Timeout	100 分の 1 秒単位の STP タイム。
28	TruthValue	真偽値。
29	InterfaceIndex	システムが管理している ifIndex 番号。 1..2147483647(2 ³¹ -1) の範囲の整数値。
30	Unsigned32	0..4294967295(2 ³² -1) の範囲の整数情報。
31	TimeFilter	正の整数で、あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で表すインデックス番号。
32	StorageType	概念上のメモリ実装を記述する SYNTAX タイプ。

アクセス

- R/O : 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Only であることを示します。
- R/W : 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Write であることを示します。
- R/NW : 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Write ですが、本装置では Read_Only となっていることを示します。
- R/C : 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create であることを示します。
- R/NC : 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create ですが、本装置では Read_Only となっていることを示します。
- AN : 規格ドキュメント上の MIB アクセスが accessible-for-notify であることを示します。Object の取得および設定ができませんが、トラップの variable として読み取ることができます。
- NA : 規格ドキュメント上の MIB アクセスが not-accessible であることを示します。

実装仕様

[規格] : 規格ドキュメントの規格概要を記述しています。

[実装] : 本装置での実装仕様を記述しています。

実装有無

- ● : 本装置でサポート（応答）する MIB を示しています。ただし、アクセス欄が「NA」の場合、MIB の応答はしません。また使用する機能によって応答するものが変わりますので注意してください。
- ▲ : 本装置でサポート（応答）する MIB ですが、本装置では採取できないため、固定値を応答する MIB を示しています。
- × : 本装置でサポート（応答）しない MIB を示しています。

2

標準 MIB

この章では本装置で使用する標準 MIB の実装仕様について説明します。

-
- 2.1 system グループ (MIB-II)
 - 2.2 interfaces グループ (MIB-II)
 - 2.3 at グループ (MIB-II)
 - 2.4 ip グループ (MIB-II)
 - 2.5 icmp グループ (MIB-II)
 - 2.6 tcp グループ (MIB-II)
 - 2.7 udp グループ (MIB-II)
 - 2.8 dot3 グループ (Ethernet Like MIB)
 - 2.9 snmp グループ (MIB-II)
 - 2.10 rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)
 - 2.11 dot1dBridge グループ
 - 2.12 ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)
 - 2.13 powerEthernetMIB グループ (PowerEthernetMIB) 【48P2X】【08P】【16P4X】
 - 2.14 IEEE8021-CFM-MIB グループ
 - 2.15 IEEE8023-LAG-MIB グループ
 - 2.16 IEEE802.1X MIB グループ
 - 2.17 snmpModules グループ
 - 2.18 lldpV2MIB グループ
-

2.1 system グループ (MIB-II)

(1) 識別子

system OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.1

(2) 実装仕様

system グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-1 system グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sysDescr {system 1}	R/O	<p>[規格] ハードウェア, OS, ネットワーク OS の名称またはバージョン No。 [実装] 会社名 装置型名 装置モデル ソフトウェア名称 ソフトウェア型名 ソフトウェアバージョン ソフトウェア略称を含む文字列。 スタック動作時, マスタスイッチの情報を応答します。 (例) AX2530S-24T の場合 "ALAXALA AX2530 AX-xxxx-xxx-x [AX25xxS-xxx] Switching software Ver. 3.0 [OS-xxx]" AX-xxxx-xxx-x : 装置型名 AX25xxS-xxx : 装置モデル Switching Software : ソフトウェア名称 Ver. 3.0 : ソフトウェアバージョン OS-xxx : ソフトウェア略称</p>	●
2	sysObjectID {system 2}	R/O	<p>[規格] ネットワーク管理サブシステムのベンダの認証 ID。 [実装] 固定値。 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16</p>	●
3	sysUpTime {system 3}	R/O	<p>[規格] システムが起動してからの累積時間 (10 ミリ秒カウンタ)。 [実装] 装置起動時からの累積時間。</p>	●
4	sysContact {system 4}	R/NW	<p>[規格] 管理ノードに関する連絡先。 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。</p>	●
5	sysName {system 5}	R/NW	<p>[規格] 管理ノードの名称, 管理ノードのドメイン名。 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。</p>	●
6	sysLocation {system 6}	R/NW	<p>[規格] 管理ノードの設置場所 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。</p>	●
7	sysServices {system 7}	R/O	<p>[規格] サービスを示す値。 [実装] 2 固定。</p>	●

2.2 interfaces グループ (MIB-II)

スタックの場合、各メンバ各ポートの情報、ポートチャネルやVLANはスタック全体の合算の値を応答します。

2.2.1 interfaces グループ

(1) 識別子

```
interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2
```

(2) 実装仕様

interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-2 interfaces グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	[規格] このシステムで、提供するネットワークインターフェースの数。 [実装] 規格に同じ。インターフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	●
2	ifTable {interfaces 2}	NA	[規格] インタフェースエンティティのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	[規格] サブネットワークレイヤに属するインターフェース情報のリスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	●
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	[規格] このインターフェースを識別するための番号。1～ifNumberまでの値。 [実装] ifIndex の割当て方法は以下の通りです。 【スタック動作時】 <ul style="list-style-type: none">ポート：(スイッチ番号-1) × 64 + ポート番号リンクアグリゲーション：512 + チャネルグループ番号VLAN：4096 + VLAN ID 【スタンドアロン動作時】 【24T】【24T4X】【24S4X】 <ul style="list-style-type: none">ポート：10 + ポート番号-1リンクアグリゲーション：60 + チャネルグループ番号VLAN：200 + VLAN IDピアリンク：5 【48T】【48T2X】【48P2X】 <ul style="list-style-type: none">ポート：10 + ポート番号-1リンクアグリゲーション：62 + チャネルグループ番号VLAN：200 + VLAN IDピアリンク：5 【08P】【08TC1】【16P4X】 <ul style="list-style-type: none">ポート：10 + ポート番号-1リンクアグリゲーション：60 + チャネルグループ番号VLAN：200 + VLAN ID	●
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースに関する情報。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列と設定文字列。	●

2.2 interfaces グループ (MIB-II)

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	<p>[規格] インタフェースのタイプ。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートの ifIndex の場合 : Ethernet-csmacd(6)。 VLAN の ifIndex の場合 : l2vlan(135)。 リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : ieee8023adLag(161)。 ピアリンクの ifIndex の場合 : other(1)。 	●
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	<p>[規格] このインターフェースで送受信できるデータグラムの最大サイズ(オクテット)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 VLAN の ifIndex の場合 : VLAN に所属するイーサネットインターフェースの MTU 値, システム MTU 情報, および IP MTU 情報(設定時だけ)のうち最小のもの。 リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : リンクアグリゲーションに所属するイーサネットインターフェースの MTU 値の最小のもの。 ピアリンクの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 	●
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	<p>[規格] このインターフェースの現在の回線速度(bit/s)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートの ifIndex の場合 : コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は, 当該インターフェースの回線速度を表示し, 設定されている場合はその設定値を表示する。 VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : リンクアグリゲーションで使用している物理ポートの回線速度の合計値を表示する。 ピアリンクの ifIndex の場合 : ピアリンクで使用している物理ポートの回線速度の合計。 	●
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	<p>[規格] このインターフェースのネットワークレイヤ直下の物理アドレス。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートの ifIndex の場合 : MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。 VLAN の ifIndex の場合 : VLAN に割り当てられた MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。 リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : チャネルグループの MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。 ピアリンクの ifIndex の場合 : 00 00 00 00 00 固定。 	●
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	<p>[規格] このインターフェースの望ましい状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> up(1) down(2) testing(3) <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートの ifIndex の場合 : コンフィグレーションで shutdown 指定時, down(2) になります。 VLAN の ifIndex の場合 : コンフィグレーションで vlan suspend 指定時, down(2) になります。 リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : コンフィグレーションでチャネルグループを shutdown 指定時, down(2) になります。 ピアリンクの ifIndex の場合 : up(1) 固定。ただし, Read_Only です。 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	<p>[規格] このインターフェースの現在の状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> • up(1) • down(2) • testing(3) <p>[実装] インターフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • VLAN の場合 : 規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの場合 : 規格に同じ。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : Standalone または Conflict の場合は down(2)。Full の場合は up(1)。 	●
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	<p>[規格] このインターフェースの ifOperStatus が最後に変化した時の sysUpTime (単位: 1/100 秒)。</p> <p>[実装] インターフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 	●
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	<p>[規格] このインターフェースで受信したオクテットの数。</p> <p>[実装] インターフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合 : MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの受信オクテット数。 • VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの受信オクテット数。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。 	●
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	<p>[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[実装] インターフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。 	●
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	<p>[規格] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット(ブロードキャスト, マルチキャストパケット)の数。</p> <p>[実装] インターフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。 	●
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	<p>[規格] パケット自身にはエラーはないが, 上位プロトコルに渡すことのできなかったパケットの数(バッファなしなどで破棄された受信パケットの数)。</p> <p>[実装] インターフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合 : 受信 FIFO Overflow のため廃棄したイベント数。 • VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 受信 FIFO Overflow のため廃棄したイベント数。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。 	●

2.2 interfaces グループ (MIB-II)

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	<p>[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートの ifIndex の場合 : FCS エラー, ショートパケット, 最大パケット長オーバー, 衝突されたパケット, パケットフォーマット不正, 端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数。 VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : FCS エラー, ショートパケット, 最大パケット長オーバー, 衝突されたパケット, パケットフォーマット不正, 端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数。 ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。 	●
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	<p>[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し, 破棄したパケットの数。</p> <p>[実装]</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 固定。 ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。 	▲
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	<p>[規格] このインターフェースで送信したパケットのオクテットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートの ifIndex の場合 : MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの送信オクテットの数。 VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの送信オクテット数。 ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。 	●
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。 	●
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートの ifIndex の場合 : 上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケットの数 (MAC DA の I/G ビット = '1' パケットの数。ただし, MAC パケットは除く。また, SMT は含む)。 VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケット数 (MAC DA の I/G ビット = '1' パケットの数。ただし, MAC パケットは除く。また, SMT は含む)。 ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。 	●
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	<p>[規格] パケット自身にエラーではなく, 送信処理で破棄されたパケットの数 (送信バッファ不足など)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートの ifIndex の場合 : 送信 FIFO Overflow(アンダーラン)のため廃棄したイベントの数。 VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 送信 FIFO Overflow(アンダーラン)のため廃棄したイベント数。 ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。 	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	[規格] エラーが原因で送信できなかつたパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none">• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。• ピアリンクの ifIndex の場合：0 固定。	●
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	[規格] 送信パケットキューのサイズ。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none">• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：チャネルグループに属するポートの送信パケットキューを合計したもの。• ピアリンクの ifIndex の場合：0 固定。	●
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	[規格] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB へのレンズ。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none">• ポートの ifIndex の場合：1.3.6.1.2.1.10.7 を応答する。ただし、非正常時は、0.0 を応答する。• VLAN の ifIndex の場合：0.0 固定。• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：0.0 固定。• ピアリンクの ifIndex の場合：0.0 固定。	●

2.3 at グループ (MIB-II)

スタック動作時、本 MIB はマスタスイッチの情報を応答します。

(1) 識別子

```
at OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.3
```

(2) 実装仕様

at グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-3 at グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	atTable {at 1}	NA	[規格] アドレス変換テーブルは"フィジカル"アドレス相当値に対する NetworkAddress のテーブル。いくつかのインターフェースはアドレス相当値を決定するために変換テーブルを使用しません。このようなタイプの場合、アドレス変換テーブルは空であり、エントリの数はゼロとなります。 [実装] 規格に同じ。ネットワークアドレスから物理アドレスへの対応関係を示します。	●
2	atEntry {atTable 1}	NA	[規格] 各エントリは"フィジカル"アドレス相当値に対する一つの NetworkAddress に関するリストです。 INDEX {atIfIndex,atNetAddress} [実装] 規格に同じ。	●
3	atIfIndex {atEntry 1}	R/NW	[規格] 対応するインターフェースの ifIndex の値。 [実装] atPhysAddress を持つインターフェースの ifIndex。ただし、Read_Only です。	●
4	atPhysAddress {atEntry 2}	R/NW	[規格] 物理アドレス。 [実装] 媒体に依存した ARP テーブルに依存する MAC アドレス。	●
5	atNetAddress {atEntry 3}	R/NW	[規格] 媒体に依存した atPhysAddress に対応する IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4 ip グループ (MIB-II)

ip グループ (MIB-II) の関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)
- RFC2011(1996 年 11 月)
- RFC4293(2006 年 4 月)

2.4.1 ip

スタック動作時、本 MIB はマスタスイッチの情報を応答します。

(1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4

ipTrafficStats OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 31}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.31
```

(2) 実装仕様

ip グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-4 ip グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipForwarding {ip 1}	R/NW	[規格]IP 中継機能の可否 (ゲートウェイとして動作するか)。 • gateway/forwarding (1) • host/notForwarding (2) [実装]host/notForwarding (2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
2	ipDefaultTTL {ip 2}	R/NW	[規格]IP ヘッダ中の TTL に設定するデフォルト値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
3	ipInReceives {ip 3}	R/O	[規格]すべてのインターフェースから受信した IP データグラムの総数。 [実装]0 固定。	▲
4	ipInHdrErrors {ip 4}	R/O	[規格]IP ヘッダのエラーのために破棄された受信データグラムの数。 [実装]IP ヘッダチェックサムエラー、バージョンエラー、TTL オーバ・ヘッダ長異常、形式エラーなどの IP パケットをカウントします。 • 0 固定	▲
5	ipInAddrErrors {ip 5}	R/O	[規格]IP ヘッダ中の宛先アドレスが有効ではないために破棄されたパケット数。 [実装]宛先アドレスのクラスが A, B, C, D ではない時カウントします。また無効なブロードキャストアドレス (255.255.255.255 または 0.0.0.0) の時もカウントします。	●
6	ipForwDatagrams {ip 6}	R/O	[規格]中継を必要だと判断したパケット数。 [実装] 規格に同じ。ただし、本装置は L2 スイッチであるため、当該事象が発生せず、0 固定。	●
7	ipInUnknownProtos {ip 7}	R/O	[規格]受信した自分宛て IP パケットで認識できないプロトコルかサポートしていないプロトコルであるため、破棄した IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4 ip グループ (MIB-II)

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	ipInDiscards {ip 8}	R/O	[規格] エラー以外の理由で破棄された送信 IP データグラムの総数。 [実装] ifOperStatus が up ではないとき受信したパケット数。	●
9	ipInDelivers {ip 9}	R/O	[規格] 上位レイヤに通知した IP データグラムの数。 [実装] 自装置宛てへの受信 IP パケット数。	●
10	ipOutRequests {ip 10}	R/O	[規格] 上位レイヤが IP パケット送信要求を行った IP データグラムの総数。 [実装] 自装置から送信した IP パケット数。	●
11	ipOutDiscards {ip 11}	R/O	[規格] エラー以外の理由で破棄された IP データグラムの数。 [実装] IP パケット送信時送信バッファ不足または輻輳制御によって廃棄したパケット数。 ・0 固定	●
12	ipOutNoRoutes {ip 12}	R/O	[規格] 送信経路が指定されないために破棄した IP データグラムの数。 [実装] パケット中継時、宛先ネットワークがルーティングテーブルにない時カウントします。	●
13	ipReasmTimeout {ip 13}	R/O	[規格] リアセンブリ待ちしているフラグメントパケットのホールド最大秒数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ipReasmReqds {ip 14}	R/O	[規格] リアセンブリする必要のある受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	ipReasmOKs {ip 15}	R/O	[規格] リアセンブリが成功した受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	ipReasmFails {ip 16}	R/O	[規格] リアセンブリが失敗した受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ipFragOKs {ip 17}	R/O	[規格] フラグメントが成功した IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	ipFragFails {ip 18}	R/O	[規格] フラグメントを失敗した IP データグラムの数。 [実装] フラグメントする必要があるにもかかわらず、IP ヘッダの DF ビットがオンであったためにフラグメントができなかつた場合、カウントします。フラグメント用バッファ獲得失敗の場合、カウントします。	●
19	ipFragCreates {ip 19}	R/O	[規格] フラグメンテーションの結果として生成された IP データグラムのフラグメントの数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	ipAddrTable {ip 20}	NA	[規格] このエンティティの IP アドレスに関するアドレッシング情報のテーブル (IP アドレス別のアドレス情報テーブル)。 [実装] 規格に同じ。	●
21	ipAddrEntry {ipAddrTable 1}	NA	[規格] このエンティティの IP アドレスの一つのためのアドレッシング情報のリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
22	ipAdEntAddr {ipAddrEntry 1}	R/O	[規格] IP アドレス。 [実装] ポートの IP アドレス。	●
23	ipAdEntIfIndex {ipAddrEntry 2}	R/O	[規格] このエントリが適用するインターフェースのインデックス値。 ifIndex 同じ値。 [実装] 規格に同じ。	●
24	ipAdEntNetMask {ipAddrEntry 3}	R/O	[規格] このエントリの IP アドレスに関するサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。	●
25	ipAdEntBcastAddr {ipAddrEntry 4}	R/O	[規格] IP ブロードキャスト送信時のアドレスの最下位ビットの値。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
26	ipAdEntReasmMaxSize {ipAddrEntry 5}	R/O	[規格] インタフェースで受信した IP フラグメント分割された入力 IP データグラムからリアセンブルできる最大 IP パケットのサイズ。 [実装] 規格に同じ。	●
27	ipRouteTable {ip 21}	NA	[規格] ルートテーブル。 [実装] 未実装。	×
28	ipNetToMediaTable {ip 22}	NA	[規格] IP アドレスから物理アドレスへのマッピングに使用される IP アドレス変換テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
29	ipNetToMediaEntry {ipNetToMediaTable 1}	NA	[規格] 物理アドレスに対応した一つの IP アドレスのリスト。 INDEX {ipNetToMediaIfIndex, ipNetToMediaNetAddress} [実装] 規格に同じ。	●
30	ipNetToMediaIfIndex {ipNetToMediaEntry 1}	R/NC	[規格] 有効となるインターフェース ID 番号。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
31	ipNetToMediaPhysAddress {ipNetToMediaEntry 2}	R/NC	[規格] メディアに依存した物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
32	ipNetToMediaNetAddresses {ipNetToMediaEntry 3}	R/NC	[規格] メディアに依存した物理アドレスに対応する IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
33	ipNetToMediaType {ipNetToMediaEntry 4}	R/NC	[規格] マッピングのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • other(1) • invalid(2) • dynamic(3) • static(4) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
34	ipRoutingDiscards {ip 23}	R/O	[規格] 有効であっても廃棄が選択されたルーティングエントリの数。 例えばルーティングテーブルバッファ不足によって廃棄されたエントリの数。 [実装] 0 固定。	▲
35	ipv6IpForwarding {ip 25}	R/NW	[規格] 他装置宛て IPv6 パケットを中継するかしないか。 <ul style="list-style-type: none"> • forwarding(1) • notForwarding(2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
36	ipv6IpDefaultHopLimit {ip 26}	R/NW	[規格] IPv6 の HopLimit のデフォルト値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
37	ipv4InterfaceTableLastChange {ip 27}	R/O	[規格] ipv4InterfaceTable が最後に変化したときの sysUpTime 値。 [実装] 規格に同じ。	●
38	ipv4InterfaceTable {ip 28}	NA	[規格] インタフェースごとの IPv4 情報。 [実装] 規格に同じ。	●
39	ipv4InterfaceEntry {ipv4InterfaceTable 1}	NA	[規格] 特定インターフェースに関する IPv4 情報。 INDEX {ipv4InterfaceIfIndex} [実装] 規格に同じ。	●
40	ipv4InterfaceIfIndex {ipv4InterfaceEntry 1}	NA	[規格] IP インタフェースを識別する ifIndex の値。 [実装] 規格に同じ。	●
41	ipv4InterfaceReasmMaxSize {ipv4InterfaceEntry 2}	R/O	[規格] フラグメント組み立ての最大サイズ。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4 ip グループ (MIB-II)

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
42	ipv4InterfaceEnableStatus {ipv4InterfaceEntry 3}	R/NW	[規格] 当該インターフェースで IPv4 が動作しているかいかないか。 • up(1) • down(2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
43	ipv4InterfaceRetransmitTime {ipv4InterfaceEntry 4}	R/O	[規格] ARP 再送間隔 (単位 : ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
44	ipv6InterfaceTableLastChange {ip 29}	R/O	[規格] ipv6InterfaceTable が最後に変化したときの sysUpTime 値。 [実装] 規格に同じ。	●
45	ipv6InterfaceTable {ip 30}	NA	[規格] インタフェースごとの IPv6 情報。 [実装] 規格に同じ。	●
46	ipv6InterfaceEntry {ipv6InterfaceTable 1}	NA	[規格] 特定インターフェースに関する IPv6 情報。 INDEX {ipv6InterfaceIfIndex} [実装] 規格に同じ。	●
47	ipv6InterfaceIfIndex {ipv6InterfaceEntry 1}	NA	[規格] IPv6 インタフェースを識別する ifIndex の値。 [実装] 規格に同じ。	●
48	ipv6InterfaceReasmMaxSize {ipv6InterfaceEntry 2}	R/O	[規格] フラグメント組み立ての最大サイズ。 [実装] 規格に同じ。	●
49	ipv6InterfaceIdentifier {ipv6InterfaceEntry 3}	R/O	[規格] インタフェース識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
50	ipv6InterfaceEnableStatus {ipv6InterfaceEntry 5}	R/NW	[規格] 当該インターフェースで IPv6 が動作しているかいかないか。 • up(1) • down(2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
51	ipv6InterfaceReachableTime {ipv6InterfaceEntry 6}	R/O	[規格] ネイバが到達可能だと見なす時間 (単位 : ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
52	ipv6InterfaceRetransmitTime {ipv6InterfaceEntry 7}	R/O	[規格] NDP の再送間隔 (単位 : ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
53	ipv6InterfaceForwarding {ipv6InterfaceEntry 8}	R/NW	[規格] 当該インターフェースで受信した他装置宛て IPv6 パケットを中継するかしないか。 • forwarding(1) • notForwarding(2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
54	ipSystemStatsTable {ipTrafficStats 1}	NA	[規格] IP バージョンごとの装置全体統計情報。 [実装] 規格に同じ。	●
55	ipSystemStatsEntry {ipSystemStatsTable 1}	NA	[規格] 特定 IP バージョンに関する装置全体統計情報。 INDEX {ipSystemStatsIPVersion} [実装] 規格に同じ。	●
56	ipSystemStatsIPVersion {ipSystemStatsEntry 1}	NA	[規格] IP バージョン。 [実装] 規格に同じ。	●
57	ipSystemStatsInReceived {ipSystemStatsEntry 3}	R/O	[規格] 受信 IP パケット数。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
58	ipSystemStatsHCInRec eives {ipSystemStatsEntry 4}	R/O	[規格] 受信 IP パケット数 (64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
59	ipSystemStatsInOctets {ipSystemStatsEntry 5}	R/O	[規格] 受信 IP パケットのオクテット数の合計。 [実装] 規格に同じ。	●
60	ipSystemStatsHCInOct ets {ipSystemStatsEntry 6}	R/O	[規格] 受信 IP パケットのオクテット数の合計 (64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
61	ipSystemStatsInHdrEr rors {ipSystemStatsEntry 7}	R/O	[規格] ヘッダ不正のために破棄された受信パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
62	ipSystemStatsInNoRou tes {ipSystemStatsEntry 8}	R/O	[規格] 該当ルートなしのため破棄された受信パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
63	ipSystemStatsInAddrE rrors {ipSystemStatsEntry 9}	R/O	[規格] 宛先アドレス不正のため破棄された受信パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
64	ipSystemStatsInUnkno wnProtos {ipSystemStatsEntry 10}	R/O	[規格] プロトコル未サポートにより破棄された受信パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
65	ipSystemStatsInTrunca tedPkts {ipSystemStatsEntry 11}	R/O	[規格] パケット長不足により破棄された受信パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
66	ipSystemStatsInForwD atagrams {ipSystemStatsEntry 12}	R/O	[規格] 中継された IP パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
67	ipSystemStatsHCInFor wDatagrams {ipSystemStatsEntry 13}	R/O	[規格] 中継された IP パケットの数 (64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
68	ipSystemStatsReasmRe qds {ipSystemStatsEntry 14}	R/O	[規格] フラグメント組み立てが必要な受信フラグメントの数。 [実装] 規格に同じ。	●
69	ipSystemStatsReasmO Ks {ipSystemStatsEntry 15}	R/O	[規格] フラグメント組み立て成功数。 [実装] 規格に同じ。	●
70	ipSystemStatsReasmFa ils {ipSystemStatsEntry 16}	R/O	[規格] フラグメント組み立て失敗数。 [実装] 規格に同じ。	●
71	ipSystemStatsInDiscar ds {ipSystemStatsEntry 17}	R/O	[規格] パケット自体には理由がないにも関わらず破棄された受信パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
72	ipSystemStatsInDeliver s {ipSystemStatsEntry 18}	R/O	[規格] 上位層 (ICMP を含む) に渡した受信パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4 ip グループ (MIB-II)

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
73	ipSystemStatsHCInDelivers {ipSystemStatsEntry 19}	R/O	[規格] 上位層 (ICMP を含む) に渡した受信パケットの数 (64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
74	ipSystemStatsOutRequests {ipSystemStatsEntry 20}	R/O	[規格] 上位層 (ICMP を含む) から渡された送信パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
75	ipSystemStatsHCOOutRequests {ipSystemStatsEntry 21}	R/O	[規格] 上位層 (ICMP を含む) から渡された送信パケットの数 (64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
76	ipSystemStatsOutNoRoutes {ipSystemStatsEntry 22}	R/O	[規格] 該当ルートなしのため破棄された自装置発パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
77	ipSystemStatsOutForwardDatagrams {ipSystemStatsEntry 23}	R/O	[規格] 中継による送信パケット数。 [実装] 規格に同じ。	●
78	ipSystemStatsHCOOutForwardDatagrams {ipSystemStatsEntry 24}	R/O	[規格] 中継による送信パケット数 (64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
79	ipSystemStatsOutDiscards {ipSystemStatsEntry 25}	R/O	[規格] 破棄された送信パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
80	ipSystemStatsOutFragReqs {ipSystemStatsEntry 26}	R/O	[規格] フラグメント分割が必要な送信パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
81	ipSystemStatsOutFragOKs {ipSystemStatsEntry 27}	R/O	[規格] フラグメント分割が成功した数。 [実装] 規格に同じ。	●
82	ipSystemStatsOutFragFails {ipSystemStatsEntry 28}	R/O	[規格] フラグメント分割が失敗して破棄された送信パケットの数。 [実装] 規格に同じ。	●
83	ipSystemStatsOutFragCreates {ipSystemStatsEntry 29}	R/O	[規格] 送信パケットのフラグメント分割で生成されたフラグメントの数。 [実装] 規格に同じ。	●
84	ipSystemStatsOutTransmits {ipSystemStatsEntry 30}	R/O	[規格] 送信 IP パケット数。 [実装] 規格に同じ。	●
85	ipSystemStatsHCOOutTransmits {ipSystemStatsEntry 31}	R/O	[規格] 送信 IP パケット数 (64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
86	ipSystemStatsOutOctets {ipSystemStatsEntry 32}	R/O	[規格] 送信 IP パケットのオクテット数の合計。 [実装] 規格に同じ。	●
87	ipSystemStatsHCOutOctets {ipSystemStatsEntry 33}	R/O	[規格] 送信 IP パケットのオクテット数の合計(64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
88	ipSystemStatsInMcastPkts {ipSystemStatsEntry 34}	R/O	[規格] 受信マルチキャスト IP パケット数。 [実装] 規格に同じ。	●
89	ipSystemStatsHCInMcastPkts {ipSystemStatsEntry 35}	R/O	[規格] 受信マルチキャスト IP パケット数(64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
90	ipSystemStatsInMcastOctets {ipSystemStatsEntry 36}	R/O	[規格] 受信マルチキャスト IP パケットのオクテット数の合計。 [実装] 規格に同じ。	●
91	ipSystemStatsHCInMcastOctets {ipSystemStatsEntry 37}	R/O	[規格] 受信マルチキャスト IP パケットのオクテット数の合計(64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
92	ipSystemStatsOutMcastPkts {ipSystemStatsEntry 38}	R/O	[規格] 送信マルチキャスト IP パケット数。 [実装] 規格に同じ。	●
93	ipSystemStatsHCOutMcastPkts {ipSystemStatsEntry 39}	R/O	[規格] 送信マルチキャスト IP パケット数(64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
94	ipSystemStatsOutMcastOctets {ipSystemStatsEntry 40}	R/O	[規格] 送信マルチキャスト IP パケットのオクテット数の合計。 [実装] 規格に同じ。	●
95	ipSystemStatsHCOutMcastOctets {ipSystemStatsEntry 41}	R/O	[規格] 送信マルチキャスト IP パケットのオクテット数の合計(64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
96	ipSystemStatsInBcastPkts {ipSystemStatsEntry 42}	R/O	[規格] 受信ブロードキャスト IP パケット数。 [実装] 規格に同じ。	●
97	ipSystemStatsHCInBcastPkts {ipSystemStatsEntry 43}	R/O	[規格] 受信ブロードキャスト IP パケット数(64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
98	ipSystemStatsOutBcastPkts {ipSystemStatsEntry 44}	R/O	[規格] 送信ブロードキャスト IP パケット数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4 ip グループ (MIB-II)

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
99	ipSystemStatsHCOutBroadcastPkts {ipSystemStatsEntry 45}	R/O	[規格] 送信ブロードキャスト IP パケット数 (64bit)。 [実装] 規格に同じ。	●
100	ipSystemStatsDiscontinuityTime {ipSystemStatsEntry 46}	R/O	[規格] 最後に統計情報が不連続になったときの sysUpTime 値。 [実装] 規格に同じ。	●
101	ipSystemStatsRefreshRate {ipSystemStatsEntry 47}	R/O	[規格] 妥当なポーリング間隔 (単位 : ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
102	ipIfStatsTableLastChange {ipTrafficStats 2}	R/O	[規格] ipIfStatsTable の列が最後に追加・削除されたときの sysUpTime 値。 [実装] 未実装。	✗
103	ipIfStatsTable {ipTrafficStats 3}	NA	[規格] IP バージョンごと、インターフェースごとの統計情報。 [実装] 未実装。	✗
104	ipAddressPrefixTable {ip 32}	NA	[規格] 他のオブジェクトから参照するためのプレフィックス。 [実装] 規格に同じ。	●
105	ipAddressPrefixEntry {ipAddressPrefixTable 1}	NA	[規格] ipAddressPrefixTable のエントリ。 INDEX {ipAddressPrefixIfIndex, ipAddressPrefixType,ipAddressPrefixPrefix,ipAddressPrefixLength} [実装] 規格に同じ。	●
106	ipAddressPrefixIfIndex {ipAddressPrefixEntry 1}	NA	[規格] インタフェースの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。	●
107	ipAddressPrefixType {ipAddressPrefixEntry 2}	NA	[規格] アドレスの型。 [実装] 規格に同じ。	●
108	ipAddressPrefixPrefix {ipAddressPrefixEntry 3}	NA	[規格] アドレスプレフィックス。 [実装] 規格に同じ。	●
109	ipAddressPrefixLength {ipAddressPrefixEntry 4}	NA	[規格] アドレスプレフィックス長。 [実装] 規格に同じ。	●
110	ipAddressPrefixOrigin {ipAddressPrefixEntry 5}	R/O	[規格] プレフィックスの出所。 [実装] 規格に同じ。	●
111	ipAddressPrefixOnLinkFlag {ipAddressPrefixEntry 6}	R/O	[規格] プレフィックスが on-link 判定に使えるか使えないか。 [実装] 規格に同じ。	●
112	ipAddressPrefixAutonomousFlag {ipAddressPrefixEntry 7}	R/O	[規格] プレフィックスが IPv6 アドレスの自動生成に使えるか使えないか。 [実装] 規格に同じ。	●
113	ipAddressPrefixAdvPreferredLifetime {ipAddressPrefixEntry 8}	R/O	[規格] preferred 状態であり続ける時間 (単位 : 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
114	ipAddressPrefixAdvVali dLifetime {ipAddressPrefixEntry 9}	R/O	[規格] 有効時間 (単位 : 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
115	ipAddressSpinLock {ip 33}	R/NW	[規格] スピンロック。 [実装] 不定値。	▲
116	ipAddressTable {ip 34}	NA	[規格] IP アドレスとインターフェースの対応表。 [実装] 規格に同じ。	●
117	ipAddressEntry {ipAddressTable 1}	NA	[規格] ipAddressTable のエントリ。 INDEX { ipAddressAddrType, ipAddressAddr } [実装] 規格に同じ。	●
118	ipAddressAddrType {ipAddressEntry 1}	NA	[規格] アドレスの型。 [実装] 規格に同じ。	●
119	ipAddressAddr {ipAddressEntry 2}	NA	[規格] アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
120	ipAddressIfIndex {ipAddressEntry 3}	R/NC	[規格] ifIndex の値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
121	ipAddressType {ipAddressEntry 4}	R/NC	[規格] アドレスの種類。 • unicast(1) • anycast(2) • broadcast(3) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
122	ipAddressPrefix {ipAddressEntry 5}	R/O	[規格] プレフィックス。 [実装] 規格に同じ。	●
123	ipAddressOrigin {ipAddressEntry 6}	R/O	[規格] アドレスの出所。 [実装] 規格に同じ。	●
124	ipAddressStatus {ipAddressEntry 7}	R/NC	[規格] アドレスの状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
125	ipAddressCreated {ipAddressEntry 8}	R/O	[規格] アドレスが生成されたときの sysUpTime 値。 [実装] 規格に同じ。	●
126	ipAddressLastChanged {ipAddressEntry 9}	R/O	[規格] エントリが最後に更新されたときの sysUpTime 値。 [実装] 規格に同じ。	●
127	ipAddressRowStatus {ipAddressEntry 10}	R/NC	[規格] エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
128	ipAddressStorageType {ipAddressEntry 11}	R/NC	[規格] エントリの保存形式。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
129	ipNetToPhysicalTable {ip 35}	NA	[規格] ネットアドレスと物理アドレスの対応表。 [実装] 規格に同じ。	●
130	ipNetToPhysicalEntry {ipNetToPhysicalTable 1}	NA	[規格] ipNetToPhysicalTable のエントリ。 INDEX {ipNetToPhysicalIfIndex, ipNetToPhysicalNetAddressType, ipNetToPhysicalNetAddress} [実装] 規格に同じ。	●
131	ipNetToPhysicalIfIndex {ipNetToPhysicalEntry 1}	NA	[規格] インタフェースの Ifindex。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4 ip グループ (MIB-II)

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
132	ipNetToPhysicalNetAddressType {ipNetToPhysicalEntry 2}	NA	[規格] ネットアドレスの型。 [実装] 規格に同じ。	●
133	ipNetToPhysicalNetAddress {ipNetToPhysicalEntry 3}	NA	[規格] ネットアドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
134	ipNetToPhysicalPhysAddress {ipNetToPhysicalEntry 4}	R/NC	[規格] 物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
135	ipNetToPhysicalLastUpdated {ipNetToPhysicalEntry 5}	R/O	[規格] エントリが最後に更新されたときの sysUpTime 値。 [実装] 規格に同じ。	●
136	ipNetToPhysicalType {ipNetToPhysicalEntry 6}	R/NC	[規格] 物理アドレスの型。 <ul style="list-style-type: none"> • other(1) • invalid(2) • dynamic(3) • static(4) • local(5) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
137	ipNetToPhysicalState {ipNetToPhysicalEntry 7}	R/O	[規格] 物理アドレスの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • reachable(1) • stale(2) • delay(3) • probe(4) • invalid(5) • unknown(6) • incomplete(7) [実装] 規格に同じ。	●
138	ipNetToPhysicalRowStatus {ipNetToPhysicalEntry 8}	R/NC	[規格] エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
139	ipv6ScopeZoneIndexTable {ip 36}	NA	[規格] IPv6 スコープの表。 [実装] 規格に同じ。	●
140	ipv6ScopeZoneIndexEntry {ipv6ScopeZoneIndexTable 1}	NA	[規格] 特定インターフェースのゾーン。 INDEX {ipv6ScopeZoneIndexIfIndex} [実装] 規格に同じ。	●
141	ipv6ScopeZoneIndexIfIndex {ipv6ScopeZoneIndexEntry 1}	NA	[規格] インタフェースの ifIndex の値。 [実装] 規格に同じ。	●
142	ipv6ScopeZoneIndexLinkLocal {ipv6ScopeZoneIndexEntry 2}	R/O	[規格] リンクローカルスコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●
143	ipv6ScopeZoneIndex3 {ipv6ScopeZoneIndexEntry 3}	R/O	[規格] インデクス 3 スコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
144	ipv6ScopeZoneIndexAdminLocal {ipv6ScopeZoneIndexEntry 4}	R/O	[規格] 管理ローカルスコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●
145	ipv6ScopeZoneIndexSiteLocal {ipv6ScopeZoneIndexEntry 5}	R/O	[規格] 抱点ローカルスコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●
146	ipv6ScopeZoneIndex6 {ipv6ScopeZoneIndexEntry 6}	R/O	[規格] インデクス 6 スコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●
147	ipv6ScopeZoneIndex7 {ipv6ScopeZoneIndexEntry 7}	R/O	[規格] インデクス 7 スコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●
148	ipv6ScopeZoneIndexOrganizationLocal {ipv6ScopeZoneIndexEntry 8}	R/O	[規格] 組織ローカルスコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●
149	ipv6ScopeZoneIndex9 {ipv6ScopeZoneIndexEntry 9}	R/O	[規格] インデクス 9 スコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●
150	ipv6ScopeZoneIndexArea {ipv6ScopeZoneIndexEntry 10}	R/O	[規格] インデクス A スコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●
151	ipv6ScopeZoneIndexB {ipv6ScopeZoneIndexEntry 11}	R/O	[規格] インデクス B スコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●
152	ipv6ScopeZoneIndexC {ipv6ScopeZoneIndexEntry 12}	R/O	[規格] インデクス C スコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●
153	ipv6ScopeZoneIndexD {ipv6ScopeZoneIndexEntry 13}	R/O	[規格] インデクス D スコープのゾーン。 [実装] 規格に同じ。	●
154	ipDefaultRouterTable {ip 37}	NA	[規格] デフォルトルータの表。 [実装] 規格に同じ。ただし、IPv6 専用。	●
155	ipDefaultRouterEntry {ipDefaultRouterTable 1}	NA	[規格] ipDefaultRouterTable のエントリ。 INDEX {ipDefaultRouterAddressType,ipDefaultRouterAddress,ipDefaultRouterIfIndex} [実装] 規格に同じ。	●
156	ipDefaultRouterAddressesType {ipDefaultRouterEntry 1}	NA	[規格] アドレスの型。 [実装] 規格に同じ。	●
157	ipDefaultRouterAddresses {ipDefaultRouterEntry 2}	NA	[規格] デフォルトルータのアドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
158	ipDefaultRouterIfIndex {ipDefaultRouterEntry 3}	NA	[規格] デフォルトルータにつながるインターフェースの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4 ip グループ (MIB-II)

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
159	ipDefaultRouterLifetime {ipDefaultRouterEntry 4}	R/O	[規格] 有効時間 (単位 : 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
160	ipDefaultRouterPreference {ipDefaultRouterEntry 5}	R/O	[規格] 優先度。 • reserved (-2) • low (-1) • medium (0) • high (1) [実装] 0 固定。	●
161	ipv6RouterAdvertSpinLock {ip 38}	R/W	[規格] ipv6RouterAdvertTable のスピンロック。 [実装] 未実装。	×
162	ipv6RouterAdvertTable {ip 39}	NA	[規格] RA を生成するための表。 [実装] 未実装。	×

2.5 icmp グループ (MIB-II)

スタック動作時、本 MIB はマスタスイッチの情報を応答します。

icmp グループ (MIB-II) の関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213(1991 年 3 月)
- RFC2011(1996 年 11 月)
- RFC4293(2006 年 4 月)

(1) 識別子

```
icmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.5
```

(2) 実装仕様

icmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-5 icmp グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	icmpInMsgs {icmp 1}	R/O	[規格] このエンティティが受信した ICMP メッセージ総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	icmpInErrors {icmp 2}	R/O	[規格] 受信した ICMP メッセージエラーの数(チェックサムエラー、 フレーム長エラーなど)。 [実装] 規格に同じ。	●
3	icmpInDestUnreachs {icmp 3}	R/O	[規格] 受信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	icmpInTimeExcds {icmp 4}	R/O	[規格] 受信した ICMP Time Exceed メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	icmpInParmProbs {icmp 5}	R/O	[規格] 受信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	icmpInSrcQuenches {icmp 6}	R/O	[規格] 受信した ICMP Source Quench メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	icmpInRedirects {icmp 7}	R/O	[規格] 受信した ICMP Network Redirect メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	icmpInEchos {icmp 8}	R/O	[規格] 受信した ICMP Echo 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	icmpInEchoReps {icmp 9}	R/O	[規格] 受信した ICMP Echo 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	icmpInTimestamps {icmp 10}	R/O	[規格] 受信した ICMP TimeStamp 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	icmpInTimestampReps {icmp 11}	R/O	[規格] 受信した ICMP TimeStamp 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	icmpInAddrMasks {icmp 12}	R/O	[規格] ICMP Address Mask 要求メッセージ受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	icmpInAddrMaskReps {icmp 13}	R/O	[規格] ICMP Address Mask 応答メッセージ受信数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.5 icmp グループ (MIB-II)

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
14	icmpOutMsgs {icmp 14}	R/O	[規格] 送信を試みた ICMP メッセージの総数(エラーの場合も含む)。 [実装] 規格に同じ。	●
15	icmpOutErrors {icmp 15}	R/O	[規格] エラーによって送信されなかった ICMP メッセージ数。 [実装] バッファなしの場合だけカウント。	●
16	icmpOutDestUnreachs {icmp 16}	R/O	[規格] 送信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	icmpOutTimeExcds {icmp 17}	R/O	[規格] 送信した ICMP Time Exceeded メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	icmpOutParmProbs {icmp 18}	R/O	[規格] 送信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	icmpOutSrcQuenches {icmp 19}	R/O	[規格] 送信した ICMP Source Quench メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	icmpOutRedirects {icmp 20}	R/O	[規格] 送信した ICMP Redirect メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	icmpOutEchos {icmp 21}	R/O	[規格] 送信した ICMP Echo 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
22	icmpOutEchoReps {icmp 22}	R/O	[規格] 送信した ICMP Echo 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	icmpOutTimestamps {icmp 23}	R/O	[規格] 送信した ICMP Timestamp 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
24	icmpOutTimestampReps {icmp 24}	R/O	[規格] 送信した ICMP Timestamp 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
25	icmpOutAddrMasks {icmp 25}	R/O	[規格] 送信した ICMP Address Mask 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
26	icmpOutAddrMaskReps {icmp 26}	R/O	[規格] 送信した ICMP Address Mask 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
27	icmpStatsTable {icmp 29}	NA	[規格] IP バージョンごと、システム全体の ICMP 統計情報。 [実装] 規格に同じ。	●
28	icmpStatsEntry {icmpStatsTable 1}	NA	[規格] icmpStatsTable のエントリ。 INDEX {icmpStatsIPVersion} [実装] 規格に同じ。	●
29	icmpStatsIPVersion {icmpStatsEntry 1}	NA	[規格] IP バージョン。 [実装] 規格に同じ。	●
30	icmpStatsInMsgs {icmpStatsEntry 2}	R/O	[規格] 受信 ICMP メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
31	icmpStatsInErrors {icmpStatsEntry 3}	R/O	[規格] 受信エラー数 (ICMP チェックサム不明など)。 [実装] 規格に同じ。	●
32	icmpStatsOutMsgs {icmpStatsEntry 4}	R/O	[規格] 送信 ICMP メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
33	icmpStatsOutErrors {icmpStatsEntry 5}	R/O	[規格] 送信エラー数 (バッファ不足など)。 [実装] 規格に同じ。	●
34	icmpMsgStatsTable {icmp 30}	NA	[規格] ICMP タイプごとの統計情報。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
35	icmpMsgStatsEntry {icmpMsgStatsTable 1}	NA	[規格]icmpMsgStatsTable のエントリ。 INDEX {icmpMsgStatsIPVersion, icmpMsgStatsType} [実装] 規格に同じ。	●
36	icmpMsgStatsIPVersion {icmpMsgStatsEntry 1}	NA	[規格]IP バージョン。 [実装] 規格に同じ。	●
37	icmpMsgStatsType {icmpMsgStatsEntry 2}	NA	[規格]ICMP タイプ。 [実装] 規格に同じ。	●
38	icmpMsgStatsInPkts {icmpMsgStatsEntry 3}	R/O	[規格]受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
39	icmpMsgStatsOutPkts {icmpMsgStatsEntry 4}	R/O	[規格]送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.6 tcp グループ (MIB-II)

スタック動作時、本 MIB はマスタスイッチの情報を応答します。

tcp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213(1991 年 3 月)
- RFC2012(1996 年 11 月)
- RFC4022(2005 年 3 月)

2.6.1 tcp

(1) 識別子

```
tcp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.6
```

(2) 実装仕様

tcp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-6 tcp グループ

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	tcpRtoAlgorithm {tcp 1}	R/O	[規格] 再送に使用するタイムアウト時間を決定するアルゴリズム。 • other(1) • constant(2) • rsre(3) • vanj(4) • rfc2988(5) [実装] 規格に同じ。	●
2	tcpRtoMin {tcp 2}	R/O	[規格] 再送タイムアウトの最小値 (単位: ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
3	tcpRtoMax {tcp 3}	R/O	[規格] 再送タイムアウトの最大値 (単位: ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
4	tcpMaxConn {tcp 4}	R/O	[規格] サポートできる TCP コネクションの総数。最大コネクション数が動的である場合、-1 を応答する。 [実装] 規格に同じ。	●
5	tcpActiveOpens {tcp 5}	R/O	[規格] TCP コネクションが CLOSE 状態から SYN-SENT 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	tcpPassiveOpens {tcp 6}	R/O	[規格] TCP コネクションが LISTEN 状態から SYN-RCVD 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	tcpAttemptFails {tcp 7}	R/O	[規格] TCP コネクションが SYN-SENT, SYN-RCVD 状態から CLOSE 状態に推移した回数に SYN-RCVD 状態から LISTEN 状態に推移した回数を加えたもの。 [実装] 規格に同じ。	●
8	tcpEstabResets {tcp 8}	R/O	[規格] TCP コネクションが ESTABLISHED, CLOSE-WAIT 状態から CLOSE 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	tcpCurrEstab {tcp 9}	R/O	[規格]ESTABLISHED, CLOSE-WAIT の状態の TCP コネクションの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	tcpInSegs {tcp 10}	R/O	[規格]エラーセグメントを含む受信セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	tcpOutSegs {tcp 11}	R/O	[規格]送信セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	tcpRetransSegs {tcp 12}	R/O	[規格]再送セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	tcpConnTable {tcp 13}	NA	[規格]TCP コネクション固有の情報をテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
14	tcpConnEntry {tcpConnTable 1}	NA	[規格]特定の TCP コネクションに関するエントリ情報。 INDEX {tcpConnLocalAddress, tcpConnLocalPort, tcpConnRemAddress, tcpConnRemPort} [実装] 規格に同じ。	●
15	tcpConnState {tcpConnEntry 1}	R/NW	[規格]TCP コネクションの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • closed(1) • listen(2) • synSent(3) • synReceived(4) • established(5) • finWait1(6) • finWait2(7) • closeWait(8) • lastAck(9) • closing(10) • timeWait(11) • deleteTCB(12) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
16	tcpConnLocalAddress {tcpConnEntry 2}	R/O	[規格]この TCP コネクションのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
17	tcpConnLocalPort {tcpConnEntry 3}	R/O	[規格]この TCP コネクションのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
18	tcpConnRemAddress {tcpConnEntry 4}	R/O	[規格]この TCP コネクションのリモート IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
19	tcpConnRemPort {tcpConnEntry 5}	R/O	[規格]この TCP コネクションのリモートポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
20	tcpInErrs {tcp 14}	R/O	[規格]受信したエラーセグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	tcpOutRsts {tcp 15}	R/O	[規格]RST フラグを持つセグメントの送信数。 [実装] 規格に同じ。	●
22	tcpHCInSegs {tcp 17}	R/O	[規格]エラーセグメントを含む受信セグメントの総数(64bit)。 [実装] 未実装。	✗
23	tcpHCOutSegs {tcp 18}	R/O	[規格]送信セグメントの総数(64bit)。 [実装] 未実装。	✗
24	tcpConnectionTable {tcp 19}	NA	[規格]TCP コネクションの情報をテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●

2.6 tcp グループ (MIB-II)

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
25	tcpConnectionEntry {tcpConnectionTable 1}	NA	[規格] 特定の TCP コネクションに関するエントリ情報。 INDEX {tcpConnectionLocalAddressType,tcpConnectionLocalAddress,tcpConnectionLocalPort,tcpConnectionRemAddressType,tcpConnectionRemAddress,tcpConnectionRemPort} [実装] 規格に同じ。	●
26	tcpConnectionLocalAddressType {tcpConnectionEntry 1}	NA	[規格] この TCP コネクションのローカル IP アドレスタイプ。 [実装] 規格に同じ。	●
27	tcpConnectionLocalAddress {tcpConnectionEntry 2}	NA	[規格] この TCP コネクションのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
28	tcpConnectionLocalPort {tcpConnectionEntry 3}	NA	[規格] この TCP コネクションのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
29	tcpConnectionRemAddressType {tcpConnectionEntry 4}	NA	[規格] この TCP コネクションのリモート IP アドレスタイプ。 [実装] 規格に同じ。	●
30	tcpConnectionRemAddress {tcpConnectionEntry 5}	NA	[規格] この TCP コネクションのリモート IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
31	tcpConnectionRemPort {tcpConnectionEntry 6}	NA	[規格] この TCP コネクションのリモートポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
32	tcpConnectionState {tcpConnectionEntry 7}	R/NW	[規格] TCP コネクションの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • closed(1) • listen(2) • synSent(3) • synReceived(4) • established(5) • finWait1(6) • finWait2(7) • closeWait(8) • lastAck(9) • closing(10) • timeWait(11) • deleteTCB(12) <p>[実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。</p>	●
33	tcpConnectionProcess {tcpConnectionEntry 8}	R/O	[規格] TCP コネクションのプロセス。 [実装] 規格に同じ。	●
34	tcpListenerTable {tcp 20}	NA	[規格] TCP リスナーの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
35	tcpListenerEntry {tcpListenerTable 1}	NA	[規格] 特定の TCP リスナーに関するエントリ情報。 INDEX {tcpListenerLocalAddressType,tcpListenerLocalAddress,tcpListenerLocalPort} [実装] 規格に同じ。	●
36	tcpListenerLocalAddressType {tcpListenerEntry 1}	NA	[規格] この TCP リスナーのローカル IP アドレスタイプ。 [実装] 規格に同じ。	●
37	tcpListenerLocalAddress {tcpListenerEntry 2}	NA	[規格] この TCP リスナーのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
38	tcpListenerLocalPort {tcpListenerEntry 3}	NA	[規格] この TCP リスナーのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
39	tcpListenerProcess {tcpListenerEntry 4}	R/O	[規格] TCP リスナーのプロセス。 [実装] 規格に同じ。	●

2.7 udp グループ (MIB-II)

スタック動作時、本 MIB はマスタスイッチの情報を応答します。

udp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213(1991 年 3 月)
- RFC2013(1996 年 11 月)
- RFC4113(2005 年 6 月)

2.7.1 udp

(1) 識別子

```
udp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.7
```

(2) 実装仕様

udp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-7 udp グループ

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	udpInDatagrams {udp 1}	R/O	[規格] 上位レイヤに通知した UDP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	udpNoPorts {udp 2}	R/O	[規格] 宛先ポートに上位アプリケーションが存在しない受信 UDP データグラム総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	udpInErrors {udp 3}	R/O	[規格] udpNoPorts 以外の理由でアプリケーションに通知できなかった UDP データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	udpOutDatagrams {udp 4}	R/O	[規格] 上位アプリケーションが送信した UDP データグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	udpTable {udp 5}	NA	[規格] UDP リスナーの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
6	udpEntry {udpTable 1}	NA	[規格] 特定の UDP リスナーに関するエントリ数。 INDEX {udpLocalAddress,udpLocalPort} [実装] 規格に同じ。	●
7	udpLocalAddress {udpEntry 1}	R/O	[規格] この UDP リスナーのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
8	udpLocalPort {udpEntry 2}	R/O	[規格] この UDP リスナーのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
9	udpEndpointTable {udp 7}	NA	[規格] UDP エンドポイントの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
10	udpEndpointEntry {udpEndpointTable 1}	NA	[規格] 特定の UDP エンドポイントに関するエントリ。 INDEX {udpEndpointLocalAddressType,udpEndpointLocalAddress,udpEndpointLocalPort,udpEndpointRemoteAddressType,udpEndpointRemoteAddress,udpEndpointRemotePort,udpEndpointInstanceId} [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	udpEndpointLocalAddressType {udpEndpointEntry 1}	NA	[規格] この UDP エンドポイントのローカル IP アドレスタイプ。 [実装] 規格に同じ。	●
12	udpEndpointLocalAddress {udpEndpointEntry 2}	NA	[規格] この UDP エンドポイントのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
13	udpEndpointLocalPort {udpEndpointEntry 3}	NA	[規格] この UDP エンドポイントのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
14	udpEndpointRemoteAddressType {udpEndpointEntry 4}	NA	[規格] この UDP エンドポイントのリモート IP アドレスタイプ。 [実装] 規格に同じ。	●
15	udpEndpointRemoteAddress {udpEndpointEntry 5}	NA	[規格] この UDP エンドポイントのリモート IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
16	udpEndpointRemotePort {udpEndpointEntry 6}	NA	[規格] この UDP エンドポイントのリモートポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
17	udpEndpointInstance {udpEndpointEntry 7}	NA	[規格] この UDP エンドポイントのインスタンス。 [実装] 規格に同じ。	●
18	udpEndpointProcess {udpEndpointEntry 8}	R/O	[規格] UDP エンドポイントのプロセス。 [実装] 規格に同じ。	●
19	udpHCInDatagrams {udp 8}	R/O	[規格] 上位レイヤに通知した UDP データグラムの数 (64bit)。 [実装] 未実装。	×
20	udpHCOutDatagrams {udp 9}	R/O	[規格] 上位アプリケーションが送信した UDP データグラムの総数 (64bit)。 [実装] 未実装。	×

2.8 dot3 グループ (Ethernet Like MIB)

スタック動作時、各メンバスイッチのポート情報を応答します。

dot3 グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1643

(1) 識別子

```
dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.7
```

(2) 実装仕様

dot3 グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-8 dot3 グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3StatsTable {dot3 2}	NA	[規格] 特定のシステムに接続されたイーサネットライクなインターフェースの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot3StatsEntry {dot3StatsTable 1}	NA	[規格] イーサネットライクなメディアへの特定のインターフェースの統計情報リスト。 INDEX {dot3StatsIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	dot3StatsIndex {dot3StatsEntry 1}	R/O	[規格] イーサネットライクなメディアへのインターフェースのインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot3StatsAlignmentErrors {dot3StatsEntry 2}	R/O	[規格] 正しいフレーム長※ではなく、かつFCSチェックで検出された受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot3StatsFCSErrors {dot3StatsEntry 3}	R/O	[規格] 正しいフレーム長※で、かつFCSチェックで検出された受信フレーム数。 [実装] 正しいフレーム長で、かつFCSチェックで検出された受信フレーム数。ただし、10GBASE-Rで動作している場合、ロングフレーム受信時もカウントされます。	●
6	dot3StatsSingleCollisionFrames {dot3StatsEntry 4}	R/O	[規格] 1回のコリジョンだけで送信が成功したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot3StatsMultipleCollisionFrames {dot3StatsEntry 5}	R/O	[規格] 特定のインターフェースで2回以上のコリジョンで送信が成功したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot3StatsSQETestErrors {dot3StatsEntry 6}	R/O	[規格] SQE TEST ERROR メッセージが発生した回数。 [実装] 0固定。	▲
9	dot3StatsDeferredTransmissions {dot3StatsEntry 7}	R/O	[規格] 伝送路ビジーによって最初の送信が遅れたフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	dot3StatsLateCollisions {dot3StatsEntry 8}	R/O	[規格] 512ビット時間経過後で、コリジョンを検出した回数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	dot3StatsExcessiveCollisions {dot3StatsEntry 9}	R/O	[規格]過度の衝突(16回)による転送失敗数。 [実装]規格に同じ。	●
12	dot3StatsInternalMacTransmitErrors {dot3StatsEntry 10}	R/O	[規格]MACサブレイヤ内での送信障害によって送信が失敗した回数。 [実装]0固定。	▲
13	dot3StatsCarrierSenseErrors {dot3StatsEntry 11}	R/O	[規格]送信時にキャリアがなかった回数。 [実装]規格に同じ。	●
14	dot3StatsFrameTooLongs {dot3StatsEntry 13}	R/O	[規格]最大許容フレーム長※を超えた受信フレーム数。 [実装]規格に同じ。(100BASE-TXポートの場合は、Alignment Errorも含みます。)	●
15	dot3StatsInternalMacReceiveErrors {dot3StatsEntry 16}	R/O	[規格]MACサブレイヤ内での受信エラーによって受信が失敗したフレーム数。 [実装]0固定。	▲
16	dot3StatsEtherChipSet {dot3StatsEntry 17}	R/O	[規格]インターフェースで使われているチップセットを示すオブジェクト識別子。 [実装]0.0固定。	▲

注※

フレーム長とは MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「コンフィグレーションガイド Vol.1 17.1.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

2.9 snmp グループ (MIB-II)

(1) 識別子

```
snmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.11
```

(2) 実装仕様

snmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-9 snmp グループ

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpInPkts {snmp 1}	R/O	[規格] SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	snmpOutPkts {snmp 2}	R/O	[規格] SNMP 送信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	snmpInBadVersions {snmp 3}	R/O	[規格] 未サポートバージョン受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	snmpInBadCommunityNames {snmp 4}	R/O	[規格] 未使用コミュニティの SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。SNMP バージョン 3 は対象外。	●
5	snmpInBadCommunityUses {snmp 5}	R/O	[規格] そのコミュニティでは許されていないオペレーションを示す受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。SNMP バージョン 3 は対象外。	●
6	snmpInASNParseErrs {snmp 6}	R/O	[規格] ASN.1 エラーの受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	snmpInBadTypes {snmp 7}	R/O	[規格] 受信した未知の PDU タイプの総数。 [実装] 0 固定。	●
8	snmpInTooBigs {snmp 8}	R/O	[規格] エラーステータスが tooBig の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
9	snmpInNoSuchNames {snmp 9}	R/O	[規格] エラーステータスが noSuchName の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
10	snmpInBadValues {snmp 10}	R/O	[規格] エラーステータスが badValue の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
11	snmpInReadOnlys {snmp 11}	R/O	[規格] エラーステータスが readOnly の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
12	snmpInGenErrs {snmp 12}	R/O	[規格] エラーステータスが genErr の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
13	snmpInTotalReqVars {snmp 13}	R/O	[規格] MIB の収集が成功した MIB オブジェクトの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	snmpInTotalSetVars {snmp 14}	R/O	[規格] MIB の設定が成功した MIB オブジェクトの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	snmpInGetRequests {snmp 15}	R/O	[規格] 受信した GetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	snmpInGetNexts {snmp 16}	R/O	[規格] 受信した GetNextRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	snmpInSetRequests {snmp 17}	R/O	[規格] 受信した SetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	snmpInGetResponses {snmp 18}	R/O	[規格] 受信した GetResponsePDU の総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
19	snmpInTraps {snmp 19}	R/O	[規格] 受信した Traps PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
20	snmpOutTooBigs {snmp 20}	R/O	[規格] エラーステータスが tooBig の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	snmpOutNoSuchNames {snmp 21}	R/O	[規格] エラーステータスが noSuchName の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。SNMP バージョン 2 以降は対象外。	●
22	snmpOutBadValues {snmp 22}	R/O	[規格] エラーステータスが badValue の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。SNMP バージョン 2 以降は対象外。	●
23	snmpOutReadOnlys {snmp 23}	R/O	[規格] エラーステータスが readOnly の送信 PDU の総数。 [実装] 0 固定。	●
24	snmpOutGenErrs {snmp 24}	R/O	[規格] エラーステータスが genErr の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
25	snmpOutGetRequests {snmp 25}	R/O	[規格] 送信した GetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
26	snmpOutGetNexts {snmp 26}	R/O	[規格] 送信した GetNextRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
27	snmpOutSetRequests {snmp 27}	R/O	[規格] 送信した SetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
28	snmpOutGetResponses {snmp 28}	R/O	[規格] 送信した GetResponsePDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
29	snmpOutTraps {snmp 29}	R/O	[規格] 送信した Traps PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
30	snmpEnableAuthenTra ps {snmp 30}	R/NW	[規格] authentication-failure Trap を発行できるかどうかを示す。 • enable(1) • disable(2) [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server host の設定が 1 件でもある場合に enable。	●
31	snmpSilentDrops {snmp 31}	R/O	[規格] 返信しようとしたメッセージサイズが最大のメッセージサイズを超えていたため廃棄した、SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 未実装。	×

2.10 rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)

rmon グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1757

2.10.1 Ethernet Statistics グループ

(1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}
statistics OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.1
etherStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {statistics 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.1.1
```

(2) 実装仕様

Ethernet Statistics グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-10 Ethernet Statistics グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	etherStatsTable {statistics 1}	NA	[規格] イーサネットインターフェースの統計情報に関するテーブルを示します。 [実装] 規格に同じ。	●
2	etherStatsEntry {etherStatsTable 1}	NA	[規格] 特定イーサネットインターフェースの統計情報を記憶するエントリを示します。 INDEX {etherStatsIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	etherStatsIndex {etherStatsEntry 1}	R/O	[規格] 特定の etherStats エントリを示す Index 値。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	etherStatsDataSource {etherStatsEntry 2}	R/NC	[規格] この情報のインターフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	etherStatsDropEvents {etherStatsEntry 3}	R/O	[規格] リソース不足によって、パケットを取りこぼすというイベントが発生した回数。実際の取りこぼし数を示すのではなく、取りこぼしを検出した回数です。 [実装] 規格に同じ。	●
6	etherStatsOctets {etherStatsEntry 4}	R/O	[規格] lbad パケットを含むネットワークで受信したオクテット(バイト)数。 [実装] lbad パケットを含むネットワークで送受信したオクテット(バイト)数。 オクテット数の算出には、フレーム長の MAC ヘッダから FCSまでの範囲を使用しています。	●
7	etherStatsPkts {etherStatsEntry 5}	R/O	[規格] lbad パケット, broadcast パケット, multicast パケットを含む総パケットの受信数。 [実装] lbad パケット, broadcast パケット, multicast パケットを含む総パケットの送受信数。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	etherStatsBroadcastPkts {etherStatsEntry 6}	R/O	[規格]bad パケット, multicast パケットは含まない broadcast パケットの受信数。 [実装]bad パケット, multicast パケットは含まない broadcast パケットの送受信数。	●
9	etherStatsMulticastPkts {etherStatsEntry 7}	R/O	[規格]bad パケット, broadcast パケットは含まない multicast パケットの受信数。 [実装]bad パケット, broadcast パケットは含まない multicast パケットの送受信数。	●
10	etherStatsCRCAlignErrors {etherStatsEntry 8}	R/O	[規格]FCS エラーパケット受信数。 [実装]規格に同じ。(IEEE802.3-2005 の 24.2.2.1.6 節と 22.2.1.5 節の定義に従い, シンボルエラーを含む受信パケットも含みます。)	●
11	etherStatsUndersizePkts {etherStatsEntry 9}	R/O	[規格]ショートサイズパケット(フレーム長 64 オクテット未満)受信数。 [実装]規格に同じ。	●
12	etherStatsOversizePkts {etherStatsEntry 10}	R/O	[規格]オーバーサイズパケット(フレーム長 1518 オクテットを超えた)受信数。 [実装]オーバーサイズパケット(最大フレーム長を超えた)受信数。	●
13	etherStatsFragments {etherStatsEntry 11}	R/O	[規格]ショートサイズパケット(フレーム長 64 オクテット未満)受信数で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装]規格に同じ。	●
14	etherStatsJabbers {etherStatsEntry 12}	R/O	[規格]オーバーサイズパケット(最大フレーム長を超えた)受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] <ul style="list-style-type: none">• gigabitethernet : 0 固定。• tengigabitethernet : オーバーサイズパケット(最大フレーム長を超えた)受信で FCS エラーのもの。	●
15	etherStatsCollisions {etherStatsEntry 13}	R/O	[規格]コリジョン数。 [実装]規格に同じ。	●
16	etherStatsPkts64Octets {etherStatsEntry 14}	R/O	[規格]フレーム長 64 オクテットのパケット受信数。 [実装]フレーム長 64 オクテットのパケット送受信数。	●
17	etherStatsPkts65to127Octets {etherStatsEntry 15}	R/O	[規格]フレーム長 65 ~ 127 オクテットのパケット受信数。 [実装]フレーム長 65 ~ 127 オクテットのパケット送受信数。	●
18	etherStatsPkts128to255Octets {etherStatsEntry 16}	R/O	[規格]フレーム長 128 ~ 255 オクテットのパケット受信数。 [実装]フレーム長 128 ~ 255 オクテットのパケット送受信数。	●
19	etherStatsPkts256to511Octets {etherStatsEntry 17}	R/O	[規格]フレーム長 256 ~ 511 オクテットのパケット受信数。 [実装]フレーム長 256 ~ 511 オクテットのパケット送受信数。	●
20	etherStatsPkts512to1023Octets {etherStatsEntry 18}	R/O	[規格]フレーム長 512 ~ 1023 オクテットのパケット受信数。 [実装]フレーム長 512 ~ 1023 オクテットのパケット送受信数。	●
21	etherStatsPkts1024to1518Octets {etherStatsEntry 19}	R/O	[規格]フレーム長 1024 ~ 1518 オクテットのパケット受信数。 [実装]フレーム長 1024 ~ 1518 オクテットのパケット送受信数。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
22	etherStatsOwner {etherStatsEntry 20}	R/NC	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオーナー。 [実装] 'system' と文字列を応答します。ただし、Read_Only です。	●
23	etherStatsStatus {etherStatsEntry 21}	R/NC	[規格] エントリの状態を示す。 • valid(1) • createRequest(2) • underCreation(3) • invalid(4) [実装] valid(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

注

フレーム長とは MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「コンフィグレーションガイド Vol.1 17.1.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

2.10.2 History Control グループ⁹

(1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2

historyControlTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2.1
```

(2) 実装仕様

History Control グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-11 History Control グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	historyControlTable {history 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	historyControlEntry {historyControlTable 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルのリスト。 INDEX {historyControlIndex} [実装] 規格に同じ。ただし、最大 32 エントリまで。	●
3	historyControlIndex {historyControlEntry 1}	R/O	[規格] 特定の historyControl エントリを示す Index 値。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	historyControlDataSource {historyControlEntry 2}※	R/C	[規格] この情報のインターフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。	●
5	historyControlBucketsRequested {historyControlEntry 3}※	R/C	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータ数の要求数 (デフォルト値 50)。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	historyControlBucketsGranted {historyControlEntry 4}	R/O	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータの認可数。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] historyControlBucketsRequested と同じ値。ただし、historyControlBucketsRequested が 50 以上なら 50 固定となります。	●
7	historyControlInterval {historyControlEntry 5}※	R/C	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータのサンプリング間隔 (単位 : 秒)。 値の範囲は、1 ~ 3600(デフォルト値 1800)。 [実装] 規格に同じ。	●
8	historyControlOwner {historyControlEntry 6}※	R/C	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナ。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	●
9	historyControlStatus {historyControlEntry 7}	R/C	[規格] エントリの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none">• valid(1)• createRequest(2)• underCreation(3)• invalid(4) [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest(2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid(1) を Set します。 削除するときは、invalid(4) を Set します。createRequest(2) を Set した後で、Get すると、underCreation(3) を応答し、valid(1) を Set した後で Get すると、valid(1) を応答します。 <ul style="list-style-type: none">• valid(1) : historyControlDataSource で取得できる interface の統計情報が取得でき、historyControlInterval の間にサンプリングできます。• invalid(4) : interface の統計情報が取得できません。また、historyInterval の間にサンプリングできません。	●

注 ※

コンフィギュレーションコマンド rmon collection history でも設定できます。文字列指定の場合、指定可能な文字コード範囲は、コンソール設定と同様です。なお、SNMP マネージャから設定中 (underCreation 状態) にコンソールから変更した場合は、underCreation 状態のエントリは削除されます。

2.10.3 Ethernet History グループ

(1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}
history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2
etherHistoryTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2.2
```

(2) 実装仕様

Ethernet History グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-12 Ethernet History グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	etherHistoryTable {history 2}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	etherHistoryEntry {etherHistoryTable 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴テーブルのリスト。 INDEX {etherHistoryIndex, etherHistorySampleIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	etherHistoryIndex {etherHistoryEntry 1}	R/O	[規格] historyControlIndex のインデックス値と同じ値。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	etherHistorySampleIndex {etherHistoryEntry 2}	R/O	[規格] 同じ etherHistoryIndex の値の中でユニークな値で 1 から順次値を設定します。値の範囲は 1 ~ 2147483647。 [実装] 規格に同じ。	●
5	etherHistoryIntervalStart {etherHistoryEntry 3}	R/O	[規格] 統計情報の取得開始時間 (単位 : 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
6	etherHistoryDropEvents {etherHistoryEntry 4}	R/O	[規格] サンプリング時にパケットの取りこぼしを検出した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	etherHistoryOctets {etherHistoryEntry 5}	R/O	[規格] 特定時間内での受信したオクテット (バイト) 数。bad packets を含みます。 [実装] 特定時間内での送受信したオクテット (バイト) 数。オクテット数の算出には、フレーム長の MAC ヘッダから FCSまでの範囲を使用しています。	●
8	etherHistoryPkts {etherHistoryEntry 6}	R/O	[規格] 特定時間内での総パケット受信。bad packets, broadcast packets, multicast packets を含みます。 [実装] 特定時間内での総パケット送受信。	●
9	etherHistoryBroadcastPkts {etherHistoryEntry 7}	R/O	[規格] 特定時間内での broadcast パケットの受信数。bad, multicast パケットは含まない。 [実装] 特定時間内での broadcast パケットの送受信数。	●
10	etherHistoryMulticastPkts {etherHistoryEntry 8}	R/O	[規格] 特定時間内での multicast パケットの受信数。bad, broadcast パケットは含まない。 [実装] 特定時間内での multicast パケットの送受信数。	●
11	etherHistoryCRCAccordErrors {etherHistoryEntry 9}	R/O	[規格] 特定時間内での FCS エラーパケット受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	etherHistoryUndersizePkts {etherHistoryEntry 10}	R/O	[規格] 特定時間内でのショートサイズパケット (フレーム長 64 オクテット未満) 受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	etherHistoryOversizePkts {etherHistoryEntry 11}	R/O	[規格] 特定時間内でのオーバーサイズパケット (フレーム長 1518 オクテットを超えた) 受信数。 [実装] 特定時間内でのオーバーサイズパケット (最大フレーム長を超えた) 受信数。	●
14	etherHistoryFragments {etherHistoryEntry 12}	R/O	[規格] 特定時間内でのショートサイズパケット (フレーム長 64 オクテット未満) 受信数で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	etherHistoryJabbers {etherHistoryEntry 13}	R/O	[規格] 特定時間内でのオーバサイズパケット（最大フレーム長を超えた）受信で FCS エラー、 Alignment エラーのもの。 [実装] <ul style="list-style-type: none">• gigabitethernet : 0 固定。• tengigabitethernet : 特定時間内でのオーバサイズパケット（最大フレーム長を超えた）受信で FCS エラーのもの。	●
16	etherHistoryCollisions {etherHistoryEntry 14}	R/O	[規格] 特定時間内でのコリジョン数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	etherHistoryUtilization {etherHistoryEntry 15}	R/O	[規格] 物理レイヤの利用率の見積もり。値の範囲は、0 ~ 10000。 [実装] 利用率を示します。 半二重回線の場合の利用率は、(パケット数 × 160 + オクテット数 × 8) ÷ (時間間隔 × 回線速度) × 10000 で計算します。 全二重回線の場合の利用率は、(パケット数 × 160 + オクテット数 × 8) ÷ (時間間隔 × 回線速度 × 2) × 10000 で計算します。	●

2.10.4 Alarm グループ

(1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

alarm OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.3

alarmTable OBJECT IDENTIFIER ::= {alarm 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.3.1
```

(2) 実装仕様

Alarm グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-13 Alarm グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	alarmTable {alarm 1}	NA	[規格] アラームテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	alarmEntry {alarmTable 1}	NA	[規格] アラームテーブルのリスト。 INDEX {alarmIndex} [実装] 規格に同じ。ただし、最大 128 エントリまで。	●
3	alarmIndex {alarmEntry 1}	R/O	[規格] alarmTable 中の行エントリを一意に識別する識別子。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	alarmInterval {alarmEntry 2}※1	R/C	[規格] 閾値と比較する間隔（単位：秒）。 設定できる範囲は 1 ~ (2 ³² -1) [実装] 規格に同じ。※2	●
5	alarmVariable {alarmEntry 3}※1	R/C	[規格] サンプリングする MIB のオブジェクト識別子。 [実装] 規格に同じ。	●

2.10 rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	alarmSampleType {alarmEntry 4} ^{※1}	R/C	[規格] 値を閾値と比較する方法を指定します。 • absoluteValue(1) • deltaValue(2) [実装] 規格に同じ。	●
7	alarmValue {alarmEntry 5}	R/O	[規格] 前回のサンプリング時の統計値。 [実装] 規格に同じ。	●
8	alarmStartupAlarm {alarmEntry 6} ^{※1}	R/C	[規格] 最初にアラームを生成するタイミング。 • risingAlarm(1) • fallingAlarm(2) • rising Or fallingAlarm(3) [実装] 規格に同じ。	●
9	alarmRisingThreshold {alarmEntry 7} ^{※1}	R/C	[規格] サンプリングした統計に対する上方閾値。 [実装] 規格に同じ。※2	●
10	alarmFallingThreshold {alarmEntry 8} ^{※1}	R/C	[規格] サンプリングした統計に対する下方閾値。 [実装] 規格に同じ。※2	●
11	alarmRisingEventIndex {alarmEntry 9} ^{※1}	R/C	[規格] 上方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
12	alarmFallingEventIndex {alarmEntry 10} ^{※1}	R/C	[規格] 下方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
13	alarmOwner {alarmEntry 11} ^{※1}	R/C	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオーナー。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	●
14	alarmStatus {alarmEntry 12}	R/C	[規格] エントリの状態を示します。 [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest(2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid(1) を Set します。 削除するときは、invalid(4) を Set します。createRequest(2) を Set した後で、Get すると、underCreation(3) を応答し、valid(1) を Set した後で Get すると、valid(1) を応答します。 • valid(1) : alarmVariable に設定されたオブジェクトの情報を alarmInterval の間にサンプリングできます。 • invalid(4) : alarmVariable に設定されたオブジェクトが存在しません。または、alarmInterval の間にサンプリングできませんでした。	●

注 ※1

コンフィグレーションコマンド rmon alarm でも設定できます。設定範囲は「コンフィグレーションコマンド ファレレンス rmon alarm」を参照してください。文字列指定の場合、指定可能な文字コード範囲は、コンソール設定と同様です。なお、SNMP マネージャから設定中 (underCreation 状態) にコンソールから変更した場合は、underCreation 状態のエントリは削除されます。

注 ※2

コンフィグレーションで "2147483648" を設定した場合は "-2147483648" が表示され、以降、1 ズつカウントアップされます。"4294967295" を設定した場合は "-1" が表示されます。

2.10.5 Event グループ

(1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}
event OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.9
eventTable OBJECT IDENTIFIER ::= {event 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.9.1
```

(2) 実装仕様

Event グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-14 Event グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	eventTable {event 1}	NA	[規格] RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	eventEntry {eventTable 1}	NA	[規格] RMON エージェントによって生成されるイベントのリスト。 INDEX {eventIndex} [実装] 規格に同じ。ただし、最大 16 エントリまで。	●
3	eventIndex {eventEntry 1}	R/O	[規格] eventEntry リストのインデックス値。これは、logEntry リストの logEventIndex と同等の値です。設定できる範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	eventDescription {eventEntry 2}※	R/C	[規格] このリストの説明。最大 127 文字の文字列。 [実装] 79 文字以内の文字列。	●
5	eventType {eventEntry 3}※	R/C	[規格] イベント通知方法を示します。 • none(1) • log(2) • snmp-trap(3) • log-and-trap(4) [実装] 規格に同じ。	●
6	eventCommunity {eventEntry 4}※	R/C	[規格] eventType に Trap を指定したときに発行される Trap のコミュニティ名。最大 127 文字の文字列。 [実装] 60 文字以内の文字列。	●
7	eventLastTimeSent {eventEntry 5}	R/O	[規格] イベントが最後に生成されたときの sysUpTime 値（単位：1/100 秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
8	eventOwner {eventEntry 6}※	R/C	[規格] このエンティティを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナー。最大 127 文字。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	●

2.10 rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	eventStatus {eventEntry 7}	R/C	<p>[規格] このエントリの状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • valid(1) • createRequest(2) • underCreation(3) • invalid(4) <p>[実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest(2)をSetします。エントリ内のMIBにSetを行い、最後にvalid(1)をSetします。 削除するときは、invalid(4)をSetします。createRequest(2)をSetした後で、Getすると、underCreation(3)を応答し、valid(1)をSetした後でGetすると、valid(1)を応答します。</p>	●
10	logTable {event 2}	NA	<p>[規格] logされたイベントのテーブル。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
11	logEntry {logTable 1}	NA	<p>[規格] logされたイベントのリスト。</p> <p>INDEX {logEventIndex,logIndex}</p> <p>[実装] 規格に同じ。ただし、最大 128 エントリまで。</p>	●
12	logEventIndex {logEntry 1}	R/O	<p>[規格] このログを生成することになったイベントを示すインデックス。この値は、eventIndexと同じ値を持つイベントを示します。値の範囲は 1 ~ 65535。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
13	logIndex {logEntry 2}	R/O	<p>[規格] 同じイベントに対するログのインデックス。値の範囲は 1 ~ 2147483647。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
14	logTime {logEntry 3}	R/O	<p>[規格] このログリストが生成されたときの sysUpTime 値。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
15	logDescription {logEntry 4}	R/O	<p>[規格] このログリストの元になったイベントに関するコメント。最大 255 文字の文字列。</p> <p>[実装] 最大 72 文字の文字列で応答。</p>	●

注※

コンフィグレーションコマンド rmon event でも設定できます。文字列指定の場合、指定可能な文字コード範囲は、コンソール設定と同様です。なお、SNMP マネージャから設定中 (underCreation 状態) にコンソールから変更した場合は、underCreation 状態のエントリは削除されます。

2.11 dot1dBridge グループ

dot1dBridge グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1493
- RFC2674

2.11.1 dot1dBBase グループ

(1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}
dot1dBBase OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.1
```

(2) 実装仕様

dot1dBBase グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-15 dot1dBBase グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dBBaseBridgeAddresses {dot1dBBase 1}	R/O	[規格] ブリッジの MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1dBBaseNumPorts {dot1dBBase 2}	R/O	[規格] ブリッジのポート数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1dBBaseType {dot1dBBase 3}	R/O	[規格] ブリッジが実行できるブリッジングのタイプ。 • unknown(1) • transparent-only(2) • source-route-only(3) • srt(4) [実装] transparent-only(2) 固定。	●
4	dot1dBBasePortTable {dot1dBBase 4}	NA	[規格] ブリッジの各ポート情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1dBBasePortEntry {dot1dBBasePortTable 1}	NA	[規格] ブリッジの各ポート情報のリスト。 INDEX {dot1dBBasePort} [実装] 規格に同じ。	●

2.11 dot1dBridge グループ

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	dot1dBasePort {dot1dBasePortEntry 1}	R/O	<p>[規格] ポートのポート番号(1～65535)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 物理ポートのポート番号 物理ポートは一意に識別されます。 <ul style="list-style-type: none"> ポート番号 : (スイッチ番号-1) × 64 (固定値) + 物理ポート番号 【スタック動作時】 ポート番号 : 物理ポート番号 【スタンドアロン動作時】 チャネルグループのポート番号 リンクアグリゲーションのチャネルグループ番号から下記のようにポート番号を算出します。 <ul style="list-style-type: none"> ポート番号 : 512 (固定値) + チャネルグループ番号 【スタック動作時】 ポート番号 : 65 (固定値) + チャネルグループ番号 【スタンドアロン動作時】 ピアリンク ポート番号 : 130(固定値) <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
7	dot1dBasePortIfIndex {dot1dBasePortEntry 2}	R/O	[規格] このポートに対応するインターフェースが MIB-II に定義されたオブジェクトのインスタンスの値。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot1dBasePortCircuit {dot1dBasePortEntry 3}	R/O	[規格] dot1dBasePortIfIndex で設定された同一のインスタンスの値を持つポートの識別子。 [実装] {0.0} 固定。	●
9	dot1dBasePortDelayExceededDiscards {dot1dBasePortEntry 4}	R/O	[規格] 通過遅延による廃棄フレームの総数。 [実装] 0 固定。	▲
10	dot1dBasePortMtuExceededDiscards {dot1dBasePortEntry 5}	R/O	[規格] データオーバーフローによる廃棄フレームの総数。 [実装] 0 固定。	▲

2.11.2 dot1dStp グループ

(1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}
dot1dStp OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.2
```

(2) 実装仕様

dot1dStp グループの実装仕様を次の表に示します。

dot1dStp グループはシングルスパニングツリーで動作している場合のみ有効です。高速スパニングツリー、マルチプラスパニングツリーまたはシングルスパニングツリーを併用しない PVST+ の場合、dot1dStp グループのオブジェクトの値はダミーになります。

また、dot1dStpPortTable はシングルスパニングツリーが動作しているポートのみを含みます。

表 2-16 dot1dStp グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dStpProtocolSpecification {dot1dStp 1}	R/O	[規格] ブリッジが実行しているスパニングツリーのバージョン。 • unknown(1) • decLb100(2) • ieee8021d(3) [実装] 3 固定。	●
2	dot1dStpPriority {dot1dStp 2}	R/NW	[規格] ブリッジプライオリティの値(0 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1dStpTimeSinceTopologyChange {dot1dStp 3}	R/O	[規格] トポロジ変化が起きたからの経過時間(単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1dStpTopChanges {dot1dStp 4}	R/O	[規格] トポロジ変化回数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1dStpDesignatedRoot {dot1dStp 5}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートブリッジ識別子の値。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot1dStpRootCost {dot1dStp 6}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートパスコストの値。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot1dStpRootPort {dot1dStp 7}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートポートの値。 [実装] 規格に同じ。ただし、ルートポートが存在しない場合は 0 を表示。 仮想リンクの場合は仮想リンクに使用する VLAN の ifIndex 値を表示。	●
8	dot1dStpMaxAge {dot1dStp 8}	R/O	[規格] ブリッジで保持している最大年齢時間(単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1dStpHelloTime {dot1dStp 9}	R/O	[規格] ブリッジで保持している Hello 時間(単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
10	dot1dStpHoldTime {dot1dStp 10}	R/O	[規格] ブリッジで保持している Hold 時間(単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
11	dot1dStpForwardDelay {dot1dStp 11}	R/O	[規格] ブリッジで保持している転送遅延時間(単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1dStpBridgeMaxAge {dot1dStp 12}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている最大年齢時間(600 ~ 4000, 単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
13	dot1dStpBridgeHelloTime {dot1dStp 13}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている Hello 時間(100 ~ 1000, 単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
14	dot1dStpBridgeForwardDelay {dot1dStp 14}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている転送遅延時間(400 ~ 3000, 単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
15	dot1dStpPortTable {dot1dStp 15}	NA	[規格] スパニング・ツリー・プロトコルのためのポート情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
16	dot1dStpPortEntry {dot1dStpPortTable 1}	NA	[規格] スパニングツリー・プロトコル状態に関するポートごとの情報のリスト。 INDEX { dot1dStpPort } [実装] 規格に同じ。	●
17	dot1dStpPort {dot1dStpPortEntry 1}	R/O	[規格] スパニングツリー対象ポートのポート番号(1 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	●

2.11 dot1dBridge グループ

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
18	dot1dStpPortPriority {dot1dStpPortEntry 2}	R/NW	[規格] ポート優先度 (0 ~ 255)。 [実装] 規格と同じ。	●
19	dot1dStpPortState {dot1dStpPortEntry 3}	R/O	[規格] ポートの現在の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • disabled(1) • blocking(2) • listening(3) • learning(4) • forwarding(5) • broken(6) [実装] リンクダウンの場合は disabled(1), broken(6) は未使用。	●
20	dot1dStpPortEnable {dot1dStpPortEntry 4}	R/NW	[規格] ポートの有効/無効な状態。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled(1) • disabled(2) [実装] 規格と同じ。	●
21	dot1dStpPortPathCost {dot1dStpPortEntry 5}	R/NW	[規格] ポートのパスコスト値 (1 ~ 65535)。 [実装] 0 ~ 200000000。ポートのリンクがダウンしている場合は 0 を表示。	●
22	dot1dStpPortDesignate dRoot {dot1dStpPortEntry 6}	R/O	[規格] 構成 BPDU の中のルートブリッジ識別子。 [実装] 規格と同じ。	●
23	dot1dStpPortDesignate dCost {dot1dStpPortEntry 7}	R/O	[規格] 指定ポートのパスコスト値。 [実装] 規格と同じ。	●
24	dot1dStpPortDesignate dBridge {dot1dStpPortEntry 8}	R/O	[規格] 指定ブリッジのブリッジ識別子。 [実装] 規格と同じ。	●
25	dot1dStpPortDesignate dPort {dot1dStpPortEntry 9}	R/O	[規格] 指定ブリッジのポート識別子。 <ul style="list-style-type: none"> • SIZE (2) [実装] 規格と同じ。	●
26	dot1dStpPortForwardTr ansitions {dot1dStpPortEntry 10}	R/O	[規格] ポートが学習状態から転送状態に遷移した回数。 [実装] 規格と同じ。	●

2.11.3 dot1dTp グループ

(1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}
dot1dTp OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.4
```

(2) 実装仕様

dot1dTp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-17 dot1dTp グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dTpLearnedEntryDiscards {dot1dTp 1}	R/O	[規格] フォワーディングデータベースに保存する領域がないために廃棄されたフォワーディング情報の数。 [実装] 0 固定。	▲
2	dot1dTpAgingTime {dot1dTp 2}	R/NW	[規格] ダイナミックに学習したフォワーディング情報をエージング・アウトさせるためのタイムアウト期間 (10 ~ 1000000, 単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、コンフィグレーションでエージングなしの場合は 0。	●
3	dot1dTpFdbTable {dot1dTp 3}	NA	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト・エントリの情報テーブル。 [実装] 全 VLAN の MAC アドレステーブルを合成する。同じ MAC アドレスが複数の VLAN に存在する場合は若番 VLAN を優先する。	●
4	dot1dTpFdbEntry {dot1dTpFdbTable 1}	NA	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト MAC アドレス情報。 INDEX {dot1dTpFdbAddress} [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1dTpFdbAddress {dot1dTpFdbEntry 1}	R/O	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot1dTpFdbPort {dot1dTpFdbEntry 2}	R/O	[規格] dot1dTpFdbAddress の対応するインスタンス値と同じ送信元アドレス値を持つフレームを送信したポートのポート番号。 [実装] 規格に同じ。ただし、スタティックエントリについてはコンフィグレーションに従う。	●
7	dot1dTpFdbStatus {dot1dTpFdbEntry 3}	R/O	[規格] MAC アドレステーブルの状態。 • other(1) • invalid(2) • learned(3) • self(4) • mgmt(5) [実装] 規格に同じ。	●
8	dot1dTpPortTable {dot1dTp 4}	NA	[規格] 全ポートの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1dTpPortEntry {dot1dTpPortTable 1}	NA	[規格] 各ポートの情報リスト。 INDEX {dot1dTpPort} [実装] 規格に同じ。	●
10	dot1dTpPort {dot1dTpPortEntry 1}	R/O	[規格] このエントリが含む管理情報がどのポートに対するかを示すポート番号 (1 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	●
11	dot1dTpPortMaxInfo {dot1dTpPortEntry 2}	R/O	[規格] このポートの送受信情報フィールドの最大サイズ。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1dTpPortInFrames {dot1dTpPortEntry 3}	R/O	[規格] このポートの受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	dot1dTpPortOutFrames {dot1dTpPortEntry 4}	R/O	[規格] このポートの送信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	dot1dTpPortInDiscards {dot1dTpPortEntry 5}	R/O	[規格] 有効な受信フレームの廃棄数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	dot1dTpHCPortTable {dot1dTp 5}	NA	[規格] 高収容能力ポートの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
16	dot1dTpHCPortEntry {dot1dTpHCPortTable 1}	NA	[規格] 高収容能力ポートの情報リスト。 INDEX {dot1dTpPort} [実装] 規格に同じ。	●

2.11 dot1dBridge グループ

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	dot1dTpHCPortInFrames {dot1dTpHCPortEntry 1}	R/O	[規格] 高収容能力ポートの受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	dot1dTpHCPortOutFrames {dot1dTpHCPortEntry 2}	R/O	[規格] 高収容能力ポートの送信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	dot1dTpHCPortInDiscards {dot1dTpHCPortEntry 3}	R/O	[規格] 高収容能力ポートで受信され廃棄されたフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	dot1dTpPortOverflowTable {dot1dTp 6}	NA	[規格] 高収容能力ポートのオーバーフロー情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
21	dot1dTpPortOverflowEntry {dot1dTpPortOverflowTable 1}	NA	[規格] 高収容能力ポートのオーバーフロー情報リスト。 INDEX {dot1dTpPort} [実装] 規格に同じ。	●
22	dot1dTpPortInOverflowFrames {dot1dTpPortOverflowEntry 1}	R/O	[規格] dot1dTpPortInFrames のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 0 固定。	▲
23	dot1dTpPortOutOverflowFrames {dot1dTpPortOverflowEntry 2}	R/O	[規格] dot1dTpPortOutFrames のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 0 固定。	▲
24	dot1dTpPortInOverflowDiscards {dot1dTpPortOverflowEntry 3}	R/O	[規格] dot1dTpPortInDiscards のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 0 固定。	▲

2.11.4 pBridgeMIB グループ

(1) 識別子

```

dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

pBridgeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.6

pBridgeMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIB 1}
dot1dExtBase OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 1}
dot1dPriority OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 2}
dot1dGarp OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 3}
dot1dGmrp OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 4}
pBridgeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIB 2}
pBridgeGroups OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeConformance 1}
pBridgeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeConformance 2}

```

(2) 実装仕様

pBridgeMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-18 pBridgeMIB グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dDeviceCapabilities {dot1dExtBase 1}	R/O	[規格] 装置が実装する IEEE 802.1D と 802.1Q のオプション。 • dot1dExtendedFilteringServices(0) • dot1dTrafficClasses(1) • dot1qStaticEntryIndividualPort(2) • dot1qIVLCapable(3) • dot1qSVLCapable(4) • dot1qHybridCapable(5) • dot1qConfigurablePvidTagging(6) • dot1dLocalVlanCapable(7) [実装] {dot1dTrafficClasses(1), dot1qIVLCapable(3), dot1qConfigurablePvidTagging(6)} マネージャによって文字として表示されます。	●
2	dot1dTrafficClassesEnabled {dot1dExtBase 2}	R/NW	[規格] ブリッジのトラフィッククラスサポート状態。 • true(1) • false(2) [実装] true(1)	●
3	dot1dGmrpStatus {dot1dExtBase 3}	R/NW	[規格] GMRP の状態。 • enabled(1) • disabled(2) [実装] disabled(2)	●
4	dot1dPortCapabilitiesTable {dot1dExtBase 4}	NA	[規格] ポートの能力情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1dPortCapabilitiesEntry {dot1dPortCapabilitiesTable 1}	NA	[規格] ポートの能力情報リスト。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot1dPortCapabilities {dot1dPortCapabilitiesEntry 1}	R/O	[規格] ポートの IEEE 802.1D と 802.1Q の状態。 • dot1qDot1qTagging(0) • dot1qConfigurableAcceptableFrameTypes(1) • dot1qIngressFiltering(2) [実装] dot1qIngressFiltering(2) マネージャによって文字として表示されます。	●
7	dot1dPortPriorityTable {dot1dPriority 1}	NA	[規格] ポートの優先度情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot1dPortPriorityEntry {dot1dPortPriorityTable 1}	NA	[規格] ポートの優先度情報リスト。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1dPortDefaultUserPriority {dot1dPortPriorityEntry 1}	R/NW	[規格] ポートのデフォルトイングレスユーザ優先度 (0 ~ 7)。 [実装] 0	●
10	dot1dPortNumTrafficClasses {dot1dPortPriorityEntry 2}	R/NW	[規格] ポートのイングレストラフィッククラス番号 (1 ~ 8)。 [実装] 1	●
11	dot1dTrafficClassTable {dot1dPriority 3}	NA	[規格] トラフィッククラスの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●

2.11 dot1dBridge グループ

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	dot1dTrafficClassEntry {dot1dTrafficClassTable 1}	NA	[規格] トライフィッククラスの情報リスト。 INDEX {dot1dBasePort, dot1dTrafficClassPriority} [実装] 規格と同じ。	●
13	dot1dTrafficClassPriority {dot1dTrafficClassEntry 1}	NA	[規格] トライフィッククラスの優先度(0 ~ 7)。 [実装] 規格と同じ。	●
14	dot1dTrafficClass {dot1dTrafficClassEntry 2}	R/NW	[規格] トライフィッククラス(0 ~ 7)。 [実装] 規格と同じ。	●

2.11.5 qBridgeMIB グループ

(1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

qBridgeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.7

qBridgeMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIB 1}
dot1qBase OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 1}
dot1qTp OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 2}
dot1qStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 3}
dot1qVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 4}
qBridgeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIB 2}
qBridgeGroups OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeConformance 1}
qBridgeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeConformance 2}
dot1dPortPair OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 10}
```

(2) 実装仕様

qBridgeMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-19 qBridgeMIB グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1qVlanVersionNumber {dot1qBase 1}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q のバージョン番号。 • version1(1) [実装] 1	●
2	dot1qMaxVlanId {dot1qBase 2}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN ID の最大数。 [実装] 4094	●
3	dot1qMaxSupportedVlans {dot1qBase 3}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN の最大数。 [実装] 4094	●
4	dot1qNumVlans {dot1qBase 4}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN の現在数。 [実装] 規格と同じ。	●
5	dot1qGvrpStatus {dot1qBase 5}	R/NW	[規格] GVRP の管理状態。 [実装] disabled(2)	●
6	dot1qFdbTable {dot1qTp 1}	NA	[規格] MAC アドレステーブルのテーブル。 [実装] 未実装。	×

項目番	オブジェクト識別子	アクセ	実装仕様	実装有無
7	dot1qFdbEntry {dot1qFdbTable 1}	NA	[規格] MAC アдресテーブルのリスト。 INDEX {dot1qFdbId} [実装] 未実装。	×
8	dot1qFdbId {dot1qFdbEntry 1}	NA	[規格] MAC アドレステーブルの識別子。 [実装] 未実装。	×
9	dot1qFdbDynamicCount {dot1qFdbEntry 2}	R/O	[規格] MAC アドレステーブルにある動的エントリ数。 [実装] 未実装。	×
10	dot1qTpFdbTable {dot1qTp 2}	NA	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。※	●
11	dot1qTpFdbEntry {dot1qTpFdbTable 1}	NA	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルの情報リスト。 INDEX {dot1qFdbId, dot1qTpFdbAddress} [実装] 規格に同じ。※	●
12	dot1qTpFdbAddress {dot1qTpFdbEntry 1}	NA	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルにあるユニキャスト MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。※	●
13	dot1qTpFdbPort {dot1qTpFdbEntry 2}	R/O	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルにあるポート番号(0 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。ただし、スタティックエントリについてはコンフィグレーションに従う。※	●
14	dot1qTpFdbStatus {dot1qTpFdbEntry 3}	R/O	[規格] MAC アドレステーブルの状態。 • other(1) • invalid(2) • learned(3) • self(4) • mgmt(5) [実装] ダイナミックエントリは learned(3) を返す。スタティックエントリ・dot1x エントリは mgmt(5) を返す。※	●
15	dot1qTpGroupTable {dot1qTp 3}	NA	[規格] トランスペアレントなグループの情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
16	dot1qTpGroupEntry {dot1qTpGroupTable 1}	NA	[規格] トランスペアレントなグループの情報リスト。 INDEX {dot1qVlanIndex, dot1qTpGroupAddress} [実装] 未実装。	×
17	dot1qTpGroupAddress {dot1qTpGroupEntry 1}	NA	[規格] トランスペアレントなグループにある宛先 MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×
18	dot1qTpGroupEgressPorts {dot1qTpGroupEntry 2}	R/O	[規格] トランスペアレントなグループにあるイングレスポートの全セット。 [実装] 未実装。	×
19	dot1qTpGroupLearnt {dot1qTpGroupEntry 3}	R/O	[規格] トランスペアレントなグループにある学習されたポートのサブセット。 [実装] 未実装。	×
20	dot1qForwardAllTable {dot1qTp 4}	NA	[規格] すべてのマルチキャストを転送する VLAN のフォワーディング情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
21	dot1qForwardAllEntry {dot1qForwardAllTable 1}	NA	[規格] すべてのマルチキャストを転送する VLAN のフォワーディング情報リスト。 INDEX {dot1qVlanIndex} [実装] 未実装。	×

2.11 dot1dBridge グループ

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
22	dot1qForwardAllPorts {dot1qForwardAllEntry 1}	R/O	[規格]すべてのマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のポートの全セット。 [実装]未実装。	×
23	dot1qForwardAllStaticPorts {dot1qForwardAllEntry 2}	R/NW	[規格]すべてのマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN の静的なポートのセット。 [実装]未実装。	×
24	dot1qForwardAllForbiddenPorts {dot1qForwardAllEntry 3}	R/NW	[規格]すべてのマルチキャストグループアドレスを転送しない VLAN のポートのセット。 [実装]未実装。	×
25	dot1qForwardUnregisteredTable {dot1qTp 5}	NA	[規格]未登録なマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のフォワーディング情報テーブル。 [実装]未実装。	×
26	dot1qForwardUnregisteredEntry {dot1qForwardUnregisteredTable 1}	NA	[規格]未登録なマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のフォワーディング情報リスト。 INDEX {dot1qVlanIndex} [実装]未実装。	×
27	dot1qForwardUnregisteredPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 1}	R/O	[規格]未登録のマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のポートの全セット。 [実装]未実装。	×
28	dot1qForwardUnregisteredStaticPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 2}	R/NW	[規格]未登録のマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN の静的なポートのセット。 [実装]未実装。	×
29	dot1qForwardUnregisteredForbiddenPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 3}	R/NW	[規格]未登録のマルチキャストグループを転送しない VLAN の静的なポートのセット。 [実装]未実装。	×
30	dot1qStaticUnicastTable {dot1qStatic 1}	NA	[規格]静的なユニキャスト MAC アドレスのフィルタリング情報テーブル。 [実装]未実装。	×
31	dot1qStaticUnicastEntry {dot1qStaticUnicastTable 1}	NA	[規格]静的なユニキャスト MAC アドレスのフィルタリング情報リスト。 INDEX {dot1qFdbId, dot1qStaticUnicastAddress, dot1qStaticUnicastReceivePort} [実装]未実装。	×
32	dot1qStaticUnicastAddress {dot1qStaticUnicastEntry 1}	NA	[規格]静的なユニキャストアドレスの宛先 MAC アドレス。 [実装]未実装。	×
33	dot1qStaticUnicastReceivePort {dot1qStaticUnicastEntry 2}	NA	[規格]静的なユニキャストアドレスを受信するポート番号(0 ~ 65535)。 [実装]未実装。	×
34	dot1qStaticUnicastAllocatedToGoTo {dot1qStaticUnicastEntry 3}	R/NW	[規格]静的なユニキャストアドレスをフラッドするポートのセット。 [実装]未実装。	×

項目番	オブジェクト識別子	アクセ	実装仕様	実装有無
35	dot1qStaticUnicastStat us {dot1qStaticUnicastEnt ry 4}	R/NW	[規格] 静的なユニキャストアドレスのエントリ状態。 • other(1) • invalid(2) • permanent(3) • deleteOnReset(4) • deleteOnTimeout(5) [実装] 未実装。	×
36	dot1qStaticMulticastTa ble {dot1qStatic 2}	NA	[規格] 静的なマルチキャストとブロードキャストの MAC アドレスを 転送する VLAN のフィルタリング情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
37	dot1qStaticMulticastEn try {dot1qStaticMulticastTa ble 1}	NA	[規格] 静的なマルチキャストとブロードキャストの MAC アドレスを 転送する VLAN のフィルタリング情報リスト。 INDEX {dot1qVlanIndex, dot1qStaticMulticastAddress, dot1qStaticMulticastReceivePort} [実装] 未実装。	×
38	dot1qStaticMulticastAd dress {dot1qStaticMulticastE ntry 1}	NA	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの宛先 MAC ア ドレス。 [実装] 未実装。	×
39	dot1qStaticMulticastRe ceivePort {dot1qStaticMulticastE ntry 2}	NA	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレ スを受信するポート番号。(0 ~ 65535) [実装] 未実装。	×
40	dot1qStaticMulticastSt aticEgressPorts {dot1qStaticMulticastE ntry 3}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレ スを転送するポートのセット。 [実装] 未実装。	×
41	dot1qStaticMulticastFo rbiddenEgressPorts {dot1qStaticMulticastE ntry 4}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレ スを転送しないポートのセット。 [実装] 未実装。	×
42	dot1qStaticMulticastSt atus {dot1qStaticMulticastE ntry 5}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストのエントリ状 態。 • other(1) • invalid(2) • permanent(3) • deleteOnReset(4) • deleteOnTimeout(5) [実装] 未実装。	×
43	dot1qVlanNumDeletes {dot1qVlan 1}	R/O	[規格] VLAN エントリの削除回数。 [実装] 規格に同じ。	●
44	dot1qVlanCurrentTable {dot1qVlan 2}	NA	[規格] VLAN の現在のコンフィグレーションテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
45	dot1qVlanCurrentEntry {dot1qVlanCurrentTabl e 1}	NA	[規格] VLAN の現在のコンフィグレーションリスト。 INDEX {dot1qVlanTimeMark, dot1qVlanIndex} [実装] 規格に同じ。	●
46	dot1qVlanTimeMark {dot1qVlanCurrentEntr y 1}	NA	[規格] エントリのタイムフィルタ。 [実装] 規格に同じ。	●

2.11 dot1dBridge グループ

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
47	dot1qVlanIndex {dot1qVlanCurrentEntry 2}	NA	[規格] VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	●
48	dot1qVlanFdbId {dot1qVlanCurrentEntry 3}	R/O	[規格] VLAN が使用する MAC アドレステーブル ID。 [実装] 規格に同じ。	●
49	dot1qVlanCurrentEgressPorts {dot1qVlanCurrentEntry 4}	R/O	[規格] Tagged フレームまたは Untagged フレームのトラフィックを送信する VLAN のポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
50	dot1qVlanCurrentUntaggedPorts {dot1qVlanCurrentEntry 5}	R/O	[規格] Untagged フレームのトラフィックを送信する VLAN のポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
51	dot1qVlanStatus {dot1qVlanCurrentEntry 6}	R/O	[規格] VLAN 状態。 • other(1) • permanent(2) • dynamicGvrp(3) [実装] 規格に同じ。	●
52	dot1qVlanCreationTime {dot1qVlanCurrentEntry 7}	R/O	[規格] VLAN 作成時の sysUpTime 値。 [実装] 規格に同じ。	●
53	dot1qVlanStaticTable {dot1qVlan 3}	NA	[規格] VLAN の静的コンフィグレーションテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
54	dot1qVlanStaticEntry {dot1qVlanStaticTable 1}	NA	[規格] VLAN の静的コンフィグレーションリスト。 INDEX {dot1qVlanIndex} [実装] 規格に同じ。	●
55	dot1qVlanStaticName {dot1qVlanStaticEntry 1}	R/NC	[規格] VLAN の静的な識別名。 [実装] 規格に同じ。	●
56	dot1qVlanStaticEgressPorts {dot1qVlanStaticEntry 2}	R/NC	[規格] VLAN の静的なエグレスリストにあるポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
57	dot1qVlanForbiddenEgressPorts {dot1qVlanStaticEntry 3}	R/NC	[規格] VLAN のエグレスリストに入ることを禁止されているポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
58	dot1qVlanStaticUntaggedPorts {dot1qVlanStaticEntry 4}	R/NC	[規格] VLAN のエグレスパケットを送信する Untagged ポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
59	dot1qVlanStaticRowStatus {dot1qVlanStaticEntry 5}	R/NC	[規格] エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。	●
60	dot1qNextFreeLocalVlanIndex {dot1qVlan 4}	R/O	[規格] 次に利用できる VLAN インデックス (0 または 4096 ~ 2147483647)。 [実装] 0 または 4096	●
61	dot1qPortVlanTable {dot1qVlan 5}	NA	[規格] ポートの VLAN コンフィグレーションテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセ	実装仕様	実装有無
62	dot1qPortVlanEntry {dot1qPortVlanTable 1}	NA	[規格] ポートの VLAN コンフィグレーションリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
63	dot1qPvid {dot1qPortVlanEntry 1}	R/NW	[規格] Untagged フレームまたは Priority-Tagged フレームに割り付ける PVID VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	●
64	dot1qPortAcceptableFra meTypes {dot1qPortVlanEntry 2}	R/NW	[規格] ポートの受信できるフレームタイプを決定します。 • admitAll(1) • admitOnlyVlanTagged(2) [実装] admitAll(1)	●
65	dot1qPortIngressFilteri ng {dot1qPortVlanEntry 3}	R/NW	[規格] ポートに進入するフレームをフィルタリングします。 [実装] 規格に同じ。	●
66	Dot1qPortGvrpStatus {dot1qPortVlanEntry 4}	R/NW	[規格] ポートの GVRP 状態。 [実装] disabled(2)	●
67	Dot1qPortGvrpFailedR egistrations {dot1qPortVlanEntry 5}	R/O	[規格] ポートの GVRP 失敗登録総数。 [実装] 未実装。	✗
68	dot1qPortGvrpLastPdu Origin {dot1qPortVlanEntry 6}	R/O	[規格] ポートで受信した最後の GVRP のソース MAC アドレス。 [実装] 未実装。	✗
69	dot1qPortVlanStatistics Table {dot1qVlan 6}	NA	[規格] ポートの VLAN 統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
70	dot1qPortVlanStatistics Entry {dot1qPortVlanStatistic sTable 1}	NA	[規格] ポートの VLAN 統計情報リスト。 INDEX {dot1dBasePort, dot1qVlanIndex} [実装] 規格に同じ。	●
71	dot1qTpVlanPortInFra mes {dot1qPortVlanStatistic sEntry 1}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
72	dot1qTpVlanPortOutFr ames {dot1qPortVlanStatistic sEntry 2}	R/O	[規格] VLAN のポートで送信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
73	dot1qTpVlanPortInDisc ards {dot1qPortVlanStatistic sEntry 3}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信され廃棄された有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
74	dot1qTpVlanPortInOve rflowFrames {dot1qPortVlanStatistic sEntry 4}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortInFrames カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 0 固定。	▲
75	dot1qTpVlanPortOutOv erflowFrames {dot1qPortVlanStatistic sEntry 5}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortOutFrames カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 0 固定。	▲
76	dot1qTpVlanPortInOve rflowDiscards {dot1qPortVlanStatistic sEntry 6}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortInDiscards カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 0 固定。	▲

2.11 dot1dBridge グループ

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
77	dot1qPortVlanHCStatisticsTable {dot1qVlan 7}	NA	[規格] ポートの VLAN 高キャパシティ統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
78	dot1qPortVlanHCStatisticsEntry {dot1qPortVlanHCStatisticsTable 1}	NA	[規格] ポートの VLAN 高キャパシティ統計情報リスト。 INDEX {dot1dBasePort, dot1qVlanIndex} [実装] 規格に同じ。	●
79	dot1qTpVlanPortHCInFrames {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 1}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
80	dot1qTpVlanPortHCOutFrames {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 2}	R/O	[規格] VLAN のポートで送信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
81	dot1qTpVlanPortHCInDiscards {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 3}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信され廃棄された有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
82	dot1qLearningConstraintsTable {dot1qVlan 8}	NA	[規格] 学習制約テーブル。 [実装] 装置仕様により本テーブルは常に空。	●
83	dot1qLearningConstraintsEntry {dot1qLearningConstraintsTable 1}	NA	[規格] 学習制約リスト。 INDEX {dot1qConstraintVlan, dot1qConstraintSet} [実装] 装置仕様により本テーブルは常に空。	●
84	dot1qConstraintVlan {dot1qLearningConstraintsEntry 1}	NA	[規格] エントリによって制約される VLAN。 [実装] 装置仕様により本テーブルは常に空。	●
85	dot1qConstraintSet {dot1qLearningConstraintsEntry 2}	NA	[規格] 制約セット識別子 (0 ~ 65535)。 [実装] 装置仕様により本テーブルは常に空。	●
86	dot1qConstraintType {dot1qLearningConstraintsEntry 3}	R/NC	[規格] 制約タイプ。 • independent(1) • shared(2) [実装] 装置仕様により本テーブルは常に空。	●
87	dot1qConstraintStatus {dot1qLearningConstraintsEntry 4}	R/NC	[規格] 制約状態。 [実装] 装置仕様により本テーブルは常に空。	●
88	dot1qConstraintSetDefault {dot1qVlan 9}	R/NW	[規格] 制約セットのデフォルト値 (0 ~ 65535)。 [実装] 0	●
89	dot1qConstraintTypeDefault {dot1qVlan 10}	R/NW	[規格] 制約セットのタイプ。 • independent(1) • shared(2) [実装] independent(1) 固定。	●

注※

運用コマンド clear mac-address-table 実行直後に取得したとき、mac-address-table 情報のクリアが反映されていないことがあります。

2.12 ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)

スタック動作時、各メンバスイッチのポート情報を応答します。また、ポートチャネル、VLAN はスタック全体の合計値を応答します。

ifMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2233(1997 年 11 月)

2.12.1 ifMIB

(1) 識別子

```
ifMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 31}
ifMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ifMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.31.1
```

(2) 実装仕様

イーサネットの場合の ifMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-20 ifMIB グループの実装仕様 (イーサネットの場合)

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifXTable {ifMIBObjects 1}	NA	[規格] インタフェースエンティティの追加オブジェクトのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ifXEntry {ifXTable 1}	NA	[規格] インタフェース情報の追加リスト。 AUGMENTS {ifEntry} [実装] 規格に同じ。	●
3	ifName {ifXEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの名称。 [実装] インタフェースごとの固定値。	●
4	ifInMulticastPkts {ifXEntry 2}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●
5	ifInBroadcastPkts {ifXEntry 3}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●
6	ifOutMulticastPkts {ifXEntry 4}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ifOutBroadcastPkts {ifXEntry 5}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none">ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●
8	ifHCInOctets {ifXEntry 6}	R/O	[規格] このインターフェースで受信したオクテットの数。ifInOctets の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none">ポートの ifIndex の場合 : MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総受信オクテット数。VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総受信オクテット数。ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●
9	ifHCInUcastPkts {ifXEntry 7}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 ifInUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none">ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●
10	ifHCInMulticastPkts {ifXEntry 8}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 ifInMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none">ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●
11	ifHCInBroadcastPkts {ifXEntry 9}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 ifInBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none">ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●
12	ifHCOutOctets {ifXEntry 10}	R/O	[規格] このインターフェースで送信したオクテットの数。ifOutOctets の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none">ポートの ifIndex の場合 : MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総送信オクテット数。VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総送信オクテット数。ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●
13	ifHCOutUcastPkts {ifXEntry 11}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 ifOutUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none">ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
14	ifHCOutMulticastPkts {ifXEntry 12}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 ifOutMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●
15	ifHCOutBroadcastPkts {ifXEntry 13}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 ifOutBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	●
16	ifLinkUpDownTrapEnable {ifXEntry 14}	R/NW	[規格] このインターフェースが、LinkUp/LinkDown によってトラップを通知するかを示す。 • enable(1) • disable(2) [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 規格に同じ。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : disable(2) 固定。	●
17	ifHighSpeed {ifXEntry 15}	R/O	[規格] このインターフェースの現在の回線速度 (Mbit/s)。Mbit/s 未満は四捨五入。 [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合 : コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は、当該インターフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。 • VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : リンクアグリゲーションで使用している物理ポートの回線速度の合計値を表示する。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : ピアリンクで使用している物理ポートの回線速度の合計。	●
18	ifPromiscuousMode {ifXEntry 16}	R/O	[規格] 受信モードを示す。 • true(1) • false(2) [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合 : true(1)。 • VLAN の ifIndex の場合 : false(2)。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : true(1)。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : true(1)。	●
19	ifConnectorPresent {ifXEntry 17}	R/O	[規格] 物理回線との接続状態。 {true(1), false(2)} [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合 : true(1)。 • VLAN の ifIndex の場合 : false(2)。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : false(2)。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : false(2)。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
20	ifAlias {ifXEntry 18}	R/NW	[規格] ネットワークマネージャによって定義される Alias 名。 [実装] コンフィグレーションで各インターフェースに設定されている補足説明。	●
21	ifCounterDiscontinuityTime {ifXEntry 19}	R/O	[規格] カウンタ情報が非連続な状態になった時の sysUpTime。 [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合 : 0 固定。 • VLAN の ifIndex の場合 : 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合 : 0 固定。 • ピアリンクの ifIndex の場合 : 0 固定。	▲

2.13 powerEthernetMIB グループ (PowerEthernetMIB) 【48P2X】【08P】【16P4X】

powerEthernetMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3621(The Definitions of Managed Objects for the Power Sourcing Equipment)

(1) 識別子

```
powerEthernetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 105}

pethObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {powerEthernetMIB 1}
オブジェクトID 値 1.3.6.1.2.1.105.1

pethPsePortObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pethObjects 1}
オブジェクトID 値 1.3.6.1.2.1.105.1.1

pethMainPseObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pethObjects 3}
オブジェクトID 値 1.3.6.1.2.1.105.1.3

pethNotificationControl OBJECT IDENTIFIER ::= {pethObjects 4}
オブジェクトID 値 1.3.6.1.2.1.105.1.4
```

(2) 実装仕様

pethPsePortObjet グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-21 pethPsePortObjet グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pethPsePortTable {pethObjects 1}	NA	[規格] 給電装置上のポートの給電特性を表示／制御。 [実装] 規格に同じ。	●
2	pethPsePortEntry {pethPsePortTable 1}	NA	[規格] 給電装置の各ポート情報のリスト。 INDEX {pethPsePortGroupIndex, pethPsePortIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	pethPsePortGroupIndex {pethPsePortEntry 1}	NA	[規格] 接続するポートを含むしているグループを示す識別子。 [実装] axsStackMemberIndex 同じ値。【スタック動作時】 1 固定。【スタンドアロン動作時】	●
4	pethPsePortIndex {pethPsePortEntry 2}	NA	[規格] pethPsePortGroupIndex 内のポートの識別子。 [実装] ifIndex 同じ値。	●
5	pethPsePortAdminEnable {pethPsePortEntry 3}	R/NW	[規格] 給電装置機能の有効／無効を示す。 • true(1) : 有効 • false(2) : 無効 [実装] 規格に同じ。true(1) 固定表示。	●
6	pethPsePortPowerPairsControlAbility {pethPsePortEntry 4}	R/O	[規格] 給電するペアの切り替え可／不可を示す。 • true(1) : 可 • false(2) : 不可 [実装] 給電するペア種別がパターン A 固定のため切り替え不可の false(2) を固定表示。	●

2.13 powerEthernetMIB グループ (PowerEthernetMIB) 【48P2X】【08P】【16P4X】

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	pethPsePortPowerPairs {pethPsePortEntry 5}	R/NW	[規格] 給電するペア種別。 • signal(1) : データ転送用のペアを使用。(パターン A) • spare(2) : 予備のペアを使用。(パターン B) [実装] 給電するペア種別がパターン A 固定のため single(1) を固定表示。	●
8	pethPsePortDetectionStatus {pethPsePortEntry 6}	R/O	[規格] 受電装置検知状態。 • disabled(1) : DISABLED 状態 • deliveringPower(3) : POWER_ON 状態 • searching(2) : 上記以外の状態 [実装] 規格に同じ。	●
9	pethPsePortPowerPriority {pethPsePortEntry 7}	R/NW	[規格] 電源管理の視点から見たポートの優先度。 • critical(1) • high(2) • low(3) [実装] 規格に同じ。ただし、pethPsePortDetectionStatus が disabled(1) のときは high(2)。	●
10	pethPsePortMPSSAbsentCounter {pethPsePortEntry 8}	R/O	[規格] 受電装置無応答タイムアウトにより POWER_ON 状態から IDLE 状態に直接遷移した場合に加算されるカウンタ。 [実装] 0 固定。	●
11	pethPsePortType {pethPsePortEntry 9}	R/NW	[規格] ポートに接続された装置の種別。 [実装] NULL 固定。	●
12	pethPsePortPowerClassifications {pethPsePortEntry 10}	R/O	[規格] ポートの給電クラス種別。pethPsePortDetectionStatus が deliveringPower(3) のときだけ有効。 • class0(1) • class1(2) • class2(3) • class3(4) • class4(5) [実装] 規格に同じ。	●
13	pethPsePortInvalidSignatureCounter {pethPsePortEntry 11}	R/O	[規格] SIGNATURE_INVALID 状態に遷移した場合に加算されるカウンタ。 [実装] 0 固定。	▲
14	pethPsePortPowerDeniedCounter {pethPsePortEntry 12}	R/O	[規格] POWER_DENIED 状態に遷移した場合に加算されるカウンタ。 [実装] 0 固定。	▲
15	pethPsePortOverLoadCounter {pethPsePortEntry 13}	R/O	[規格] ERROR_DELAY_OVER 状態に遷移した場合に加算されるカウンタ。 [実装] 0 固定。	▲
16	pethPsePortShortCounter {pethPsePortEntry 14}	R/O	[規格] ERROR_DELAY_SHORT に遷移した場合に加算されるカウンタ。 [実装] 0 固定。	▲

pethMainPseObjet グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-22 pethMainPseObjects グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pethMainPseTable {pethMainPseObjects 1}	NA	[規格] 給電装置の主電源装置情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	pethMainPseEntry {pethPsePortTable 1}	NA	[規格] 給電装置の主電源装置情報のリスト。 INDEX {pethMainPseGroupIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	pethMainPseGroupIndex {pethMainPseEntry 1}	NA	[規格] 接続された給電装置グループの識別子。(1 ~ 2147483647) [実装] axsStackMemberIndex と同じ値。【スタック動作時】 1固定。【スタンドアロン動作時】	●
4	pethMainPsePower {pethMainPseEntry 2}	R/O	[規格] 給電装置の総電量 (ワット表記)。(1 ~ 65535) [実装] 規格に同じ。	●
5	pethMainPseOperStatus {pethMainPseEntry 3}	R/O	[規格] 主給電装置の制御状態。 • on(1) • off(2) • fault(3) [実装] 規格に同じ。ただし、faulty値は存在しない。【スタック動作時】 on(1)固定。【スタンドアロン動作時】	●
6	pethMainPseConsumptionPower {pethMainPseEntry 4}	R/O	[規格] 消費電力 (ワット表記)。(0 ~ 65535) [実装] 規格に同じ。	●
7	pethMainPseUsageThreshold {pethMainPseEntry 5}	R/NW	[規格] 消費電力の閾値 (パーセント表記) (1 ~ 99) (閾値を超過した場合アラーム通知を行う) [実装] 93 固定 : 【48P2X】 88 固定 : 【08P】【16P4X】	●

pethNotificationControl の実装仕様を次の表に示します。

表 2-23 pethNotificationControl グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pethNotificationControlTable {pethNotificationControl 1 1}	NA	[規格] 給電装置の通知情報の表示／制御。 [実装] 規格に同じ。	●
2	pethNotificationControlEntry {pethNotificationControlTable 1}	NA	[規格] 通知イベント情報のリスト。 INDEX {pethNotificationControlGroupIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	pethNotificationControlGroupIndex {pethNotificationControlEntry 1}	NA	[規格] 通知情報グループのエントリ。(1 ~ 2147483647) [実装] axsStackMemberIndex と同じ値。【スタック動作時】 1固定。【スタンドアロン動作時】	●
4	pethNotificationControlEnable {pethNotificationControlEntry 2}	R/NW	[規格] 通知機能の制御可 / 不可。 • true(1) : 可 • false(2) : 不可 [実装] 規格に同じ。	●

2.14 IEEE8021-CFM-MIB グループ

2.14.1 dot1agCfmStack グループ

(1) 識別子

```

org OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER :=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmStack OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 1}

dot1agCfmStackTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmStack 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.1.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmStack グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-24 dot1agCfmStack の実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmStackTable {dot1agCfmStack 1}	NA	[規格]MP に付与されたインターフェース情報。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmStackEntry {dot1agCfmStackTable 1}	NA	[規格] スタックテーブルのエントリ。 INDEX { dot1agCfmStackifIndex, dot1agCfmStackVlanIdOrNone, dot1agCfmStackMdLevel, dot1agCfmStackDirection } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmStackifIndex {dot1agCfmStackEntry 1}	NA	[規格] MEP にあるポートを表します。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmStackVlanId OrNone {dot1agCfmStackEntry 2}	NA	[規格] MP に割り当てられた VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1agCfmStackMdLev el {dot1agCfmStackEntry 3}	NA	[規格] MP のドメインレベル。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot1agCfmStackDirecti on {dot1agCfmStackEntry 4}	NA	[規格] MP の Direction。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot1agCfmStackMdInd ex {dot1agCfmStackEntry 5}	R/O	[規格] dot1agCfmMdTable でのドメインのインデックス。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	dot1agCfmStackMaInd ex {dot1agCfmStackEntry 6}	R/O	[規格]dot1agCfmMaNetTable と dot1agCfmMaCompTable での MA のインデックス。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1agCfmStackMepId {dot1agCfmStackEntry 7}	R/O	[規格]MEP ID。 [実装] 規格に同じ。	●
10	dot1agCfmStackMacAd dress {dot1agCfmStackEntry 8}	R/O	[規格]MP の MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●

2.14.2 dot1agCfmVlan グループ

(1) 識別子

```

org OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER :=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 3}

dot1agCfmVlanTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.3.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmVlan グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-25 dot1agCfmVlan の実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmVlanTable {dot1agCfmVlan 1}	NA	[規格]VLAN のアソシエーションを定義する。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmVlanEntry {dot1agCfmVlanTable 1 }	NA	[規格] VLAN テーブルのエントリ。 INDEX {dot1agCfmVlanComponentId, dot1agCfmVlanVid} [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmVlanCompon entId {dot1agCfmVlanEntry 1}	NA	[規格]dot1agCfmVlanEntry の情報が適用されるシステムの中のコン ポーネント。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmVlanVid {dot1agCfmVlanEntry 2}	NA	[規格]MA の VLAN グループの中の VLAN。プライマリ VLAN では ない。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	dot1agCfmVlanPrimaryVid { dot1agCfmVlanEntry 3 }	R/NC	[規格] プライマリ VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	dot1agCfmVlanRowStatus { dot1agCfmVlanEntry 4 }	R/NC	[規格] テーブルの状態。 • active(1) • notInService(2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.14.3 dot1agCfmMd グループ

(1) 識別子

```

org OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER :=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}

dot1agCfmMd OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 5}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.5

dot1agCfmMdTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMd 2}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.5.2

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMd グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-26 dot1agCfmMd の実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMdTableNextIndex { dot1agCfmMd 1 }	R/O	[規格] dot1agCfmMdTable を生成するときに使用するインデックス。 [実装] 0 固定。	●
2	dot1agCfmMdTable { dot1agCfmMd 2 }	NA	[規格] ドメインテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmMdEntry { dot1agCfmMdTable 1 }	NA	[規格] ドメインテーブルのエントリ。 INDEX {dot1agCfmMdIndex} [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMdIndex { dot1agCfmMdEntry 1 }	NA	[規格] ドメインテーブルのインデックス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1agCfmMdFormat { dot1agCfmMdEntry 2 }	R/NC	[規格] ドメイン名称のタイプ。 • none (1) • dnsLikeName (2) • macAddressAndUInt (3) • charString (4) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	dot1agCfmMdName { dot1agCfmMdEntry 3 }	R/NC	[規格] ドメイン名称。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	dot1agCfmMdMdLevel { dot1agCfmMdEntry 4 }	R/NC	[規格] ドメインレベル。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	dot1agCfmMdMhfCreation { dot1agCfmMdEntry 5 }	R/NC	[規格] MHF(MIP) 生成可否。 • defMHFnone (1) • defMHFdefault (2) • defMHFexplicit (3) [実装] defMHFexplicit (3) 固定。ただし、Read_Only です。	●
9	dot1agCfmMdMhfIdPermission { dot1agCfmMdEntry 6 }	R/NC	[規格] Sender ID TLV に含まれる値。 • sendIdNone (1) • sendIdChassis (2) • sendIdManage (3) • sendIdChassisManage (4) [実装] sendIdChassis (2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
10	dot1agCfmMdMaNextIndex { dot1agCfmMdEntry 7 }	R/O	[規格] dot1agCfmMaNetTable と dot1agCfmMaCompTable を生成するときに使用するインデックス値。 [実装] 0 固定。	●
11	dot1agCfmMdRowStatus { dot1agCfmMdEntry 8 }	R/NC	[規格] Table の状態。 • active(1) • notInService(2) [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.14.4 dot1agCfmMaNet グループ

(1) 識別子

```

org OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER :=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMa OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 6}

dot1agCfmMaNetTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMa 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMaNet グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-27 dot1agCfmMaNet の実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMaNetTable { dot1agCfmMa 1 }	NA	[規格] MA テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmMaNetEntry { dot1agCfmMaNetTable 1 }	NA	[規格] MA テーブルエントリ。 INDEX {dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex} [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	dot1agCfmMaIndex {dot1agCfmMaNetEntry 1}	NA	[規格] MA テーブルの INDEX。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMaNetFormatt {dot1agCfmMaNetEntry 2}	R/NC	[規格] MA 名称のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ieeeReserved(0) • primaryVid(1) • charString(2) • unsignedInt16 (3) • rfc2865VpnId(4) [実装] 本装置では (1) ~ (3) を返す。ただし、Read_Only です。	●
5	dot1agCfmMaNetName {dot1agCfmMaNetEntry 3}	R/NC	[規格] MA 名称。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	dot1agCfmMaNetCcmInterval {dot1agCfmMaNetEntry 4}	R/NC	[規格] CCM 転送時間間隔。 <ul style="list-style-type: none"> • intervalInvalid (0) • interval300Hz (1) • interval10ms (2) • interval100ms (3) • interval1s (4) • interval10s (5) • interval1min (6) • interval10min (7) [実装] 本装置では (4) ~ (7) を返す。ただし、Read_Only です。	●
7	dot1agCfmMaNetRowStatus {dot1agCfmMaNetEntry 5}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • active(1) • notInService(2) [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.14.5 dot1agCfmMaComp グループ

(1) 識別子

```

org OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER :=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMa OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 6}

dot1agCfmMaCompTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMa 2}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.2

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMaComp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-28 dot1agCfmMaComp の実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMaCompTable { dot1agCfmMa 2 }	NA	[規格]MA テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmMaCompEntry { dot1agCfmMaCompTable 1 }	NA	[規格]MA テーブルエントリ。 INDEX {dot1agCfmMaComponentId, dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmMaComponentId { dot1agCfmMaCompEntry 1 }	NA	[規格]dot1agCfmMaCompEntry の情報が適用されるシステムの 中のコンポーネント。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMaCompPrimaryVlanId { dot1agCfmMaCompEntry 2 }	R/NC	[規格] プライマリ VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	dot1agCfmMaCompMhfCreation { dot1agCfmMaCompEntry 3 }	R/NC	[規格]MA における MIP の生成条件。 <ul style="list-style-type: none"> • defMHFnone (1) • defMHFdefault (2) • defMHFexplicit (3) • defMHFdefer (4) [実装] 本装置では defMHFexplicit (3)。ただし、Read_Only です。	●
6	dot1agCfmMaCompIdPermissio n { dot1agCfmMaCompEntry 4 }	R/NC	[規格]Sender ID TLV。 <ul style="list-style-type: none"> • sendIdNone (1) • sendIdChassis (2) • sendIdManage (3) • sendIdChassisManage (4) [実装]sendIdChassis (2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
7	dot1agCfmMaCompNumber OfVids { dot1agCfmMaCompEntry 5 }	R/NC	[規格]MA 内の VLAN 数。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	dot1agCfmMaCompRowStatus { dot1agCfmMaCompEntry 6 }	R/NC	[規格] テーブルの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • active(1) • notInService(2) [実装]active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.14.6 dot1agCfmMaMepList グループ

(1) 識別子

```

org OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER :=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMa OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 6}

dot1agCfmMaMepListTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMa 3}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.3

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMaMepList グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-29 dot1agCfmMaMepList の実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMaMepListTable { dot1agCfmMa 3 }	NA	[規格] MA に属する MEP ID のリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmMaMepListEntry { dot1agCfmMaMepListTable 1 }	NA	[規格] MEP テーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMaMepListIdentifier } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmMaMepListIdentifier { dot1agCfmMaMepListEntry 1 }	NA	[規格] MEP ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMaMepListRowStatus { dot1agCfmMaMepListEntry 2 }	R/NC	[規格] テーブルの状態。 • active(1) • notInService(2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.14.7 dot1agCfmMep グループ

(1) 識別子

```

org OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER :=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMep OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 7}

dot1agCfmMepTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMep 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMep グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-30 dot1agCfmMep の実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMepTable { dot1agCfmMep 1 }	NA	[規格] MEP テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmMepEntry { dot1agCfmMepTable 1 }	NA	[規格] MEP テーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMepIdentifier } [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	dot1agCfmMepIdentifier { dot1agCfmMepEntry 1 }	NA	[規格]MEP ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMepIfIndex { dot1agCfmMepEntry 2 }	R/NC	[規格]MEP が定義されているインターフェースの Ifindex。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	dot1agCfmMepDirection { dot1agCfmMepEntry 3 }	R/NC	[規格]MEP の方向。 • down(1) • up(2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	dot1agCfmMepPrimaryVid { dot1agCfmMepEntry 4 }	R/NC	[規格]MEP のプライマリ VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	dot1agCfmMepActive { dot1agCfmMepEntry 5 }	R/NC	[規格]MEP の状態。 • true(1) • false(2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	dot1agCfmMepFngState { dot1agCfmMepEntry 6 }	R/O	[規格]MEP 障害状態。 • fngReset(1) • fngDefect(2) • fngReportDefect(3) • fngDefectReported(4) • fngDefectClearing(5) [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1agCfmMepCciEnabled { dot1agCfmMepEntry 7 }	R/NC	[規格]"true" のとき CCM を生成する。 • true(1) • false(2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
10	dot1agCfmMepCcmLtmPriority { dot1agCfmMepEntry 8 }	R/NC	[規格]CCM とリンクトレースメッセージの優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
11	dot1agCfmMepMacAddress { dot1agCfmMepEntry 9 }	R/O	[規格]MEP の MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1agCfmMepLowPrDef { dot1agCfmMepEntry 10 }	R/NC	[規格] 障害優先度の最小値。 • allDef(1) • macRemErrXcon(2) • remErrXcon(3) • errXcon(4) • xcon(5) • noXcon(6) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
13	dot1agCfmMepFngAlarmTime { dot1agCfmMepEntry 11 }	R/NC	[規格] 障害警報を発行前の障害の時刻。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
14	dot1agCfmMepFngResetTime { dot1agCfmMepEntry 12 }	R/NC	[規格] 障害警報をリセットする前の障害の時刻。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	dot1agCfmMepHighestPrDefect {dot1agCfmMepEntry 13}	R/O	[規格] MEP での最も高い障害優先度。 • none(0) • defRDICCM(1) • defMACstatus(2) • defRemoteCCM(3) • defErrorCCM(4) • defXconCCM(5) [実装] 規格に同じ。	●
16	dot1agCfmMepDefects {dot1agCfmMepEntry 14}	R/O	[規格] 各エラーをビットで表した値。 • bDefRDICCM(0) • bDefMACstatus(1) • bDefRemoteCCM(2) • bDefErrorCCM(3) • bDefXconCCM(4) [実装] 規格に同じ。	●
17	dot1agCfmMepErrorCcmLastFailure {dot1agCfmMepEntry 15}	R/O	[規格] DefErrorCCM 障害を契機とした最終受信 CCM。 [実装] 規格に同じ。ただし、CFM PDU 58byte までです。	●
18	dot1agCfmMepXconCcmLastFailure {dot1agCfmMepEntry 16}	R/O	[規格] DefXconCCM 障害を契機とした最終受信 CCM。 [実装] 規格に同じ。ただし、CFM PDU 58byte までです。	●
19	dot1agCfmMepCcmSequenceErrors {dot1agCfmMepEntry 17}	R/O	[規格] Out Of Sequence となった CCM の総計。 [実装] 規格に同じ。	●
20	dot1agCfmMepCciSentCCMs {dot1agCfmMepEntry 18}	R/O	[規格] 転送された CC メッセージの総計。 [実装] 規格に同じ。	●
21	dot1agCfmMepNextLbmTransId {dot1agCfmMepEntry 19}	R/O	[規格] ループバックメッセージにおける次のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
22	dot1agCfmMepLbrIn {dot1agCfmMepEntry 20}	R/O	[規格] ループバックリプライ受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	dot1agCfmMepLbrInOutOfOrder {dot1agCfmMepEntry 21}	R/O	[規格] ループバックリプライの Out Of Order 数。 [実装] 規格に同じ。	●
24	dot1agCfmMepLbrBadMsdus {dot1agCfmMepEntry 22}	R/O	[規格] 不一致の mac_service_data_unit を受信したループバックリプライの総計。 [実装] 規格に同じ。	●
25	dot1agCfmMepLtmNextSeqNumber {dot1agCfmMepEntry 23}	R/O	[規格] リンクレイヤメッセージにおける次の転送 ID。 [実装] 規格に同じ。	●
26	dot1agCfmMepUnexpLtrIn {dot1agCfmMepEntry 24}	R/O	[規格] 想定外のリンクトレースリプライ受信数。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
27	dot1agCfmMepLbrOut {dot1agCfmMepEntry 25}	R/O	[規格] 転送されたループバックリプライ受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
28	dot1agCfmMepTransmit LbmStatus {dot1agCfmMepEntry 26}	R/NC	[規格] ループバックメッセージを転送するかを示す。 • true(1) • false(2) [実装] 規格に同じ。	●
29	dot1agCfmMepTransmit LbmDestMacAddress {dot1agCfmMepEntry 27}	R/NC	[規格] ループバックメッセージの宛先 MAC アドレス。 項番 31 が false のとき有効。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
30	dot1agCfmMepTransmit LbmDestMepId {dot1agCfmMepEntry 28}	R/NC	[規格] ループバックメッセージの宛先 MEP ID。 項番 31 が true のとき有効。 [実装] 本システムでは項番 31 は false 固定のため未サポート。	✗
31	dot1agCfmMepTransmit LbmDestIsMepId {dot1agCfmMepEntry 29}	R/NC	[規格] true(1) : MEP ID は、ループバック転送として使用される。 false(2) : MEP の宛先 MAC アドレスは、ループバック転送として使用される。 [実装] false 固定。ただし、Read_Only です。	●
32	dot1agCfmMepTransmit LbmMessages {dot1agCfmMepEntry 30}	R/NC	[規格] 送信されるループバックメッセージ数。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
33	dot1agCfmMepTransmit LbmDataTlv {dot1agCfmMepEntry 31}	R/NC	[規格] Data TLV のデータ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
34	dot1agCfmMepTransmit LbmVlanPriority {dot1agCfmMepEntry 32}	R/NC	[規格] VLAN Tag に使用される優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
35	dot1agCfmMepTransmit LbmVlanDropEnable {dot1agCfmMepEntry 33}	R/NC	[規格] VLAN Tag での Drop Enable bit 値。 • true(1) • false(2) [実装] false 固定。ただし、Read_Only です。	●
36	dot1agCfmMepTransmit LbmResultOK {dot1agCfmMepEntry 34}	R/O	[規格] オペレーション結果。 • true(1) • false(2) [実装] true(1) 固定。	●
37	dot1agCfmMepTransmit LbmSeqNumber {dot1agCfmMepEntry 35}	R/O	[規格] 最初に送信したループバックメッセージのループバックトランザクション ID。 ID(dot1agCfmMepNextLbmTransId) [実装] 直前に送信したループバックメッセージのループバックトランザクション ID。	●
38	dot1agCfmMepTransmit LtmStatus {dot1agCfmMepEntry 36}	R/NC	[規格] リンクトレースメッセージの転送状態。 [実装] 規格に同じ。	●
39	dot1agCfmMepTransmit LtmFlags {dot1agCfmMepEntry 37}	R/NC	[規格] MEP によって転送されたリンクトレースメッセージフラグ。 [実装] 0 固定。ただし、Read_Only です。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
40	dot1agCfmMepTransmitLtmTargetMacAddress{dot1agCfmMepEntry 38}	R/NC	[規格] リンクトレースメッセージの宛先 MAC アドレス。 項番 42 が false のとき有効。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
41	dot1agCfmMepTransmitLtmTargetMepId{dot1agCfmMepEntry 39}	R/NC	[規格] リンクトレースメッセージの宛先 MEP ID。 項番 42 が true のとき有効。 [実装] 本システムでは項番 42 は false 固定のため未サポート。	✗
42	dot1agCfmMepTransmitLtmTargetIsMepId{dot1agCfmMepEntry 40}	R/NC	[規格] <ul style="list-style-type: none">• true(1): 宛先 MEP ID• false(2) : 宛先 MAC アドレス [実装] false 固定。ただし、Read_Only です。	●
43	dot1agCfmMepTransmitLtmTtl{dot1agCfmMepEntry 41}	R/NC	[規格] リンクトレースメッセージでの TTL。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
44	dot1agCfmMepTransmitLtmResult{dot1agCfmMepEntry 42}	R/O	[規格] オペレーション結果。 <ul style="list-style-type: none">• true(1)• false(2) [実装] true(1) 固定。	●
45	dot1agCfmMepTransmitLtmSeqNumber{dot1agCfmMepEntry 43}	R/O	[規格] 送信されたリンクトレースメッセージの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
46	dot1agCfmMepTransmitLtmEgressIdentifier{dot1agCfmMepEntry 44}	R/NC	[規格] 送信するリンクトレースメッセージのリンクトレースメッセージトランザクション識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
47	dot1agCfmMepRowStatuses{dot1agCfmMepEntry 45}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 <ul style="list-style-type: none">• active(1)• notInService(2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.14.8 dot1agCfmLtr グループ

(1) 識別子

```

org OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::= {standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMep OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 7}

dot1agCfmLtrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMep 2}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.2

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmLtr グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-31 dot1agCfmLtr の実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmLtrTable { dot1agCfmMep 2 }	NA	[規格] リンクトレースリプライのリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmLtrEntry { dot1agCfmLtrTable 1 }	NA	[規格] リンクトレースリプライリストテーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMepIdentifier, dot1agCfmLtrSeqNumber, dot1agCfmLtrReceiveOrder } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmLtrSeqNumber { dot1agCfmLtrEntry 1 }	NA	[規格] リンクトレースリプライリストの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmLtrReceiveOrder { dot1agCfmLtrEntry 2 }	NA	[規格] 複数のリンクトレースリプライを区別するための識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1agCfmLtrTtl { dot1agCfmLtrEntry 3 }	R/O	[規格] リンクトレースリプライの TTL。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot1agCfmLtrForwarded { dot1agCfmLtrEntry 4 }	R/O	[規格] MP によって転送されたかを示す。 • true(1) • false(2) [実装] 規格に同じ。	●
7	dot1agCfmLtrTerminalMep { dot1agCfmLtrEntry 5 }	R/O	[規格] 転送されてリンクトレースメッセージが MA 内の MEP に届いたかを示す。 • true(1) • false(2) [実装] 規格に同じ。	●
8	dot1agCfmLtrLastEgressIdentifier { dot1agCfmLtrEntry 6 }	R/O	[規格] 最終 Egress ID。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1agCfmLtrNextEgressIdentifier { dot1agCfmLtrEntry 7 }	R/O	[規格] 次の Egress ID。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	dot1agCfmLtrRelay { dot1agCfmLtrEntry 8 }	R/O	[規格] リレイアクションフィールドの値。 • rlyHit(1) • rlyFdb(2) • rlyMpdb(3) [実装] 規格に同じ。	●
11	dot1agCfmLtrChassisIds ubtype { dot1agCfmLtrEntry 9 }	R/O	[規格] シャーシフォーマットの値。 • chassisComponent(1) • interfaceAlias(2) • portComponent(3) • macAddress(4) • networkAddress(5) • interfaceName(6) • local(7) [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1agCfmLtrChassisId { dot1agCfmLtrEntry 10 }	R/O	[規格] Sender ID TLV のシャーシ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
13	dot1agCfmLtrManAddre ssDomain { dot1agCfmLtrEntry 11 }	R/O	[規格] TDomain。 [実装] 規格に同じ。	●
14	dot1agCfmLtrManAddre ss { dot1agCfmLtrEntry 12 }	R/O	[規格] SNMP Agent のアドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、16byte までです。	●
15	dot1agCfmLtrIngress { dot1agCfmLtrEntry 13 }	R/O	[規格] リンクトレースメッセージの Ingress Action フィールドの戻り値。 • ingNotlv(0) • ingOk(1) • ingDown(2) • ingBlocked(3) • ingVid(4) [実装] 規格に同じ。	●
16	dot1agCfmLtrIngressMa c { dot1agCfmLtrEntry 14 }	R/O	[規格] Ingress MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
17	dot1agCfmLtrIngressPor tIdSubtype { dot1agCfmLtrEntry 15 }	R/O	[規格] 物理ポートのフォーマット。 • interfaceAlias(1) • portComponent(2) • macAddress(3) • networkAddress(4) • interfaceName(5) • agentCircuitId(6) • local(7) [実装] 規格に同じ。	●
18	dot1agCfmLtrIngressPor tId { dot1agCfmLtrEntry 16 }	R/O	[規格] ポート ID。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
19	dot1agCfmLtrEgress { dot1agCfmLtrEntry 17 }	R/O	[規格] リンクトレースメッセージの Egress アクションフィールド。 • egrNoTlv(0) • egrOK(1) • egrDown(2) • egrBlocked(3) • egrVid(4) [実装] 規格に同じ。	●
20	dot1agCfmLtrEgressMac { dot1agCfmLtrEntry 18 }	R/O	[規格] Egress MAC アドレスフィールド。 [実装] 規格に同じ。	●
21	dot1agCfmLtrEgressPort IdSubtype { dot1agCfmLtrEntry 19 }	R/O	[規格] Egress Port ID のフォーマット。 • interfaceAlias(1) • portComponent(2) • macAddress(3) • networkAddress(4) • interfaceName(5) • agentCircuitId(6) • local(7) [実装] 規格に同じ。	●
22	dot1agCfmLtrEgressPort Id { dot1agCfmLtrEntry 20 }	R/O	[規格] Egress Port ID。 [実装] 規格に同じ。	●
23	dot1agCfmLtrOrganizationSpecificTlv { dot1agCfmLtrEntry 21 }	R/O	[規格] Organization-Specific TLV の OUI。 [実装] 規格に同じ。ただし、30byte までです。	●

2.14.9 dot1agCfmMepDb グループ

(1) 識別子

```

org OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER :=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMep OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 7}

dot1agCfmMepDbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMep 3}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.3

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMepDb グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-32 dot1agCfmMepDb の実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMepDbTable { dot1agCfmMep 3 }	NA	[規格] MEP データベーステーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmMepDbEntry { dot1agCfmMepDbTable 1 }	NA	[規格] MEP データベーステーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMepIdentifier, dot1agCfmMepDbRMepIdentifier } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmMepDbRMepI dentifier { dot1agCfmMepDbEntry 1 }	NA	[規格] リモート MEP の MEPID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMepDbRMep State { dot1agCfmMepDbEntry 2 }	R/O	[規格] リモート MEP の操作状況。 <ul style="list-style-type: none"> • rMepIdle(1) • rMepStart(2) • rMepFailed(3) • rMepOk(4) [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1agCfmMepDbRMep FailedOkTime { dot1agCfmMepDbEntry 3 }	R/O	[規格] リモート MEP が最後に Fail か OK になってからの経過時間。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot1agCfmMepDbMacAd dress { dot1agCfmMepDbEntry 4 }	R/O	[規格] リモート MEP の MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot1agCfmMepDbRdi { dot1agCfmMepDbEntry 5 }	R/O	[規格] 最後に受信した CCM の RDI ビット。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot1agCfmMepDbPortSt atusTlv { dot1agCfmMepDbEntry 6 }	R/O	[規格] リモート MEP から受信した最後の CCM の TLV のポート状態。 <ul style="list-style-type: none"> • psNoPortStateTLV(0) • psBlocked(1) • psUp(2) [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1agCfmMepDbInterfa ceStatusTlv { dot1agCfmMepDbEntry 7 }	R/O	[規格] リモート MEP から受信した最後の CCM の TLV のインターフェース状態。 <ul style="list-style-type: none"> • isNoInterfaceStatusTLV(0) • isUp(1) • isDown(2) • isTesting(3) • isUnknown(4) • isDormant(5) • isNotPresent(6) • isLowerLayerDown(7) [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	dot1agCfmMepDbChassisIdSubtype {dot1agCfmMepDbEntry 8}	R/O	[規格] 最後に受信した CCM のシャーシ ID のフォーマット。 • chassisComponent(1) • interfaceAlias(2) • portComponent(3) • macAddress(4) • networkAddress(5) • interfaceName(6) • local(7) [実装] 規格に同じ。	●
11	dot1agCfmMepDbChassisId {dot1agCfmMepDbEntry 9}	R/O	[規格] 最後に受信した CCM のシャーシ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1agCfmMepDbManAddressDomain {dot1agCfmMepDbEntry 10}	R/O	[規格] TDomain。 [実装] 規格に同じ。	●
13	dot1agCfmMepDbManAddress {dot1agCfmMepDbEntry 11}	R/O	[規格] TAddress。 [実装] 規格に同じ。ただし、16byte までです。	●

2.15 IEEE8023-LAG-MIB グループ[◦]

IEEE8023-LAG-MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- IEEE8023-LAG-MIB

2.15.1 dot3adAgg グループ[◦]

(1) 識別子

```

member-body OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 2}
us          OBJECT IDENTIFIER ::= {member-body 840}
ieee802dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= {us 10006}
snmpmibs   OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot3 300}
lagMIB      OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpmibs 43}
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIB 1}

dot3adAgg OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.1

```

(2) 実装仕様

dot3adAgg グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-33 dot3adAgg グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adAggTable {dot3adAgg 1}	NA	[規格] このシステムで Aggregator に関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot3adAggEntry {dot3adAggTable 1}	NA	[規格] Aggregator パラメータのリスト。 INDEX {dot3adAggIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	dot3adAggIndex {dot3adAggEntry 1}	NA	[規格] このインターフェースを識別するための番号。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot3adAggMACAddress {dot3adAggEntry 2}	R/O	[規格] Aggregator に割り当てられた MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot3adAggActorSystem Priority {dot3adAggEntry 3}	R/NW	[規格] Actor のシステム ID に関連したプライオリティ値。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot3adAggActorSystem ID {dot3adAggEntry 4}	R/NW	[規格] システムに対してユニークな識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot3adAggAggregateOr Individual {dot3adAggEntry 5}	R/O	[規格] Aggregator が Link Aggregation を行っているか、個々のリンクとして取り扱っているかを示す。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot3adAggActorAdmin Key {dot3adAggEntry 6}	R/NW	[規格] Aggregator に対する現在の管理上の Key の値。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot3adAggActorOperKe y {dot3adAggEntry 7}	R/O	[規格] Aggregator に対する現在の操作上の Key の値。 [実装] 規格に同じ。	●
10	dot3adAggPartnerSyste mID {dot3adAggEntry 8}	R/O	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対するユニークな識別子であり、MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	dot3adAggPartnerSystemPriority {dot3adAggEntry 9}	R/O	[規格] パートナーのシステム ID に関するプライオリティ 値が示されます。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot3adAggPartnerOperKey {dot3adAggEntry 10}	R/O	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する操作上のキーの値です。 [実装] 規格に同じ。	●
13	dot3adAggCollectorMaxDelay {dot3adAggEntry 11}	R/NW	[規格] FrameCollector によって、受信されたフレームが AggregatorParser から MACClient に届けられるか、フレームが破棄されるまでの最大遅延時間（単位：10 マイクロ秒）。 [実装] 固定値 0。	▲
14	dot3adAggPortListTable {dot3adAgg 2}	NA	[規格] Aggregator に接続されている AggregationPort のリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
15	dot3adAggPortListEntry {dot3adAggPortListTable 1}	NA	[規格] Aggregator に関連したポートのリスト。 INDEX {dot3adAggIndex} [実装] 規格に同じ。	●
16	dot3adAggPortListPorts {dot3adAggPortListEntry 1}	R/O	[規格] Aggregator に関連したポートの全集合である。 [実装] 規格に同じ。	●

2.15.2 dot3adAggPort グループ

(1) 識別子

```

member-body   OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 2}
us           OBJECT IDENTIFIER ::= {member-body 840}
ieee802dot3  OBJECT IDENTIFIER ::= {us 10006}
snmpmibs    OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot3 300}
lagMIB       OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpmibs 43}
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIB 1}

```

dot3adAggPort OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIBObjects 2}
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.2

(2) 実装仕様

dot3adAggPort グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-34 dot3adAggPort グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adAggPortTable {dot3adAggPort 1}	NA	[規格] すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 設定情報。 [実装] 規格に同じ	●
2	dot3adAggPortEntry {dot3adAggPortTable 1}	NA	[規格] 各 AggregationPort に対する Link Aggregation Control 設定パラメータのリスト。 INDEX {dot3adAggPortIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	dot3adAggPortIndex {dot3adAggPortEntry 1}	NA	[規格] このインターフェースを識別するための番号。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	dot3adAggPortActorSystemPriority {dot3adAggPortEntry 2}	R/NW	[規格] Actor のシステム ID に関するプライオリティ値。 [実装] 規格と同じ。	●
5	dot3adAggPortActorSystemID {dot3adAggPortEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort を持つシステムに対するシステム ID の値を決める MAC アドレス。 [実装] 規格と同じ。SML 使用時は SML ドメイン ID に依存する。	●
6	dot3adAggPortActorAdminKey {dot3adAggPortEntry 4}	R/NW	[規格] AggregationProt に対する管理上のキー。 [実装] 規格と同じ。	●
7	dot3adAggPortActorOperKey {dot3adAggPortEntry 5}	R/NW	[規格] AggregationPort に対する操作上のキーの値。 [実装] 規格と同じ。	●
8	dot3adAggPortPartnerAdminSystemPriority {dot3adAggPortEntry 6}	R/NW	[規格] Partner のシステム ID に関する管理上のプライオリティの値。 [実装] 規格と同じ。	●
9	dot3adAggPortPartnerOperSystemPriority {dot3adAggPortEntry 7}	R/O	[規格] Partner のシステム ID に関する操作上のプライオリティの値。 [実装] 規格と同じ。	●
10	dot3adAggPortPartnerAdminSystemID {dot3adAggPortEntry 8}	R/NW	[規格] AggregationPort のプロトコルパートナーのシステム ID の管理上の値。 [実装] 規格と同じ。	●
11	dot3adAggPortPartnerOperSystemID {dot3adAggPortEntry 9}	R/O	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上のキーの値。 [実装] 規格と同じ。	●
12	dot3adAggPortPartnerAdminKey {dot3adAggPortEntry 10}	R/NW	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する管理上のキーの値である。 [実装] 規格と同じ。	●
13	dot3adAggPortPartnerOperKey {dot3adAggPortEntry 11}	R/O	[規格] プロトコルパートナーに対する操作上のキーの値。 [実装] 規格と同じ。	●
14	dot3adAggPortSelectedAggID {dot3adAggPortEntry 12}	R/O	[規格] AggregationPort の Aggregator の ifIndex。 [実装] 規格と同じ。	●
15	dot3adAggPortAttachedAggID {dot3adAggPortEntry 13}	R/O	[規格] AggregationPort が現在取り付けられている Aggregator の ifIndex。 [実装] 規格と同じ。	●
16	dot3adAggPortActorPort {dot3adAggPortEntry 14}	R/O	[規格] AggregationPort に割り当てられたポート番号。 [実装] 規格と同じ。SML 使用時は SML ID に依存する。	●
17	dot3adAggPortActorPortPriority {dot3adAggPortEntry 15}	R/NW	[規格] AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。 [実装] 規格と同じ。	●
18	dot3adAggPortPartnerAdminPort {dot3adAggPortEntry 16}	R/NW	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上のポート番号。 [実装] 規格と同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
19	dot3adAggPortPartnerOperPort{dot3adAggPortEntry17}	R/O	[規格] AggregationPort のプロトコルパートナーによって AggregationPort に割り当てられた操作上のポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
20	dot3adAggPortPartnerAdminPortPriority{dot3adAggPortEntry18}	R/NW	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上のポートプライオリティの値。 [実装] 規格に同じ。	●
21	dot3adAggPortPartnerOperPortPriority{dot3adAggPortEntry19}	R/O	[規格] パートナーによって AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。 [実装] 規格に同じ。	●
22	dot3adAggPortActorAdminState{dot3adAggPortEntry20}	R/NW	[規格] Actor によって LACPDU で送信された管理上の Actor_State の値。 [実装] 規格に同じ。 ASN.1/BER 規格に従い、 LACPDU とは逆のビット順で符号化される。	●
23	dot3adAggPortActorOperState{dot3adAggPortEntry21}	R/O	[規格] Actor によって LACPDU で送信された操作上の Actor_State の値。 [実装] 規格に同じ。 ASN.1/BER 規格に従い、 LACPDU とは逆のビット順で符号化される。	●
24	dot3adAggPortPartnerAdminState{dot3adAggPortEntry22}	R/NW	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上の Actor_State の値。 [実装] 規格に同じ。 ASN.1/BER 規格に従い、 LACPDU とは逆のビット順で符号化される。	●
25	dot3adAggPortPartnerOperState{dot3adAggPortEntry23}	R/O	[規格] プロトコルパートナーによって最も最近 LACPDU で送信された Actor_State の値。 [実装] 規格に同じ。 ASN.1/BER 規格に従い、 LACPDU とは逆のビット順で符号化される。	●
26	dot3adAggPortAggregateOrIndividual{dot3adAggPortEntry24}	R/O	[規格] AggregationPort が Aggregate 可能であるか、個々のリンクとしてしか操作できないかを示します。 [実装] 規格に同じ。	●
27	dot3adAggPortStatsTable{dot3adAggPort 2}	NA	[規格] すべてのポートに関する Link Aggregation の情報を持つテーブル。 [実装] 規格に同じ。 ※1	●
28	dot3adAggPortStatsEntry{dot3adAggPortStatsTable 1}	NA	[規格] 各ポートに対する Link Aggregation 制御プロトコルの統計データのリスト。 INDEX {dot3adAggPortIndex} [実装] 規格に同じ。 ※1	●
29	dot3adAggPortStatsLACPDUsRx{dot3adAggPortStatsEntry 1}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な LACPDU の数。 [実装] 規格に同じ。 ※1	●
30	dot3adAggPortStatsMarkerPDUsRx{dot3adAggPortStatsEntry 2}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な MarkerPDU の数。 [実装] 規格に同じ。 ※1	●
31	dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDUsRx{dot3adAggPortStatsEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な MarkerResponsePDU の数。 [実装] 規格に同じ。 ※1 本装置はマーカーを送信しないため、正当なマーカーレスポンスはありえず、結果的に 0 固定となる。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
32	dot3adAggPortStatsUnknownRx {dot3adAggPortStatsEntry 4}	R/O	[規格]Slow Protocols のイーサネットタイプの値(88-09)で運ばれたが、未知の PDU が含まれているフレームか、または、Slow Protocols の group MAC Address(01-80-C2-00-00-02)宛てだが、Slow Protocols のイーサネットタイプで運ばれていないフレームのどちらかを受信したフレーム数。 [実装]MAC アドレス 0180C2000002 宛てパケットのうち、以下のいずれかに該当するもの。 ^{※1} <ul style="list-style-type: none">• イーサータイプが 0x8809 以外、あるいは Tagged• スロープロトコルタイプが 4 以上 10 以下	●
33	dot3adAggPortStatsIllegalRx {dot3adAggPortStatsEntry 5}	R/O	[規格]Slow Protocols のイーサネットタイプの値(88-09)で運ばれたが、不当な形式の PDU を含んでいるか、または、違法な Protocol Subtype の値を含んだフレームの受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。 ^{※1}	●
34	dot3adAggPortStatsLAGPDUsTx {dot3adAggPortStatsEntry 6}	R/O	[規格]AggregationPort 上で送信された LACPDU の数。 [実装] 規格に同じ。 ^{※1}	●
35	dot3adAggPortStatsMarkerPDUsTx {dot3adAggPortStatsEntry 7}	R/O	[規格]AggregationPort 上で送信された MarkerPDUs の数。 [実装] 規格に同じ。 ^{※1} 本装置はマーカーを送信しないため、結果的に 0 固定となる。	●
36	dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDUsTx {dot3adAggPortStatsEntry 8}	R/O	[規格]AggregationPort 上で送信された MarkerResponsePDUs の数。 [実装] 規格に同じ。 ^{※1}	●
37	dot3adAggPortDebugTable {dot3adAggPort 3}	NA	[規格]すべてのポートに関するリングアグリゲーションのデバッグ情報を含んだテーブル。 [実装] 規格に同じ。 ^{※2}	●
38	dot3adAggPortDebugEntry {dot3adAggPortDebugTable 1}	NA	[規格]ポートに対するデバッグパラメータのリスト。 INDEX {dot3adAggPortIndex} [実装] 規格に同じ。 ^{※2}	●
39	dot3adAggPortDebugRxState {dot3adAggPortDebugEntry 1}	R/O	[規格]AggregationPort に対する Receive ステートマシンの状態。 <ul style="list-style-type: none">• currentRx(1)• expired(2)• defaulted(3)• initialize(4)• lacpDisabled(5)• portDisabled(6) [実装] 規格に同じ。 ^{※2}	●
40	dot3adAggPortDebugLastRxTime {dot3adAggPortDebugEntry 2}	R/O	[規格]最後に AggregationPort が LACPDSU を受信したときの aTimeSinceSystemReset の値。 [実装] 規格に同じ。 ^{※2}	●
41	dot3adAggPortDebugMuxState {dot3adAggPortDebugEntry 3}	R/O	[規格]AggregationPort に対する Mux ステートマシンの状態。 <ul style="list-style-type: none">• detached(1)• waiting(2)• attached(3)• collecting(4)• distributing(5)• collectingDistributing(6) [実装] 規格に同じ。 ^{※2}	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
42	dot3adAggPortDebugMuxReason {dot3adAggPortDebugEntry 4}	R/O	[規格]最も最近 Mux ステートマシンの状態が変更された理由。 [実装]常に空の文字列。※2	▲
43	dot3adAggPortDebugActorChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 5}	R/O	[規格]AggregationPort に対する ActorChurnDetection ステートマシンの状態。 [実装]規格に同じ。※2	●
44	dot3adAggPortDebugPartnerChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 6}	R/O	[規格]AggregationPort に対する PartnerChurnDetection ステートマシンの状態。 [実装]規格に同じ。※2	●
45	dot3adAggPortDebugActorChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 7}	R/O	[規格]ActorChurn ステートマシンが ACTOR_CHURN の状態になった回数。 [実装]規格に同じ。※2	●
46	dot3adAggPortDebugPartnerChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 8}	R/O	[規格]PartnerChurn ステートマシンが PARTNER_CHURN 状態になった回数。 [実装]規格に同じ。※2	●
47	dot3adAggPortDebugActorSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 9}	R/O	[規格]Actor の Mux 状態マシンが IN_SYNC 状態になった回数。 [実装]規格に同じ。※2	●
48	dot3adAggPortDebugPartnerSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 10}	R/O	[規格]Partner の Mux ステートマシンが IN_SYNC 状態になった回数。 [実装]規格に同じ。※2	●
49	dot3adAggPortDebugActorChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 11}	R/O	[規格]AggregationPort に対する Actor の LAG ID の認識が変更された回数。 [実装]規格に同じ。※2	●
50	dot3adAggPortDebugPartnerChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 12}	R/O	[規格]AggregationPort に対する Partner の LAG ID の認識が変更された回数。 [実装]規格に同じ。※2	●

注※1

スタティック設定のポートの dot3adAggPortStatsTable の値は無効です。

注※2

スタティック設定のポートの dot3adAggPortDebugTable の値は無効です。

2.15.3 dot3adTablesLastChanged グループ

(1) 識別子

```

member-body OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 2}
us          OBJECT IDENTIFIER ::= {member-body 840}
ieee802dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= {us 10006}
snmpmibs   OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot3 300}
lagMIB      OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpmibs 43}
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIB 1}

```

dot3adTablesLastChanged OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIBObjects 3}
 オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.3

(2) 実装仕様

dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-35 dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adTablesLastChanged {lagMIBObjects 3}	R/O	[規格]dot3adAggTable, dot3adAggPortListTable, または dot3adAggPortTable に変化が起きた最近の時間。 [実装] 規格に同じ。	●

2.16 IEEE802.1X MIB グループ

(1) 識別子

```

std          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 0}
iso8802      OBJECT IDENTIFIER ::= {std 8802}
ieee802dot1  OBJECT IDENTIFIER ::= {iso8802 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021paeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 1}
paeMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021paeMIB 1}

dot1xPaeSystem OBJECT IDENTIFIER ::= {paeMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.1

dot1xPaeAuthenticator OBJECT IDENTIFIER ::= {paeMIBObjects 2}
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.2

dot1xPaeSupplicant OBJECT IDENTIFIER ::= {paeMIBObjects 3}
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.3

dot1xPaeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021paeMIB 2}
dot1xPaeGroups     OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1xPaeConformance 1}
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.2.1

dot1xPaeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1xPaeConformance 2}
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.2.2

```

(2) 実装仕様

IEEE802.1X MIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-36 IEEE802.1X MIB グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1xPaeSystemAuthControl {dot1xPaeSystem 1}	R/NW	[規格] 装置全体における PAE(Port Access Entity) の管理上の enable/disabled 状態。 INTEGER {enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1xPaePortTable {dot1xPaeSystem 2}	NA	[規格] 各 PAE ポートに対するシステムレベルの情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1xPaePortEntry {dot1xPaePortTable 1}	NA	[規格] ポートごとの情報のリスト。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1xPaePortNumber {dot1xPaePortEntry 1}	NA	[規格] PAE ポート番号。テーブルを識別するインデックスとして使用される。 [実装] 規格に同じ。 以下に示すインターフェースに付加された ifIndex。 <ul style="list-style-type: none">• Ethernet 物理ポート• VLAN グループ• リンクアグリゲーショングループ	●
5	dot1xPaePortProtocolVersion {dot1xPaePortEntry 2}	R/O	[規格] プロトコルバージョン。 [実装] 0x01 固定。	●
6	dot1xPaePortCapabilities {dot1xPaePortEntry 3}	R/O	[規格] ポートがサポートしている PAE 機能。 BITS {dot1xPaePortAuthCapable(0), dot1xPaePortSuppCapable(1)} [実装] dot1xPaePortAuthCapable(0) 固定。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	dot1xPaePortInitialize {dot1xPaePortEntry 4}	R/NW	[規格] ポートに対する初期化制御。この属性が "TRUE" になるとポートが初期化され、初期化が完了すると属性は "FALSE" に戻る。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot1xPaePortReauthenticate {dot1xPaePortEntry 5}	R/NW	[規格] ポートに対する再認証制御。この属性を "TRUE" にするとポートに対する Authenticator PAE ステートマシンが Supplicant を再認証する。この属性を "FALSE" にすると何の効果もない。この属性は読み込まれる時にいつでも "FALSE" に戻る。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1xAuthConfigTable {dot1xPaeAuthenticator 1}	NA	[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対する構成オブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格に同じ。	●
10	dot1xAuthConfigEntry {dot1xAuthConfigTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対するコンフィグレーションのリスト。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 規格に同じ。	●
11	dot1xAuthPaeState {dot1xAuthConfigEntry 1}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンの現在値。 <ul style="list-style-type: none"> • initialize(1) • disconnected(2) • connecting(3) • authenticating(4) • authenticated(5) • aborting(6) • held(7) • forceAuth(8) • forceUnauth(9) [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1xAuthBackendAuthState {dot1xAuthConfigEntry 2}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンの現在値。 <ul style="list-style-type: none"> • request(1) • response(2) • success(3) • fail(4) • timeout(5) • idle(6) • initialize(7) [実装] 規格に同じ。	●
13	dot1xAuthAdminControlledDirections {dot1xAuthConfigEntry 3}	R/NW	[規格] ポートに対する管理上制御された方向パラメータの現在値。 [実装] both(0) 固定。	●
14	dot1xAuthOperControlledDirections {dot1xAuthConfigEntry 4}	R/O	[規格] ポートに対する操作上制御された方向パラメータの現在値。 [実装] both(0) 固定。	●
15	dot1xAuthAuthControlledPortStatus {dot1xAuthConfigEntry 5}	R/O	[規格] ポートに対する制御ポートの状態パラメータの現在値。 [実装] 規格に同じ。	●
16	dot1xAuthAuthControlledPortControl {dot1xAuthConfigEntry 6}	R/NW	[規格] ポートに対する制御ポートの制御パラメータの現在値。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	dot1xAuthQuietPeriod {dot1xAuthConfigEntry 7}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる現在の定数値 quietPeriod の値 (単位 : 秒)。 DEFVAL{60} [実装] 規格に同じ。 (0..65535)	●
18	dot1xAuthTxPeriod {dot1xAuthConfigEntry 8}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる現在の定数値 txPeriod の値 (単位 : 秒)。 DEFVAL{30} [実装] 規格に同じ。 (1..65535)	●
19	dot1xAuthSuppTimeout {dot1xAuthConfigEntry 9}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 suppTimeout の値 (単位 : 秒)。 DEFVAL{30} [実装] 規格に同じ。 (1..65535)	●
20	dot1xAuthServerTimeout {dot1xAuthConfigEntry 10}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 serverTimeout の値 (単位 : 秒)。 DEFVAL{30} [実装] 規格に同じ。	●
21	dot1xAuthMaxReq {dot1xAuthConfigEntry 11}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 maxReq の値。 DEFVAL{2} [実装] 規格に同じ。 (1..10)	●
22	dot1xAuthReAuthPeriod {dot1xAuthConfigEntry 12}	R/NW	[規格] 再認証タイマーステートマシンが用いる現在の定数値 reAuthperiod の値 (単位 : 秒)。 DEFVAL{3600} [実装] (0 または 1..65535) デフォルト : (3600) (0) の場合 本装置から自立的に再認証の EAPOL-Request/Identity を送出しない。	●
23	dot1xAuthReAuthEnabled {dot1xAuthConfigEntry 13}	R/NW	[規格] 再認証タイマーステートマシンが使用する enable/disable 制御。 DEFVAL{false(2)} [実装] 規格に同じ。	●
24	dot1xAuthKeyTxEnabled {dot1xAuthConfigEntry 14}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる定数値 keyTransmissionEnabled の現在値。 [実装] false(2) 固定。	●
25	dot1xAuthStatsTable {dot1xPaeAuthenticator 2}	NA	[規格] 各ポートに関連付けられた Authenticator PAE の統計データオブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格に同じ。	●
26	dot1xAuthStatsEntry {dot1xAuthStatsTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対する統計情報。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 規格に同じ。	●
27	dot1xAuthEapolFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 1}	R/O	[規格] Authenticator が受信したすべての有効なタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
28	dot1xAuthEapolFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 2}	R/O	[規格] Authenticator が送信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
29	dot1xAuthEapolStartFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 3}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL Start フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
30	dot1xAuthEapolLogoffFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 4}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL Logoff フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
31	dot1xAuthEapolRespIdFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 5}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAP Response/Identity フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
32	dot1xAuthEapolRespFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 6}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAP Response/Identity フレーム以外の有効な EAP Response フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
33	dot1xAuthEapolReqIdFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 7}	R/O	[規格] Authenticator が送信した EAP Request/Identity フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
34	dot1xAuthEapolReqFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 8}	R/O	[規格] Authenticator が送信した EAP Request/Identity フレーム以外の EAP Request フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
35	dot1xAuthInvalidEapolFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 9}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL フレームの中でフレームタイプが承認されなかったフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
36	dot1xAuthEapLengthErrorFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 10}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL フレームの中で Packet Body Length が無効なフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
37	dot1xAuthLastEapolFrameVersion {dot1xAuthStatsEntry 11}	R/O	[規格] Authenticator が最も最近受信した EAPOL フレームのプロトコルバージョン番号。 [実装] 規格に同じ。	●
38	dot1xAuthLastEapolFrameSource {dot1xAuthStatsEntry 12}	R/O	[規格] Authenticator が最も最近受信した EAPOL フレームの送信元 MACAddress。 [実装] 規格に同じ。	●
39	dot1xAuthDiagTable {dot1xPaeAuthenticator 3}	NA	[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対する診断オブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格に同じ。	●
40	dot1xAuthDiagEntry {dot1xAuthDiagTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対する診断情報のリスト。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 規格に同じ。	●
41	dot1xAuthEntersConnecting {dot1xAuthDiagEntry 1}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが他の状態から CONNECTING 状態に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
42	dot1xAuthEapLogoffsWhileConnecting {dot1xAuthDiagEntry 2}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが CONNECTING の時, EAPOL Logoff メッセージを受信した結果, DISCONNECTED に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
43	dot1xAuthEntersAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 3}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが CONNECTING の時, EAP Response/Identity メッセージを Supplicant から受信した結果, AUTHENTICATING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
44	dot1xAuthAuthSuccess WhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 4}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時, バックエンド認証ステートマシンが Supplicant の認証成功を示した結果 (authSuccess = TRUE), AUTHENTICATED に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
45	dot1xAuthAuthTimeout sWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 5}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時, バックエンド認証ステートマシンが認証タイムアウトを示した結果 (authTimeout = TRUE), ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
46	dot1xAuthAuthFailWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 6}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時, バックエンド認証ステートマシンが認証失敗を示した結果 (authFail = TRUE), HELD に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
47	dot1xAuthAuthReauths WhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 7}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時, 再認証要求の結果 (reAuthenticate = TRUE), ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
48	dot1xAuthAuthEapStartsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 8}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時, EAPOL Start メッセージを Supplicant から受信した結果, ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
49	dot1xAuthAuthEapLogoffWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 9}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時, EAPOL Logoff メッセージを Supplicant から受信した結果, ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
50	dot1xAuthAuthReauths WhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 10}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時, 再認証要求の結果 (reAuthenticate = TRUE), CONNECTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
51	dot1xAuthAuthEapStartsWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 11}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時, Supplicant から受信した EAPOL Start メッセージの結果, CONNECTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
52	dot1xAuthAuthEapLogoffWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 12}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時, Supplicant から受信した EAPOL Logoff メッセージの結果, DISCONNECTED に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
53	dot1xAuthBackendResponses {dot1xAuthDiagEntry 13}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが最初の Access Request パケットを認証サーバに送信した回数 (すなわち, RESPONSE 状態で sendRespToServer を実行する)。 [実装] 規格に同じ。	●
54	dot1xAuthBackendAccessChallenges {dot1xAuthDiagEntry 14}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから最初の Access Challenge パケットを受信した回数 (すなわち, aReq は "TRUE" となり, RESPONSE 状態を終了する原因となる)。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
55	dot1xAuthBackendOtherRequestsToSupplicant {dot1xAuthDiagEntry 15}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが Supplicant に EAP Request (Identity, Notification, Failure または Success メッセージ以外) を送信した回数 (すなわち, REQUEST 状態で txReq を実行する)。このことは Authenticator が EAP method を選択することを示唆している。 [実装] 規格に同じ。	●
56	dot1xAuthBackendNonNakResponsesFromSupplicant {dot1xAuthDiagEntry 16}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが Supplicant から最初の EAP Request に対する応答や, EAP NAK 以外の何らかの応答を受け取った回数 (すなわち rxResp は "TRUE" となり, バックエンド認証ステートマシンが REQUEST から RESPONSE に移行する。応答は EAP NAK ではない)。このことは Supplicant が Authenticator の選んだ EAP method に応答することができることを示唆している。 [実装] 規格に同じ。	●
57	dot1xAuthBackendAuthSuccesses {dot1xAuthDiagEntry 17}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから EAP Success メッセージを受信した回数 (すなわち, aSuccess が "TRUE" となり, バックエンド認証ステートマシンが RESPONSE から SUCCESS に移行する)。このことは Supplicant が認証サーバに認証されたことを示唆する。 [実装] 規格に同じ。	●
58	dot1xAuthBackendAuthFails {dot1xAuthDiagEntry 18}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから EAP Failure メッセージを受信した回数 (すなわち, aFail は "TRUE" となり, バックエンド認証ステートマシンが RESPONSE から FAIL に移行する)。このことは Supplicant が認証サーバに認証されなかったことを示唆する。 [実装] 規格に同じ。	●
59	dot1xAuthSessionStatsTable {dot1xPaeAuthenticator 4}	NA	[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対するセッション統計データオブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格に同じ。	●
60	dot1xAuthSessionStatsEntry {dot1xAuthSessionStatsTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対するセッション統計情報のリスト。現在継続中の各セッションで集計した値、または現在アクティブでない各ポートでの最後の有効なセッションに対する最終的な値を見ることができる。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 規格に同じ。	●
61	dot1xAuthSessionOctetsRx {dot1xAuthSessionStatsEntry 1}	R/O	[規格] セッション中にポート上で受信したユーザデータフレームのオクテット数。 [実装] 0 固定。	▲
62	dot1xAuthSessionOctetsTx {dot1xAuthSessionStatsEntry 2}	R/O	[規格] セッション中にポート上で送信したユーザデータフレームのオクテット数。 [実装] 0 固定。	▲
63	dot1xAuthSessionFramesRx {dot1xAuthSessionStatsEntry 3}	R/O	[規格] セッション中にポート上で受信したユーザデータフレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
64	dot1xAuthSessionFramesTx {dot1xAuthSessionStatsEntry 4}	R/O	[規格] セッション中にポート上で送信したユーザデータフレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
65	dot1xAuthSessionId {dot1xAuthSessionStatsEntry 5}	R/O	[規格] セッションに対するユニークな識別子。3 文字以上の表示可能な ASCII 文字列の形式。 [実装] UnInitialized 固定。	▲

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
66	dot1xAuthSessionAuthenticMethod {dot1xAuthSessionStatsEntry 6}	R/O	[規格] セッションを確立するのに用いられる認証方式。 INTEGER {remoteAuthServer(1),localAuthServer(2)} [実装] 規格に同じ。 remoteAuthServer(1) 固定。	●
67	dot1xAuthSessionTime {dot1xAuthSessionStatsEntry 7}	R/O	[規格] セッションの持続期間（単位：秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
68	dot1xAuthSessionTerminateCause {dot1xAuthSessionStatsEntry 8}	R/O	[規格] セッション終了の理由。 <ul style="list-style-type: none"> • supplicantLogoff(1) • portFailure(2) • supplicantRestart(3) • reauthFailed(4) • authControlForceUnauth(5) • portReInit(6) • portAdminDisabled(7) • notTerminatedYet(999) [実装] 規格に同じ。 notTerminatedYet(999) 固定。	▲
69	dot1xAuthSessionUserName {dot1xAuthSessionStatsEntry 9}	R/O	[規格] Supplicant PAE を識別するユーザ名。 [実装] UnInitialized 固定。	▲
70	dot1xSuppConfigTable {dot1xPaeSupplicant 1}	NA	[規格] 各ポートの Supplicant PAE に対する構成オブジェクトテーブル。リモートシステムよりアクセスした場合、認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 未実装。	×
71	dot1xSuppConfigEntry {dot1xSuppConfigTable 1}	NA	[規格] Supplicant PAE に対するコンフィグレーションのリスト。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 未実装。	×
72	dot1xSuppPaeState {dot1xSuppConfigEntry 1}	R/O	[規格] Supplicant PAE ステートマシンの現在の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • disconnected(1) • logoff(2) • connecting(3) • authenticating(4), • authenticated(5) • acquired(6) • held(7) [実装] 未実装。	×
73	dot1xSuppHeldPeriod {dot1xSuppConfigEntry 2}	R/NW	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 heldPeriod の値（単位：秒）。 DEFVAL{60} [実装] 未実装。	×
74	dot1xSuppAuthPeriod {dot1xSuppConfigEntry 3}	R/NW	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 authPeriod の値（単位：秒）。 DEFVAL{30} [実装] 未実装。	×
75	dot1xSuppStartPeriod {dot1xSuppConfigEntry 4}	R/NW	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 startPeriod の値（単位：秒）。 DEFVAL{30} [実装] 未実装。	×

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
76	dot1xSuppMaxStart {dot1xSuppConfigEntry 5}	R/NW	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 maxStart の値。 DEFVAL{3} [実装] 未実装。	×
77	dot1xSuppStatsTable {dot1xPaeSupplicant 2}	NA	[規格] 各ポートの Supplicant PAE に対する統計オブジェクトテーブル。リモートシステムよりアクセスした場合、認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 未実装。	×
78	dot1xSuppStatsEntry {dot1xSuppStatsTable 1}	NA	[規格] Supplicant PAE に対する統計情報のリスト。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 未実装。	×
79	dot1xSuppEapolFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 1}	R/O	[規格] Supplicant が受信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 未実装。	×
80	dot1xSuppEapolFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 2}	R/O	[規格] Supplicant が送信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 未実装。	×
81	dot1xSuppEapolStartFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 3}	R/O	[規格] Supplicant が送信した EAPOL Start フレーム数。 [実装] 未実装。	×
82	dot1xSuppEapolLogoffFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 4}	R/O	[規格] Supplicant が送信した EAPOL Logoff フレーム数。 [実装] 未実装。	×
83	dot1xSuppEapolRespIdFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 5}	R/O	[規格] Supplicant が送信した EAP Response/Identity フレーム数。 [実装] 未実装。	×
84	dot1xSuppEapolRespFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 6}	R/O	[規格] Supplicant が送信した有効な EAP Response フレーム数 (Response/Identity フレーム以外)。 [実装] 未実装。	×
85	dot1xSuppEapolReqIdFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 7}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAP Request/Identity フレーム数。 [実装] 未実装。	×
86	dot1xSuppEapolReqFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 8}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAP Request フレーム数 (Request/Identity フレーム以外)。 [実装] 未実装。	×
87	dot1xSuppInvalidEapolFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 9}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAPOL フレーム内でフレームタイプが認識されなかったフレーム数。 [実装] 未実装。	×
88	dot1xSuppEapLengthErrorFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 10}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAPOL フレーム内で Packet Body Length が無効なフレーム数。 [実装] 未実装。	×

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
89	dot1xSuppLastEapolFrameVersion {dot1xSuppStatsEntry 11}	R/O	[規格]Supplicant が最も最近受信した EAPOL フレームのプロトコルバージョン番号。 [実装]未実装。	×
90	dot1xSuppLastEapolFrameSource {dot1xSuppStatsEntry 12}	R/O	[規格]Supplicant が最も最近受信した EAPOL フレームの送信元 MAC アドレス。 [実装]未実装。	×

2.17 snmpModules グループ

2.17.1 snmpFrameworkMIB グループ (SNMP FRAMEWORK MIB)

snmpFrameworkMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3411 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

```
snmpFrameworkMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 10}
snmpFrameworkMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpFrameworkMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.10.2
snmpEngine          OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpFrameworkMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.10.2.1
```

(2) 実装仕様

snmpFrameworkMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-37 snmpFrameworkMIB グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpEngineID {snmpEngine 1}	R/O	[規格] SNMP エンジン管理のための ID。 ただし、オール 0, オール 0xff, 空 (0 バイト長) にはならない。 [実装] 規格に同じ。詳細はコンフィグレーションコマンド snmp-server engineID local を参照してください。	●
2	snmpEngineBoots {snmpEngine 2}	R/O	[規格] snmpEngineID が最後に設定されてからの（再）初期化回数。 [実装] 規格に同じ。本装置の SNMP エージェントは省電力スリープ 終了時にも初期化されます。	●
3	snmpEngineTime {snmpEngine 3}	R/O	[規格] snmpEngineBoots がインクリメントされてからの経過時間 (単位:秒)。 ただし、最大値を超えたたら 0 にリセットされ、snmpEngineBoots が インクリメントされる。 [実装] 規格に同じ。	●
4	snmpEngineMaxMessageSize {snmpEngine 4}	R/O	[規格] snmp エンジンが送受信できるメッセージの最大サイズ。 [実装] 規格に同じ。2048 固定。	●

2.17.2 snmpMPDMIB グループ (SNMP MPD MIB)

snmpMPDMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3412 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

```
snmpMPDMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 11}
snmpMPDMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpMPDMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.11.2
snmpMPDStats      OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpMPDMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.11.2.1
```

(2) 実装仕様

snmpMPDMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-38 snmpMPDMIB グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpUnknownSecurityModels {snmpMPDStats 1}	R/O	[規格] サポート外 securityModel のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	snmpInvalidMsgs {snmpMPDStats 2}	R/O	[規格] メッセージ不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	snmpUnknownPDUHandlers {snmpMPDStats 3}	R/O	[規格] アプリケーションで処理できない PDU を含んでいたため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.17.3 snmpTargetMIB グループ (SNMP TARGET MIB)

snmpTargetMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3413 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

```
snmpTargetMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 12}

snmpTargetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpTargetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.12.1
```

(2) 実装仕様

snmpTargetMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-39 snmpTargetMIB グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpTargetSpinLock {snmpTargetObjects 1}	R/NW	[規格] 複数のマネージャから SNMP-TARGET-MIB モジュールのテーブルエントリが変更要求を受けた場合のロック操作に使用される。 [実装] 不定値。	▲
2	snmpTargetAddrTable {snmpTargetObjects 2}	NA	[規格] SNMP メッセージ生成時に使われる伝送アドレステーブル。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server host で登録された SNMPv3 に関する情報を提供します。	●
3	snmpTargetAddrEntry {snmpTargetAddrTable 1}	NA	[規格] SNMP メッセージ生成時に使われる伝送アドレスエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetAddrName } [実装] 規格に同じ。	●
4	snmpTargetAddrName {snmpTargetAddrEntry 1}	NA	[規格] snmpTargetAddEntry の名前。 [実装] 規格に同じ。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の <manager-address> に対応します。	●
5	snmpTargetAddrTDomain {snmpTargetAddrEntry 2}	R/NC	[規格] snmpTargetAddrTAddress オブジェクトのアドレスの伝送タイプ。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	snmpTargetAddrTAddress {snmpTargetAddrEntry 3}	R/NC	[規格] 伝送アドレス。 本アドレスのフォーマットは、snmpTargetAddrTDomain で示される。 [実装] 規格に同じ。SNMP マネージャーの IP アドレスと UDP ポート番号。	●
7	snmpTargetAddrTimeout {snmpTargetAddrEntry 4}	R/NC	[規格] 本エントリで定義される伝送アドレスと通信したときのタイムアウト値（単位：10 ミリ秒）。 デフォルト値=1500。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
8	snmpTargetAddrRetryCount {snmpTargetAddrEntry 5}	R/NC	[規格] 送信メッセージのレスポンスが届かなかった時のデフォルトのリトライ回数。 デフォルト値=3。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	●
9	snmpTargetAddrTagList {snmpTargetAddrEntry 6}	R/NC	[規格] snmpNotifyTag のリスト。 デフォルト値=""。 [実装] 規格に同じ。"TRAP" 固定。	●
10	snmpTargetAddrParams {snmpTargetAddrEntry 7}	R/NC	[規格] snmpTargetParamsTable のエントリ。 [実装] 規格に同じ。snmpTargetAddrName と同じ値。	●
11	snmpTargetAddrStorageType {snmpTargetAddrEntry 8}	R/NC	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値=nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
12	snmpTargetAddrRowStatus {snmpTargetAddrEntry 9}	R/NC	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合、snmpTargetAddrTDomain, snmpTargetAddrTAddress, snmpTargetAddrParams が設定されるまで notReady (3) が設定される。ただし、本オブジェクトが active (1) の場合、snmpTargetAddrTDomain, snmpTargetAddrTAddress を変更してはならない。 [実装] 規格に同じ。active (1) 固定。	●
13	snmpTargetParamsTable {snmpTargetObjects 3}	NA	[規格] SNMP メッセージ作成時に使われる SNMP 対象の情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server host で登録された SNMPv3 に関する情報を提供します。	●
14	snmpTargetParamsEntry {snmpTargetParamsTable 1}	NA	[規格] SNMP メッセージ作成時に使われる SNMP 対象の情報エントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetParamsName } [実装] 規格に同じ。	●
15	snmpTargetParamsName {snmpTargetParamsEntry 1}	NA	[規格] snmpTargetParamsEntry の名前。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server host の <manager-address> に対応します。	●
16	snmpTargetParamsMPModel {snmpTargetParamsEntry 2}	R/NC	[規格] SNMP メッセージを生成するときに用いるメッセージ処理モデル。 0 ~ 255 は IANA で管理される。 <ul style="list-style-type: none">• 0 : SNMPv1• 1 : SNMPv2C• 2 : SNMPv2u, SNMPv2*• 3 : SNMPv3 256 以上は企業独自。 [実装] 規格に同じ。SNMPv3 (3) 固定。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	snmpTargetParamsSecurityModel {snmpTargetParamsEntry 3}	R/NC	[規格] SNMP メッセージを生成するときのセキュリティモデル。 1 ~ 255 は IANA で管理される。 • 0 : 特定のモデルなし • 1 : SNMPv1 • 2 : SNMPv2C • 3 : User-Based Security Model (USM) 256 以上は企業独自。 [実装] 規格に同じ。 USM (3) 固定。	●
18	snmpTargetParamsSecurityName {snmpTargetParamsEntry 4}	R/NC	[規格] SNMP メッセージが生成されるときに用いられた手法を示す securityName。 [実装] 規格に同じ。	●
19	snmpTargetParamsSecurityLevel {snmpTargetParamsEntry 5}	R/NC	[規格] SNMP メッセージ生成時のセキュリティレベル。 • noAuthNoPriv (1) : 認証なし, プライバシーなし • authNoPriv (2) : 認証あり, プライバシーなし • authPriv (3) : 認証あり, プライバシーあり [実装] 規格に同じ。	●
20	snmpTargetParamsStorageType {snmpTargetParamsEntry 6}	R/NC	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
21	snmpTargetParamsRowStatus {snmpTargetParamsEntry 7}	R/NC	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合, snmpTargetParamsMPModel, snmpTargetParamsSecurityModel, snmpTargetParamsSecurityName, snmpTargetParamsSecurityLevel が設定されるまで notReady (3) が設定される。ただし、本オブジェクトが active (1) の場合, snmpTargetParamsMPModel, snmpTargetParamsSecurityModel, snmpTargetParamsSecurityName, snmpTargetParamsSecurityLevel を変更してはならない。 [実装] 規格に同じ。 active (1) 固定。	●
22	snmpUnavailableContexts {snmpTargetObjects 4}	R/O	[規格] メッセージ中のコンテキストが利用不可のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。 0 固定。	●
23	snmpUnknownContexts {snmpTargetObjects 5}	R/O	[規格] メッセージ中のコンテキストが理解不可のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.17.4 snmpNotificationMIB グループ (SNMP NOTIFICATION MIB)

snmpNotificationMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3413 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

```
snmpNotificationMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 13}
snmpNotifyObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpNotificationMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.13.1
```

(2) 実装仕様

snmpNotificationMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-40 snmpNotificationMIB グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpNotifyTable {snmpNotifyObjects 1}	NA	[規格] Notification を受信する管理対象および選択された管理対象に対して送られる Notification の型を特定するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	snmpNotifyEntry {snmpNotifyTable 1}	NA	[規格] Notification を受信する管理対象群および選択された管理対象に対して送られる Notification の型を特定するエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpNotifyName } [実装] 規格に同じ。	●
3	snmpNotifyName {snmpNotifyEntry 1}	NA	[規格] snmpNotifyEntry の名前。 [実装] 規格に同じ。 snmpNotifyTag と同じ値。	●
4	snmpNotifyTag {snmpNotifyEntry 2}	R/NC	[規格] snmpTargetAddrTable のエントリを特定するためのタグ値。 デフォルト値 = ""。 [実装] 規格に同じ。 "TRAP" 固定。	●
5	snmpNotifyType {snmpNotifyEntry 3}	R/NC	[規格] Notification の型。 デフォルト値 = trap (1)。 • trap (1) • inform (2) [実装] 規格に同じ。 trap (1) 固定。	●
6	snmpNotifyStorageType {snmpNotifyEntry 4}	R/NC	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値 = nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
7	snmpNotifyRowStatus {snmpNotifyEntry 5}	R/NC	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。 active (1) 固定。	●
8	snmpNotifyFilterProfile Table {snmpNotifyObjects 2}	NA	[規格] Notification フィルタ定義を特定の対象パラメータに結びつけるテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
9	snmpNotifyFilterProfile Entry {snmpNotifyFilterProfil eTable 1}	NA	[規格] Notification を生成する時に使用するフィルタ定義エントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetParamsName } [実装] 規格に同じ。	●
10	snmpNotifyFilterProfile Name {snmpNotifyFilterProfil eEntry 1}	R/NC	[規格] フィルタ定義の名前。 snmpTargetParamsTable と関連付けられる。 [実装] 規格に同じ。 snmpTargetAddrName と同じ値。	●
11	snmpNotifyFilterProfile StorageType {snmpNotifyFilterProfil eEntry 2}	R/NC	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値 = nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
12	snmpNotifyFilterProfile RowStatus {snmpNotifyFilterProfil eEntry 3}	R/NC	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合、 snmpNotifyFilterProfileName が設定されるまで notReady (3) が設定される。 [実装] 規格に同じ。 active (1) 固定。	●
13	snmpNotifyFilterTable {snmpNotifyObjects 3}	NA	[規格] 管理対象が Notification を受信するか決めるために使用するフィルタ定義のテーブル。 [実装] 規格に同じ。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host で登録された SNMP バージョン 3 に関する情報を提供します。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
14	snmpNotifyFilterEntry {snmpNotifyFilterTable 1}	NA	[規格] 管理対象が Notification を受信するか決めるために使用する フィルタ定義のエントリ。 INDEX { snmpNotifyFilterProfileName, IMPLIED snmpNotifyFilterSubtree } [実装] 規格に同じ。	●
15	snmpNotifyFilterSubtree {snmpNotifyFilterEntry 1}	NA	[規格] snmpNotifyFilterMask の対応するインスタンスに組み合わさ れるとき、フィルタ定義に含む、もしくは除外するサブツリーファミ リを定義する MIB サブツリー。 [実装] 規格に同じ。	●
16	snmpNotifyFilterMask {snmpNotifyFilterEntry 2}	R/NC	[規格] snmpNotifyFilterSubtree の対応するインスタンスに組み合わ れるとき、フィルタ定義に含む、もしくは除外するサブツリーファ ミリを定義するビットマスク。 • '1' : 正確に合致する • '0' : ワイルドキャラ もしこのオブジェクトの長さが 0 であれば、この拡張規則は、すべて 1 でパディングになり、フィルタサブツリーファミリは snmpNotifyFilterSubtree の対応インスタンスによりユニークに特定 されるサブツリーになる。 デフォルト値 = "H。 [実装] 規格に同じ。	●
17	snmpNotifyFilterType {snmpNotifyFilterEntry 3}	R/NC	[規格] このオブジェクトは本エントリで定義されるフィルタサブツ リーファミリがフィルタに含まれるか除外されるかを示す。 デフォルト値 = included。 • included (1) • excluded (2) [実装] 規格に同じ。	●
18	snmpNotifyFilterStorageType {snmpNotifyFilterEntry 4}	R/NC	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値 = nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
19	snmpNotifyFilterRowStatus {snmpNotifyFilterEntry 5}	R/NC	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。 active (1) 固定。	●

2.17.5 snmpUsmMIB グループ (SNMP USER BASED SM MIB)

snmpUsmMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3414 (2002 年 12 月)
- RFC3826 (2004 年 6 月)
- RFC7860 (2016 年 4 月)

(1) 識別子

```

snmpUsmMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 15}

usmMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpUsmMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1

usmStats      OBJECT IDENTIFIER ::= {usmMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1.1

usmUser       OBJECT IDENTIFIER ::= {usmMIBObjects 2}

```

オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1.2

(2) 実装仕様

snmpUsmMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-41 snmpUsmMIB グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	usmStatsUnsupportedSecurityLevels {usmStats 1}	R/O	[規格] セキュリティレベル不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	usmStatsNotInTimeWindows {usmStats 2}	R/O	[規格] WindowTime が範囲外のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	usmStatsUnknownUserNames {usmStats 3}	R/O	[規格] ユーザ不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	usmStatsUnknownEngineIDs {usmStats 4}	R/O	[規格] 認識外の snmpEngineID を参照しているため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	usmStatsWrongDigests {usmStats 5}	R/O	[規格] 期待されるダイジェスト値を含んでいないため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	usmStatsDecryptionErrors {usmStats 6}	R/O	[規格] 復号できなかったため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	usmUserSpinLock {usmUser 1}	R/NW	[規格] usmUserTable の秘密を変更する場合のロック操作に使用される。 [実装] 不定値。	▲
8	usmUserTable {usmUser 2}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD (Local Configuration Datastore) に構成されるユーザテーブル。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server user で登録された情報を提供します。	●
9	usmUserEntry {usmUserTable 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD (Local Configuration Datastore) に構成されるユーザテーブルのエントリ。 INDEX { usmUserEngineID, usmUserName } [実装] 規格に同じ。	●
10	usmUserEngineID {usmUserEntry 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの管理のための ID。 [実装] 規格に同じ。snmpEngineID と同じ値。	●
11	usmUserName {usmUserEntry 2}	NA	[規格] ユーザを示す判読可能な名前。 これは USM が依存するセキュリティ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
12	usmUserSecurityName {usmUserEntry 3}	R/O	[規格] セキュリティモデルに依存しない形式のユーザを示す判読可能な名前。usmUserName と同じ値。 [実装] 規格に同じ。	●
13	usmUserCloneFrom {usmUserEntry 4}	R/NC	[規格] 新しいエントリを追加する際に複製元となる別のエントリへのポインタ。 このオブジェクトが読まれる場合、0.0 のオブジェクト ID が返される。 [実装] オブジェクト識別子 zeroDotZero。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
14	usmUserAuthProtocol {usmUserEntry 5}	R/NC	[規格] usmUserEngineID によって示される SNMP エンジンの認証プロトコル。 [実装] 規格に同じ。 ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server user で指定した認証プロトコルに対応します。	●
15	usmUserAuthKeyChange {usmUserEntry 6}	R/NC	[規格] usmUserEngineID によって示される snmp エンジンの認証キーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と異なる場合に設定される。 このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値 = "H。 [実装] 空の文字列。	●
16	usmUserOwnAuthKeyChange {usmUserEntry 7}	R/NC	[規格] usmUserEngineID によって示される snmp エンジンの認証キーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と等しい場合に設定される。 このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値 = "H。 [実装] 空の文字列。	●
17	usmUserPrivProtocol {usmUserEntry 8}	R/NC	[規格] usmUserEngineID によって示される SNMP エンジンのプライバシープロトコルが使用。 デフォルト値 = usmNoPrivProtocol。 [実装] 規格に同じ。 ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server user で指定したプライバシープロトコルに対応します。	●
18	usmUserPrivKeyChange {usmUserEntry 9}	R/NC	[規格] usmUserEngineID によって示されるプライバシーキーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と異なる場合に設定される。 このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値 = "H。 [実装] 空の文字列。	●
19	usmUserOwnPrivKeyChange {usmUserEntry 10}	R/NC	[規格] usmUserEngineID によって示されるプライバシーキーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と等しい場合に設定される。 このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値 = "H。 [実装] 空の文字列。	●
20	usmUserPublic {usmUserEntry 11}	R/NC	[規格] ユーザの認証キー、プライバシーキーを変更する処理で生成される値。 後でキーの変更が有効であったか判定するために利用できる。 デフォルト値 = "H。 [実装] 空の文字列。	●
21	usmUserStorageType {usmUserEntry 12}	R/NC	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
22	usmUserStatus {usmUserEntry 13}	R/NC	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。active (1) 固定。	●

2.17.6 snmpVacmMIB グループ (SNMP VIEW BASED ACM MIB)

snmpVacmMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3415 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

```
snmpVacmMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 16}

vacmMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpVacmMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.16.1

vacmMIBViews OBJECT IDENTIFIER ::= {vacmMIBObjects 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.16.1.5
```

(2) 実装仕様

snmpVacmMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-42 snmpVacmMIB グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	vacmContextTable {vacmMIBObjects 1}	NA	[規格] ローカルに利用可能なコンテキストテーブル。 [実装] 規格に同じ。本装置はデフォルトコンテキストだけを持ちます。	●
2	vacmContextEntry {vacmContextTable 1}	NA	[規格] ローカルに利用可能なコンテキストテーブルのエントリ。 INDEX { vacmContextName } [実装] 規格に同じ。	●
3	vacmContextName {vacmContextEntry 1}	R/O	[規格] 特定の SNMP エンティティの特定のコンテキストを示す読み解可能な名前。 空の contextName は、デフォルトコンテキストを示す。 [実装] 規格に同じ。空の文字列。	●
4	vacmSecurityToGroupTable {vacmMIBObjects 2}	NA	[規格] 操作者グループへのアクセス・コントロールポリシーを定義するためには使われるテーブル。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server user で登録された情報を提供します。	●
5	vacmSecurityToGroupEntry {vacmSecurityToGroupTable 1}	NA	[規格] 操作者グループへのアクセス・コントロールポリシーを定義するためには使われるエントリ。 securityModel と securityName をペアにした groupName を示す。 INDEX { vacmSecurityModel, vacmSecurityName } [実装] 規格に同じ。	●
6	vacmSecurityModel {vacmSecurityToGroupEntry 1}	NA	[規格] 本エントリで参照される vacmSecurityName のセキュリティモデル。 0 は指定できない。 1 ~ 255 は IANA で管理される。 • 0 : 特定のモデルなし • 1 : SNMPv1 • 2 : SNMPv2C • 3 : User-Based Security Model (USM) 256 以上は企業独自。 [実装] 規格に同じ。USM (3) 固定。	●
7	vacmSecurityName {vacmSecurityToGroupEntry 2}	NA	[規格] 本エントリの securityName。本エントリから groupName に対応付けるために使用される。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	vacmGroupName {vacmSecurityToGroupEntry 3}	R/NC	[規格] 本エントリが所属するグループ名。 [実装] 規格に同じ。	●
9	vacmSecurityToGroupStorageType {vacmSecurityToGroupEntry 4}	R/NC	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
10	vacmSecurityToGroupStatus {vacmSecurityToGroupEntry 5}	R/NC	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合、 vacmGroupName が設定されるまで notReady (3) が設定される。 [実装] 規格に同じ。 active (1) 固定。	●
11	vacmAccessTable {vacmMIBObjects 4}	NA	[規格] グループのアクセス権のテーブル。 [実装] 規格に同じ。 コンフィグレーションコマンド snmp-server group で登録された情報を提供します。	●
12	vacmAccessEntry {vacmAccessTable 1}	NA	[規格] グループのアクセス権のエントリ。 INDEX { vacmGroupName, vacmAccessContextPrefix, vacmAccessSecurityModel, vacmAccessSecurityLevel } [実装] 規格に同じ。	●
13	vacmAccessContextPrefix {vacmAccessEntry 1}	NA	[規格] 本エントリでアクセス権を取得するために比較する値。 [実装] 規格に同じ。 デフォルトコンテキストを意味する空の文字列。	●
14	vacmAccessSecurityModel {vacmAccessEntry 2}	NA	[規格] 本エントリのアクセス権を取得する為に必要な securityModel。 1 ~ 255 は IANA で管理される。 • 0 : 特定のモデルなし • 1 : SNMPv1 • 2 : SNMPv2C • 3 : User-Based Security Model (USM) 256 以上は企業独自。 [実装] 規格に同じ。 USM (3) 固定。	●
15	vacmAccessSecurityLevel {vacmAccessEntry 3}	NA	[規格] 本エントリのアクセス権を取得する為に必要なセキュリティレベル。 • noAuthNoPriv (1) : 認証なし, プライバシーなし • authNoPriv (2) : 認証あり, プライバシーなし • authPriv (3) : 認証あり, プライバシーあり [実装] 規格に同じ。	●
16	vacmAccessContextMatch {vacmAccessEntry 4}	R/NC	[規格] • exact (1) : contextName が vacmAccessContextPrefix に正確にマッチするすべての行エントリが選択される。 • prefix (2) : contextName の先頭文字が vacmAccessContextPrefix に正確にマッチするすべての行エントリが選択される。 デフォルト値 =exact。 [実装] 規格に同じ。 exact (1) 固定。	●
17	vacmAccessReadViewName {vacmAccessEntry 5}	R/NC	[規格] 本エントリが読み込みアクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。 デフォルト値 ="H。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
18	vacmAccessWriteViewName {vacmAccessEntry 6}	R/NC	[規格] 本エントリが書き込みアクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。 デフォルト値 = "H。 [実装] 規格に同じ。	●
19	vacmAccessNotifyViewName {vacmAccessEntry 7}	R/NC	[規格] 本エントリが notifications アクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。 デフォルト値 = "H。 [実装] 規格に同じ。	●
20	vacmAccessStorageType {vacmAccessEntry 8}	R/NC	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値 = nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
21	vacmAccessStatus {vacmAccessEntry 9}	R/NC	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。 active (1) 固定。	●
22	vacmViewSpinLock {vacmMIBViews 1}	R/NW	[規格] ビュー作成もしくは変更の SET 操作を行うため、共同する SNMP コマンドジェネレータアプリケーションに協調を許すための勧告ロック。 これは、勧告ロックであるので、使用は強制でない。 [実装] 不定値。	▲
23	vacmViewTreeFamilyTable {vacmMIBViews 2}	NA	[規格] MIB ビューのサブツリーファミリの情報のローカル保存テーブル。 すべてのビューサブツリーは、包含も除外も、このテーブルで定義される。 [実装] 規格に同じ。 コンフィグレーションコマンド snmp-server view で登録された情報を提供します。	●
24	vacmViewTreeFamilyEntry {vacmViewTreeFamilyTable 1}	NA	[規格] MIB ビューのサブツリーファミリの情報のローカル保存エンタリ。 INDEX { vacmViewTreeFamilyViewName, vacmViewTreeFamilySubtree } [実装] 規格に同じ。	●
25	vacmViewTreeFamilyViewName {vacmViewTreeFamilyEntry 1}	NA	[規格] 目視で判読可能なビューサブツリーファミリの名前。 [実装] 規格に同じ。	●
26	vacmViewTreeFamilySubtree {vacmViewTreeFamilyEntry 2}	NA	[規格] ビューサブツリーファミリを定義する MIB サブツリー。 [実装] 規格に同じ。	●
27	vacmViewTreeFamilyMask {vacmViewTreeFamilyEntry 3}	R/NC	[規格] vacmViewTreeFamilySubtree のマスク値。 • 1 : 正確な一致が発生しなければならない。 • 0 : 'wild card' を示す。 このオブジェクトの長さが 0 の場合、すべて '1' のマスクが使用される。 [実装] 規格に同じ。	●
28	vacmViewTreeFamilyType {vacmViewTreeFamilyEntry 4}	R/NC	[規格] MIB ビューの包含または除外を示す。 デフォルト値 = included。 • included (1) • excluded (2) [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
29	vacmViewTreeFamilyStorageType {vacmViewTreeFamilyEntry 5}	R/NC	[規格] このエントリの保存形式。 デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
30	vacmViewTreeFamilyStatus {vacmViewTreeFamilyEntry 6}	R/NC	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。 active (1) 固定。	●

2.18 lldpV2MIB グループ

lldpV2MIB グループの準拠規格を次に示します。

- LLDP-V2-MIB (2009 年 6 月)
- LLDP-EXT-DOT1-V2-MIB (2009 年 6 月)

注意事項

識別子 ieee802dot1 および ieee802dot1mibs について

- 本 MIB のオブジェクト識別子を指定して本装置外から GetNextRequest オペレーションを実行すると、正しい値が取得できないおそれがあります。

2.18.1 lldpV2Configuration グループ

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbers-series-standards
            OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-Man-stds   OBJECT IDENTIFIER ::= {standards-association-numbers-series-standards 802}
ieee802dot1    OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-Man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
lldpV2MIB      OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 13}

lldpV2Objects   OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.13.1
lldpV2Configuration OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Objects 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.13.1.1

```

(2) 実装仕様

lldpV2Configuration グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-43 lldpV2Configuration グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	lldpV2MessageTxInterval {lldpV2Configuration 1}	R/NW	[規格] LLDP フレームの送信間隔。 デフォルト値 : 30 (秒) [実装] 規格に同じ。	●
2	lldpV2MessageTxHoldMultiplier {lldpV2Configuration 2}	R/NW	[規格] LLDP フレームヘッダに搭載する、LLDP フレームの TTL を決定するための値。 TTL (秒) = lldpV2MessageTxHoldMultiplier × lldpV2MessageTxInterval ただし、TTL の最大値は 65535 秒とする。 デフォルト値 : 4 [実装] 規格に同じ。	●
3	lldpV2ReinitDelay {lldpV2Configuration 3}	R/NW	[規格] lldpV2PortConfigAdminStatus が disabled になったとき、再度初期化処理をするまでの時間。 デフォルト値 : 2 (秒) [実装] 2 (秒) 固定。	●
4	lldpV2NotificationInterval {lldpV2Configuration 4}	R/NW	[規格] 隣接装置の情報更新によるトラップの送信間隔を示す。送信間隔以内に複数回隣接装置の情報更新が発生しても、トラップの送信は1回だけとなる。 デフォルト値 : 30 (秒) [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセ	実装仕様	実装有無
5	lldpV2TxCreditMax {lldpV2Configuration 5}	R/NW	[規格] 連続送信 LLDPDUs の最大数。 デフォルト値 : 5 (PDUs) [実装] 5 (PDUs) 固定。	●
6	lldpV2MessageFastTx {lldpV2Configuration 6}	R/NW	[規格] 隣接装置の情報更新による LLDP フレーム送信間隔。 デフォルト値 : 1 (秒) [実装] 1 (秒) 固定。	●
7	lldpV2TxFastInit {lldpV2Configuration 7}	R/NW	[規格] 隣接装置の情報更新による LLDP フレーム送信数。 デフォルト値 : 4 [実装] 4 固定。	●
8	lldpV2PortConfigTable {lldpV2Configuration 8}	NA	[規格] LLDP フレームを送受信するためのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
9	lldpV2PortConfigEntry {lldpV2PortConfigTable 1}	NA	[規格] LLDP フレームを送受信するためのテーブルエントリ (ポートごと)。 INDEX { lldpV2PortConfigIfIndex, lldpV2PortConfigDestAddressIndex } [実装] 規格に同じ。	●
10	lldpV2PortConfigIfIndex {lldpV2PortConfigEntry 1}	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifIndex と同じ。 [実装] 規格に同じ。	●
11	lldpV2PortConfigDestAddressIndex {lldpV2PortConfigEntry 2}	NA	[規格] LLDP 管理アドレスインデックス。 [実装] 規格に同じ。	●
12	lldpV2PortConfigAdminStatus {lldpV2PortConfigEntry 3}	R/NW	[規格] LLDP フレーム送受信に関する自装置のポート状態。 • txOnly (1) • rxOnly (2) • txAndRx (3) • disabled (4) デフォルト値 : txAndRx (3) [実装] txAndRx (3) と disabled (4) だけ使用できる。	●
13	lldpV2PortConfigNotificationEnable {lldpV2PortConfigEntry 4}	R/NW	[規格] ポートごとに、トラップの送信が有効かどうかを示す。 • true (1) : トラップの送信が有効 • false (2) : トラップの送信が無効 デフォルト値 : false (2) [実装] IEEE Std 802.1AB-2009 : true (1) IEEE Std 802.1AB-2005 : false(2)	●
14	lldpV2PortConfigTLVsTxEnable {lldpV2PortConfigEntry 5}	R/NW	[規格] 自装置の送信 LLDP TLV のオプションを示す。 < bit テーブル > • portDesc (0) : Port Description TLV • sysName (1) : System Name TLV • sysDesc (2) : System Description TLV • sysCap (3) : System Capabilities TLV デフォルト : 全 bit off [実装] IEEE Std 802.1AB-2009 : 0xf0 (portDesc (0), sysName (1), sysDesc (2), sysCap (3) の論理和) 固定。 IEEE Std 802.1AB-2005 : 0xe0 (portDesc (0), sysName (1), sysDesc (2) の論理和) 固定。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	lldpV2DestAddressTable {lldpV2Configuration 9}	NA	[規格] LLDP フレーム送受信に使用する MAC アドレステーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
16	lldpV2DestAddressTableEntry {lldpV2DestAddressTable 1}	NA	[規格] LLDP フレーム送受信に使用する MAC アドレステーブルエントリ。 INDEX {lldpV2AddressTableIndex} [実装] 規格に同じ。	●
17	lldpV2AddressTableIndex {lldpV2DestAddressTableEntry 1}	NA	[規格] LLDP フレーム送受信に使用する宛先 MAC アドレスを識別するためには使用されるインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	●
18	lldpV2DestMacAddress {lldpV2DestAddressTableEntry 2}	R/O	[規格] LLDP フレーム送受信に使用する宛先 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
19	lldpV2ManAddrConfigTxPortsTable {lldpV2Configuration 10}	NA	[規格] マネージメントアドレスの選択を制御するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
20	lldpV2ManAddrConfigTxPortsEntry {lldpV2ManAddrConfigTxPortsTable 1}	NA	[規格] マネージメントアドレスの選択を制御するテーブルエントリ。 INDEX {lldpV2ManAddrConfigIfIndex, lldpV2ManAddrConfigDestAddressIndex, lldpV2ManAddrConfigLocManAddrSubtype, lldpV2ManAddrConfigLocManAddr} [実装] 未サポート。	×
21	lldpV2ManAddrConfigIfIndex {lldpV2ManAddrConfigTxPortsEntry 1}	NA	[規格] ポート識別するためのインデックス。 [実装] 未サポート。	×
22	lldpV2ManAddrConfigDestAddressIndex {lldpV2ManAddrConfigTxPortsEntry 2}	NA	[規格] 宛先アドレスを識別するためのインデックス。 [実装] 未サポート。	×
23	lldpV2ManAddrConfigLocManAddrSubtype {lldpV2ManAddrConfigTxPortsEntry 3}	NA	[規格] マネージメントアドレス識別子のエンコーディングのタイプ。 [実装] 未サポート。	×
24	lldpV2ManAddrConfigLocManAddr {lldpV2ManAddrConfigTxPortsEntry 4}	NA	[規格] マネージメントアドレスを識別するために使用する識別子。 [実装] 未サポート。	×
25	lldpV2ManAddrConfigTxEnable {lldpV2ManAddrConfigTxPortsEntry 5}	R/NC	[規格] ポート、宛先、サブタイプおよびマネージメントアドレスの識別子の送信を制御。 [実装] 規格に同じ。	●
26	lldpV2ManAddrConfigRowStatus {lldpV2ManAddrConfigTxPortsEntry 6}	R/NC	[規格] 次のテーブル内のエントリのステータスを示し、エントリの作成および削除に使用される。 • lldpV2ManAddrConfigDestAddressIndex • lldpV2ManAddrConfigLocManAddrSubtype • lldpV2ManAddrConfigLocManAddr • lldpV2ManAddrConfigTxEnable [実装] active (1) 固定。	●

2.18.2 lldpV2Statistics グループ

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbers-series-standards
            OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-Man-stds OBJECT IDENTIFIER ::= {standards-association-numbers-series-standards 802}
ieee802dot1  OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-Man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
lldpV2MIB    OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 13}

lldpV2Objects   OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.13.1
lldpV2Statistics OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Objects 2}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.13.1.2

```

(2) 実装仕様

lldpV2Statistics グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-44 lldpV2Statistics グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	lldpV2StatsRemTablesLastChangeTime {lldpV2Statistics 1}	R/O	[規格] 隣接情報の追加／変更／削除が発生した最終時刻。 [実装] 規格に同じ。	●
2	lldpV2StatsRemTablesInserts {lldpV2Statistics 2}	R/O	[規格] 隣接情報が増加した場合にカウントアップする。 [実装] 規格に同じ。	●
3	lldpV2StatsRemTablesDeletes {lldpV2Statistics 3}	R/O	[規格] 隣接情報が削除された場合にカウントアップする。 [実装] 規格に同じ。	●
4	lldpV2StatsRemTablesDrops {lldpV2Statistics 4}	R/O	[規格] リソースの不足が原因で隣接情報が追加できない場合にカウントアップする。 [実装] 規格に同じ。	●
5	lldpV2StatsRemTablesAgeouts {lldpV2Statistics 5}	R/O	[規格] 保持時間を過ぎて、隣接情報が無効になった場合にカウントアップする。 [実装] 規格に同じ。	●
6	lldpV2StatsTxPortTable {lldpV2Statistics 6}	NA	[規格] LLDP 送信ポート単位での送信フレーム統計情報テーブル。 lldpV2PortConfigEntry が disable (4) の場合は存在しなくてもよい。 [実装] 規格に同じ。	●
7	lldpV2StatsTxPortEntry {lldpV2StatsTxPortTable 1}	NA	[規格] LLDP 送信ポート単位での送信フレーム統計情報テーブルエンティリ。 INDEX {lldpV2StatsTxIfIndex, lldpV2StatsTxDestMACAddress} [実装] 規格に同じ。	●
8	lldpV2StatsTxIfIndex {lldpV2StatsTxPortEntry 1}	NA	[規格] LLDP 送信ポートを識別するために使用されるインターフェースインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	●
9	lldpV2StatsTxDestMACAddress {lldpV2StatsTxPortEntry 2}	NA	[規格] LLDP 送信宛先 MAC アドレスを識別するために使用されるインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	lldpV2StatsTxPortFramesTotal {lldpV2StatsTxPortEntry 3}	R/O	[規格] LLDP 送信ポートに関する LLDP フレーム送信回数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	lldpV2StatsTxLLDPDULengthErrors {lldpV2StatsTxPortEntry 4}	R/O	[規格] LLDP 送信ポートに関する LLDP フレームのレングスエラーカウント。 [実装] 規格に同じ。	●
12	lldpV2StatsRxPortTable {lldpV2Statistics 7}	NA	[規格] LLDP 受信ポート単位での受信フレーム統計情報テーブル。 lldpV2PortConfigEntry が disable (4) の場合は存在しなくてもよい。 [実装] 規格に同じ。	●
13	lldpV2StatsRxPortEntry {lldpV2StatsRxPortTable 1}	NA	[規格] LLDP 受信ポート単位での受信フレーム統計情報テーブルエンティティ。 INDEX { lldpV2StatsRxDestIfIndex, lldpV2StatsRxDestMACAddress } [実装] 規格に同じ。	●
14	lldpV2StatsRxDestIfIndex {lldpV2StatsRxPortEntry 1}	NA	[規格] LLDP 受信ポートを識別するために使用されるインターフェースインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	●
15	lldpV2StatsRxDestMACAddress {lldpV2StatsRxPortEntry 2}	NA	[規格] LLDP 受信ポートで宛先 MAC アドレスを識別するために使用されるインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	●
16	lldpV2StatsRxPortFramesDiscardedTotal {lldpV2StatsRxPortEntry 3}	R/O	[規格] LLDP 受信ポートに関する総廃棄 LLDP フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	lldpV2StatsRxPortFramesErrors {lldpV2StatsRxPortEntry 4}	R/O	[規格] LLDP 受信ポートに関する無効 LLDP フレーム受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	lldpV2StatsRxPortFramesTotal {lldpV2StatsRxPortEntry 5}	R/O	[規格] LLDP 受信ポートに関する有効 LLDP フレーム受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	lldpV2StatsRxPortTLVsDiscardedTotal {lldpV2StatsRxPortEntry 6}	R/O	[規格] LLDP 受信ポートに関する総廃棄 TLV 数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	lldpV2StatsRxPortTLVsUnrecognizedTotal {lldpV2StatsRxPortEntry 7}	R/O	[規格] LLDP 受信ポートに関する旧バージョンの TLV 受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	lldpV2StatsRxPortAgeoutsTotal {lldpV2StatsRxPortEntry 8}	R/O	[規格] LLDP 受信ポートで、保持時間を過ぎ、隣接情報が無効になった場合にカウントアップする。 [実装] 規格に同じ。	●

2.18.3 llldpV2LocalSystemData グループ

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbers-series-standards
            OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-Man-stds OBJECT IDENTIFIER ::= {standards-association-numbers-series-standards 802}
ieee802dot1  OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-Man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
lldpV2MIB    OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 13}

lldpV2Objects   OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.13.1
lldpV2LocalSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Objects 3}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.13.1.3

```

(2) 実装仕様

llldpV2LocalSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-45 llldpV2LocalSystemData グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	lldpV2LocChassisIdSubtype {lldpV2LocalSystemData 1}	R/O	[規格] 自装置に関するシャーシタイプ。 [実装] 規格に同じ。	●
2	lldpV2LocChassisId {lldpV2LocalSystemData 2}	R/O	[規格] 自装置に関するシャーシコンポーネントの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
3	lldpV2LocSysName {lldpV2LocalSystemData 3}	R/O	[規格] 自装置に関するシステムネーム。 [実装] 規格に同じ。	●
4	lldpV2LocSysDesc {lldpV2LocalSystemData 4}	R/O	[規格] 自装置に関するシステム情報。 [実装] 規格に同じ。	●
5	lldpV2LocSysCapSupported {lldpV2LocalSystemData 5}	R/O	[規格] 自装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。 [実装] 規格に同じ。	●
6	lldpV2LocSysCapEnabled {lldpV2LocalSystemData 6}	R/O	[規格] 自装置で稼働している機能一覧をビットマップで表現したもの。 [実装] 規格に同じ。	●
7	lldpV2LocPortTable {lldpV2LocalSystemData 7}	NA	[規格] 自装置の LLDP ポートテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
8	lldpV2LocPortEntry {lldpV2LocPortTable 1}	NA	[規格] 自装置の LLDP ポートテーブルエントリ。 INDEX {lldpV2LocPortIfIndex} [実装] 規格に同じ。	●
9	lldpV2LocPortIfIndex {lldpV2LocPortEntry 1}	NA	[規格] LLDP ポートを識別するために使用されるインターフェースインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	●
10	lldpV2LocPortIdSubtype {lldpV2LocPortEntry 2}	R/O	[規格] 自装置のポート ID を示すタイプ。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	lldpV2LocPortId {lldpV2LocPortEntry 3}	R/O	[規格] 自装置のポートに関するポート ID (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	●
12	lldpV2LocPortDesc {lldpV2LocPortEntry 4}	R/O	[規格] 自装置のポートに関するポート情報 (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	●
13	lldpV2LocManAddrTable {lldpV2LocalSystemData 8}	NA	[規格] 自装置のマネージメントアドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
14	lldpV2LocManAddrEntry {lldpV2LocManAddrTable 1}	NA	[規格] 自装置のマネージメントアドレスのテーブルエントリ。 INDEX {lldpV2LocManAddrSubtype, lldpV2LocManAddr} [実装] 規格に同じ。	●
15	lldpV2LocManAddrSubtype {lldpV2LocManAddrEntry 1}	NA	[規格] 自装置のマネージメントアドレスの形式を示す。 [実装] 規格に同じ。	●
16	lldpV2LocManAddr {lldpV2LocManAddrEntry 2}	NA	[規格] 自装置を識別するためのマネージメントアドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
17	lldpV2LocManAddrLen {lldpV2LocManAddrEntry 3}	R/O	[規格] 自装置から送信される LLDP のマネージメントアドレス フィールドのレンジス。 [実装] 規格に同じ。	●
18	lldpV2LocManAddrIfSubtype {lldpV2LocManAddrEntry 4}	R/O	[規格] 自装置のインターフェースの番号割り付け方法に関するタイプ。 [実装] unknown (1) 固定。	●
19	lldpV2LocManAddrIfId {lldpV2LocManAddrEntry 5}	R/O	[規格] 自装置のマネージメントアドレスに関するインターフェース番号。 [実装] 0 固定。	●
20	lldpV2LocManAddrOID {lldpV2LocManAddrEntry 6}	R/O	[規格] 自装置のハードウェア構成要素またはプロトコルのタイプを識別する ID。 [実装] 0.0 固定。	●

2.18.4 llldpV2RemoteSystemsData グループ

(1) 識別子

```

org                               OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee                             OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbers-series-standards
                                OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-Man-stds                      OBJECT IDENTIFIER ::= {standards-association-numbers-series-standards 802}
{standards-association-numbers-series-standards 802}
ieee802dot1                        OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-Man-stds 1}
ieee802dot1mibs                     OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
lldpV2MIB                           OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 13}

lldpV2Objects
オブジェクトID値                  OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2MIB 1}
1.3.111.2.802.1.1.13.1
lldpV2RemoteSystemsData
オブジェクトID値                  OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Objects 4}
1.3.111.2.802.1.1.13.1.4

```

(2) 実装仕様

llldpV2RemoteSystemsData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-46 lldpV2RemoteSystemsData グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	lldpV2RemTable {lldpV2RemoteSystemsData 1}	NA	[規格] 隣接装置からの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	lldpV2RemEntry {lldpV2RemTable 1}	NA	[規格] 隣接装置からの情報テーブルエントリ。 INDEX { lldpV2RemTimeMark, lldpV2RemLocalIfIndex, lldpV2RemLocalDestMACAddress, lldpV2RemIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	lldpV2RemTimeMark {lldpV2RemEntry 1}	NA	[規格] 隣接装置の情報を取得してからの時間。 [実装] 規格に同じ。	●
4	lldpV2RemLocalIfIndex {lldpV2RemEntry 2}	NA	[規格] 隣接装置からのポート情報を識別するために使用されるインターフェースインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	●
5	lldpV2RemLocalDestMACAddress {lldpV2RemEntry 3}	NA	[規格] 隣接装置からの宛先 MAC アドレス情報を識別するために使用されるインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	●
6	lldpV2RemIndex {lldpV2RemEntry 4}	NA	[規格] RemEntry 生成時にインデックスする、ユニークな ID。 [実装] 規格に同じ。	●
7	lldpV2RemChassisIdSubtype {lldpV2RemEntry 5}	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャーシタイプ。 [実装] 規格に同じ。	●
8	lldpV2RemChassisId {lldpV2RemEntry 6}	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャーシ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
9	lldpV2RemPortIdSubtype {lldpV2RemEntry 7}	R/O	[規格] 隣接装置に関するポート ID を示すタイプ。 [実装] 規格に同じ。	●
10	lldpV2RemPortId {lldpV2RemEntry 8}	R/O	[規格] 隣接装置に関するポート ID。 [実装] 規格に同じ。	●
11	lldpV2RemPortDesc {lldpV2RemEntry 9}	R/O	[規格] 隣接装置のポートを識別するための記述（文字列）。 [実装] 規格に同じ。	●
12	lldpV2RemSysName {lldpV2RemEntry 10}	R/O	[規格] 隣接装置のシステムネーム。 [実装] 規格に同じ。	●
13	lldpV2RemSysDesc {lldpV2RemEntry 11}	R/O	[規格] 隣接装置を識別するための記述（文字列）。 [実装] 規格に同じ。	●
14	lldpV2RemSysCapSupported {lldpV2RemEntry 12}	R/O	[規格] 隣接装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。 [実装] 規格に同じ。	●
15	lldpV2RemSysCapEnabled {lldpV2RemEntry 13}	R/O	[規格] 隣接装置で稼働している機能一覧をビットマップで表現したもの。 [実装] 規格に同じ。	●
16	lldpV2RemRemoteChang es {lldpV2RemEntry 14}	R/O	[規格] 隣接装置の MIB に変更があることを示す変数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	lldpV2RemTooManyNeighbors {lldpV2RemEntry 15}	R/O	[規格] 隣接装置が多すぎることを示す変数。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセ	実装仕様	実装有無
18	lldpV2RemManAddrTable {lldpV2RemoteSystemData 2}	NA	[規格] 隣接装置でのマネージメントアドレス管理のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
19	lldpV2RemManAddrEntry {lldpV2RemManAddrTable 1}	NA	[規格] 隣接装置のマネージメントアドレスのテーブルエントリ。 INDEX {lldpV2RemTimeMark, lldpV2RemLocalIfIndex, lldpV2RemLocalDestMACAddress, lldpV2RemIndex, lldpV2RemManAddrSubtype, lldpV2RemManAddr } [実装] 規格に同じ。	●
20	lldpV2RemManAddrSубtype {lldpV2RemManAddrEntry 1}	NA	[規格] 隣接装置のマネージメントアドレスの形式を示す。 [実装] 規格に同じ。	●
21	lldpV2RemManAddr {lldpV2RemManAddrEntry 2}	NA	[規格] 隣接装置のマネージメントアドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
22	lldpV2RemManAddrIfSubtype {lldpV2RemManAddrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接装置のインターフェース番号割り付け方法に関するタイプ。 [実装] 規格に同じ。	●
23	lldpV2RemManAddrIfId {lldpV2RemManAddrEntry 4}	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関するインターフェース番号。 [実装] 規格に同じ。	●
24	lldpV2RemManAddrOID {lldpV2RemManAddrEntry 5}	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関するハードウェア構成やプロトコルを示す ID。 [実装] 規格に同じ。	●
25	lldpV2RemUnknownTLVTable {lldpV2RemoteSystemData 3}	NA	[規格] 隣接装置からの理解不能な TLV 受信時にカウントするテーブル。 [実装] 未サポート。	×
26	lldpV2RemUnknownTLVEntry {lldpV2RemUnknownTLVTable 1}	NA	[規格] 隣接装置からの理解不能な TLV 受信時にカウントするテーブルエントリ。 INDEX {lldpV2RemTimeMark, lldpV2RemLocalIfIndex, lldpV2RemLocalDestMACAddress, lldpV2RemIndex, lldpV2RemUnknownTLVType } [実装] 未サポート。	×
27	lldpV2RemUnknownTLVType {lldpV2RemUnknownTLVEntry 1}	NA	[規格] 隣接装置からの理解不能な TLV の Type Field の値。 [実装] 未サポート。	×
28	lldpV2RemUnknownTLVInfo {lldpV2RemUnknownTLVEntry 2}	R/O	[規格] 隣接装置からの理解不能な TLV のフィールドを示す。 [実装] 未サポート。	×
29	lldpV2RemOrgDefInfoTable {lldpV2RemoteSystemData 4}	NA	[規格] 隣接装置からのベンダが独自に定めた TLV テーブル。 [実装] 未サポート。	×

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
30	lldpV2RemOrgDefInfoEntry {lldpV2RemOrgDefInfoTable 1}	NA	[規格] 隣接装置からのベンダが独自に定めた TLV テーブルエントリ。 INDEX { lldpV2RemTimeMark, lldpV2RemLocalIfIndex, lldpV2RemLocalDestMACAddress, lldpV2RemIndex, lldpV2RemOrgDefInfoOUI, lldpV2RemOrgDefInfoSubtype, lldpV2RemOrgDefInfoIndex } [実装] 未サポート。	×
31	lldpV2RemOrgDefInfoOUI {lldpV2RemOrgDefInfoEntry 1}	NA	[規格] 隣接装置からのベンダが独自に定めた TLV の OUI 値。 [実装] 未サポート。	×
32	lldpV2RemOrgDefInfoSubtype {lldpV2RemOrgDefInfoEntry 2}	NA	[規格] 隣接装置からのベンダが独自に定めた TLV の Subtype 値。 [実装] 未サポート。	×
33	lldpV2RemOrgDefInfoIndex {lldpV2RemOrgDefInfoEntry 3}	NA	[規格] 隣接装置からのベンダが独自に定めた TLV の OUI や Subtype 値を示すエントリのユニークな index 値。 [実装] 未サポート。	×
34	lldpV2RemOrgDefInfo {lldpV2RemOrgDefInfoEntry 4}	R/O	[規格] 隣接装置からのベンダが独自に定めた TLV のベンダ定義情報。 [実装] 未サポート。	×

2.18.5 lldpV2Extensions グループ

(1) lldpV2Xdot1Config グループ

(a) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbers-series-standards
            OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-Man-stds OBJECT IDENTIFIER ::= {standards-association-numbers-series-standards 802}
ieee802dot1  OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-Man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
lldpV2MIB    OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 13}

lldpV2Objects   OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2MIB 1}
lldpV2Extensions OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Objects 5}
lldpV2Xdot1MIB  OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Extensions 32962}
lldpV2Xdot1Objects OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Xdot1MIB 1}
lldpV2Xdot1Config OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Xdot1Objects 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.13.1.5.32962.1.1

```

(b) 実装仕様

lldpV2Xdot1Config グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-47 lldpV2Xdot1Config グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	lldpV2Xdot1ConfigPortVlanTable {lldpV2Xdot1Config 1}	NA	[規格] Port VLAN TLV を送信するかを示すテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番	オブジェクト識別子	アクセ	実装仕様	実装有無
2	lldpV2Xdot1ConfigPortVlanEntry{lldpV2Xdot1ConfigPortVlanTable 1}	NA	[規格] Port VLAN TLV を送信するかを示すテーブルエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
3	lldpV2Xdot1ConfigPortVlanTxEnable{lldpV2Xdot1ConfigPortVlanEntry 1}	R/NW	[規格] Port VLAN TLV を送信するかを示す。 • true (1) : 送信する • false (2) : 送信しない デフォルト値 : false (2) [実装] IEEE Std 802.1AB-2009 : true (1) IEEE Std 802.1AB-2005 : false(2)	●
4	lldpV2Xdot1ConfigVlanNameTable{lldpV2Xdot1Config 2}	NA	[規格] VLAN Name TLV を送信するかを示すテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	lldpV2Xdot1ConfigVlanNameEntry{lldpV2Xdot1ConfigVlanNameTable 1}	NA	[規格] VLAN Name TLV を送信するかを示すテーブルエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
6	lldpV2Xdot1ConfigVlanNameTxEnable{lldpV2Xdot1ConfigVlanNameEntry 1}	R/NW	[規格] VLAN Name TLV を送信するかを示す。 • true (1) : 送信する • false (2) : 送信しない デフォルト値 : false (2) [実装] IEEE Std 802.1AB-2009 : true (1) IEEE Std 802.1AB-2005 : false(2)	●
7	lldpV2Xdot1ConfigProtoVlanTable{lldpV2Xdot1Config 3}	NA	[規格] Port and Protocol VLAN TLV を送信するかを示すテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
8	lldpV2Xdot1ConfigProtoVlanEntry{lldpV2Xdot1ConfigProtocolVlanTable 1}	NA	[規格] Port and Protocol VLAN TLV を送信するかを示すテーブルエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
9	lldpV2Xdot1ConfigProtoVlanTxEnable{lldpV2Xdot1ConfigProtocolVlanEntry 1}	R/NW	[規格] Port and Protocol VLAN TLV を送信するかを示す。 • true (1) : 送信する • false (2) : 送信しない デフォルト値 : false (2) [実装] IEEE Std 802.1AB-2009 : true (1) IEEE Std 802.1AB-2005 : false(2)	●
10	lldpV2Xdot1ConfigProtocolTable{lldpV2Xdot1Config 4}	NA	[規格] Protocol TLV を送信するかを示すテーブル。 [実装] 未サポート。	×
11	lldpV2Xdot1ConfigProtocolEntry{lldpV2Xdot1ConfigProtocolTable 1}	NA	[規格] Protocol TLV を送信するかを示すテーブルエントリ。 [実装] 未サポート。	×
12	lldpV2Xdot1ConfigProtocolEntryTxEnable{lldpV2Xdot1ConfigProtocolEntry 1}	R/NW	[規格] Protocol TLV を送信するかを示す。 [実装] 未サポート。	×
13	lldpV2Xdot1ConfigVidUsagigestDigestTable{lldpV2Xdot1Config 5}	NA	[規格] VID Usage Digest TLV を送信するかを示すテーブル。 [実装] 未サポート。	×
14	lldpV2Xdot1ConfigVidUsagigestEntry{lldpV2Xdot1ConfigVidUsageDigestTable 1}	NA	[規格] VID Usage Digest TLV を送信するかを示すテーブルエントリ。 [実装] 未サポート。	×

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	lldpV2Xdot1ConfigVidUsageDigestTxEnable {lldpV2Xdot1ConfigVidUsageDigestEntry 1}	R/NW	[規格] VID Usage Digest TLV を送信するかを示す。 [実装] 未サポート。	×
16	lldpV2Xdot1ConfigManVidTable {lldpV2Xdot1Config 6}	NA	[規格] Management VID TLV を送信するかを示すテーブル。 [実装] 未サポート。	×
17	lldpV2Xdot1ConfigManVidEntry {lldpV2Xdot1ConfigManVidTable 1}	NA	[規格] Management VID TLV を送信するかを示すテーブル。 [実装] 未サポート。	×
18	lldpV2Xdot1ConfigManVidTxEnable {lldpV2Xdot1ConfigManVidEntry 1}	R/NW	[規格] Management VID TLV を送信するかを示すテーブル。 [実装] 未サポート。	×

(2) lldpV2Xdot1LocalData グループ

(a) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbers-series-standards
            OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-Man-stds OBJECT IDENTIFIER ::= {standards-association-numbers-series-standards 802}
ieee802dot1   OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-Man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
lldpV2MIB    OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 13}

lldpV2Objects      OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2MIB 1}
lldpV2Extensions  OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Objects 5}
lldpV2Xdot1MIB    OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Extensions 32962}
lldpV2Xdot1Objects OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Xdot1MIB 1}
lldpV2Xdot1LocalData OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Xdot1Objects 2}
オブジェクトID値      1.3.111.2.802.1.1.13.1.5.32962.1.2

```

(b) 実装仕様

lldpV2Xdot1LocalData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-48 lldpV2Xdot1LocalData グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	lldpV2Xdot1LocTable {lldpV2Xdot1LocalData 1}	NA	[規格] 自装置の Port VLAN ID テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	lldpV2Xdot1LocEntry {lldpV2Xdot1LocTable 1}	NA	[規格] 自装置の Port VLAN ID テーブルエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
3	lldpV2Xdot1LocPortVlanId {lldpV2Xdot1LocEntry 1}	R/O	[規格] 自装置の Port VLAN ID。 0 は Port VLAN 未サポート。 [実装] 規格に同じ。	●
4	lldpV2Xdot1LocProtoVlanTable {lldpV2Xdot1LocalData 2}	NA	[規格] 自装置の Port and Protocol VLAN テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●

項目番号	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	lldpV2Xdot1LocProtoV1anEntry{lldpV2Xdot1LocProtoV1anTable 1}	NA	[規格] 自装置の Port and Protocol VLAN テーブルエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
6	lldpV2Xdot1LocProtoV1anId{lldpV2Xdot1LocProtoV1anEntry 1}	NA	[規格] 自装置の Port and Protocol VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	●
7	lldpV2Xdot1LocProtoV1anSupported{lldpV2Xdot1LocProtoV1anEntry 2}	R/O	[規格] 自装置の Port and Protocol VLAN をサポートするかを示す。 • true (1) : サポートする • false (2) : サポートしない [実装] true (1) 固定。	●
8	lldpV2Xdot1LocProtoV1anEnabled{lldpV2Xdot1LocProtoV1anEntry 3}	R/O	[規格] 自装置の Port and Protocol VLAN をサポートが有効かを示す。 [実装] 規格に同じ。	●
9	lldpV2Xdot1LocVlanNameTable{lldpV2Xdot1LocalData 3}	NA	[規格] 自装置の VLAN Name テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
10	lldpV2Xdot1LocVlanNameEntry{lldpV2Xdot1LocVlanNameTable 1}	NA	[規格] 自装置の VLAN Name テーブルエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
11	lldpV2Xdot1LocVlanId{lldpV2Xdot1LocVlanNameEntry 1}	NA	[規格] 自装置の VLAN Name の VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	●
12	lldpV2Xdot1LocVlanName{lldpV2Xdot1LocVlanNameEntry 2}	R/O	[規格] 自装置の VLAN Name。 [実装] NULL 固定。	●
13	lldpV2Xdot1LocProtocolTable{lldpV2Xdot1LocalData 4}	NA	[規格] 自装置の Protocol ID テーブル。 [実装] 未サポート。	×
14	lldpV2Xdot1LocProtocolEntry{lldpV2Xdot1LocProtocolTable 1}	NA	[規格] 自装置の Protocol ID テーブルエントリ。 [実装] 未サポート。	×
15	lldpV2Xdot1LocProtocolIndex{lldpV2Xdot1LocProtocolEntry 1}	NA	[規格] 自装置の Protocol ID テーブルインデックス。 [実装] 未サポート。	×
16	lldpV2Xdot1LocProtocolId{lldpV2Xdot1LocProtocolEntry 2}	R/O	[規格] 自装置の Protocol ID。 [実装] 未サポート。	×
17	lldpV2Xdot1LocVidUsageDigestTable{lldpV2Xdot1LocalData 5}	NA	[規格] 自装置の VID Usage Digest テーブル。 [実装] 未サポート。	×
18	lldpV2Xdot1LocVidUsageDigestEntry{lldpV2Xdot1LocVidUsageDigestTable 1}	NA	[規格] 自装置の VID Usage Digest テーブルエントリ。 [実装] 未サポート。	×

項目番	オブジェクト識別子	アクセ	実装仕様	実装有無
19	lldpV2Xdot1LocVidUsag eDigest {lldpV2Xdot1LocVidUsa geDigestEntry 1}	R/O	[規格] 自装置の VID Usage Digest。 [実装] 未サポート。	×
20	lldpV2Xdot1LocManVid Table {lldpV2Xdot1LocalData 6}	NA	[規格] 自装置の Management VID テーブル。 [実装] 未サポート。	×
21	lldpV2Xdot1LocManVid Entry {lldpV2Xdot1LocManVi dTable 1}	NA	[規格] 自装置の Management VID テーブルエントリ。 [実装] 未サポート。	×
22	lldpV2Xdot1LocManVid {lldpV2Xdot1LocManVi dEntry 1}	R/O	[規格] 自装置の Management VID。 [実装] 未サポート。	×
23	lldpV2Xdot1LocLinkAg gTable {lldpV2Xdot1LocalData 7}	NA	[規格] 自装置の Link Aggregation テーブル。 [実装] 未サポート。	×
24	lldpV2Xdot1LocLinkAg gEntry {lldpV2Xdot1LocLinkAg gTable 1}	NA	[規格] 自装置の Link Aggregation テーブルエントリ。 [実装] 未サポート。	×
25	lldpV2Xdot1LocLinkAg gStatus {lldpV2Xdot1LocLinkAg gEntry 1}	R/O	[規格] 自装置の Link Aggregation 状態をビットマップで表現したも の。 [実装] 未サポート。	×
26	lldpV2Xdot1LocLinkAg gPortId {lldpV2Xdot1LocLinkAg gEntry 2}	R/O	[規格] 自装置の Link Aggregation の Port ID。 0 は Link Aggregation 未サポート。 [実装] 未サポート。	×

(3) lldpV2Xdot1RemoteData グループ

(a) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee          OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbers-series-standards
            OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-Man-stds  OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbers-series-standards 802}
ieee802dot1   OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-Man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
lldpV2MIB     OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 13}

lldpV2Objects  OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2MIB 1}
lldpV2Extensions OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Objects 5}
lldpV2Xdot1MIB  OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Extensions 32962}
lldpV2Xdot1Objects OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Xdot1MIB 1}
lldpV2Xdot1RemoteData OBJECT IDENTIFIER ::= {lldpV2Xdot1Objects 3}
オブジェクトID値      1.3.111.2.802.1.1.13.1.5.32962.1.3

```

(b) 実装仕様

lldpV2Xdot1RemoteData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-49 IldpV2Xdot1RemoteData グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	IldpV2Xdot1RemTable {IldpV2Xdot1RemoteData 1}	NA	[規格] 隣接装置の Port VLAN ID テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	IldpV2Xdot1RemEntry {IldpV2Xdot1RemTable 1}	NA	[規格] 隣接装置の Port VLAN ID テーブルエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
3	IldpV2Xdot1RemPortVlanId {IldpV2Xdot1RemEntry 1}	R/O	[規格] 隣接装置の Port VLAN ID。0 は Port VLAN 未サポート。 [実装] 規格に同じ。	●
4	IldpV2Xdot1RemProtoVlanTable {IldpV2Xdot1RemoteData 2}	NA	[規格] 隣接装置の Port and Protocol VLAN テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	IldpV2Xdot1RemProtoVlanEntry {IldpV2Xdot1RemProtoVlanTable 1}	NA	[規格] 隣接装置の Port and Protocol VLAN テーブルエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
6	IldpV2Xdot1RemProtoVlanId {IldpV2Xdot1RemProtoVlanEntry 1}	NA	[規格] 隣接装置の Port and Protocol VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	●
7	IldpV2Xdot1RemProtoVlanSupported {IldpV2Xdot1RemProtoVlanEntry 2}	R/O	[規格] 隣接装置が Port and Protocol VLAN をサポートするかを示す。 ・ true (1) : サポートする ・ false (2) : サポートしない [実装] 規格に同じ。	●
8	IldpV2Xdot1RemProtoVlanEnabled {IldpV2Xdot1RemProtoVlanEntry 3}	R/O	[規格] 隣接装置の Port and Protocol VLAN が有効かを示す。 ・ true (1) : 有効 ・ false (2) : 無効 [実装] 規格に同じ。	●
9	IldpV2Xdot1RemVlanNameTable {IldpV2Xdot1RemoteData 3}	NA	[規格] 隣接装置の VLAN Name テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
10	IldpV2Xdot1RemVlanNameEntry {IldpV2Xdot1RemVlanNameTable 1}	NA	[規格] 隣接装置の VLAN Name テーブルエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
11	IldpV2Xdot1RemVlanId {IldpV2Xdot1RemVlanNameEntry 1}	NA	[規格] 隣接装置の VLAN Name の VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	●
12	IldpV2Xdot1RemVlanName {IldpV2Xdot1RemVlanNameEntry 2}	R/O	[規格] 隣接装置の VLAN Name。 [実装] 規格に同じ。	●
13	IldpV2Xdot1RemProtocolTable {IldpV2Xdot1RemoteData 4}	NA	[規格] 隣接装置の Protocol ID テーブル。 [実装] 未サポート。	×
14	IldpV2Xdot1RemProtocolEntry {IldpV2Xdot1RemProtocolTable 1}	NA	[規格] 隣接装置の Protocol ID テーブルエントリ。 [実装] 未サポート。	×

項目番	オブジェクト識別子	アクセ	実装仕様	実装有無
15	lldpV2Xdot1RemProtocolIndex {lldpV2Xdot1RemProtocolEntry 1}	NA	[規格] 隣接装置の Protocol ID テーブルインデックス。 [実装] 未サポート。	×
16	lldpV2Xdot1RemProtocolId {lldpV2Xdot1RemProtocolEntry 2}	R/O	[規格] 隣接装置の Protocol ID。 [実装] 未サポート。	×
17	lldpV2Xdot1RemVidUsageDigestTable {lldpV2Xdot1RemoteData 5}	NA	[規格] 隣接装置の VID Usage Digest テーブル。 [実装] 未サポート。	×
18	lldpV2Xdot1RemVidUsageDigestEntry {lldpV2Xdot1RemVidUsageDigestTable 1}	NA	[規格] 隣接装置の VID Usage Digest テーブルエントリ。 [実装] 未サポート。	×
19	lldpV2Xdot1RemVidUsageDigest {lldpV2Xdot1RemVidUsageDigestEntry 1}	R/O	[規格] 隣接装置の VID Usage Digest。 [実装] 未サポート。	×
20	lldpV2Xdot1RemManVidTable {lldpV2Xdot1RemoteData 6}	NA	[規格] 隣接装置の Management VID テーブル。 [実装] 未サポート。	×
21	lldpV2Xdot1RemManVidEntry {lldpV2Xdot1RemManVidTable 1}	NA	[規格] 隣接装置の Management VID テーブルエントリ。 [実装] 未サポート。	×
22	lldpV2Xdot1RemManVid {lldpV2Xdot1RemManVidEntry 1}	R/O	[規格] 隣接装置の Management VID。 [実装] 未サポート。	×
23	lldpV2Xdot1RemLinkAggregationTable {lldpV2Xdot1RemoteData 7}	NA	[規格] 隣接装置の Link Aggregation テーブル。 [実装] 未サポート。	×
24	lldpV2Xdot1RemLinkAggregationEntry {lldpV2Xdot1RemLinkAggregationTable 1}	NA	[規格] 隣接装置の Link Aggregation テーブルエントリ。 [実装] 未サポート。	×
25	lldpV2Xdot1RemLinkAggregationStatus {lldpV2Xdot1RemLinkAggregationEntry 1}	R/O	[規格] 隣接装置の Link Aggregation 状態をビットマップで表現したもの。 [実装] 未サポート。	×
26	lldpV2Xdot1RemLinkAggregationPortId {lldpV2Xdot1RemLinkAggregationEntry 2}	R/O	[規格] 隣接装置の Link Aggregation の Port ID。0 は Link Aggregation 未サポート。 [実装] 未サポート。	×

3

プライベート MIB

この章では本装置で使用するプライベート MIB の実装仕様について説明します。

-
- 3.1 axsStats グループ (統計情報 MIB)
 - 3.2 axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB)
 - 3.3 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)
 - 3.4 axsL2ldMIB グループ (L2LD 情報 MIB)
 - 3.5 axsUlr グループ (アップリンク・リダンダント情報 MIB)
 - 3.6 axsBootManagement グループ (システム起動情報 MIB)
 - 3.7 axsLogin グループ (ログイン情報 MIB)
 - 3.8 axslldp グループ (LLDP 情報 MIB)
 - 3.9 axsAxrpMIB グループ (Ring Protocol 情報)
 - 3.10 axsPconMIB グループ (消費電力情報 MIB)
 - 3.11 axsStack グループ (スタック情報) 【OS-L2A】
 - 3.12 axsWhitelist グループ (ホワイトリスト情報) 【OS-L2A】
 - 3.13 ax2530sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)
 - 3.14 ax2530sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)
 - 3.15 ax2530sAuth グループ (認証系情報)
 - 3.16 ax2530sSml グループ (SML 情報) 【OS-L2A】
 - 3.17 sFlow グループ (InMon プライベート MIB)
-

3.1 axsStats グループ(統計情報 MIB)

3.1.1 axsIfStats グループ

(1) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
axsIfStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4
```

(2) 実装仕様

axsIfStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-1 axsIfStats グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセ	実装仕様	実装有無
1	axsIfStatsTable {axsIfStats 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インターフェースの拡張統計情報テーブル。	●
2	axsIfStatsEntry {axsIfStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インターフェースの拡張統計情報テーブルのエントリ。 INDEX {axsIfStatsIndex}	●
3	axsIfStatsIndex {axsIfStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	本装置のインターフェースインデックス。 ifIndex 同じ。	●
4	axsIfStatsName {axsIfStatsEntry 2}	DisplayString	R/O	インターフェースの名称。 ifDescr 同じ。	●
5	axsIfStatsInMegaOctets {axsIfStatsEntry 3}	Counter	R/O	受信した総オクテット数(単位:メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
6	axsIfStatsInUcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 4}	Counter	R/O	受信したユニキャストパケット数(単位:メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
7	axsIfStatsInMulticastMegaPkts {axsIfStatsEntry 5}	Counter	R/O	受信したマルチキャストパケット数(単位:メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
8	axsIfStatsInBroadcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 6}	Counter	R/O	受信したブロードキャストパケット数(単位:メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
9	axsIfStatsOutMegaOctets {axsIfStatsEntry 7}	Counter	R/O	送信した総オクテット数(単位:メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
10	axsIfStatsOutUcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 8}	Counter	R/O	ユニキャスト送信したパケット数。(単位:メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
11	axsIfStatsOutMulticastMegaPkts {axsIfStatsEntry 9}	Counter	R/O	マルチキャスト送信したパケット数(単位:メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
12	axsIfStatsOutBroadcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 10}	Counter	R/O	ブロードキャスト送信したパケット数(単位:メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
13	axsIfStatsHighSpeed {axsIfStatsEntry 11}	Counter	R/O	回線速度(単位:Mbit/s)。Mbit/s未満は切り捨て。コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は当該インターフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。	●

注※ 対象はイーサネットインターフェースです。

3.1.2 axsQoS グループ[†]

(1) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
axsQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 6}
axsEtherTxQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1
```

(2) 実装仕様

axsEtherTxQoS グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-2 axsEtherTxQoS グループの実装仕様(イーサネットワークインターフェースの QoS 統計情報)

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsEtherTxQoSStatsTable {axsEtherTxQoS 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	QoS 統計情報のテーブル情報。	●
2	axsEtherTxQoSStatsEntry {axsEtherTxQoSStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	イーサネットインターフェースごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 INDEX {axsEtherTxQoSStatsIndex}	●
3	axsEtherTxQoSStatsIndex {axsEtherTxQoSStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値(イーサネットインターフェースの ifIndex 値)を示します。 1 ~ ifNumberまでの値。	●
4	axsEtherTxQoSStatsMaxQnum {axsEtherTxQoSStatsEntry 2}	INTEGER	R/O	該当インターフェースのキュー数の最大値を示します。	●
5	axsEtherTxQoSStatsLimitQlen {axsEtherTxQoSStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	該当インターフェースの出力優先度キュー長の限界値を示します。	●
6	axsEtherTxQoSStatsTotalOutFrames {axsEtherTxQoSStatsEntry 4}	Counter	R/O	該当インターフェースの総送信フレーム数を示します。 ・0 固定	▲
7	axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh {axsEtherTxQoSStatsEntry 5}	Counter	R/O	該当インターフェースの総送信バイト数(上位 4 バイト)を示します。 ・0 固定	▲
8	axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow {axsEtherTxQoSStatsEntry 6}	Counter	R/O	該当インターフェースの総送信バイト数(下位 4 バイト)を示します。 ・0 固定	▲
9	axsEtherTxQoSStatsTotalDiscardFrames {axsEtherTxQoSStatsEntry 7}	Counter	R/O	該当インターフェースの総廃棄フレーム数を示します。	●
10	axsEtherTxQoSStatsQueueTable {axsEtherTxQoS 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インターフェースの出力優先度キューごとの QoS 統計情報のテーブル情報。	●
11	axsEtherTxQoSStatsQueueEntry {axsEtherTxQoSStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インターフェースの出力優先度キューごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 INDEX {axsEtherTxQoSStatsQueueIndex, axsEtherTxQoSStatsQueueQueIndex}	●

3.1 axsStats グループ(統計情報 MIB)

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	axsEtherTxQoSStatsQueueIndex {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値(イーサネットインターフェースの ifIndex 値)を示します。 1 ~ ifNumberまでの値。	●
13	axsEtherTxQoSStatsQueueQueueIndex {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1 ~ axsEtherTxQoSStatsMaxQnumまでの値。	●
14	axsEtherTxQoSStatsQueueQlen {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 3}	INTEGER	R/O	情報採取時の出力優先度キュー長を示します。 ・0 固定	▲
15	axsEtherTxQoSStatsQueueMaxQlen {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 4}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去または初期化してからの該当インターフェースの最大の出力優先度キュー長を示します。 ・0 固定	▲
16	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 5}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューのキューイング優先度 1 での廃棄フレーム数を示します。 ・0 固定	▲
17	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューのキューイング優先度 2 での廃棄フレーム数を示します。 ・0 固定	▲
18	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューのキューイング優先度 3 での廃棄フレーム数を示します。 ・0 固定	▲
19	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューのキューイング優先度 4 での廃棄フレーム数を示します。 ・0 固定	▲

3.2 axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB)

(1) 識別子

```
axsMib OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 1}

axsFdb OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5
```

(2) 実装仕様

axsFdb グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-3 axsFdb グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsFdbCounterTable {axsFdb 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブル。	●
2	axsFdbCounterEntry {axsFdbCounterTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブルのエントリ。 INDEX {axsFdbCounterNifIndex,axsFdbCounterLineIndex}	●
3	axsFdbCounterNifIndex {axsFdbCounterEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	NIF 搭載スロットの位置情報を示します。	●
4	axsFdbCounterLineIndex {axsFdbCounterEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	LINE 搭載スロットの位置情報を示します。	●
5	axsFdbCounterCounts {axsFdbCounterEntry 3}	Counter32	R/O	このポートで学習している MAC アドレステーブルエントリ数。	●
6	axsFdbCounterType {axsFdbCounterEntry 4}	INTEGER	R/O	学習制限の設定有無, および設定時に最大 MAC アドレステーブル数を超えた場合の未学習フレームの挙動。 <ul style="list-style-type: none"> • Unlimited (0) • Limited and Forward (1) • Limited and Discard (2) 	●
7	axsFdbCounterLimits {axsFdbCounterEntry 5}	Counter32	R/O	このポートで学習可能な最大 MAC アドレステーブルエントリ数。※ 0 : 学習禁止 1 ~ 100000 : コンフィグレーションコマンド mac-address-table static で設定した数	●

注 ※ axsFdbCounterType が Unlimited(0) の場合は 0 固定になります。

3.3 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)

本グループで使用するポート番号は物理ポート番号、チャネルグループ番号、仮想リンク ID のすべてを一意に識別するための番号とし、それぞれ次の形式で求めたものです。

- 物理ポートのポート番号

物理ポートは一意に識別されます。

ポート番号 : (スイッチ番号 - 1) × 64 (固定値) + 物理ポート番号 【スタック動作時】

ポート番号 : 物理ポート番号 【スタンダロン動作時】

- チャネルグループのポート番号

リンクアグリゲーションのチャネルグループ番号から下記のようにポート番号を算出します。

ポート番号 : 512 (固定値) + チャネルグループ番号 【スタック動作時】

ポート番号 : 65 (固定値) + チャネルグループ番号 【スタンダロン動作時】

- 仮想リンクのポート番号

仮想リンクは仮想リンク ID から下記のようにポート番号を算出します。

ポート番号 : 193 (固定値) + 仮想リンク ID

仮想リンクのポート番号は axsVBStpPortTable グループだけに適用します。

3.3.1 axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報)

(1) axsVBBaseTable グループ

(a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1
```

(b) 実装仕様

axsVBBaseTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-4 axsVBBaseTable グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBBaseTable {axsVlanBridgeBase 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dBase 情報テーブル。	●
2	axsVBBaseEntry {axsVBBaseTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBBaseTable の各 VLAN ID の情報エントリ。 INDEX {axsVBBaseIndex}	●
3	axsVBBaseIndex {axsVBBaseEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	●
4	axsVBBaseBridgeAddress {axsVBBaseEntry 2}	MacAddress	R/O	VLAN の MAC アドレス。 VLAN ごとの MAC 機能使用時 : VLAN ごとの MAC アドレス 未使用時 : 装置 MAC アドレス	●
5	axsVBBaseNumPorts {axsVBBaseEntry 3}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポート数。	●

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセ	実装仕様	実装有無
6	axsVBBBaseType {axsVBBBaseEntry 4}	INTEGER	R/O	VLAN が実行することができるプリッジングのタイプ。 <ul style="list-style-type: none">• unknown(1)• transparent-only(2)• source-route-only(3)• srt(4) 本装置では transparent-only(2) 固定を返す。	▲
7	axsVBBBaseVlanIfIndex {axsVBBBaseEntry 5}	INTEGER	R/O	VLAN のインターフェースの ifIndex の値。	●
8	axsVBBBaseVlanType {axsVBBBaseEntry 6}	INTEGER	R/O	VLAN のタイプ <ul style="list-style-type: none">• port-based(1)• mac-based(2)• protocol-based(3)	●
9	axsVBBBaseVlanID {axsVBBBaseEntry 7}	VlanIdOrZero	R/O	VLAN に対応する VLAN Tag の VID の値。	●
10	axsVBBBaseAssociatedPrimaryVlan {axsVBBBaseEntry 8}	VlanIdOrZero	R/O	プライベート VLAN 機能を使用し、かつ、この VLAN が Secondary VLAN として設定されている場合に、この VLAN に対応している Primary VLAN の VLAN ID を返す。 この VLAN がプライベート VLAN 機能を使用していない、または Secondary VLAN ではない、もしくは対応する Primary VLAN が設定されていない時は 0 を返す。 本装置では固定値 (0) を返す。	●
11	axsVBBBaseIfStatus {axsVBBBaseEntry 9}	INTEGER	R/O	VLAN の上位プロトコルに対するインターフェース状態。 <ul style="list-style-type: none">• Up(1)• Down(2)	●
12	axsVBBBaseLastChange {axsVBBBaseEntry 10}	TimeTicks	R/O	VLAN のトポロジが変更したときの sysUpTime 値。	●
13	axsVBBBasePrivateVlanType {axsVBBBaseEntry 11}	INTEGER	R/O	VLAN のプライベート VLAN タイプ。プライベート VLAN 機能を使用していない場合は normal(1) を返す。 <ul style="list-style-type: none">• normal(1)• primary(2)• isolated(3)• community(4) 本装置では固定値 (1) を返す。	●

(2) axsVBBBasePortTable グループ

(a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6
```

```
axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1
```

```
axsVlanBridgeBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1
```

(b) 実装仕様

axsVBBBasePortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-5 axsVBBBasePortTable グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBBBasePortTable {axsVlanBridgeBase 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dBasePortTable 情報 テーブル。	●
2	axsVBBBasePortEntry {axsVBBBasePortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBBBasePortTable の構成エントリ INDEX {axsVBBBasePortIndex, axsVBBBasePort}	●
3	axsVBBBasePortIndex {axsVBBBasePortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	●
4	axsVBBBasePort {axsVBBBasePortEntry 2}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートのポート番号 (1 ~ 65535)。 本ポート番号は物理ポートとリンクアグリゲーションを対象とする。	●
5	axsVBBBasePortIfIndex {axsVBBBasePortEntry 3}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートに対応する ifIndex 値。	●
6	axsVBBBasePortCircuit {axsVBBBasePortEntry 4}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	VLAN に設定されている異なるポートに対して、axsVBBBasePortIfIndex が同じ値となる場合にポートを識別する識別子。 本装置では固定値 (0.0) を返す。	▲
7	axsVBBBasePortDelayExceededDiscards {axsVBBBasePortEntry 5}	Counter	R/O	VLAN に設定されているポートで発生した通過遅延による廃棄フレームの総数。 本装置では固定値 (0) を返す。	▲
8	axsVBBBasePortMtuExceededDiscards {axsVBBBasePortEntry 6}	Counter	R/O	VLAN に設定されているポートで発生したデータオーバーフローによる破棄フレームの総数。 本装置では固定値 (0) を返す。	▲
9	axsVBBBasePortState {axsVBBBasePortEntry 7}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートの STP ポート状態。 <ul style="list-style-type: none"> • disable(1) • blocking(2) • listening(3) • learning(4) • forwarding(5) • broken(6) • fix-forwarding(7) 本装置は disable(1), blocking(2), listening(3), learning(4), forwarding(5), fix-forwarding(7) のどれかを返す。	●
10	axsVBBBasePortTaggedState {axsVBBBasePortEntry 8}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートの VLAN Tag 設定の状態 <ul style="list-style-type: none"> • 設定なし (1) • 設定あり (2) 	●
11	axsVBBBasePortTranslatedTagID {axsVBBBasePortEntry 9}	VlanIdOrZero	R/O	Tag 変換が設定されている場合、このポートに設定されている VLAN の Translated ID(1 ~ 4094)。 Tag 変換の設定がされていない場合、(0) を返す。	●

(3) axsVBStpTable グループ

(a) 識別子

```

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2

```

(b) 実装仕様

axsVBStpTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-6 axsVBStpTable グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBStpTable {axsVlanBridgeStp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLANごとのdot1dStpTable情報テーブル。 本テーブルはPVST+のVLANごとのスパニング・ツリー情報を対象とする。	●
2	axsVBStpEntry {axsVBStpTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBStpTableの構成エントリ。 INDEX {axsVBStpIndex}	●
3	axsVBStpIndex {axsVBStpEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	●
4	axsVBStpProtocolSpecification {axsVBStpEntry 2}	INTEGER	R/O	VLANごとのスパニング・ツリーのプロトコル種別。 <ul style="list-style-type: none"> • unknown(1) • decLb100(2) • ieee8021d(3) • ieee8021w(4) 本装置はieee8021d(3)またはieee8021w(4)を返す。	●
5	axsVBStpPriority {axsVBStpEntry 3}	INTEGER	R/O	VLANごとのスパニング・ツリーのプライオリティの値(0 ~ 65535)。	●
6	axsVBStpTimeSinceTopologyChange {axsVBStpEntry 4}	TimeTicks	R/O	VLANごとのスパニング・ツリーのトポロジ変化が起きてからの経過時間(単位:1/100秒)。	●
7	axsVBStpTopChanges {axsVBStpEntry 5}	Counter	R/O	VLANごとのスパニング・ツリーのトポロジ変化回数。	●
8	axsVBStpDesignatedRoot {axsVBStpEntry 6}	BridgeId	R/O	VLANごとのスパニング・ツリーのルートプリッジ識別子。	●
9	axsVBStpRootCost {axsVBStpEntry 7}	INTEGER	R/O	VLANごとのスパニング・ツリーの持つルートパスコスト値。	●
10	axsVBStpRootPort {axsVBStpEntry 8}	INTEGER	R/O	VLANごとのスパニング・ツリーの持つルートポート値。	●
11	axsVBStpMaxAge {axsVBStpEntry 9}	Timeout	R/O	VLANごとのスパニング・ツリーの持つ最大エージング時間(単位:1/100秒)。	●
12	axsVBStpHelloTime {axsVBStpEntry 10}	Timeout	R/O	VLANごとのスパニング・ツリーの持つHello時間(単位:1/100秒)。	●
13	axsVBStpHoldTime {axsVBStpEntry 11}	INTEGER	R/O	VLANごとのスパニング・ツリーの持つHold時間(単位:1/100秒)。	●

3.3 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
14	axsVBStpForwardDelay {axsVBStpEntry 12}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つ転送遅延時間 (単位 : 1/100 秒)。	●
15	axsVBStpBridgeMaxAge {axsVBStpEntry 13}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートプリッジとして動作する場合に使用する最大エージング時間 (値 : 600 ~ 4000, 単位 : 1/100 秒)。	●
16	axsVBStpBridgeHelloTime {axsVBStpEntry 14}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートプリッジとして動作する場合に使用する Hello 時間 (値 : 100 ~ 1000, 単位 : 1/100 秒)。	●
17	axsVBStpBridgeForwardDelay {axsVBStpEntry 15}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートプリッジとして動作する場合に使用する転送遅延時間 (値 : 400 ~ 3000, 単位 : 1/100 秒)。	●

(4) axsVBStpPortTable グループ

(a) 識別子

```

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2

```

(b) 実装仕様

axsVBStpPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-7 axsVBStpPortTable グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBStpPortTable {axsVlanBridgeStp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dStpPortTable 情報テーブル。 本テーブルは PVST+ の VLAN ごとのスパニング・ツリーポート情報を対象とする。	●
2	axsVBStpPortEntry {axsVBStpPortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBStpPortTable の構成エントリ。 INDEX {axsVBStpPortIndex, axsVBStpPort}	●
3	axsVBStpPortIndex {axsVBStpPortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	●
4	axsVBStpPort {axsVBStpPortEntry 2}	INTEGER	R/O	この構成エントリに対応するポート番号 (1 ~ 65535)。 本ポート番号は物理ポート, リンクアグリゲーションおよび仮想リンクを対象とする。	●
5	axsVBStpPortPriority {axsVBStpPortEntry 3}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの優先度 (0 ~ 255)。	●

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axsVBStpPortState {axsVBStpPortEntry 4}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの現在の状態。 • disabled(1) • blocking(2) • listening(3) • learning(4) • forwarding(5) • broken(6)	●
				本装置では disabled(1), blocking(2), listening(3), learning(4), forwarding(5) のどれかを返す。	
7	axsVBStpPortEnable {axsVBStpPortEntry 5}	INTEGER	R/O	このポートで VLAN ごとのスパニング・ツリーが有効であるかを示す。 • enabled(1) • disabled(2)	●
8	axsVBStpPortPathCost {axsVBStpPortEntry 6}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとのパスコスト値(1 ~ 200000000)。ポートのリンクがダウンしている場合は 0 を表示。	●
9	axsVBStpPortDesignatedRoot {axsVBStpPortEntry 7}	BridgeId	R/O	このポートが受信した指定ブリッジからの BPDU に格納された VLAN ごとのルートブリッジ識別子の値。	●
10	axsVBStpPortDesignatedCost {axsVBStpPortEntry 8}	INTEGER	R/O	このポートに接続されている指定ポートの VLAN ごとのパスコスト値。	●
11	axsVBStpPortDesignatedBridge {axsVBStpPortEntry 9}	BridgeId	R/O	このポートが指定ブリッジとみなしている VLAN ごとのブリッジのブリッジ識別子。	●
12	axsVBStpPortDesignatedPort {axsVBStpPortEntry 10}	OCTET STRING	R/O	このポートに接続されている VLAN ごとの指定ブリッジのポート識別子。	●
13	axsVBStpPortForwardTransitions {axsVBStpPortEntry 11}	Counter	R/O	このポートがラーニング状態からフォワードィング状態に遷移した VLAN ごとの回数。	●

(5) axsVBTpTable グループ

(a) 識別子

```

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

```

(b) 実装仕様

axsVBTpTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-8 axsVBTpTable グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセ	実装仕様	実装有無
1	axsVBTpTable {axsVlanBridgeTp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTp 情報テーブル。	●
2	axsVBTpEntry {axsVBTpTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBTpTable の構成エントリ。 INDEX {axsVBTpIndex}	●
3	axsVBTpIndex {axsVBTpEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	●
4	axsVBTpLearnedEntryDiscards {axsVBTpEntry 2}	Counter	R/O	MAC アドレステーブルに空き領域がないために、破棄されたエントリの数。 本装置では固定値 (0) を返す。	▲
5	axsVBTpAgingTime {axsVBTpEntry 3}	INTEGER	R/O	ダイナミックに学習した MAC アドレス テーブルのエントリをエージング・アウト させるためのタイムアウト期間 (単位： 秒)。 • エージングモードの場合 : 10 ~ 1000000 • エージングモードでない場合 : 0	●

(6) axsVBTpFdbTable グループ

(a) 識別子

```

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

```

(b) 実装仕様

axsVBTpFdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-9 axsVBTpFdbTable グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセ	実装仕様	実装有無
1	axsVBTpFdbTable {axsVlanBridgeTp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTpFdbTable 情報テーブル。	●
2	axsVBTpFdbEntry {axsVBTpFdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBTpFdbTable の構成エントリ。 INDEX {axsVBTpFdbIndex,axsVBTpFdbAddress}	●
3	axsVBTpFdbIndex {axsVBTpEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	●
4	axsVBTpFdbAddress {axsVBTpEntry 2}	MacAddress	R/O	MAC アドレステーブルエントリのユニキャスト MAC アドレス。	●

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセ	実装仕様	実装有無
5	axsVBTpFdbPort {axsVBTpEntry 3}	INTEGER	R/O	axsVBTpFdbAddress の示す MAC アドレスをソースアドレスとして持つフレームを受信したポート番号。 0 の場合、ポート番号を学習していないことを示す。	●
6	axsVBTpFdbStatus {axsVBTpEntry 4}	INTEGER	R/O	MAC アドレステーブルの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other(1) • invalid(2) • learned(3) • self(4) • mgmt(5) ダイナミックエントリは learned(3) を返す。 スタティックエントリは mgmt(5) を返す。	●

(7) axsVBTpPortTable グループ

(a) 識別子

```

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

```

(b) 実装仕様

axsVBTpPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-10 axsVBTpPortTable グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセ	実装仕様	実装有無
1	axsVBTpPortTable {axsVlanBridgeTp 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTpPortTable 情報テーブル。	●
2	axsVBTpPortEntry {axsVBTpPortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各ポートの axsVBTpPortTable 情報エントリ。 INDEX {axsVBTpPortIndex,axsVBTpPort}	●
3	axsVBTpPortIndex {axsVBTpPortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	●
4	axsVBTpPort {axsVBTpPortEntry 2}	INTEGER	R/O	このエントリが含む管理情報がどのポートに対応するかを示すポート番号 (1 ~ 65535)。 本ポート番号は物理ポートとリンクアグリゲーションを対象とする。	●
5	axsVBTpPortMaxInfo {axsVBTpPortEntry 3}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの最大 INFO フィールドサイズ (MAC ヘッダおよび FCS を含まない)。	●
6	axsVBTpPortInFrames {axsVBTpPortEntry 4}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの受信フレーム数。 本装置では固定値 (0) を返す。	▲

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	axsVBTpPortOutFrames {axsVBTpPortEntry 5}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの送信フレーム数。 本装置では固定値 (0) を返す。	▲
8	axsVBTpPortInDiscards {axsVBTpPortEntry 6}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの受信フレーム破棄数。 本装置では固定値 (0) を返す。	▲

(8) axsVBStaticTable グループ

(a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6
```

```
axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1
```

```
axsVlanBridgeStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5
```

(b) 実装仕様

axsVBStaticTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-11 axsVBStaticTable グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBStaticTable {axsVlanBridgeStatic 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dStaticTable 情報テーブル。	●
2	axsVBStaticEntry {axsVBStaticTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBStaticTable の構成エントリ。 INDEX {axsVBStaticIndex,axsVBStaticAddress }	●
3	axsVBStaticIndex {axsVBStaticEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	●
4	axsVBStaticAddress {axsVBStaticEntry 2}	MacAddress	R/O	ユニキャスト, グループ, ブロードキャストのどれかの MAC アドレス。	●
5	axsVBStaticReceivePort {axsVBStaticEntry 3}	INTEGER	R/O	このエントリを適用する受信ポート番号。 全ての受信ポートを対象とするときは 0。 本装置では固定値 (0) を返す。	●
6	axsVBStaticAllowedToGoTo {axsVBStaticEntry 4}	OCTET STRING	R/O	本エントリの持つ MAC アドレスを宛先とするフレームを転送する時の転送先ポートを示すポートのビットマップ。	●
7	axsVBStaticStatus {axsVBStaticEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリの状態を示す。 <ul style="list-style-type: none"> • other(1) • invalid(2) • permanent(3) • deleteOnReset(4) • deleteOnTimeout(5) 本装置では、スタティックエントリを permanent(3), IGMP/MLD snooping エントリを deleteOnReset(4) として返す。	●

(9) axsVlanBridge (その他) グループ

(a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1
```

(b) 実装仕様

axsVlanBridge (その他) グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-12 axsVlanBridge (その他) グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVlanBridgeMaxVlans {axsVlanBridge 101}	VlanIndex	R/O	本装置の VLAN ID の最大値。 本装置では固定値(4094)を返す。	●
2	axsVlanBridgeMaxSpans {axsVlanBridge 102}	VlanIndex	R/O	本装置でスパニング・ツリーの動作する VLAN の VLAN ID の最大値。 本装置では固定値(4094)を返す。	●

3.3.2 axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報 MIB)

(1) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanTagTranslation OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10

axsVlanTagTranslationTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanTagTranslation 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1
```

(2) 実装仕様

axsVlanTagTranslation の実装仕様を次の表に示します。

表 3-13 axsVlanTagTranslation グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVlanTagTranslationTable {axsVlanTagTranslation 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換に関する情報テーブル。	●
2	axsVlanTagTranslationEntry {axsVlanTagTranslationTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換に関する情報テーブルのエントリ。 INDEX {axsVlanTagTranslationVlanId, axsVlanTagTranslationTranslatedId}	●
3	axsVlanTagTranslationVlanId {axsVlanTagTranslationEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換を設定している VLAN ID (1 ~ 4094)。	●
4	axsVlanTagTranslationTranslateId {axsVlanTagTranslationEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換で設定している Translated ID (1 ~ 4094)。	●
5	axsVlanTagTranslationPorts {axsVlanTagTranslationEntry 3}	PortList	R/O	Tag 変換で、当該の VLAN で同一の Translated ID を設定しているポートリスト。	●

3.4 axsL2ldMIB グループ (L2LD 情報 MIB)

3.4.1 axsL2ldGlobalInfo グループ

(1) 識別子

```

axsL2ld OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 10}

axsL2ldGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsL2ld 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1

axsL2ldVersion OBJECT IDENTIFIER ::= {axsL2ldGlobalInfo 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.1

```

(2) 実装仕様

axsL2ldGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-14 axsL2ldGlobalInfo グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsL2ldVersion {axsL2ldGlobalInfo 1}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知のバージョン。 • Version 1(1)	●
2	axsL2ldLoopDetectionId {axsL2ldGlobalInfo 2}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知 ID。 • 0 固定	●
3	axsL2ldIntervalTime {axsL2ldGlobalInfo 3}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレームの送信間隔（単位：秒）。	●
4	axsL2ldOutputRate {axsL2ldGlobalInfo 4}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレームの送信レート（単位：packet/s）。	●
5	axsL2ldThreshold {axsL2ldGlobalInfo 5}	INTEGER	R/O	ポートを inactive 状態にするまでの検出回数。	●
6	axsL2ldHoldTime {axsL2ldGlobalInfo 6}	INTEGER	R/O	検出回数の保持時間（単位：秒）。	●
7	axsL2ldAutoRestoreTime {axsL2ldGlobalInfo 7}	INTEGER	R/O	inactive 状態にしたポートを自動で active 状態にするまでの時間（単位：秒）。	●
8	axsL2ldConfigurationVlanPortCounts {axsL2ldGlobalInfo 8}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレームを送信するように設定している VLAN ポート数。	●
9	axsL2ldCapacityVlanPortCounts {axsL2ldGlobalInfo 9}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレーム送信レートで送信可能な VLAN ポート数。	●

3.4.2 axsL2ldPortTable グループ

(1) 識別子

```
axsL2ld OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 10}

axsL2ldPortTable Group OBJECT IDENTIFIER ::= {axsL2ld 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2
```

(2) 実装仕様

axsL2ldPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-15 axsL2ldPortTable グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsL2ldPortTable {axsL2ld 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	L2 ループ検知のポート情報を格納するテーブル。	●
2	axsL2ldPortEntry {axsL2ldPortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	L2 ループ検知のポート情報のリスト。 INDEX {axsL2ldPortIndex,axsL2ldPortIfIndex }	●
3	axsL2ldPortIndex {axsL2ldPortEntry 1}	INTEGER	R/O	1 固定。	●
4	axsL2ldPortIfIndex {axsL2ldPortEntry 2}	INTEGER	R/O	ポートの ifIndex ^{※1※2} 。	●
5	axsL2ldPortStatus {axsL2ldPortEntry 3}	INTEGER	R/O	ポートの状態。 ポート、リンクアグリゲーションの場合 <ul style="list-style-type: none"> • Up(1) : ポートが Up 状態 • Down(2) : ポートが Down 状態 • Down(loop)(3) : ポートが L2 ループ検知機能により Down 状態 ビアリンクの場合 <ul style="list-style-type: none"> • Up(1) : ビアリンクが Full 状態 • Down(2) : ビアリンクが Standalone または Conflict 状態 	●
6	axsL2ldPortType {axsL2ldPortEntry 4}	INTEGER	R/O	ポートの種別。 <ul style="list-style-type: none"> • trap(1) : 検知ポート • send-inact(2) : 検知送信閉塞ポート • send(3) : 検知送信ポート • uplink(4) : アップリンクポート • exception(5) : 検知対象外ポート 	●
7	axsL2ldPortDetectCount {axsL2ldPortEntry 5}	INTEGER	R/O	L2 ループ検出回数。 保持時間内で L2 ループ検知フレームを受信している回数。	●
8	axsL2ldPortAutoRestoringTime {axsL2ldPortEntry 6}	INTEGER	R/O	自動復旧するまでの時間（単位：秒）。 ポートが active 状態の場合は 0 (ゼロ) になります。	●
9	axsL2ldPortSourcePortIfindex {axsL2ldPortEntry 7}	INTEGER	R/O	最後に L2 ループ検出フレームを受信したときの送信したポートの ifIndex ^{※1※2} 。	●
10	axsL2ldPortDestinationPortIfindex {axsL2ldPortEntry 8}	INTEGER	R/O	最後に L2 ループ検出フレームを受信したポートの ifIndex ^{※1※2} 。	●
11	axsL2ldPortSourceVlan {axsL2ldPortEntry 9}	INTEGER	R/O	最後に L2 ループ検出フレームを受信したときの送信時の VLAN ID。	●

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	axsL2ldPortHCInFrames {axsL2ldPortEntry 10}	Counter64	R/O	L2 ループ検知フレームの受信数。	●
13	axsL2ldPortHCOutFrames {axsL2ldPortEntry 11}	Counter64	R/O	L2 ループ検知フレームの送信数。	●
14	axsL2ldPortHCInDiscards {axsL2ldPortEntry 12}	Counter64	R/O	L2 ループ検知フレームの受信廃棄数。	●
15	axsL2ldPortInactiveCount {axsL2ldPortEntry 13}	INTEGER	R/O	inactive 状態にした回数。	●
16	axsL2ldPortLastInactiveTime {axsL2ldPortEntry 14}	TimeStamp	R/O	最後に inactive 状態にした時間。	●
17	axsL2ldPortLastInFramesTime {axsL2ldPortEntry 15}	TimeStamp	R/O	最後に L2 ループ検知フレームを受信した時間。	●

注※1 リンクアグリゲーションのポートの場合、リンクアグリゲーションの ifIndex を使用します。

注※2 ピアリンクのポートの場合、ピアリンクの iffIndex を使用します。

3.5 axsUlr グループ（アップリンク・リダンダント情報 MIB）

3.5.1 axsUlrGlobalInfo グループ

(1) 識別子

```

axsUlr OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 20}

axsUlrGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsUlr 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1

axsUlrVersion OBJECT IDENTIFIER ::= {axsUlrGlobalInfo 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.1

```

(2) 実装仕様

axsUlrGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-16 axsUlrGlobalInfo グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsUlrVersion {axsUlrGlobalInfo 1}	INTEGER	R/O	アップリンク・リダンダントのバージョン。 • Version 1(1)	●
2	axsUlrID {axsUlrGlobalInfo 2}	MacAddress	R/O	装置のシステム ID。	●
3	axsUlrConfigurationPortCounts {axsUlrGlobalInfo 3}	INTEGER	R/O	プライマリポート数とセカンダリポート数を合わせた数。	●
4	axsUlrStartupActivePortSelection {axsUlrGlobalInfo 4}	INTEGER	R/O	装置起動時のアクティブポート固定機能の設定。 • Off (1) : 設定なし • On (2) : 設定あり	×

3.5.2 axsUlrPortTable グループ

(1) 識別子

```

axsUlr OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 20}

axsUlrPortTable Group OBJECT IDENTIFIER ::= {axsUlr 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2

```

(2) 実装仕様

axsUlrPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-17 axsUlrPortTable グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsUlrPortTable {axsUlr 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	アップリンク・リダンダントのポート情報を格納するテーブル。	●

3.5 axsUlr グループ (アップリンク・リダンダント情報 MIB)

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsUlrPortEntry {axsUlrPortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	アップリンク・リダンダントのポート情報のリスト。 INDEX { axsUlrPortIfIndex }	●
3	axsUlrPortIfIndex {axsUlrPortEntry 1}	INTEGER	R/O	ポートまたはチャネルグループの ifIndex。	●
4	axsUlrPortType {axsUlrPortEntry 2}	INTEGER	R/O	ポートの種別。 • Primary (1) : プライマリポート • Secondary (2) : セカンダリポート	●
5	axsUlrPairedPortIfIndex {axsUlrPortEntry 3}	INTEGER	R/O	対になるポートまたは対になるチャネルグループの ifIndex。	●
6	axsUlrPortStatus {axsUlrPortEntry 4}	INTEGER	R/O	ポートの状態。 • Forwarding (1) : Forwarding • Down (2) : ポートがダウンまたはチャネルグループがダウン • Blocking (3) : Blocking	●
7	axsUlrPairedPortStatus {axsUlrPortEntry 5}	INTEGER	R/O	対になるポートの状態。 • Forwarding (1) : Forwarding • Down (2) : ポートがダウンまたはチャネルグループがダウン • Blocking (3) : Blocking	×
8	axsUlrAutoChangeToPrimary {axsUlrPortEntry 6}	INTEGER	R/O	自動切り戻しの設定。 • Off (1) : 設定なし • On (2) : 設定あり	×
9	axsUlrAutoChangeToPrimaryDelay {axsUlrPortEntry 7}	INTEGER	R/O	自動切り戻し時間 (単位:秒)。	×
10	axsUlrAutoChangeToPrimaryRest {axsUlrPortEntry 8}	INTEGER	R/O	自動切り戻しまでの残時間 (単位:秒)。	×
11	axsUlrStartupActivePortSelection {axsUlrPortEntry 9}	INTEGER	R/O	装置起動時のアクティブポート固定機能の動作状態。 • Off (1) : 動作していない • On (2) : 動作中	×
12	axsUlrFlushTransmit {axsUlrPortEntry 10}	INTEGER	R/O	フラッシュ制御フレームの送信設定。 • Off (1) : 設定なし • On (2) : 設定あり	×
13	axsUlrFlushVlan {axsUlrPortEntry 11}	INTEGER	R/O	フラッシュ制御フレームを送信する VLAN の VLAN ID。 • 未設定 (0) • 送信に使用している VLAN ID	×
14	axsUlrMacAddressUpdateTransmit {axsUlrPortEntry 12}	INTEGER	R/O	MAC アドレスアップデートフレームの送信回数。	×
15	axsUlrLastActivePortDecisionTime {axsUlrPortEntry 13}	TimeStamp	R/O	最後にアクティブポートが決定した時間。	×
16	axsUlrLastFlushTransmitTime {axsUlrPortEntry 14}	TimeStamp	R/O	最後にフラッシュ制御フレームを送信した時間。	×
17	axsUlrLastMacUpdateTransmitTime {axsUlrPortEntry 15}	TimeStamp	R/O	最後に MAC アドレスアップデートフレームを送信した時間。	×

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
18	axsUlrLastChangeFactor {axsUlrPortEntry 16}	INTEGER	R/O	最後にアクティブポートが決定したときの要因。 • command (1) • configure (2) • primary down (3) • primary up (4) • secondary down (5) • secondary up (6) • preemption (7)	×
19	axsUlrFlushTransmitTotalPackets {axsUlrPortEntry 17}	INTEGER	R/O	フラッシュ制御フレームの送信数。	×
20	axsUlrMacAddressUpdateTransmitTotalPackets {axsUlrPortEntry 18}	INTEGER	R/O	MAC アドレスアップデートフレームの送信数。	×
21	axsUlrMacAddressUpdateTransmitOverFlow {axsUlrPortEntry 19}	INTEGER	R/O	MAC アドレスアップデートフレームオーバー数。	×
22	axsUlrActiveDecisionCount {axsUlrPortEntry 20}	INTEGER	R/O	対象のポートを含むアップリンクポートでアクティブポートが決定した回数。	×

3.6 axsBootManagement グループ(システム起動情報 MIB)

スタック動作時、本 MIB はマスタスイッチの情報を応答します。

全メンバスイッチの情報は、「3.11 axsStack グループ(スタック情報)【OS-L2A】」を参照してください。

(1) 識別子

```
axsBootManagement OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 51}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51
```

(2) 実装仕様

axsBootManagement の実装仕様を次の表に示します。

表 3-18 axsBootManagement の実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsBootReason {axsBootManagement 1}	INTEGER	R/O	システムが起動した要因 <ul style="list-style-type: none"> • power-on(1) : 電源オンによる起動 • reload(2) : コマンドによる起動 • system-fault(3) : 障害による起動 • system-stall(4) : WDT タイムアウトによる起動 • reset(5) : HW リセットによる起動 • fail-over(6) : SWAP による起動 • default-restart(7) : デフォルトリスタートによる起動 • system-exception(8) : 障害による起動 (CPU 例外) • wake-on-rtc(9) : 装置スリープ状態から通常時間帯になったことによる起動 • wake-on-reset(10) : 装置スリープ状態からのリセットボタン長押しによる起動 本装置では power-on(1), reload(2), system-fault(3), system-stall(4), または system-exception(8) を返す。	●

3.7 axsLogin グループ(ログイン情報 MIB)

(1) 識別子

axsLogin OBJECTIDENTIFIER ::= {axsMib 52}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52

(2) 実装仕様

axsLogin の実装仕様を次の表に示します。

表 3-19 axsLogin の実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsLoginName {axsLogin 1}	DisplayString	NA	ログインユーザ名。	●
2	axsLoginTime {axsLogin 2}	DisplayString	NA	<p>ユーザがログインした時刻(年月日時分秒タイムゾーン)を26バイトの文字列で表示します。 "YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX"で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YYYY:西暦 • MM:月(01~12) • DD:日(01~31) • hh:時(00~23) • mm:分(00~59) • ss:秒(00~59) • XXXXXX:タイムゾーン <p>DDとhhの間、およびssとXXXXXXの間は、1バイトのスペース文字が入ります。(例 2010/08/12 10:23:10 JST)</p>	●
3	axsLogoutTime {axsLogin 3}	DisplayString	NA	<p>ユーザがログアウトした時刻(年月日時分秒タイムゾーン)を26バイトの文字列で表示します。 "YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX"で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YYYY:西暦 • MM:月(01~12) • DD:日(01~31) • hh:時(00~23) • mm:分(00~59) • ss:秒(00~59) • XXXXXX:タイムゾーン <p>DDとhhの間、およびssとXXXXXXの間は、1バイトのスペース文字が入ります。(例 2010/08/12 10:23:10 JST)</p>	●

3.7 axsLogin グループ (ログイン情報 MIB)

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsLoginFailureTime {axsLogin 4}	DisplayString	NA	<p>ユーザがログインに失敗した時刻（年月日時分秒タイムゾーン）を 26 バイトの文字列で表示します。</p> <p>"YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX" で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YYYY : 西暦 • MM : 月 (01 ~ 12) • DD : 日 (01 ~ 31) • hh : 時 (00 ~ 23) • mm : 分 (00 ~ 59) • ss : 秒 (00 ~ 59) • XXXXXX : タイムゾーン <p>DD と hh の間、および ss と XXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。</p> <p>(例 2010/08/12 10:23:10 JST)</p>	●
5	axsLoginLocation {axsLogin 5}	DisplayString	NA	<p>ログインユーザーの接続形式情報を以下形式で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンソールの場合 "console" • その他の場合 "XXXX(YYYY)" と表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • XXXX : IP アドレス • YYYY : アプリケーション (telnet, ftp) <p>(例 "console", "192.168.1.1(telnet)")</p>	●
6	axsLoginLine {axsLogin 6}	DisplayString	NA	<p>ログインユーザーの端末識別子情報を以下形式で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンソールの場合 "console" • その他の場合 "XXXX(YYYY)" と表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • XXXX : 端末 • YYYY : アプリケーション (telnet, ftp) <p>(例 "console", "vty0(telnet)")</p>	●
7	axsLogoutStatus {axsLogin 7}	INTEGER	NA	<p>ログアウト要因</p> <ul style="list-style-type: none"> • error(1) : 下記要因以外のログアウト (例：内部不正によるシステムアウト等) • success(2) : コマンドによるログアウト • timeout(3) : auto-logout によるログアウト • disconnect(4) : 回線切断によるログアウト • force(5) : 他のユーザによる強制ログアウト <p>本装置では固定値 (2) を返す。</p>	●

3.8 axslldp グループ (LLDP 情報 MIB)

本グループは IEEE802.1AB/D6.0LLDP の情報を提供します。

3.8.1 axslldpConfiguration グループ

(1) 識別子

```
axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}
axslldpConfiguration OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1
axslldpMessageTxInterval OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpConfiguration 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.1
```

(2) 実装仕様

axslldpConfiguration グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-20 axslldpConfiguration グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpMessageTxInterval {axslldpConfiguration 1}	Integer32	R/O	[規格] LDPDU 送信間隔。コンフィグレーションコマンド lldp interval-time で設定した値（単位：秒）。 デフォルト：30（秒） [実装] 規格に同じ。	●
2	axslldpMessageTxHoldMultiple r {axslldpConfiguration 2}	Integer32	R/O	[規格] 本装置が送信した LLDP フレームに関して、隣接装置が保持する時間係数。実際に保持される時間は axslldpMessageTxInterval と本 MIB 値の積。 コンフィグレーションコマンド lldp hold-count で設定した値。 デフォルト：4 [実装] 規格に同じ。	●
3	axslldpReinitDelay {axslldpConfiguration 3}	Integer32	R/W	[規格] ポート状態が disable に遷移してから再初期化されるまでの遅延時間（単位：秒）。 デフォルト：1（秒） [実装] 未サポート。	×
4	axslldpTxDelay {axslldpConfiguration 4}	Integer32	R/W	[規格] axslldpLocalSystemData グループのオブジェクトのどれかで値が変更された後に LDPDU が送信されるまでの遅延時間（単位：秒）。 推奨値は以下の式で求めることができる。 axslldpTxDelay = max(1,(0.25×axslldpMessageTxInterval)) デフォルト：8（秒） [実装] 未サポート。	×
5	axslldpPortConfigTable {axslldpConfiguration 6}	SEQUENCE OF axslldpPortConfigEntry	NA	[規格] LDPDU 送信に関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●

3.8 axlldp グループ (LLDP 情報 MIB)

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axlldpPortConfigEntry {axlldpPortConfigTable 1}	axlldpPortConfigEntry	NA	[規格] LDPDU 送信に関するエントリ(ポートごと)。 INDEX {axlldpPortConfigPortNum} [実装] 規格に同じ。	●
7	axlldpPortConfigPortNum {axlldpPortConfigEntry 2}	Integer32	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifindexと同じ。 [実装] 規格に同じ。	●
8	axlldpPortConfigAdminStatus {axlldpPortConfigEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] LDPDU の送受信に関する本装置のポート状態。 • txOnly(1) • rxOnly(2) • txAndRx(3) • disabled(4) [実装] txAndRx(3), disabled(4) だけ使用できる。	●
9	axlldpPortConfigTLVsTxEnable {axlldpPortConfigEntry 4}	BITS	R/O	[規格] 当該ポートに関する送信可能 TLV。 • portDesc(4) • sysName(5) • sysDesc(6) • sysCap(7) [実装] portDesc(4), sysName(5), sysDesc(6) 固定。	●
10	axlldpPortConfigRowStatus {axlldpPortConfigEntry 5}	RowStatus	R/O	[規格] 本エントリの状態。 • active(1) : axlldpPortConfigAdminStatus が txAndRx の場合 • notReady(3) : axlldpPortConfigAdminStatus が disabled の場合 [実装] 規格に同じ。	●
11	axlldpConfigManAddrTable {axlldpConfiguration 7}	SEQUENCE OF axlldpConfigManAddrEntry	NA	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
12	axlldpConfigManAddrEntry {axlldpConfigManAddrTable 1}	axlldpConfigManAddrEntry	NA	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートの集合を表すエントリ。 [実装] 未サポート。	×
13	axlldpConfigManAddrPortsTxEnable {axlldpConfigManAddrEntry 1}	OCTET STRING	R/W	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートの集合をビットマップで表したもの。 [実装] 未サポート。	×

3.8.2 axlldpStats グループ

(1) 識別子

```

axlldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axlldpStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axlldp 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2

axlldpStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axlldpStats 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1

```

(2) 実装仕様

axlldpStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-21 axlldpStats グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axlldpStatsTable {axlldpStats 1}	SEQUENCE OF axlldpStatsEntry	NA	[規格] LLDP 統計情報に関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	axlldpStatsEntry {axlldpStatsTable 1}	axlldpStatsEntry	NA	[規格] LLDP 統計情報に関するエントリ (ポートごと)。 INDEX {axlldpStatsPortNum} [実装] 規格に同じ。	●
3	axlldpStatsPortNum {axlldpStatsEntry 2}	Integer32	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifIndex と同じ。 [実装] 規格に同じ。ただしコングリゲーションコマンド lldp enable を設定し ているポートが対象になる。	●
4	axlldpStatsOperStatus {axlldpStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] 当該ポートに関する active 状態。 • portUp(1) • portDown(2) [実装] 規格に同じ。	●
5	axlldpStatsFramesInErrors {axlldpStatsEntry 4}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する不正 LDPDU 受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	axlldpStatsFramesInTotal {axlldpStatsEntry 5}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する総 LDPDU 受 信数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	axlldpStatsFramesOutTotal {axlldpStatsEntry 6}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する総 LDPDU 送 信数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	axlldpStatsTLVsInErrors {axlldpStatsEntry 7}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する不正 TLV 受信 数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	axlldpStatsTLVsDiscardedTotal {axlldpStatsEntry 8}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する総廃棄 TLV 数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	axlldpStatsCounterDiscontinuityTime {axlldpStatsEntry 9}	TimeStamp	R/O	[規格] 当該ポートの統計カウンタの連続 性が失われた時刻。 [実装] 未サポート。	×

3.8.3 axslldpLocalSystemData グループ

(1) 識別子

```
axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpLocalSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3

axslldpLocChassisType ::= {axslldpLocalSystemData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.1
```

(2) 実装仕様

axslldpLocalSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-22 axslldpLocalSystemData グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpLocChassisType {axslldpLocalSystemData 1}	INTEGER	R/O	[規格] 本装置に関するシャシータイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • entPhysicalAlias(1) • ifAlias(2) • portEntPhysicalAlias(3) • backplaneEntPhysicalAlias(4) • macAddress(5) • networkAddress(6) [実装] macAddress(5) 固定。	●
2	axslldpLocChassisId {axslldpLocalSystemData 2}	OCTET STRING	R/O	[規格] 本装置に関するシャシー ID (文字列)。 [実装] 装置の MAC アドレス。	●
3	axslldpLocSysName {axslldpLocalSystemData 3}	OCTET STRING	R/O	[規格] 本装置に関するシステムネーム (文字列)。system グループの sysName と同じ。 [実装] 規格に同じ。	●
4	axslldpLocSysDesc {axslldpLocalSystemData 4}	DisplayString	R/O	[規格] 本装置に関するシステム情報 (文字列)。system グループの sysDesc と同じ。 [実装] 規格に同じ。	●
5	axslldpLocSysCapSupported {axslldpLocalSystemData 5}	BITS	R/O	[規格] 当該装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。 <ul style="list-style-type: none"> • repeater(0) • bridge(1) • accessPoint(2) • router(3) • telephone(4) • wirelessStation(5) • stationOnly(6) [実装] 未サポート。	×

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axSlldpLocSysCapEnabled {axSlldpLocalSystemData 6}	BITS	R/O	[規格] 当該装置で稼働している機能の一覧をビットマップで表現したもの。 • repeater(0) • bridge(1) • accessPoint(2) • router(3) • telephone(4) • wirelessStation(5) • stationOnly(6) [実装] 未サポート。	×
7	axSlldpLocPortTable {axSlldpLocalSystemData 7}	SEQUENCE OF axSlldpLocPortEntry	NA	[規格] 本装置のポートに関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
8	axSlldpLocPortEntry {axSlldpLocPortTable 1}	axSlldpLocPortEntry	NA	[規格] 本装置のポートに関するエントリ(ポートごと)。 INDEX {axSlldpLocPortNum} [実装] 規格に同じ。	●
9	axSlldpLocPortNum {axSlldpLocPortEntry 1}	Integer32	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifIndexと同じ。 [実装] 規格に同じ。ただしコンフィギュレーションコマンド lldp enable を設定しているポートが対象になる。	●
10	axSlldpLocPortType {axSlldpLocPortEntry 2}	INTEGER	R/O	[規格] 本装置の当該ポートに関するポートタイプ。 • ifAlias(1) • portEntPhysicalAlias(2) • backplaneEntPhysicalAlias(3) • macAddress(4) • networkAddress(5) • local(6) [実装] macAddress(4) 固定。	●
11	axSlldpLocPortId {axSlldpLocPortEntry 3}	OCTET STRING	R/O	[規格] 本装置の当該ポートに関するポート ID (文字列)。 [実装] ポートの MAC アドレス。	●
12	axSlldpLocPortDesc {axSlldpLocPortEntry 4}	OCTET STRING	R/O	[規格] 本装置の当該ポートに関するポート情報 (文字列)。ポートの ifDescr と同じ。 [実装] 規格に同じ。	●
13	axSlldpLocManAddrTable {axSlldpLocalSystemData 8}	SEQUENCE OF axSlldpLocManAddrEntry	NA	[規格] 当該装置の管理アドレスに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
14	axSlldpLocManAddrEntry {axSlldpLocManAddrTable 1}	axSlldpLocManAddrEntry	NA	[規格] シャシーごとの管理アドレスに関する情報。 INDEX {axSlldpLocManAddrType,axSlldpLocManAddr} [実装] 未サポート。	×
15	axSlldpLocManAddrType {axSlldpLocManAddrEntry 1}	AddressFamilyNumber	NA	[規格] 管理アドレスのタイプ。 [実装] 未サポート。	×

3.8 axlldp グループ (LLDP 情報 MIB)

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	axlldpLocManAddr {axlldpLocManAddrEntry 2}	OCTET STRING	NA	[規格] 当該装置の管理アドレス [実装] 未サポート。	×
17	axlldpLocManAddrIfSubtype {axlldpLocManAddrEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] インタフェース番号のタイプ • unknown(1) • ifIndex(2) systemPortNumber(3) [実装] 未サポート。	×
18	axlldpLocManAddrIfId {axlldpLocManAddrEntry 4}	OCTET STRING	R/O	[規格] 管理アドレスに対応するインターフェース番号。 [実装] 未サポート。	×
19	axlldpLocManAddrOID {axlldpLocManAddrEntry 5}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] 管理アドレスに関連するハードウェア、またはプロトコルのオブジェクトID。 [実装] 未サポート。	×

3.8.4 axlldpRemoteSystemData グループ

(1) 識別子

```

axlldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}
axlldpRemoteSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axlldp 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4

axlldpRemTable ::= {axlldpRemoteSystemData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1

```

(2) 実装仕様

axlldpRemoteSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-23 axlldpRemoteSystemData グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axlldpRemTable {axlldpRemoteSystemData 1}	SEQUENCE OF axlldpRemEntry	NA	[規格] 隣接装置に関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	axlldpRemEntry {axlldpRemTable 1}	axlldpRemEntry	NA	[規格] 隣接装置に関するエントリ。 INDEX {axlldpRemLocalPortNum,axlldpRemIndex }*	●
3	axlldpRemTimeMark {axlldpRemEntry 1}	TimeFilter	NA	[規格] 当該隣接装置の情報を取得してからの時間。 [実装] 未サポート。	×
4	axlldpRemLocalPortNum {axlldpRemEntry 2}	Integer32	R/O	[規格] 隣接装置に関する情報を受信した本装置のポートの識別インデックス。 ifindex と同じ。 [実装] 規格に同じ。ただしコンフィギュレーションコマンド lldp enable を設定しているポートが対象になる。	●

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	axlldpRemIndex {axlldpRemEntry 3}	Integer32	R/O	[規格] 隣接装置に関するインデックス。 [実装] 規格に同じ。	●
6	axlldpRemRemoteChassisType {axlldpRemEntry 4}	INTEGER	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャシータイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • entPhysicalAlias(1) • ifAlias(2) • portEntPhysicalAlias(3) • backplaneEntPhysicalAlias(4) • macAddress(5) • networkAddress(6) [実装] 規格に同じ。	●
7	axlldpRemRemoteChassis {axlldpRemEntry 5}	OCTET STRING	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャシー ID (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	●
8	axlldpRemRemotePortType {axlldpRemEntry 6}	INTEGER	R/O	[規格] 隣接装置の当該ポートに関するポートタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ifAlias(1) • portEntPhysicalAlias(2) • backplaneEntPhysicalAlias(3) • macAddress(4) • networkAddress(5) • local(6) [実装] 規格に同じ。	●
9	axlldpRemRemotePort {axlldpRemEntry 7}	OCTET STRING	R/O	[規格] 隣接装置の当該ポートに関するポート ID (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	●
10	axlldpRemPortDesc {axlldpRemEntry 8}	OCTET STRING	R/O	[規格] 隣接装置の当該ポートに関する情報 (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	●
11	axlldpRemSysName {axlldpRemEntry 9}	OCTET STRING	R/O	[規格] 隣接装置に関するシステムネーム (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	●
12	axlldpRemSysDesc {axlldpRemEntry 10}	OCTET STRING	R/O	[規格] 隣接装置に関するシステム情報 (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	●
13	axlldpRemSysCapSupported {axlldpRemEntry 11}	BITS	R/O	[規格] 隣接装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。 <ul style="list-style-type: none"> • repeater(0) • bridge(1) • accessPoint(2) • router(3) • telephone(4) • wirelessStation(5) • stationOnly(6) [実装] 未サポート。	×

3.8 axlldp グループ (LLDP 情報 MIB)

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
14	axlldpRemSysCapEnabled {axlldpRemEntry 12}	BITS	R/O	[規格] 隣接装置で稼働している機能の一覧をビットマップで表現したもの。 • repeater(0) • bridge(1) • accessPoint(2) • router(3) • telephone(4) • wirelessStation(5) • stationOnly(6) [実装] 未サポート。	×
15	axlldpRemManAddrTable {axlldpRemoteSystemsData 2}	SEQUENCE OF axlldpRemManAddrEntry	NA	[規格] 当該装置が学習した隣接装置の管理アドレスに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
16	axlldpRemManAddrEntry {axlldpRemManAddrTable 1}	axlldpRemManAddrEntry	NA	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関するテーブル。 INDEX {axlldpRemTimeMark, axlldpRemLocalPortNum, axlldpRemIndex, axlldpRemManAddrType, axlldpRemManAddr} [実装] 未サポート。	×
17	axlldpRemManAddrType {axlldpRemManAddrEntry 1}	AddressFamilyNumber	NA	[規格] 管理アドレスのタイプ。 [実装] 未サポート。	×
18	axlldpRemManAddr {axlldpRemManAddrEntry 2}	OCTET STRING	NA	[規格] 隣接装置の管理アドレス。 [実装] 未サポート。	×
19	axlldpRemManAddrIfSubtype {axlldpRemManAddrEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] インタフェース番号のタイプ。 • unknown(1) • ifIndex(2) • systemPortNumber(3) [実装] 未サポート。	×
20	axlldpRemManAddrIfId {axlldpRemManAddrEntry 4}	OCTET STRING	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに対応するインターフェース番号。 [実装] 未サポート。	×
21	axlldpRemManAddrOID {axlldpRemManAddrEntry 5}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関連するハードウェア、またはプロトコルのオブジェクト ID。 [実装] 未サポート。	×
22	axlldpRemOrgDefInfoTable {axlldpRemoteSystemsData 3}	SEQUENCE OF axlldpRemOrgDefInfoEntry	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	×

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
23	axlldpRemOrgDefInfoEntry {axlldpRemOrgDefTable 1}	axlldpRemOrgDefInfoEntry	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するエントリ。 INDEX {axlldpRemTimeMark, axlldpRemLocalPortNum, axlldpRemIndex, axlldpRemOrgDefOUI, axlldpRemOrgDefSubtype, axlldpRemOrgDefIndex} [実装] 未サポート。	×
24	axlldpRemOrgDefInfoOUI {axlldpRemOrgDefEntry 1}	OCTET STRING	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する OUI。 [実装] 未サポート。	×
25	axlldpRemOrgDefInfoSubtype {axlldpRemOrgDefEntry 2}	Integer32	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するサブタイプ。 [実装] 未サポート。	×
26	axlldpRemOrgDefInfoIndex {axlldpRemOrgDefEntry 3}	Integer32	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する ID。 [実装] 未サポート。	×
27	axlldpRemOrgDefInfo {axlldpRemOrgDefEntry 4}	OCTET STRING	R/O	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する情報。 [実装] 未サポート。	×

注※ 規格では axlldpRemTimeMark がありますが、未サポートのため除いてあります。

3.8.5 axlldpRemoteOriginInfoData グループ

(1) 識別子

```
axlldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axlldpRemoteOriginInfoData OBJECT IDENTIFIER ::= {axlldp 20}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20

axlldpRemOriginInfoTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axlldpRemoteOriginInfoData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1
```

(2) 実装仕様

axlldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-24 axlldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axlldpRemOriginInfoTable {axlldpRemoteOriginInfoData 1}	SEQUENCE OF axlldpRemOriginInfoTable	NA	隣接装置の弊社独自 TLV に関するテーブル。	●
2	axlldpRemOriginInfoEntry {axlldpRemoteOriginInfoTable 1}	axlldpRemOriginInfoEntry	NA	隣接装置に関するエントリ。 INDEX {axlldpRemOriginInfoLocalPortNum, axlldpRemOriginInfoIndex}	●

3.8 axlldp グループ (LLDP 情報 MIB)

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	axlldpRemOriginInfoPortNum {axlldpRemOriginInfoEntry 1}	Integer32	NA	隣接装置に関する情報を受信した本装置のポートの識別インデックス。ifindexと同じ。	●
4	axlldpRemOriginInfoIndex {axlldpRemOriginInfoEntry 2}	INTEGER	NA	隣接装置に関するインデックス。	●
5	axlldpRemOriginInfoLowerVlanList {axlldpRemOriginInfoEntry 3}	OCTET STRING	R/O	VLAN 1 ~ 2047 で隣接装置の当該ポートで有効な VLAN ID をビットマップで表現したもの（先頭のビット（0 バイト目の 2 ⁷ ビット）は untagged 定義の有無を示し、以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効／無効を示す）。 <ul style="list-style-type: none"> bit が 0: その VLAN は無効 bit が 1: その VLAN は有効 	●
6	axlldpRemOriginInfoHigherVlanList {axlldpRemOriginInfoEntry 4}	OCTET STRING	R/O	VLAN 2048 ~ 4095 で隣接装置の当該ポートで有効な VLAN ID をビットマップで表現したもの（先頭のビット（0 バイト目の 2 ⁷ ビット）から順に VLAN 2048 ~ 4095 の有効／無効を示す）。 <ul style="list-style-type: none"> bit が 0: その VLAN は無効 bit が 1: その VLAN は有効 	●
7	axlldpRemOriginInfoIPv4Addresses {axlldpRemOriginInfoEntry 5}	OCTET STRING	R/O	[axlldpRemOriginInfoLowerVlanList に untagged だけ設定されているとき] 隣接装置の当該ポートに付与されている IPv4 アドレス（文字列）。 [上記以外のとき] 隣接装置の当該ポートで有効であり、かつ IPv4 アドレスが付与されている VLAN のうち、最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv4 アドレス（文字列）。	●
8	axlldpRemOriginInfoIPv4PortType {axlldpRemOriginInfoEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接装置の当該ポートのポート種別。 <ul style="list-style-type: none"> ブリッジポート（0）: IP アドレスの定義されていないポートまたは IP アドレスが付与された VLAN に含まれるポート ルータポート（1）: 上記以外のポート 	●
9	axlldpRemOriginInfoIPv4VlanId {axlldpRemOriginInfoEntry 7}	INTEGER	R/O	[axlldpRemOriginInfoIPv4PortType がブリッジポートのとき] IPv4 アドレスが付与されている VLAN ID のうち、最も小さいもの。 [axlldpRemOriginInfoIPv4PortType がルータポートのとき] 0 固定。	●
10	axlldpRemOriginInfoIPv6Addresses {axlldpRemOriginInfoEntry 8}	OCTET STRING	R/O	[axlldpRemOriginInfoLowerVlanList に untagged だけ設定されているとき] 隣接装置の当該ポートに付与されている IPv6 アドレス（文字列）。 [上記以外のとき] 隣接装置の当該ポートで有効であり、かつ IPv6 アドレスが付与されている VLAN のうち、最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv6 アドレス（文字列）。	●

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	axlldpRemOriginInfoIPv6PortType {axlldpRemOriginInfoEntry 9}	INTEGER	R/O	隣接装置の当該ポートのポート種別。 • ブリッジポート (0) : IP アドレスの定義されていないポートまたは IP アドレスが付与された VLAN に含まれるポート • ルータポート (1) : 上記以外のポート	●
12	axlldpRemOriginInfoIPv6VlanId {axlldpRemOriginInfoEntry 10}	INTEGER	R/O	[axlldpRemOriginInfoIPv6PortType がブリッジポートのとき] IPv6 アドレスが付与されている VLAN ID のうち、最も小さいもの。 [axlldpRemOriginInfoIPv6PortType がルータポートのとき] 0 固定。	●

3.9 axsAxrpMIB グループ (Ring Protocol 情報)

3.9.1 axsAxrpGroupTable グループ

(1) 識別子

```
axsAxrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 200}
axsAxrpGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAxrp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1
```

(2) 実装仕様

axsAxrpGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-25 axsAxrpGroupTable グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsAxrpGroupTable {axsAxrp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ring Protocol グループ情報を格納するテーブル。	●
2	axsAxrpGroupEntry {axsAxrpGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ring Protocol グループ情報のリスト。INDEX { axsAxrpGroupRingId }	●
3	axsAxrpGroupRingId {axsAxrpGroupEntry 1}	INTEGER	NA	リング ID (1 ~ 65535)。	●
4	axsAxrpGroupRowStatus {axsAxrpGroupEntry 2}	RowStatus	R/O	このエントリの有効 / 無効状態。Active (1) 固定。	●
5	axsAxrpGroupMode {axsAxrpGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	リング ID ごとの動作モード。 <ul style="list-style-type: none">• no-config (1) : コンフィグレーションコマンド mode が未設定• master (2) : マスタノード• transit (3) : トランジットノード	●
6	axsAxrpGroupRingAttribute {axsAxrpGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	マルチリング構成時、共有リンク非監視リングでの本装置の属性。 <ul style="list-style-type: none">• no-config (1) : 属性なし• rift-ring (2) : 共有リンク非監視リングを構成するノード• rift-ring-edge 1 (3) : 共有リンク非監視リングの最終端となるノード 1• rift-ring-edge 2 (4) : 共有リンク非監視リングの最終端となるノード 2	●
7	axsAxrpGroupMonitoringState {axsAxrpGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	リングの運用および監視状態。 <ul style="list-style-type: none">• init (1) : 初期化中• disable (2) : 無効化状態• fault-monitoring (3) : 障害監視状態• recovery-monitoring (4) : 復旧監視状態• flush-monitoring (5) : フラッシュ制御フレームの監視状態• not-operating (6) : 運用不可状態• preempt-delay (8) : 経路切り戻し抑止状態• recovery re-monitoring(9) : 復旧再監視状態 (経路切り戻し抑止解除時)	●

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axsAxrpGroupRingport1 {axsAxrpGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	リングポート 1 (ifIndex が小さい方のポート) の ifIndex。※	●
9	axsAxrpGroupRingport1Shared {axsAxrpGroupEntry 7}	INTEGER	R/O	リングポート 1 の共有状態。※ • no-config (1) • shared-edge (2) • shared (3)	●
10	axsAxrpGroupRingport2 {axsAxrpGroupEntry 8}	INTEGER	R/O	リングポート 2 (ifIndex が大きい方のポート) の ifIndex。※	●
11	axsAxrpGroupRingport2Shared {axsAxrpGroupEntry 9}	INTEGER	R/O	リングポート 2 の共有状態。※ • no-config (1) • shared-edge (2) • shared (3)	●
12	axsAxrpGroupTransitionToFaultCounts {axsAxrpGroupEntry 10}	Counter	R/O	障害監視状態から復旧監視状態に移行した回数。	●
13	axsAxrpGroupTransitionToNormalCounts {axsAxrpGroupEntry 11}	Counter	R/O	復旧監視状態から障害監視状態に移行した回数。	●
14	axsAxrpGroupLastTransitionTime {axsAxrpGroupEntry 12}	TimeStamp	R/O	復旧監視状態から障害監視状態、または障害監視状態から復旧監視状態に遷移した最新時間。	●
15	axsAxrpGroupMultiFaultDetectionState {axsAxrpGroupEntry 22}	INTEGER	R/O	Ring Protocol の多重障害監視状態。 • not-monitoring (1) • normal (2) • fault (3)	●

注※ リングポートのコンフィグレーションが設定されていない場合、リングポート 1、またはリングポート 2 に関する MIB 情報を取得できません。リングポートのコンフィグレーションを設定し、MIB 情報を取得してください。

3.9.2 axsAxrpVlanGroupTable グループ

(1) 識別子

```
axsAxrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 200}
axsAxrpVlanGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAxrp 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2
```

(2) 実装仕様

axsAxrpVlanGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-26 axsAxrpVlanGroup グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsAxrpVlanGroupTable {axsAxrp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ring Protocol VLAN グループの情報を格納するテーブル。	●

3.9 axsAxrpMIB グループ (Ring Protocol 情報)

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsAxrpVlanGroupEntry {axsAxrpVlanGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN グループのリングポート情報のリスト。 INDEX { axsAxrpVlanGroupRingId, axsAxrpVlanGroupId }	●
3	axsAxrpVlanGroupRingId {axsAxrpVlanGroupEntry 1}	INTEGER	NA	リング ID (1 ~ 65535)。	●
4	axsAxrpVlanGroupId {axsAxrpVlanGroupEntry 2}	INTEGER	NA	VLAN グループ ID。	●
5	axsAxrpVlanGroupRingport1 {axsAxrpVlanGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	リングポート 1 (ifIndex が小さい方のポート) の ifIndex。※	●
6	axsAxrpVlanGroupRingport1Role {axsAxrpVlanGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	リングポート 1 の役割。※ • primary (1) : マスタノードのプライマリポート • secondary (2) : マスタノードのセカンダリポート • other (3)	●
7	axsAxrpVlanGroupRingport1OperState {axsAxrpVlanGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	リングポート 1 の現在の状態。※ • forwarding (1) • blocking (2) • other (3) • down (4)	●
8	axsAxrpVlanGroupRingport2 {axsAxrpVlanGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	リングポート 2 (ifIndex が大きい方のポート) の ifIndex。※	●
9	axsAxrpVlanGroupRingport2Role {axsAxrpVlanGroupEntry 7}	INTEGER	R/O	リングポート 2 の役割。※ • primary (1) : マスタノードのプライマリポート • secondary (2) : マスタノードのセカンダリポート • other (3)	●
10	axsAxrpVlanGroupRingport2OperState {axsAxrpVlanGroupEntry 8}	INTEGER	R/O	リングポート 2 の現在の状態。※ • forwarding (1) • blocking (2) • other (3) • down (4)	●

注※ リングポートのコンフィグレーションが設定されていない場合、リングポート 1、またはリングポート 2 に関する MIB 情報を取得できません。リングポートのコンフィグレーションを設定し、MIB 情報を取得してください。

3.10 axsPconMIB グループ（消費電力情報 MIB）

スタック動作時、本 MIB はマスタスイッチの情報を応答します。

全メンバスイッチの情報は、「3.11 axsStack グループ（スタック情報）【OS-L2A】」を参照してください。

3.10.1 axsPconModuleData グループ

(1) 識別子

```
axsPconMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 300}

axsPconObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPconMIB 1}
axsPconModuleData OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPconObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1
```

(2) 実装仕様

axsPconModuleData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-27 axsPconModuleData グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsPconModuleTable {axsPconModuleData 1}	SEQUENCE OF AxsPconModuleEntry	NA	装置の稼動状態、電力動作モードのテーブル。	●
2	axsPconModuleEntry {axsPconModuleTable 1}	AxsPconModuleEntry	NA	装置情報エントリ。 INDEX{axsPconModuleIndex}	●
3	axsPconModuleIndex {axsPconModuleEntry 1}	Integer32	NA	各テーブルを参照するインデックス情報。 • 装置全体 (1000)	●
4	axsPconModuleType {axsPconModuleEntry 2}	INTEGER	R/O	種別情報。 • 装置全体 (1)	●
5	axsPconModuleSlotNo {axsPconModuleEntry 3}	Integer32	R/O	装置全体の搭載スロット位置情報。 • 装置全体の場合は、1 固定で応答します。	●
6	axsPconModuleDescr {axsPconModuleEntry 4}	DisplayString	R/O	装置全体の略称情報（最大 16 文字）。 • 装置全体の場合では、装置モデル (show system の装置モデルを表示)。情報取得不可時は、レングス 0 で応答します。	●
7	axsPconModuleStatus {axsPconModuleEntry 5}	INTEGER	R/O	装置全体の稼動状態。 • 未実装 (0)	●
8	axsPconModuleMode {axsPconModuleEntry 6}	INTEGER	R/O	装置全体の電力動作モード。 • normal(1) • saving(4)	●

3.10.2 axsPconPowerCon グループ

(1) 識別子

```

axsPconMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 300}

axsPconObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPconMIB 1}
axsPconPowerCon OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPconObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2

```

(2) 実装仕様

axsPconPowerCon グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-28 axsPconPowerCon グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsPconPowerConTable {axsPconPowerCon 1}	SEQUENCE OF AxsPconPowerConEntry	NA	装置全体の消費電力情報テーブル。	●
2	axsPconPowerConEntry {axsPconPowerConTable 1}	AxsPconPowerConEntry	NA	装置全体の消費電力情報エントリ。 INDEX{axsPconModuleIndex}	●
3	axsPconPowerConMaxPower {axsPconPowerConEntry 1}	Gauge	R/O	装置の最大消費電力（単位：1/100W）。 • 0 固定	▲
4	axsPconPowerConPowerConsumption {axsPconPowerConEntry 2}	Counter64	R/O	装置起動から現在までの装置全体の消費電力量（単位：1/100Wh）。	●
5	axsPconPowerConPowerMeter {axsPconPowerConEntry 3}	Gauge	R/O	装置全体の現在の消費電力（単位：1/100W）。	●

3.11 axsStack グループ（スタック情報）【OS-L2A】

3.11.1 axsStackGlobalInfo グループ

(1) 識別子

```
axsStack OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 400}
axsStackGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStack 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.1
```

(2) 実装仕様

axsStackGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-29 axsStackGlobalInfo グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsStackMasterSwitch {axsStackGlobalInfo 1}	INTEGER	R/O	マスタスイッチのスイッチ番号。 axsStackMemberIndex の値。	●

3.11.2 axsStackMember グループ

(1) 識別子

```
axsStack OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 400}
axsStackMember OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStack 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2
```

(2) 実装仕様

axsStackMember グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-30 axsStackMember グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsStackMemberTable {axsStackMember 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタックメンバ情報のテーブル。	●
2	axsStackMemberEntry {axsStackMemberTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタックメンバ情報のエントリ。 INDEX {axsStackMemberIndex}	●
3	axsStackMemberIndex {axsStackMemberEntry 1}	INTEGER	NA	スイッチ番号。	●

3.11 axsStack グループ（スタック情報）【OS-L2A】

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsStackModelType {axsStackMemberEntry 2}	INTEGER	R/O	システム装置のモデル情報（数値）。 <ul style="list-style-type: none"> • AX2530S-24T(1600) • AX2530S-24T4X(1601) • AX2530S-48T(1603) • AX2530S-48T2X(1604) • AX2530S-24S4X(1605) • AX2530S-24TD(1606) • AX2530S-48TD(1609) • AX2530S-24S4XD(1611) • AX2530S-48P2X(1615) • AX2530SE-24T(1671) • AX2530SE-24T4X(1672) • AX2530SE-24S4X(1673) • AX2530SE-48T(1674) • AX2530SE-48T2X(1675) 	●
5	axsStackSoftwareName {axsStackMemberEntry 3}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェア型名。 レンジス 0 固定。	●
6	axsStackSoftwareAbbreviation {axsStackMemberEntry 4}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアの略称。	●
7	axsStackSoftwareVersion {axsStackMemberEntry 5}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアのバージョン。	●
8	axsStackBootReason {axsStackMemberEntry 6}	INTEGER	R/O	システムが起動した要因 <ul style="list-style-type: none"> • power-on(1) : 電源オンによる起動 • reload(2) : コマンドによる起動 • system-fault(3) : 障害による起動 • system-stall(4) : WDT タイムアウトによる起動 • reset(5) : HW リセットによる起動 • fail-over(6) : SWAP による起動 • default-restart(7) : デフォルトリスタートによる起動 • system-exception(8) : 障害による起動 (CPU 例外) • wake-on-rte(9) : 装置スリープ状態から通常時間帯になったことによる起動 • wake-on-reset(10) : 装置スリープ状態からのリセットボタン長押しによる起動 本装置では power-on(1), reload(2), system-fault(3), system-stall(4), または system-exception(8) を返す。	●
9	axsStackPconModuleMode {axsStackMemberEntry 7}	INTEGER	R/O	装置全体の電力動作モード。 <ul style="list-style-type: none"> • normal(1) • saving(4) 	●
10	axsStackPconPowerConMaxPower {axsStackMemberEntry 8}	Gauge	R/O	装置の最大消費電力（単位：1/100W）。 <ul style="list-style-type: none"> • 0 固定 	●
11	axsStackPconPowerConPowerConsumption {axsStackMemberEntry 9}	Counter64	R/O	装置起動から現在までの装置全体の消費電力量（単位：1/100Wh）。	●
12	axsStackPconPowerConPowerMeter {axsStackMemberEntry 10}	Gauge	R/O	装置全体の現在の消費電力（単位：1/100W）。	●

3.11.3 axsStackMemberLicense グループ⁹

(1) 識別子

```
axsStack OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 400}

axsStackMemberLicense OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStack 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3
```

(2) 実装仕様

axsStackMemberLicense グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-31 axsStackMemberLicense グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsStackMemberLicenseTable {axsStackMemberLicense 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタックメンバライセンス情報のテーブル。	●
2	axsStackMemberLicenseEntry {axsStackMemberLicenseTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタックメンバライセンス情報のエントリ。 INDEX {axsStackMemberIndex, axsStackMemberLicenseIndex}	●
3	axsStackMemberLicenseIndex {axsStackMemberLicenseEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。	●
4	axsStackMemberLicenseSerialNumber {axsStackMemberLicenseEntry 2}	DisplayString	R/O	シリアル番号。	●
5	axsStackMemberLicenseOptionNumber {axsStackMemberLicenseEntry 3}	INTEGER	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス数。	●
6	axsStackMemberLicenseOptionTable {axsStackMemberLicense 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のテーブル。	●
7	axsStackMemberLicenseOptionEntry {axsStackMemberLicenseOptionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のエントリ。 INDEX {axsStackMemberIndex, axsStackMemberLicenseOptionIndex axsStackMemberLicenseOptionNumberIndex}	●
8	axsStackMemberLicenseOptionIndex {axsStackMemberLicenseOptionEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。 axsStackMemberLicenseIndex と同じ番号。	●
9	axsStackMemberLicenseOptionNumberIndex {axsStackMemberLicenseOptionEntry 2}	INTEGER	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のインデックス番号。 1 ~ axsStackMemberLicenseOptionNumberまでの数。	●
10	axsStackMemberLicenseOptionSoftwareName {axsStackMemberLicenseOptionEntry 3}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア型名。	●

3.11 axsStack グループ（スタック情報）【OS-L2A】

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	axsStackMemberLicenseOptionSoftwareAbbreviation {axsStackMemberLicenseOptionEntry 4}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア略称。	●

3.12 axsWhitelist グループ（ホワイトリスト情報） 【OS-L2A】

3.12.1 axsWhitelistSourceBlockGroup

(1) 識別子

```
axsWhitelist OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 500}
axsWhitelistSourceBlockGroup OBJECT IDENTIFIER ::= {axsWhitelist 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.500.4
```

(2) 実装仕様

axsWhitelistSourceBlockGroup の実装仕様を次の表に示します。

表 3-32 axsWhitelistSourceBlockGroup の実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsWhitelistSourceBlockTable {axsWhitelistSourceBlockGroup 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ホワイトリストの学習を抑止する送信元アドレスのテーブル。	●
2	axsWhitelistSourceBlockEntry {axsWhitelistSourceBlockTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	学習を抑止する送信元アドレスのエントリ。 INDEX {axsWhitelistSourceBlockAddressType, axsWhitelistSourceBlockAddress}	●
3	axsWhitelistSourceBlockAddressType {axsWhitelistSourceBlockEntry 1}	InetAddress Type	NA	IP アドレスタイプ。 ipv4(1) 固定。	●
4	axsWhitelistSourceBlockAddress {axsWhitelistSourceBlockEntry 2}	InetAddress	NA	学習を抑止する送信元アドレス。 0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	●
5	axsWhitelistSourceBlockRowStatus {axsWhitelistSourceBlockEntry 3}	RowStatus	R/C	本エントリの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • get : active(1) 固定 • set : 以下による <ul style="list-style-type: none"> • active(1) : 既存エントリ変更 • createAndGo(4) : エントリ追加 • destroy (6) : エントリ削除 • 上記以外は set 不可 	●
6	axsWhitelistSourceBlockStorageType {axsWhitelistSourceBlockEntry 4}	StorageType	R/C	エントリのメモリ実装。 volatile(2) 固定。	●
7	axsWhitelistSourceBlockTime {axsWhitelistSourceBlockEntry 5}	Integer32	R/C	エントリの有効期間。リクエスト受信時からの期間。 1..2147483647 (単位 : 秒)	●

3.13 ax2530sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）

スタック動作時、本 MIB はマスタスイッチの情報を応答します。

全メンバスイッチの情報は、「3.11 axsStack グループ（スタック情報）【OS-L2A】」を参照してください。

(1) 識別子

```

ax2530sMib      OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 16}

ax2530sSwitch  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sMib 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1

ax2530sSoftware  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sSwitch 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.2

ax2530sSystemMsg OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sSwitch 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.3

ax2530sSnmpAgent OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sSwitch 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.4

ax2530sLicense   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sSwitch 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6

```

(2) 実装仕様

ax2530sSwitch グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-33 ax2530sSwitch グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax2530sModelType {ax2530sSwitch 1}	INTEGER	R/O	システム装置のモデル情報（数値）。 <ul style="list-style-type: none"> • AX2530S-24T(1600) • AX2530S-24T4X(1601) • AX2530S-48T(1603) • AX2530S-48T2X(1604) • AX2530S-24S4X(1605) • AX2530S-24TD(1606) • AX2530S-48TD(1609) • AX2530S-24S4XD(1611) • AX2530S-48P2X(1615) • AX2530S-08P(1623) • AX2530S-08PD1(1624) • AX2530S-08PD2(1625) • AX2530S-08TC1(1627) • AX2530S-16P4X(1631) • AX2530SE-24T(1671) • AX2530SE-24T4X(1672) • AX2530SE-24S4X(1673) • AX2530SE-48T(1674) • AX2530SE-48T2X(1675) 	●
2	ax2530sSoftwareName {ax2530sSoftware 1}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェア型名。 レングス 0 固定。	●
3	ax2530sSoftwareAbbreviation {ax2530sSoftware 2}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアの略称。	●

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax2530sSoftwareVersion {ax2530sSoftware 3}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアのバージョン。	●
5	ax2530sSystemMsgText {ax2530sSystemMsg 1}	DisplayString	R/O	最新の運用メッセージ。 時刻などを含むメッセージ全体。最大 256 文字。 運用メッセージフォーマットは、「メッセージ・ログレフアレンス 1.1.3 運用メッセージのフォーマット」を参照してください。	●
6	ax2530sSystemMsgType {ax2530sSystemMsg 2}	OCTET STRING	R/O	イベント種別を 1 バイトで示します。 • イベントが発生した (01) • イベントが回復した (02)	●
7	ax2530sSystemMsgTimeStamp {ax2530sSystemMsg 3}	DisplayString	R/O	イベント発生時刻 (月日時分秒) を 14 バイトの文字列で示します。"MM/DD hh:mm:ss" で表示します。 • MM : 月 (01 ~ 12) • DD : 日 (01 ~ 31) • hh : 時 (00 ~ 23) • mm : 分 (00 ~ 59) • ss : 秒 (00 ~ 59) DD と hh の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。	●
8	ax2530sSystemMsgLevel {ax2530sSystemMsg 4}	OCTET STRING	R/O	最新システムメッセージログのレベルを 1 バイトで示します。 • 致命的障害 (9) • 重度障害 (8) • 温度異常障害 (7) • ネットワーク系障害 (4) • 警告 (3)	●
9	ax2530sSystemMsgEventPoint {ax2530sSystemMsg 5}	DisplayString	R/O	システムメッセージの障害発生部位のコードを 8 バイト以内の文字列で示します。 イベント発生部位の内容は、「メッセージ・ログレフアレンス 1.2.5 (3) イベント発生部位」を参照してください。	●
10	ax2530sSystemMsgEventInterfaceID {ax2530sSystemMsg 6}	DisplayString	R/O	システムメッセージのインターフェース識別子を文字列で示します(最大 40 文字)。	●
11	ax2530sSystemMsgEventCode {ax2530sSystemMsg 7}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージのメッセージ識別子コードを 4 バイトで示します (0x00000000 ~ 0xFFFFFFFF)。 エラーコードを 4 バイトで示します。	●
12	ax2530sSystemMsgAdditionalCode {ax2530sSystemMsg 8}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージの付加情報を 6 バイトで示します (0x000000000000 ~ 0xFFFFFFFFFFFF)。 コードの内容は、保守用のため公開していません。	●
13	ax2530sSnmpSendReceiveSize {ax2530sSnmpAgent 1}	INTEGER	R/O	エージェントが送受信可能な SNMP パケットサイズ (単位: バイト)。	●
14	ax2530sSnmpReceiveDelay {ax2530sSnmpAgent 2}	INTEGER	R/O	SNMP パケット推奨受信遅延間隔 (単位: ミリ秒)。	●
15	ax2530sSnmpContinuousSend {ax2530sSnmpAgent 3}	INTEGER	R/O	推奨 SNMP パケット連続送信数。	●

3.13 ax2530sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	ax2530sSnmpObjectMaxNumber {ax2530sSnmpAgent 4}	INTEGER	R/O	推奨 SNMP パケット当たりのオブジェクト数。	●
17	ax2530sLicenseNumber {ax2530sLicense 1}	INTEGER	R/O	設定されたライセンスシリアル番号の数。	●
18	ax2530sLicenseTable {ax2530sLicense 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のテーブル。	●
19	ax2530sLicenseEntry {ax2530sLicenseTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のエントリ。INDEX {ax2530sLicenseIndex}	●
20	ax2530sLicenseIndex {ax2530sLicenseEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。 1 ~ ax2530sLicenseNumberまでの数。	●
21	ax2530sLicenseSerialNumber {ax2530sLicenseEntry 2}	DisplayString	R/O	シリアル番号。	●
22	ax2530sLicenseOptionNumber {ax2530sLicenseEntry 3}	INTEGER	R/O	シリアル番号に関連した、ライセンス数。	●
23	ax2530sLicenseOptionTable {ax2530sLicense 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、ライセンス情報のテーブル。	●
24	ax2530sLicenseOptionEntry {ax2530sLicenseOptionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、ライセンス情報のエントリ。 INDEX {ax2530sLicenseOptionIndex ax2530sLicenseOptionNumberIndex }	●
25	ax2530sLicenseOptionIndex {ax2530sLicenseOptionEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。 ax2530sLicenseIndexと同じ番号。	●
26	ax2530sLicenseOptionNumberIndex {ax2530sLicenseOptionEntry 2}	INTEGER	NA	シリアル番号に関連した、ライセンス情報のインデックス番号。 1 ~ ax2530sLicenseOptionNumberまでの数。	●
27	ax2530sLicenseOptionSoftwareName {ax2530sLicenseOptionEntry 3}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、ライセンス情報のソフトウェア型名。	●
28	ax2530sLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax2530sLicenseOptionEntry 4}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、ライセンス情報のソフトウェア略称。	●

3.14 ax2530sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）

3.14.1 ax2530sChassis グループの実装仕様（筐体情報）

(1) 識別子

```

ax2530sDevice    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sMib 2}
ax2530sChassis      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sDevice 1}

ax2530sChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sChassis 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.1

ax2530sChassisTable     OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sChassis 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2

```

(2) 実装仕様

ax2530sChassis グループの実装仕様（筐体情報）を次の表に示します。

表 3-34 ax2530sChassis グループの実装仕様（筐体情報）

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax2530sChassisMaxNumber {ax2530sChassis 1}	INTEGER	R/O	本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。 ・4固定。【スタック動作時】 ・1固定。【スタンドアロン動作時】	●
2	ax2530sChassisTable {ax2530sChassis 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	筐体情報のテーブル。	●
3	ax2530sChassisEntry {ax2530sChassisTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての情報エントリ。 INDEX {ax2530sChassisIndex}	●
4	ax2530sChassisIndex {ax2530sChassisEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ax2530sChassisEntry を特定するための番号。 ・axsStackMemberIndexと同じ値。【スタック動作時】 ・1固定。【スタンドアロン動作時】	●
5	ax2530sChassisType {ax2530sChassisEntry 2}	INTEGER	R/O	筐体のタイプ。 ・AX2530S-24T(1600) ・AX2530S-24T4X(1601) ・AX2530S-48T(1603) ・AX2530S-48T2X(1604) ・AX2530S-24S4X(1605) ・AX2530S-24TD(1606) ・AX2530S-48TD(1609) ・AX2530S-24S4XD(1611) ・AX2530S-48P2X(1615) ・AX2530S-08P(1623) ・AX2530S-08PD1(1624) ・AX2530S-08PD2(1625) ・AX2530S-08TC1(1627) ・AX2530S-16P4X(1631) ・AX2530SE-24T(1671) ・AX2530SE-24T4X(1672) ・AX2530SE-24S4X(1673) ・AX2530SE-48T(1674) ・AX2530SE-48T2X(1675)	●

3.14 ax2530sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ax2530sChassisStatus {ax2530sChassisEntry 3}	INTEGER	R/O	筐体の現在のステータス。 稼働中 (2) 固定。	●
7	ax2530sStsLedStatus {ax2530sChassisEntry 4}	INTEGER	R/O	装置の ST1 LED の状態を示します。 点灯条件は「ハードウェア取扱説明書」を 参照してください。 <ul style="list-style-type: none">• 緑点滅 (1)• 緑点灯 (2)• 赤点滅 (3)• 赤点灯 (4)• 消灯 (6)• 橙点灯 (8)	●
8	ax2530sCpuName {ax2530sChassisEntry 5}	DisplayString	R/O	CPU 名称 (最大 16 文字)。	×
9	ax2530sCpuClock {ax2530sChassisEntry 6}	INTEGER	R/O	CPU クロック (単位 : MHz)。	×
10	ax2530sMemoryTotalSize {ax2530sChassisEntry 7}	INTEGER	R/O	搭載メモリサイズ (単位 : kB)。	●
11	ax2530sMemoryUsedSize {ax2530sChassisEntry 8}	INTEGER	R/O	使用メモリサイズ (単位 : kB)。	●
12	ax2530sMemoryFreeSize {ax2530sChassisEntry 9}	INTEGER	R/O	未使用メモリサイズ (単位 : kB)。	●
13	ax2530sRomVersion {ax2530sChassisEntry 10}	DisplayString	R/O	搭載 ROM のバージョン (文字列)。	×
14	ax2530sCpuLoad1m {ax2530sChassisEntry 11}	INTEGER	R/O	1 分間の CPU 使用率 (0 ~ 100)。	●
15	ax2530sFlashTotalSize {ax2530sChassisEntry 12}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量と未使用容量の合計 (単位 : kB)。	×
16	ax2530sFlashUsedSize {ax2530sChassisEntry 13}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量 (単位 : kB)。	×
17	ax2530sFlashFreeSize {ax2530sChassisEntry 14}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム未使用容量 (単位 : kB)。	×
18	ax2530sSdCardStatus {ax2530sChassisEntry 15}	INTEGER	R/O	MC 接続状態。 <ul style="list-style-type: none">• 接続 (2)• 未接続 (32)	×
19	ax2530sSdCardTotalSize {ax2530sChassisEntry 16}	INTEGER	R/O	MC の総容量 (単位 : kB)。	×
20	ax2530sSdCardUsedSize {ax2530sChassisEntry 17}	INTEGER	R/O	MC の使用容量 (単位 : kB)。	×
21	ax2530sSdCardFreeSize {ax2530sChassisEntry 18}	INTEGER	R/O	MC の残容量 (単位 : kB)。	×
22	ax2530sPhysLineNumber {ax2530sChassisEntry 19}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できるポート数。	●
23	ax2530sTemperatureStatusNumber {ax2530sChassisEntry 20}	INTEGER	R/O	この筐体での最大の温度監視部分の数。 <ul style="list-style-type: none">• 本装置の場合 : 1	●
24	ax2530sPowerUnitNumber {ax2530sChassisEntry 21}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる電源の数。 <ul style="list-style-type: none">• 本装置の場合 : 1	●

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
25	ax2530sRedundantPsNumber {ax2530sChassisEntry 22}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる外部電源の数。 ・ 0 【48P2X】【08P】【08TC1】【16P4X】 ・ 1 (上記以外のモデル)	●
26	ax2530sFanNumber {ax2530sChassisEntry 23}	INTEGER	R/O	この筐体のメインファンの数。 ・ 0 【24T】【08TC1】 ・ 4 【48P2X】【24S4X】 ・ 2 (上記以外のモデル)	●
27	ax2530sTotalAccumRunTime {ax2530sChassisEntry 24}	INTEGER	R/O	装置の運用を開始してからの累計稼働時間。	●
28	ax2530sCriticalAccumRunTime {ax2530sChassisEntry 25}	INTEGER	R/O	・ 摂氏 45 度以上の環境下での稼働時間 【24T】 ・ 摂氏 60 度以上の環境下での稼働時間 【08P】【08TC1】 ・ 摂氏 50 度以上の環境下での稼働時間 (上記以外のモデル)	●
29	ax2530sSts2LedStatus {ax2530sChassisEntry 26}	INTEGER	R/O	装置の ST2 LED の状態を示します。 点灯条件は「ハードウェア取扱説明書」を 参照してください。 ・ 緑点滅 (1) ・ 緑点灯 (2) ・ 消灯 (6) ・ 橙点灯 (8)	●

3.14.2 ax2530sChassis グループの実装仕様 (温度情報)

(1) 識別子

```
ax2530sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sDevice 1}
ax2530sTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sChassis 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.3
```

(2) 実装仕様

ax2530sChassis グループの実装仕様 (温度情報) を次の表に示します。

表 3-35 ax2530sChassis グループの実装仕様 (温度情報)

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax2530sTemperatureStatusTable {ax2530sChassis 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度状態のテーブル。	●
2	ax2530sTemperatureStatusEntry {ax2530sTemperatureStatusTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度状態のエントリ。 INDEX {ax2530sChassisIndex,ax2530sTemperatureStatusIndex}	●
3	ax2530sTemperatureStatusIndex {ax2530sTemperatureStatusEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度監視部分ごとにつけられたユニークな インデックス番号。	●
4	ax2530sTemperatureStatusDescr {ax2530sTemperatureStatusEntry 2}	DisplayString	R/O	温度監視部分の説明。 ・ "Main board Temperature" : ボードの温 度	●

3.14 ax2530sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ax2530sTemperatureStatusValue {ax2530sTemperatureStatusEntry 3}	Integer32	R/O	温度監視部分での現在の温度。 ただし、装置起動後 60 分間は 0 °C になります。	●
6	ax2530sTemperatureThreshold {ax2530sTemperatureStatusEntry 4}	Integer32	R/O	装置が警告状態になる、この温度監視部分の温度。	●
7	ax2530sTemperatureState {ax2530sTemperatureStatusEntry 5}	INTEGER	R/O	温度監視部分の現在の温度状態。 • 正常 (1) • 注意 (2) • 異常 (4)	●

3.14.3 ax2530sChassis グループの実装仕様（電源情報）

(1) 識別子

```
ax2530sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sDevice 1}

ax2530sPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sChassis 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.4
```

(2) 実装仕様

ax2530sChassis グループの実装仕様（電源情報）を次の表に示します。

表 3-36 ax2530sChassis グループの実装仕様（電源情報）

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax2530sPowerUnitTable {ax2530sChassis 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源情報のテーブル。	●
2	ax2530sPowerUnitEntry {ax2530sPowerUnitTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源情報エントリ。 INDEX {ax2530sChassisIndex,ax2530sPowerUnitIndex}	●
3	ax2530sPowerUnitIndex {ax2530sPowerUnitEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源位置を示すインデックス。 1 ~ ax2530sPowerUnitNumberまでの値。 • 本装置の場合 : 1	●
4	ax2530sPowerConnectStatus {ax2530sPowerUnitEntry 2}	INTEGER	R/O	電源の実装状態。 • 実装 (2) • 未実装 (32) 2 固定	●
5	ax2530sPowerSupplyStatus {ax2530sPowerUnitEntry 3}	INTEGER	R/O	電源の active 状態。 • 稼働中 (2) • 障害中 (4)	●

3.14.4 ax2530sChassis グループの実装仕様（ファン情報）

(1) 識別子

```
ax2530sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sDevice 1}

ax2530sFanTable          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sChassis 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.5
```

(2) 実装仕様

ax2530sChassis グループの実装仕様（ファン情報）を次の表に示します。

表 3-37 ax2530sChassis グループの実装仕様（ファン情報）

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax2530sFanTable {ax2530sChassis 5}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファン情報のテーブル。	●
2	ax2530sFanEntry {ax2530sFanTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファン情報エントリ。 INDEX {ax2530sChassisIndex, ax2530sFanIndex}	●
3	ax2530sFanIndex {ax2530sFanEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	メインファン位置を示すインデックス。 1～ax2530sFanNumberまでの値。 ・なし【24T】【08TC1】 ・1～4【48P2X】【24S4X】 ・1～2（上記以外のモデル）	●
4	ax2530sFanStatus {ax2530sFanEntry 2}	INTEGER	R/O	メインファンの active 状態。 ・稼働中(2) ・障害中(4) ・運用停止中(5)※	●

注 ※ 準ファンレス動作のモデルが対象です。

3.14.5 ax2530sChassis グループの実装仕様（外部電源情報）

(1) 識別子

```
ax2530sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sDevice 1}
ax2530sRedundantPsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sChassis 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.6
```

(2) 実装仕様

ax2530sChassis グループの実装仕様（外部電源情報）を次の表に示します。

表 3-38 ax2530sChassis グループの実装仕様（外部電源情報）

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax2530sRedundantPsTable {ax2530sChassis 6}	NOT-ACCESSIBLE	NA	外部電源情報のテーブル。	●
2	ax2530sRedundantPsEntry {ax2530sRedundantPsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	外部電源情報エントリ。 INDEX {ax2530sChassisIndex, ax2530sRedundantPsIndex}	●
3	ax2530sRedundantPsIndex {ax2530sRedundantPsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	外部電源位置を示すインデックス。 1～ax2530sRedundantPsNumberまでの値。 ・なし【48P2X】【08P】【08TC1】【16P4X】 ・1（上記以外のモデル）	●

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax2530sRedundantPsConnectStatus {ax2530sRedundantPsEntry 2}	INTEGER	R/O	外部電源の実装状態。 • 実装 (2) • 未実装 (32)	●
5	ax2530sRedundantPsStatus {ax2530sRedundantPsEntry 3}	INTEGER	R/O	外部電源の active 状態。 • 稼働中 (2) • 障害中 (4) 外部電源が未実装の場合は、 -1 を応答します。	●

3.14.6 ax2530sPhysLine グループの実装仕様 (line(物理回線) 情報)

(1) 識別子

```
ax2530sPhysLine      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sDevice 2}
ax2530sPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sPhysLine 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.2.1
```

(2) 実装仕様

ax2530sPhysLine グループの実装仕様 (line(物理回線) 情報) を次の表に示します。

表 3-39 ax2530sPhysLine グループの実装仕様 (line(物理回線) 情報)

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax2530sPhysLineTable {ax2530sPhysLine 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線情報のテーブル。	●
2	ax2530sPhysLineEntry {ax2530sPhysLineTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線についての情報エントリ。 INDEX {ax2530sChassisIndex, ax2530sPhysLineIndex }	●
3	ax2530sPhysLineIndex {ax2530sPhysLineEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線番号の情報。 1 ~ ax2530sPhysLineNumber までの値。	●

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax2530sPhysLineConnectorType {ax2530sPhysLineEntry 2}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバ上のインターフェース種別。 <ul style="list-style-type: none"> • other(1) • type100BASE-FX(201) • type1000BASE-LX(301) • type1000BASE-SX(302) • type1000BASE-LH(303) • type1000BASE-BX10-D(304) • type1000BASE-BX10-U(305) • type1000BASE-BX40-D(306) • type1000BASE-BX40-U(307) • type1000BASE-SX2(308) • type1000BASE-UTP(309) • type1000BASE-LHB(310) • type10GBASE-SR(401) • type10GBASE-LR(402) • type10GBASE-ER(403) • type10GBASE-CU1M(405) • type10GBASE-CU3M(406) • type10GBASE-CU5M(407) • type10GBASE-CU30CM(408) <p>次の場合は other (1) を応答します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 種別が不明または交換不可のトランシーバ 	●
5	ax2530sPhysLineOperStatus {ax2530sPhysLineEntry 3}	INTEGER	R/O	物理回線の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 運用中 (回線障害発生中)(8) • 回線テスト中 (9) • 運用停止中 (InActive)(20) 	●
6	ax2530sPhysLineIfIndexNumber {ax2530sPhysLineEntry 4}	INTEGER	R/O	インターフェースに含まれる ifIndex 数。	●
7	ax2530sPhysLineTransceiverStatus {ax2530sPhysLineEntry 5}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバの種別と実装状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 交換可能なトランシーバではない(1) • SFP+/SFP 実装 (20) • SFP+/SFP 未実装 (21) • 未サポートの SFP+/SFP 実装 (22) • SFP+/SFP の実装状態が不明 (23) 	●

3.14.7 ax2530sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）

(1) 識別子

```
ax2530sDevice OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sMib 2}
ax2530sDeviceError OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sDevice 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.3
```

(2) 実装仕様

ax2530sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）を次の表に示します。

表 3-40 ax2530sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax2530sMemoryError {ax2530sDeviceError 1}	Integer32	NA	メモリエラー発生時の詳細。 other(0) Parity Error(1)	●

3.15 ax2530sAuth グループ（認証系情報）

(1) 識別子

ax2530sAuth OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sMib 10}

ax2530sAuthInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sAuth 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.10.1

(2) 実装仕様

ax2530sAuth グループの実装仕様（認証系共通情報）を次の表に示します。

表 3-41 ax2530sAuth グループの実装仕様（認証系共通情報）

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax2530sAuthSysName {ax2530sAuthInfo 1}	OCTET STRING	NA	本装置のホスト名称 (system グループの sysName と同じ)。	●
2	ax2530sAuthIfIndex {ax2530sAuthInfo 2}	Integer32	NA	被認証端末の接続ポート番号 (interfaces グループの ifIndex と同じ)。	●
3	ax2530sAuthSupplicantMac {ax2530sAuthInfo 3}	MacAddress	NA	被認証端末の MAC アドレス。	●
4	ax2530sAuthMessage {ax2530sAuthInfo 4}	DisplayString	NA	メッセージ（最大 280 文字）。	●

3.16 ax2530sSml グループ (SML 情報)【OS-L2A】

(1) 識別子

```
ax2530sSml          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sMib 20}
ax2530sSmlInfo      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2530sSml 1}
```

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.20.1

(2) 実装仕様

ax2530sSml グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-42 ax2530sSml グループの実装仕様

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax2530sSmlDomain {ax2530sSmlInfo 1}	Integer3 2	R/O	SML ドメイン ID。	●
2	ax2530sSmlId {ax2530sSmlInfo 2}	Integer3 2	R/O	SML 機能で使用する装置識別 ID。	●

3.17 sFlow グループ (InMon プライベート MIB)

(1) 識別子

```
InMon          OBJECT IDENTIFIER ::= {enterprises 4300}
sFlowMIB       OBJECT IDENTIFIER ::= {InMon 1}

sFlowAgent     OBJECT IDENTIFIER ::= {sFlowMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.4300.1.1
```

(2) 実装仕様

sFlow グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-43 sFlow グループの実装仕様

項目番号	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sFlowVersion {sFlowAgent 1}	SnmpAd minString	R/O	[規格] sFlow のバージョン文字列。 "<MIB Version>;<Organization>;<Software Revision>" の形式で表記する。 [実装] 規格に同じ。ただし、"1.2;" 固定値とする。	●
2	sFlowAgentAddressType {sFlowAgent 2}	InetAddressType	R/O	[規格] 統計情報を収集するエージェントの IP アドレスタイプ。 • ipv4 (1) • ipv6 (2) [実装] 規格に同じ。	● ※1※2
3	sFlowAgentAddress {sFlowAgent 3}	InetAddress	R/O	[規格] 統計情報を収集するエージェントの IP アドレス (IPv4, IPv6)。 [実装] 規格に同じ。	● ※1※2
4	sFlowTable {sFlowAgent 4}	NOT-AC CESSIBLE	NA	[規格] sFlow パケットに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	sFlowEntry {sFlowTable 1}	NOT-AC CESSIBLE	NA	[規格] sFlow パケットの情報リスト。 INDEX {sFlowDataSource} [実装] 規格に同じ。	●
6	sFlowDataSource {sFlowEntry 1}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] sFlow パケットの情報源。 イーサネットポートの ifIndex のオブジェクト ID。 [実装] 規格に同じ。	●
7	sFlowOwner {sFlowEntry 2}	OwnerString	R/NW	[規格] sFlow サンプラーを利用しているオーナー。 [実装] 規格に同じ。ただし、"" 固定とし、 Read_Only です。	▲
8	sFlowTimeout {sFlowEntry 3}	Integer3 2	R/NW	[規格] sFlow サンプラーが解放されてから停止するまでの時間 (単位:秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、0 固定とし、 Read_Only です。	▲
9	sFlowPacketSamplingRate {sFlowEntry 4}	Integer3 2	R/NW	[規格] sFlow パケットのサンプリング間隔。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	● ※1※4
10	sFlowCounterSamplingInterv al {sFlowEntry 5}	Integer3 2	R/NW	[規格] カウンタサンプルのコレクタへの送信間隔。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	● ※1※4

項目番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	sFlowMaximumHeaderSize {sFlowEntry 6}	Integer32	R/NW	[規格] サンプルパケットの先頭からコピーされる最大バイト数。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	● ※1※4
12	sFlowMaximumDatagramSize {sFlowEntry 7}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow パケットで送ることができる最大データバイト数。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	● ※1※4
13	sFlowCollectorAddressType {sFlowEntry 8}	InetAddressType	R/NW	[規格] コレクタの IP アドレスタイプ。 • ipv4 (1) • ipv6 (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	● ※1※3 ※4
14	sFlowCollectorAddress {sFlowEntry 9}	InetAddress	R/NW	[規格] コレクタの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	● ※1※3 ※4
15	sFlowCollectorPort {sFlowEntry 10}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow パケットの宛先ポート。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	● ※1※4
16	sFlowDatagramVersion {sFlowEntry 11}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow パケットのバージョン。 Version=2, 4 をサポートする。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	● ※1※4

注 ※1 sFlow 統計のコンフィグレーションコマンドで設定した値になります。

注 ※2 IPv4 アドレスと IPv6 アドレスが設定されている場合は、IPv4 アドレスを通知します。

注 ※3 複数のコレクタを設定する場合は、一番小さい IP アドレスを持つコレクタの情報が入ります。

注 ※4 sFlow が設定されていないポートについては、RFC に従い、0 固定などになります。

4

サポート MIB トラップ

この章ではサポート MIB のトラップについて説明しています。

4.1 サポートトラップおよび発行契機

4.2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ

4.1 サポートトラップおよび発行契機

サポートトラップおよび発行契機を次の表に示します。

表 4-1 サポートトラップおよび発行契機

項目番号	トラップの種類	意味	発行契機	実装有無
1	coldStart	再初期化システム内のオブジェクトが変更される可能性がある	次に示す 1 ~ 4 の契機で、cold Start trap を発行します。※1 1. 装置を立ち上げたとき。 2. コンフィグレーション変更によるエージェント再初期化したとき(インターフェース変更時またはプロトコル変更時)。 3. set clock コマンドで時間を変更したとき。 4. スタックとして動作中にマスターに切り替わったとき。	●
2	warmStart	再初期化システム内のオブジェクトが変更されない	SNMP のコンフィグレーションが変わったとき。	●
3	linkDown	回線障害検出	インターフェースの動作状態が ACTIVE(通信可能状態)から DISABLE(通信不可状態)に変化したとき。	●
4	linkUp	回線障害回復	インターフェースの動作状態が DISABLE(通信不可状態)から ACTIVE(通信可能状態)に変化したとき。	●
5	authenticationFailure	確認エラー	不正なコミュニティから SNMP パケットを受信したとき。(認証エラー発生時)	●
6	risingAlarm	上方閾値を超えた	RMON のアラームの上方閾値を超えたとき。	●
7	fallingAlarm	下方閾値を下回った	RMON のアラームの下方閾値を下回ったとき。	●
8	lldpV2RemTablesChange	隣接装置数の変化検出	隣接装置の数が変化したときに送信します。隣接装置数が連続して変化した場合、送信から 30 秒間は送信を抑止し、抑止中の変化検出は 30 秒後に送信します。	●
9	ax2530sSystemMsgTrap	システムメッセージ出力	システムメッセージを出力したとき。	●
10	ax2530sTemperatureTrap	温度状態の遷移	監視している温度が、正常、注意、異常の各状態に遷移したとき。	●
11	ax2530sAxrpStateTransitionTrap	Ring Protocol のリング状態の遷移	Ring Protocol のリング状態(障害監視、復旧監視)が各状態間で遷移したとき。	●
12	ax2530sAxrpMultiFaultDetectionStartTrap	Ring Protocol の多重障害監視開始	Ring Protocol の多重障害監視を開始したとき。	●
13	ax2530sAxrpMultiFaultDetectionStateTransitionTrap	Ring Protocol の多重障害監視状態の遷移	Ring Protocol の多重障害監視状態(多重障害監視、復旧監視)が各状態間で遷移したとき。	●
14	ax2530sAirFanStopTrap	ファンが故障した。	ファンの故障を検出した場合。	●
15	ax2530sPowerSupplyFailureTrap	電源が故障した。	• 実装された電源のうちひとつでも異常が発生した場合。 • 装置から電源を抜いた場合。	●
16	ax2530sLoginSuccessTrap	装置利用者がログインに成功した。	console, telnet, ftp によるログインに成功した場合。	●

項目番号	トラップの種類	意味	発行契機	実装有無
17	ax2530sLoginFailureTrap	装置利用者のログインが失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> console, telnet, ftp によるログインで、認証に失敗したごとに送信する。 リモートアクセス制限による切断や、login: または Password: プロンプト表示状態でのタイムアウトや強制切断時には送信しない (login: プロンプト出力状態での Enter キーだけ入力も送信しない)。 	●
18	ax2530sLogoutTrap	装置利用者がログアウトした。	console, telnet, ftp によるログアウトが成功した場合。	●
19	ax2530sMemoryUsageTrap	使用可能なメモリが少なくなった。	使用可能なメモリが下限値を下回った場合。	×
20	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap	OADP 隣接ノードに関する情報が更新された。	OADP 隣接ノードに関する情報が更新された場合。	×
21	ax2530sFrameErrorReceiveTrap	フレーム受信エラーが発生	フレーム受信エラーが発生した場合。	×
22	ax2530sFrameErrorSendTrap	フレーム送信エラーが発生	フレーム送信エラーが発生した場合。	×
23	ax2530sBroadcastStormDetectTrap	ストーム検出	ブロードキャストストームの発生を検出した場合（ポートは inactivate しません）。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
24	ax2530sMulticastStormDetectTrap	ストーム検出	マルチキャストストームの発生を検出した場合（ポートは inactivate しません）。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
25	ax2530sUnicastStormDetectTrap	ストーム検出	ユニキャストストームの発生を検出した場合（ポートは inactivate しません）。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
26	ax2530sBroadcastStormPortInactivateTrap	ストーム検出によるポート inactivate	ブロードキャストストームの発生を検出し、ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
27	ax2530sMulticastStormPortInactivateTrap	ストーム検出によるポート inactivate	マルチキャストストームの発生を検出し、ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
28	ax2530sUnicastStormPortInactivateTrap	ストーム検出によるポート inactivate	ユニキャストストームの発生を検出し、ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
29	ax2530sBroadcastStormRecoverTrap	ストーム終結	ブロードキャストストームの終結を検出した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
30	ax2530sMulticastStormRecoverTrap	ストーム終結	マルチキャストストームの終結を検出した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
31	ax2530sUnicastStormRecoverTrap	ストーム終結	ユニキャストストームの終結を検出した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●

4. サポート MIB トラップ

項目番号	トラップの種類	意味	発行契機	実装有無
32	ax2530sEfmoamUdl dPortInactivateTrap	片方向リンク障害検出によるポート deactivate	片方向リンク障害を検出し、ポートを deactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド efmoam active で行うことができます。	●
33	ax2530sEfmoamLoo pDetectPortInactiva teTrap	ループ検出によるポート deactivate	ループ状態を検出し、ポートを deactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド efmoam active で行うことができます。	×
34	pethPsePortOnOffNotifcation ^{※2}	PD 給電状態	PD への給電の有無状態が変化した場合。	●
35	pethMainPowerUsageOnNotification ^{※2}	電力閾値オーバ通知	装置の合計消費電力が閾値以上となった場合。	●
36	pethMainPowerUsageOffNotification ^{※2}	電力閾値アンダー通知	装置の合計消費電力が閾値未満となった場合。	●
37	ax2530sDot1xFailureTrap	IEEE802.1X 認証失敗	IEEE802.1X 認証で認証に失敗した場合。	●
38	ax2530sDot1xEventTrap	IEEE802.1X 認証失敗以外の全契機	IEEE802.1X 認証で認証に失敗したとき以外のログイン・ログアウトのすべての契機。	●
39	ax2530sWauthFailureTrap	Web 認証失敗	Web 認証で認証に失敗した場合。	●
40	ax2530sWauthEventTrap	Web 認証失敗以外の全契機	Web 認証で認証に失敗したとき以外のログイン・ログアウトのすべての契機。	●
41	ax2530sMauthFailureTrap	MAC 認証失敗	MAC 認証で認証に失敗した場合。	●
42	ax2530sMauthEventTrap	MAC 認証失敗以外の全契機	MAC 認証で認証に失敗したとき以外のログイン・ログアウトのすべての契機。	●
43	ax2530sDot1xSystemTrap	IEEE802.1X 認証特定 SYSTEM 通知	IEEE802.1X 認証で、特定 SYSTEM アカウントログ通知。	●
44	ax2530sWauthSystemTrap	Web 認証特定 SYSTEM 通知	Web 認証で、特定 SYSTEM アカウントログ通知。	●
45	ax2530sMauthSystemTrap	MAC 認証特定 SYSTEM 通知	MAC 認証で、特定 SYSTEM アカウントログ通知。	●
46	ax2530sL2ldLinkDown	L2 ループ検知により回線が通信不可状態へ遷移	L2 ループ検知によりインターフェースの動作状態が active (通信可能状態) から disable (通信不可状態) に変化した場合。	●
47	ax2530sL2ldLinkUp	L2 ループ検知の自動復旧機能により回線が通信可能状態へ遷移	L2 ループ検知の自動復旧機能によりインターフェースの動作状態が disable (通信不可状態) から active (通信可能状態) に変化した場合。	●
48	ax2530sL2ldLoopDetection	L2 ループを検知	L2 ループを検知した場合。 L2 ループの状態が継続している場合、60 秒毎に通知。	●
49	ax2530sUlrChangeSecondary	アップリンク・リダンダントによる回線切替発生 (プライマリからセカンダリに遷移)	アップリンク・リダンダントによりプライマリ回線からセカンダリ回線に切替完了したときに発行します。	●
50	ax2530sUlrChangePrimary	アップリンク・リダンダントによる回線切替発生 (セカンダリからプライマリに遷移)	アップリンク・リダンダントによりセカンダリ回線からプライマリ回線に切替完了したときに発行します。	●

項目番号	トラップの種類	意味	発行契機	実装有無
51	dot1agCfmFaultAlarm	CFM 障害を検出	CFM の障害を検出したときに発行します。	●
52	ax2530sDeviceErrorTrap	装置障害を検出	装置障害を検出したときに発行します。	●
53	ax2530sSmlStatusFull【OS-L2A】※3	SML ステータス(フル)	SML ステータスがフルになったときに発行します。	●
54	ax2530sSmlStatusStandalone【OS-L2A】※3	SML ステータス(スタンドアロン)	SML ステータスがスタンドアロンになったときに発行します。	●
55	ax2530sSmlStatusConflict【OS-L2A】※3	SML ステータス(コンフリクト)	SML ステータスがコンフリクトになったときに発行します。	●
56	ax2530sSmlPeerlinkNormal【OS-L2A】※3	ピアリンクポートアップ(全ポート)	ピアリンクに指定したすべてのポートがリンクアップしたときに発行します。	●
57	ax2530sSmlPeerlinkFailure【OS-L2A】※3	ピアリンクポートダウン	一部のピアリンクポートがダウンになったときに発行します。	●
58	ax2530sSmlPeerlinkRecovery【OS-L2A】※3	ピアリンクポートアップ	一部のピアリンクポートがアップになったときに発行します。	●
59	ax2530sSmlPeerlinkDisconnect【OS-L2A】※3	ピアリンクポートダウン(全ポート)	ピアリンクに指定したすべてのポートがリンクダウンしたときに発行します。	●

注 ※1

cold Start trap は装置を起動してから 5 分後に送信されます。cold Start trap を送信する前に、他のトラップ契機があった場合、そのトラップは破棄されます。

注 ※2

一部のモデルでサポートしています。【48P2X】【08P】【16P4X】

注 ※3

一部のモデルは未サポートです。【08P】【08TC1】【16P4X】

(凡例)

● : 本装置でサポート(応答)するトラップを示しています。

× : 本装置でサポート(応答)しないトラップを示しています。

- : 該当しません。

4.2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ

サポートトラップ -PDU 内パラメータについて、SNMPv1 の場合を「表 4-2 サポートトラップ -PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)」に、SNMPv2C/SNMPv3 の場合を「表 4-3 サポートトラップ -PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv2C/SNMPv3 の場合)」に示します。

表 4-2 サポートトラップ -PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
1	coldStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	0	0	sysUpTime の値	なし
2	warmStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	1	0	sysUpTime の値	なし
3	linkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	2	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex ifDescr ifType
4	linkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	3	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex ifDescr ifType
5	authentication Failure	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	4	0	sysUpTime の値	なし
6	risingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16	特定の IP アドレス ※	6	1	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold

項目番号	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
7	fallingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16	特定の IP アドレス ※	6	2	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
8	lldpV2RemTablesChange	lldpV2MIB のオブジェクト ID 1.3.111.2.802.1.1.13	特定の IP アドレス ※	6	1	sysUpTime の値	lldpV2StatsRemTablesInserts lldpV2StatsRemTablesDeletes lldpV2StatsRemTablesDrops lldpV2StatsRemTablesAgeouts
9	ax2530sSystemMsgTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	1	sysUpTime の値	ax2530sSystemMsgType ax2530sSystemMsgTimeStamp ax2530sSystemMsgLevel ax2530sSystemMsgEventPoint ax2530sSystemMsgEventInterfaceID ax2530sSystemMsgEventCode ax2530sSystemMsgAdditionalCode ax2530sSystemMsgText
10	ax2530sTemperatureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	4	sysUpTime の値	ax2530sChassisIndex ax2530sTemperatureStatusIndex ax2530sTemperatureStatusDescriptor ax2530sTemperatureStatusValue ax2530sTemperatureState
11	ax2530sAxrpStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	40	sysUpTime の値	axsAxrpGroupRingId axsAxrpGroupMode axsAxrpGroupRingAttribute axsAxrpGroupMonitoringState
12	ax2530sAxrpMultiFaultDetectionStartTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	41	sysUpTime の値	axsAxrpGroupRingId axsAxrpGroupMode axsAxrpGroupRingAttribute

4. サポート MIB トラップ

項目番号	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
13	ax2530sAxrpMultiFaultDetectionStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	42	sysUpTime の値	axsAxrpGroupRingId axsAxrpGroupMode axsAxrpGroupRingAttribute axsAxrpGroupMultiFaultDetectionState
14	ax2530sAirFanStopTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	8	sysUpTime の値	ax2530sFanStatus
15	ax2530sPowerSupplyFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	9	sysUpTime の値	ax2530sPowerSupplyStatus
16	ax2530sLoginSuccessTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	10	sysUpTime の値	axs>LoginName, axs>LoginTime, axs>LoginLocation, axs>LoginLine
17	ax2530sLoginFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	11	sysUpTime の値	axs>LoginName, axs>LoginFailureTime, axs>LoginLocation, axs>LoginLine
18	ax2530sLogoutTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	12	sysUpTime の値	axs>LoginName, axs>LoginTime, axsLogoutTime, axs>LoginLocation, axs>LoginLine, axsLogoutStatus
19	ax2530sBroadcastStormDetectTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	20	sysUpTime の値	ifIndex
20	ax2530sMulticastStormDetectTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	21	sysUpTime の値	ifIndex
21	ax2530sUnicastStormDetectTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	22	sysUpTime の値	ifIndex
22	ax2530sBroadcastStormPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	23	sysUpTime の値	ifIndex
23	ax2530sMulticastStormPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	24	sysUpTime の値	ifIndex
24	ax2530sUnicastStormPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	25	sysUpTime の値	ifIndex

項目番号	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
25	ax2530sBroadcastStormRecoverTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	26	sysUpTime の値	ifIndex
26	ax2530sMulticastStormRecoverTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	27	sysUpTime の値	ifIndex
27	ax2530sUnicastStormRecoverTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	28	sysUpTime の値	ifIndex
28	ax2530sEfmoamUdIdPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	29	sysUpTime の値	ifIndex
29	pethPsePortOnOffNotification	powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105	特定の IP アドレス ※	6	1	sysUpTime の値	pethPsePortDetectionStatus
30	pethMainPowerUsageOnNotification	powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105	特定の IP アドレス ※	6	2	sysUpTime の値	pethMainPseConsumptionPower
31	pethMainPowerUsageOffNotification	powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105	特定の IP アドレス ※	6	3	sysUpTime の値	pethMainPseConsumptionPower
32	ax2530sDot1xFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	31	sysUpTime の値	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplierMac ax2530sAuthMessage
33	ax2530sDot1xEventTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	32	sysUpTime の値	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplierMac ax2530sAuthMessage

4. サポート MIB トラップ

項目番号	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
34	ax2530sWauthFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	33	sysUpTime の値	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplierMac ax2530sAuthMessage
35	ax2530sWauthEventTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	34	sysUpTime の値	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplierMac ax2530sAuthMessage
36	ax2530sMauthFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	35	sysUpTime の値	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplierMac ax2530sAuthMessage
37	ax2530sMauthEventTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	36	sysUpTime の値	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplierMac ax2530sAuthMessage
38	ax2530sDot1xSystemTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	37	sysUpTime の値	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplierMac ax2530sAuthMessage
39	ax2530sWauthSystemTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	38	sysUpTime の値	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplierMac ax2530sAuthMessage
40	ax2530sMauthSystemTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	39	sysUpTime の値	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplierMac ax2530sAuthMessage

項目番号	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
41	ax2530sL2ldLinkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	51	sysUpTime の値	axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSource PortIfindex axsL2ldPortDestinationPortIfindex axsL2ldPortSource Vlan
42	ax2530sL2ldLinkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	52	sysUpTime の値	axsL2ldPortIfIndex
43	ax2530sL2ldLoopDetection	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	53	sysUpTime の値	axsL2ldPortIndex axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSource PortIfindex axsL2ldPortSource Vlan
44	ax2530sUlrChange Secondary	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	87	sysUpTime の値	axsUlrPortIfIndex axsUlrPairedPortIfIndex
45	ax2530sUlrChange Primary	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	88	sysUpTime の値	axsUlrPortIfIndex axsUlrPairedPortIfIndex
46	dot1agCfmFaultAlarm	dot1agMIB のオブジェクト ID 1.3.111.2.802 .1.1.8	特定の IP アドレス ※	6	1	sysUpTime の値	dot1agCfmMdIndex dot1agCfmMaIndex dot1agCfmMepIdentifier
47	ax2530sDeviceErrorTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	90	sysUpTime の値	ax2530sMemoryError
48	ax2530sSmlStatus Full 【OS-L2A】	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	100	sysUpTime の値	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId
49	ax2530sSmlStatus Standalone 【OS-L2A】	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	101	sysUpTime の値	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId
50	ax2530sSmlStatus Conflict 【OS-L2A】	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	102	sysUpTime の値	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId
51	ax2530sSmlPeerlinkNormal 【OS-L2A】	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	103	sysUpTime の値	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId
52	ax2530sSmlPeerlinkFailure 【OS-L2A】	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	104	sysUpTime の値	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId

4. サポート MIB トラップ

項目番号	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
53	ax2530sSmlPeerlinkRecovery 【OS-L2A】	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	105	sysUpTime の値	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId
54	ax2530sSmlPeerlinkDisconnect 【OS-L2A】	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.16	特定の IP アドレス ※	6	106	sysUpTime の値	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId

注※

次に示す優先順位で agent-addr が設定されます。

1. コンフィグレーションコマンド snmp-server traps agent-address で設定された IPv4 アドレス。
2. IPv4 アドレスが設定されているインターフェースで、最若番の ifIndex 番号を持つインターフェースの IPv4 アドレス。ただし、対象となるインターフェースは VLAN です。
3. 1～2 のどれも設定されていない場合、「0.0.0.0」が設定されます。

表 4-3 サポートトラップ -PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv2C/SNMPv3 の場合)

項目番号	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3～]
1	coldStart	sysUpTime 値	coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1)	なし
2	warmStart	sysUpTime 値	warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2)	なし
3	linkDown	sysUpTime 値	linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3)	ifIndex AdminStatus OperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex ifDescr ifType
4	linkUp	sysUpTime 值	linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4)	ifIndex AdminStatus OperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex ifDescr ifType
5	authenticationFailure	sysUpTime 値	authentication Failure の オブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5)	なし

項目番号	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
6	risingAlarm	sysUpTime の値	risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1)	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold
7	fallingAlarm	sysUpTime の値	fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2)	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
8	lldpV2RemTablesChange	sysUpTime の値	lldpV2RemTablesChange のオブジェクト ID (1.3.111.2.802.1.1.13.0.0.1)	lldpV2StatsRemTablesInserts lldpV2StatsRemTablesDeletes lldpV2StatsRemTablesDrops lldpV2StatsRemTablesAgeouts
9	ax2530sSystemMsgTrap	sysUpTime の値	ax2530sSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.1)	ax2530sSystemMsgType ax2530sSystemMsgTimeStamp ax2530sSystemMsgLevel ax2530sSystemMsgEventPoint ax2530sSystemMsgEventInterfaceID ax2530sSystemMsgEventCode ax2530sSystemMsgAdditionalCode ax2530sSystemMsgText
10	ax2530sTemperatureTrap	sysUpTime の値	ax2530sTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.4)	ax2530sChassisIndex ax2530sTemperatureStatusIndex ax2530sTemperatureStatusDescr ax2530sTemperatureStatusValue ax2530sTemperatureState
11	ax2530sAxrpStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax2530sAxrpStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.40)	axsAxrpGroupRingId axsAxrpGroupMode axsAxrpGroupRingAttribute axsAxrpGroupMonitoringState
12	ax2530sAxrpMultiFaultDetectionStartTrap	sysUpTime の値	ax2530sAxrpMultiFaultDetectionStartTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.41)	axsAxrpGroupRingId axsAxrpGroupMode axsAxrpGroupRingAttribute
13	ax2530sAxrpMultiFaultDetectionStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax2530sAxrpMultiFaultDetectionStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.42)	axsAxrpGroupRingId axsAxrpGroupMode axsAxrpGroupRingAttribute axsAxrpGroupMultiFaultDetectionState
14	ax2530sAirFanStopTrap	sysUpTime の値	ax2530sAirFanStopTrap (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.8)	ax2530sFanStatus
15	ax2530sPowerSupplyFailureTrap	sysUpTime の値	ax2530sPowerSupplyFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.9)	ax2530sPowerSupplyStatus
16	ax2530sLoginSuccessTrap	sysUpTime の値	ax2530sLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.10)	axs>LoginName, axs>LoginTime, axs>LoginLocation, axs>LoginLine

4. サポート MIB トラップ

項目番号	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
17	ax2530sLoginFailureTrap	sysUpTime の値	ax2530sLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.11)	axs>LoginName, axs>LoginFailureTime, axs>LoginLocation, axs>LoginLine
18	ax2530sLogoutTrap	sysUpTime の値	ax2530sLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.12)	axs>LoginName, axs>LoginTime, axsLogoutTime, axs>LoginLocation, axs>LoginLine, axsLogoutStatus
19	ax2530sBroadcastStormDetectTrap	sysUpTime の値	ax2530sBroadcastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.20)	ifIndex
20	ax2530sMulticastStormDetectTrap	sysUpTime の値	ax2530sMulticastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.21)	ifIndex
21	ax2530sUnicastStormDetectTrap	sysUpTime の値	ax2530sUnicastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.22)	ifIndex
22	ax2530sBroadcastStormPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax2530sBroadcastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.23)	ifIndex
23	ax2530sMulticastStormPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax2530sMulticastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.24)	ifIndex
24	ax2530sUnicastStormPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax2530sUnicastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.25)	ifIndex
25	ax2530sBroadcastStormRecoverTrap	sysUpTime の値	ax2530sBroadcastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.26)	ifIndex
26	ax2530sMulticastStormRecoverTrap	sysUpTime の値	ax2530sMulticastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.27)	ifIndex
27	ax2530sUnicastStormRecoverTrap	sysUpTime の値	ax2530sUnicastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.28)	ifIndex

項目番号	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
28	ax2530sEfmoamUdldPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax2530sEfmoamUdldPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.29)	ifIndex
29	pethPsePortOnOffNotification	sysUpTime の値	pethPsePortOnOffNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.1)	pethPsePortDetectionStatus
30	pethMainPowerUsageOnNotification	sysUpTime の値	pethMainPowerUsageOnNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.2)	pethMainPseConsumptionPower
31	pethMainPowerUsageOffNotification	sysUpTime の値	pethMainPowerUsageOffNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.3)	pethMainPseConsumptionPower
32	ax2530sDot1xFailureTrap	sysUpTime の値	ax2530sDot1xFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.31)	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplicantMac ax2530sAuthMessage
33	ax2530sDot1xEVENTTrap	sysUpTime の値	ax2530sDot1xEVENTTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.32)	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplicantMac ax2530sAuthMessage
34	ax2530sWauthFailureTrap	sysUpTime の値	ax2530sWauthFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.33)	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplicantMac ax2530sAuthMessage
35	ax2530sWauthEventTrap	sysUpTime の値	ax2530sWauthEventTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.34)	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplicantMac ax2530sAuthMessage
36	ax2530sMauthFailureTrap	sysUpTime の値	ax2530sMauthFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.35)	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplicantMac ax2530sAuthMessage
37	ax2530sMauthEventTrap	sysUpTime の値	ax2530sMauthEventTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.36)	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplicantMac ax2530sAuthMessage
38	ax2530sDot1xSystemTrap	sysUpTime の値	ax2530sDot1xSystemTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.37)	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplicantMac ax2530sAuthMessage
39	ax2530sWauthSystemTrap	sysUpTime の値	ax2530sWauthSystemTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.38)	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplicantMac ax2530sAuthMessage

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
40	ax2530sMauthSystemTrap	sysUpTime の値	ax2530sMauthSystemTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.39)	ax2530sAuthSysName ax2530sAuthIfIndex ax2530sAuthSupplicantMac ax2530sAuthMessage
41	ax2530sL2ldLinkDown	sysUpTime の値	ax2530sL2ldLinkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.51)	axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortDestinationPortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
42	ax2530sL2ldLinkUp	sysUpTime の値	ax2530sL2ldLinkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.52)	axsL2ldPortIfIndex
43	ax2530sL2ldLoopDetection	sysUpTime の値	ax2530sL2ldLoopDetection のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.53)	axsL2ldPortIndex axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
44	ax2530sUlrChangeSecondary	sysUpTime の値	ax2530sUlrChangeSecondary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.87)	axsUlrPortIfIndex axsUlrPairedPortIfIndex
45	ax2530sUlrChangePrimary	sysUpTime の値	ax2530sUlrChangePrimary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.88)	axsUlrPortIfIndex axsUlrPairedPortIfIndex
46	dot1agCfmFaultAlarm	sysUpTime の値	dot1agCfmFaultAlarm のオブジェクト ID (1.3.112.2.802.1.1.8.0.1)	dot1agCfmMdIndex dot1agCfmMaIndex dot1agCfmMepIdentifier
47	ax2530sDeviceErrorTrap	sysUpTime の値	ax2530sDeviceErrorTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.90)	ax2530sMemoryError
48	ax2530sSmlStatusFull 【OS-L2A】	sysUpTime の値	ax2530sSmlStatusFull のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.100)	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId
49	ax2530sSmlStatusStandalone 【OS-L2A】	sysUpTime の値	ax2530sSmlStatusStandalone のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.101)	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId
50	ax2530sSmlStatusConflict 【OS-L2A】	sysUpTime の値	ax2530sSmlStatusConflict のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.102)	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId
51	ax2530sSmlPeerlinkNormal 【OS-L2A】	sysUpTime の値	ax2530sSmlPeerlinkNormal のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.103)	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId
52	ax2530sSmlPeerlinkFailure 【OS-L2A】	sysUpTime の値	ax2530sSmlPeerlinkFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.104)	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId

項目番号	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
53	ax2530sSmlPeerlinkRecovery 【OS-L2A】	sysUpTime の値	ax2530sSmlPeerlinkRecovery のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.105)	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId
54	ax2530sSmlPeerlinkDisconnect 【OS-L2A】	sysUpTime の値	ax2530sSmlPeerlinkDisconnect のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.16.0.106)	ax2530sSmlDomain ax2530sSmlId

付録

付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

本装置で使用するプライベート MIB について、MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

付録 A.1 プライベート MIB

プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

(1) axsStats グループ

axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-1 axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1
axsIfStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4
axsIfStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1
axsIfStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1
axsIfStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.1
axsIfStatsName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.2
axsIfStatsInMegaOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.3
axsIfStatsInUcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.4
axsIfStatsInMulticastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.5
axsIfStatsInBroadcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.6
axsIfStatsOutMegaOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.7
axsIfStatsOutUcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.8
axsIfStatsOutMulticastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.9
axsIfStatsOutBroadcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.10
axsIfStatsHighSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.11
axsQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6
axsEtherTxQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1
axsEtherTxQoSStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1
axsEtherTxQoSStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1
axsEtherTxQoSStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.1
axsEtherTxQoSStatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.2
axsEtherTxQoSStatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.3
axsEtherTxQoSStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.4
axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.5
axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.6
axsEtherTxQoSStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.7
axsEtherTxQoSStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2
axsEtherTxQoSStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1
axsEtherTxQoSStatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsEtherTxQoSStatsQueueQueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.2
axsEtherTxQoSStatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.3
axsEtherTxQoSStatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.4
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.5
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.6
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.7
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.8

(2) axsFdb グループ

axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-2 axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFdb	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5
axsFdbCounterTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1
axsFdbCounterEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1
axsFdbCounterNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.1
axsFdbCounterLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.2
axsFdbCounterCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.3
axsFdbCounterType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.4
axsFdbCounterLimits	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.5

(3) axsVlan グループ

axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-3 axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6
axsVlanBridge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1
axsVlanBridgeBase	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1
axsVBBaseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1
axsVBBaseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1
axsVBBaseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.1
axsVBBaseBridgeAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.2
axsVBBaseNumPorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.3
axsVBBaseType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.4
axsVBBaseVlanIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.5
axsVBBaseVlanType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.6
axsVBBaseVlanID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.7
axsVBBaseAssociatedPrimaryVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.8

付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVBBBaseIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.9
axsVBBBaseLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.10
axsVBBBasePrivateVlanType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.11
axsVBBBasePortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2
axsVBBBasePortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1
axsVBBBasePortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.1
axsVBBBasePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.2
axsVBBBasePortIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.3
axsVBBBasePortCircuit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.4
axsVBBBasePortDelayExceededDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.5
axsVBBBasePortMtuExceededDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.6
axsVBBBasePortState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.7
axsVBBBasePortTaggedState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.8
axsVBBBasePortTranslatedTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.9
axsVlanBridgeStp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2
axsVBStpTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1
axsVBStpEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1
axsVBStpIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.1
axsVBStpProtocolSpecification	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.2
axsVBStpPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.3
axsVBStpTimeSinceTopologyChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.4
axsVBStpTopChanges	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.5
axsVBStpDesignatedRoot	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.6
axsVBStpRootCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.7
axsVBStpRootPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.8
axsVBStpMaxAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.9
axsVBStpHelloTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.10
axsVBStpHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.11
axsVBStpForwardDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.12
axsVBStpBridgeMaxAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.13
axsVBStpBridgeHelloTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.14
axsVBStpBridgeForwardDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.15
axsVBStpPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2
axsVBStpPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1
axsVBStpPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.1
axsVBStpPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.2
axsVBStpPortPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.3
axsVBStpPortState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.4
axsVBStpPortEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.5
axsVBStpPortPathCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.6

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVBStpPortDesignatedRoot	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.7
axsVBStpPortDesignatedCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.8
axsVBStpPortDesignatedBridge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.9
axsVBStpPortDesignatedPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.10
axsVBStpPortForwardTransitions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.11
axsVlanBridgeTp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4
axsVBTpTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1
axsVBTpEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1
axsVBTpIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.1
axsVBTpLearnedEntryDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.2
axsVBTpAgingTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.3
axsVBTpFdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2
axsVBTpFdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1
axsVBTpFdbIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.1
axsVBTpFdbAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.2
axsVBTpFdbPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.3
axsVBTpFdbStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.4
axsVBTpPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3
axsVBTpPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1
axsVBTpPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.1
axsVBTpPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.2
axsVBTpPortMaxInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.3
axsVBTpPortInFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.4
axsVBTpPortOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.5
axsVBTpPortInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.6
axsVlanBridgeStatic	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5
axsVBStaticTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1
axsVBStaticEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1
axsVBStaticIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.1
axsVBStaticAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.2
axsVBStaticReceivePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.3
axsVBStaticAllowedToGoTo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.4
axsVBStaticStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.5
axsVlanBridgeMaxVlans	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.101
axsVlanBridgeMaxSpans	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.102
axsVlanTagTranslation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10
axsVlanTagTranslationTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1
axsVlanTagTranslationEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1
axsVlanTagTranslationVlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVlanTagTranslationTranslatedId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.2
axsVlanTagTranslationPorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.3

(4) axsL2ldMIB グループ

axsL2ldMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-4 axsL2ldMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsL2ld	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10
axsL2ldGlobalInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1
axsL2ldVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.1
axsL2ldLoopDetectionId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.2
axsL2ldIntervalTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.3
axsL2ldOutputRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.4
axsL2ldThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.5
axsL2ldHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.6
axsL2ldAutoRestoreTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.7
axsL2ldConfigurationVlanPortCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.8
axsL2ldCapacityVlanPortCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.9
axsL2ldPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2
axsL2ldPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1
axsL2ldPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.1
axsL2ldPortIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.2
axsL2ldPortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.3
axsL2ldPortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.4
axsL2ldPortDetectCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.5
axsL2ldPortAutoRestoringTimer	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.6
axsL2ldPortSourcePortIfindex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.7
axsL2ldPortDestinationPortIfindex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.8
axsL2ldPortSourceVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.9
axsL2ldPortHCInFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.10
axsL2ldPortHCOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.11
axsL2ldPortHCInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.12
axsL2ldPortInactiveCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.13
axsL2ldPortLastInactiveTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.14
axsL2ldPortLastInFramesTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.15

(5) axsUlr グループ

axsUlr グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-5 axsUlr グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsUlr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20
axsUlrGlobalInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1
axsUlrVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.1
axsUlrID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.2
axsUlrConfigurationPortCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.3
axsUlrStartupActivePortSelection	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.4
axsUlrPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2
axsUlrPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1
axsUlrPortIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.1
axsUlrPortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.2
axsUlrPairedPortIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.3
axsUlrPortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.4
axsUlrPairedPortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.5
axsUlrAutoChangeToPrimary	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.6
axsUlrAutoChangeToPrimaryDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.7
axsUlrAutoChangeToPrimaryRest	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.8
axsUlrStartupActivePortSelectionStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.9
axsUlrFlushTransmit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.10
axsUlrFlushVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.11
axsUlrMacAddressUpdateTransmit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.12
axsUlrLastActivePortDecisionTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.13
axsUlrLastFlushTransmitTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.14
axsUlrLastMacUpdateTransmitTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.15
axsUlrLastChangeFactor	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.16
axsUlrFlushTransmitTotalPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.17
axsUlrMacAddressUpdateTransmitTotalPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.18
axsUlrMacAddressUpdateTransmitOverFlow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.19
axsUlrActiveDecisionCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.20

(6) axsBootManagement グループ

axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-6 axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsBootManagement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51
axsBootReason	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51.1

(7) axsLogin グループ

axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-7 axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsLogin	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52
axsLoginName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.1
axsLoginTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.2
axsLogoutTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.3
axsLoginFailureTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.4
axsLoginLocation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.5
axsLoginLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.6
axsLogoutStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.7

(8) axslldp グループ

axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-8 axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axslldp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100
axslldpConfiguration	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1
axslldpMessageTxInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.1
axslldpMessageTxHoldMultiplier	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.2
axslldpReinitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.3
axslldpTxDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.4
axslldpPortConfigTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6
axslldpPortConfigEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1
axslldpPortConfigPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.2
axslldpPortConfigAdminStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.3
axslldpPortConfigTLVsTxEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.4
axslldpPortConfigRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.5
axslldpConfigManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7
axslldpConfigManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7.1
axslldpConfigManAddrPortsTxEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7.1.1
axslldpStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2
axslldpStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1
axslldpStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1
axslldpStatsPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.2
axslldpStatsOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.3
axslldpStatsFramesInErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.4
axslldpStatsFramesInTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.5

MIB 名称	オブジェクト ID
axslldpStatsFramesOutTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.6
axslldpStatsTLVsInErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.7
axslldpStatsTLVsDiscardedTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.8
axslldpStatsCounterDiscontinuityTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.9
axslldpLocalSystemData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3
axslldpLocChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.1
axslldpLocChassisId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.2
axslldpLocSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.3
axslldpLocSysDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.4
axslldpLocSysCapSupported	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.5
axslldpLocSysCapEnabled	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.6
axslldpLocPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7
axslldpLocPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1
axslldpLocPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.1
axslldpLocPortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.2
axslldpLocPortId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.3
axslldpLocPortDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.4
axslldpLocManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8
axslldpLocManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1
axslldpLocManAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1
axslldpLocManAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1.2
axslldpLocManAddrIfSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1.3
axslldpLocManAddrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1.4
axslldpLocManAddrOID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1.5
axslldpRemoteSystemData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4
axslldpRemTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1
axslldpRemEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1
axslldpRemTimeMark	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.1
axslldpRemLocalPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.2
axslldpRemIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.3
axslldpRemRemoteChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.4
axslldpRemRemoteChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.5
axslldpRemRemotePortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.6
axslldpRemRemotePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.7
axslldpRemPortDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.8
axslldpRemSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.9
axslldpRemSysDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.10
axslldpRemSysCapSupported	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.11
axslldpRemSysCapEnabled	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.12
axslldpRemManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axslldpRemManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1
axslldpRemManAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.1
axslldpRemManAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.2
axslldpRemManAddrIfSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.3
axslldpRemManAddrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.4
axslldpRemManAddrOID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.5
axslldpRemOrgDefInfoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3
axslldpRemOrgDefInfoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1
axslldpRemOrgDefInfoOUI	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.1
axslldpRemOrgDefInfoSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.2
axslldpRemOrgDefInfoIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.3
axslldpRemOrgDefInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.4
axslldpRemoteOriginInfoData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20
axslldpRemOriginInfoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1
axslldpRemOriginInfoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1
axslldpRemOriginInfoPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.1
axslldpRemOriginInfoIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.2
axslldpRemOriginInfoLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.3
axslldpRemOriginInfoHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.4
axslldpRemOriginInfoIpv4Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.5
axslldpRemOriginInfoIpv4PortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.6
axslldpRemOriginInfoIpv4VlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.7
axslldpRemOriginInfoIpv6Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.8
axslldpRemOriginInfoIpv6PortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.9
axslldpRemOriginInfoIpv6VlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.10

(9) axsAxrpMIB グループ

axsAxrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-9 axsAxrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsAxrp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200
axsAxrpGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1
axsAxrpGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1
axsAxrpGroupRingId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.1
axsAxrpGroupRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.2
axsAxrpGroupMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.3
axsAxrpGroupRingAttribute	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.4
axsAxrpGroupMonitoringState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.5
axsAxrpGroupRingport1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.6

MIB 名称	オブジェクト ID
axsAxrpGroupRingport1Shared	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.7
axsAxrpGroupRingport2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.8
axsAxrpGroupRingport2Shared	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.9
axsAxrpGroupTransitionToFaultCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.10
axsAxrpGroupTransitionToNormalCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.11
axsAxrpGroupLastTransitionTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.12
axsAxrpGroupMultiFaultDetectionState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.22
axsAxrpVlanGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2
axsAxrpVlanGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1
axsAxrpVlanGroupRingId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.1
axsAxrpVlanGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.2
axsAxrpVlanGroupRingport1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.3
axsAxrpVlanGroupRingport1Role	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.4
axsAxrpVlanGroupRingport1OperState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.5
axsAxrpVlanGroupRingport2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.6
axsAxrpVlanGroupRingport2Role	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.7
axsAxrpVlanGroupRingport2OperState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.8

(10) axsPconMIB グループ

axsPconMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-10 axsPconMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsPconMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300
axsPconObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1
axsPconModuleData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1
axsPconModuleTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1
axsPconModuleEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1
axsPconModuleIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.1
axsPconModuleType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.2
axsPconModuleSlotNo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.3
axsPconModuleDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.4
axsPconModuleStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.5
axsPconModuleMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.6
axsPconPowerCon	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2
axsPconPowerConTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2.1
axsPconPowerConEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2.1.1
axsPconPowerConMaxPower	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2.1.1.1
axsPconPowerConPowerConsumption	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2.1.1.2
axsPconPowerConPowerMeter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2.1.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsPconTraffic	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3
axsPconTrafficTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1
axsPconTrafficEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1
axsPconTrafficMaxTransferCapacity	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.1
axsPconTrafficTotalTransferCapacity	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.2

(11) axsStack グループ【OS-L2A】

axsStack グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-11 axsStack グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsStack	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400
axsStackGlobalInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.1
axsStackMasterSwitch	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.1.1
axsStackMember	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2
axsStackMemberTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1
axsStackMemberEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1.1
axsStackMemberIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1.1.1
axsStackModelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1.1.2
axsStackSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1.1.3
axsStackSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1.1.4
axsStackSoftwareVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1.1.5
axsStackBootReason	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1.1.6
axsStackPconModuleMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1.1.7
axsStackPconPowerConMaxPower	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1.1.8
axsStackPconPowerConPowerConsumption	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1.1.9
axsStackPconPowerConPowerMeter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.2.1.1.10
axsStackMemberLicense	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3
axsStackMemberLicenseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3.1
axsStackMemberLicenseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3.1.1
axsStackMemberLicenseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3.1.1.1
axsStackMemberLicenseSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3.1.1.2
axsStackMemberLicenseOptionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3.1.1.3
axsStackMemberLicenseOptionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3.2
axsStackMemberLicenseOptionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3.2.1
axsStackMemberLicenseOptionIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3.2.1.1
axsStackMemberLicenseOptionNumberIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3.2.1.2
axsStackMemberLicenseOptionSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3.2.1.3
axsStackMemberLicenseOptionSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.400.3.2.1.4

(12) axsWhitelist グループ 【OS-L2A】

axsWhitelist グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-12 axsWhitelist グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsWhitelist	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.500
axsWhitelistSourceBlockGroup	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.500.4
axsWhitelistSourceBlockTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.500.4.1
axsWhitelistSourceBlockEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.500.4.1.1
axsWhitelistSourceBlockAddressType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.500.4.1.1.1
axsWhitelistSourceBlockAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.500.4.1.1.2
axsWhitelistSourceBlockRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.500.4.1.1.3
axsWhitelistSourceBlockStorageType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.500.4.1.1.4
axsWhitelistSourceBlockTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.500.4.1.1.5

(13) ax2530sSwitch グループ

ax2530sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-13 ax2530sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax2530sSwitch	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1
ax2530sModelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.1
ax2530sSoftware	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.2
ax2530sSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.2.1
ax2530sSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.2.2
ax2530sSoftwareVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.2.3
ax2530sSystemMsg	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.3
ax2530sSystemMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.3.1
ax2530sSystemMsgType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.3.2
ax2530sSystemMsgTimeStamp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.3.3
ax2530sSystemMsgLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.3.4
ax2530sSystemMsgEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.3.5
ax2530sSystemMsgEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.3.6
ax2530sSystemMsgEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.3.7
ax2530sSystemMsgAdditionalCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.3.8
ax2530sSnmpAgent	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.4
ax2530sSnmpSendReceiveSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.4.1
ax2530sSnmpReceiveDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.4.2
ax2530sSnmpContinuousSend	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.4.3
ax2530sSnmpObjectMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.4.4
ax2530sLicense	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6

MIB 名称	オブジェクト ID
ax2530sLicenseNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.1
ax2530sLicenseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.2
ax2530sLicenseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.2.1
ax2530sLicenseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.2.1.1
ax2530sLicenseSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.2.1.2
ax2530sLicenseOptionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.2.1.3
ax2530sLicenseOptionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.3
ax2530sLicenseOptionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.3.1
ax2530sLicenseOptionIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.3.1.1
ax2530sLicenseOptionNumberIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.3.1.2
ax2530sLicenseOptionSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.3.1.3
ax2530sLicenseOptionSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.1.6.3.1.4

(14) ax2530sDevice グループ

ax2530sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-14 ax2530sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax2530sDevice	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2
ax2530sChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1
ax2530sChassisMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.1
ax2530sChassisTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2
ax2530sChassisEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1
ax2530sChassisIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.1
ax2530sChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.2
ax2530sChassisStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.3
ax2530sStsLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.4
ax2530sMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.7
ax2530sMemoryUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.8
ax2530sMemoryFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.9
ax2530sCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.11
ax2530sPhysLineNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.19
ax2530sTemperatureStatusNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.20
ax2530sPowerUnitNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.21
ax2530sRedundantPsNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.22
ax2530sFanNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.23
ax2530sTotalAccumRunTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.24
ax2530sCriticalAccumRunTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.25
ax2530sSts2LedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.2.1.26
ax2530sTemperatureStatusTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
ax2530sTemperatureStatusEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.3.1
ax2530sTemperatureStatusIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.3.1.1
ax2530sTemperatureStatusDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.3.1.2
ax2530sTemperatureStatusValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.3.1.3
ax2530sTemperatureThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.3.1.4
ax2530sTemperatureState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.3.1.5
ax2530sPowerUnitTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.4
ax2530sPowerUnitEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.4.1
ax2530sPowerUnitIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.4.1.1
ax2530sPowerConnectStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.4.1.2
ax2530sPowerSupplyStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.4.1.3
ax2530sFanTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.5
ax2530sFanEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.5.1
ax2530sFanIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.5.1.1
ax2530sFanStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.5.1.2
ax2530sRedundantPsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.6
ax2530sRedundantPsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.6.1
ax2530sRedundantPsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.6.1.1
ax2530sRedundantPsConnectStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.6.1.2
ax2530sRedundantPsStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.1.6.1.3
ax2530sPhysLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.2
ax2530sPhysLineTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.2.1
ax2530sPhysLineEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.2.1.1
ax2530sPhysLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.2.1.1.1
ax2530sPhysLineConnectorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.2.1.1.2
ax2530sPhysLineOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.2.1.1.3
ax2530sPhysLineIfIndexNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.2.1.1.4
ax2530sPhysLineTransceiverStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.2.1.1.5
ax2530sDeviceError	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.3
ax2530sMemoryError	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.2.3.1

(15) ax2530sAuth グループ

ax2530sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-15 ax2530sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax2530sAuth	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.10
ax2530sAuthInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.10.1
ax2530sAuthSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.10.1.1
ax2530sAuthIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.10.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
ax2530sAuthSupplicantMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.10.1.3
ax2530sAuthMessage	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.10.1.4

(16) ax2530sSml グループ【OS-L2A】

ax2530sSml グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-16 ax2530sSml グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax2530sSml	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.20
ax2530sSmlInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.20.1
ax2530sSmlDomain	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.20.1.1
ax2530sSmlId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.16.20.1.2

付録 A.2 InMon プライベート MIB

InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を次の表に示します。

表 A-17 InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
sFlowMIB	1.3.6.1.4.1.4300.1
sFlowAgent	1.3.6.1.4.1.4300.1.1
sFlowVersion	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.1
sFlowAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.2
sFlowAgentAddress	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.3
sFlowTable	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4
sFlowEntry	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1
sFlowDataSource	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.1
sFlowOwner	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.2
sFlowTimeout	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.3
sFlowPacketSamplingRate	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.4
sFlowCounterSamplingInterval	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.5
sFlowMaximumHeaderSize	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.6
sFlowMaximumDatagramSize	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.7
sFlowCollectorAddressType	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.8
sFlowCollectorAddress	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.9
sFlowCollectorPort	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.10
sFlowDatagramVersion	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.11

索引

A

Alarm グループ 51
at グループ (MIB-II) 20
ax2530sAuth グループ (認証情報 MIB) 193
ax2530sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 229
ax2530sChassis グループの実装仕様 (温度情報) 187
ax2530sChassis グループの実装仕様 (外部電源情報) 189
ax2530sChassis グループの実装仕様 (筐体情報) 185
ax2530sChassis グループの実装仕様 (電源情報) 188
ax2530sChassis グループの実装仕様 (ファン情報) 188
ax2530sDeviceError グループの実装仕様 (装置障害情報) 192
ax2530sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB) 185
ax2530sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 228
ax2530sPhysLine グループの実装仕様 (line(物理回線) 情報) 190
ax2530sSml グループ (SML 情報) 194
ax2530sSml グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 230
ax2530sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB) 182
ax2530sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 227
axsAxrpGroupTable グループ 172
axsAxrpMIB グループ (Ring Protocol 情報) 172
axsAxrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 224
axsAxrpVlanGroupTable グループ 173
axsBootManagement グループ (システム起動情報 MIB) 158
axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 221
axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB) 141
axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 217
axsIfStats グループ 138
axsL2ldGlobalInfo グループ 152

axsL2ldMIB グループ (L2LD 情報 MIB) 152
axsL2ldMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 220
axsL2ldPortTable グループ 153
axslldpConfiguration グループ 161
axslldpLocalSystemData グループ 164
axslldpRemoteOriginInfoData グループ 169
axslldpRemoteSystemData グループ 166
axslldpStats グループ 163
axslldp グループ (LLDP 情報 MIB) 161
axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 222
axsLogin グループ (ログイン情報 MIB) 159
axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 222, 227
axsPconMIB グループ (消費電力情報 MIB) 175
axsPconMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 225
axsPconModuleData グループ 175
axsPconPowerCon グループ 176
axsQoS グループ 139
axsStackGlobalInfo グループ 177
axsStackMemberLicense グループ 179
axsStackMember グループ 177
axsStack グループ (スタック情報) 177
axsStack グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 226
axsStats グループ (統計情報 MIB) 138
axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 216
axsUlrGlobalInfo グループ 155
axsUlrPortTable グループ 155
axsUlr グループ (アップリンク・リダンダント情報 MIB) 155
axsUlr グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 221
axsVBBasePortTable グループ 143
axsVBBaseTable グループ 142
axsVBStaticTable グループ 150
axsVBStpPortTable グループ 146
axsVBStpTable グループ 145
axsVBTpFdbTable グループ 148
axsVBTpPortTable グループ 149
axsVBTpTable グループ 147
axsVlanBridge (その他) グループ 151
axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報) 142

axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報 MIB) 151
 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB) 142
 axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 217
 axsWhitelistSourceBlockGroup 181
 axsWhitelist グループ (ホワイトリスト情報) 181

D

dot1agCfmLtr グループ 87
 dot1agCfmMaComp グループ 80
 dot1agCfmMaMepList グループ 81
 dot1agCfmMaNet グループ 79
 dot1agCfmMd グループ 78
 dot1agCfmMepDb グループ 89
 dot1agCfmMep グループ 82
 dot1agCfmStack グループ 76
 dot1agCfmVlan グループ 77
 dot1dBase グループ 55
 dot1dBridge グループ 55
 dot1dStp グループ 56
 dot1dTp グループ 58
 dot3adAggPort グループ 93
 dot3adAgg グループ 92
 dot3adTablesLastChanged グループ 97
 dot3 グループ (Ethernet Like MIB) 42

E

Ethernet History グループ 49
 Ethernet Statistics グループ 46
 Event グループ 53

H

History Control グループ 48

I

icmp グループ (MIB-II) 33
 IEEE802.1X MIB グループ 99
 IEEE8021-CFM-MIB グループ 76
 IEEE8023-LAG-MIB グループ 92
 ifMIB 69
 ifMIB グループ (Interfaces Group MIB) 69
 InMon プライベート MIB 231
 InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 231
 interfaces グループ 15
 interfaces グループ (MIB-II) 15
 ip 21

ip グループ (MIB-II) 21

L

lldpV2Configuration グループ 120
 lldpV2Extensions グループ 129
 lldpV2LocalSystemData グループ 125
 lldpV2MIB グループ 120
 lldpV2RemoteSystemsData グループ 126
 lldpV2Statistics グループ 123
 lldpV2Xdot1Config グループ 129
 lldpV2Xdot1LocalData グループ 131
 lldpV2Xdot1RemoteData グループ 133

M

MIB 一覧 4
 MIB 体系図 2
 MIB の記述形式 9

P

pBridgeMIB グループ 60
 powerEthernetMIB グループ (Power EthernetMIB) 73

Q

qBridgeMIB グループ 62

R

rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB) 46

S

sFlow グループ (InMon プライベート MIB) 195
 snmpFrameworkMIB グループ (SNMP FRAMEWORK MIB) 108
 snmpModules グループ 108
 snmpMPDMIB グループ (SNMP MPD MIB) 108
 snmpNotificationMIB グループ (SNMP NOTIFICATION MIB) 111
 snmpTargetMIB グループ (SNMP TARGET MIB) 109
 snmpUsmMIB グループ (SNMP USER BASED SM MIB) 113
 snmpVacmMIB グループ (SNMP VIEW BASED ACM MIB) 116
 snmp グループ (MIB-II) 44
 SYNTAX 9
 system グループ (MIB-II) 14

T

tcp 36
tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6) 36

U

udp 40
udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6) 40

あ

アクセス 11

お

オブジェクト識別子 9

さ

サポート MIB トラップ 197
サポート MIB の概要 1
サポートトラップ-PDU 内パラメータ 202
サポートトラップおよび発行契機 198

し

識別子 9
実装有無 11
実装仕様 9, 11

ひ

標準 MIB 13

ふ

プライベート MIB 137, 216
プライベート MIB 定義ファイルの入手方法 8
プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値 216

